SONY

BS デジタルチューナー　DST-BX500

SONY

4-085-302-**04** (1)



i.LINK™

BSデジタルチューナー　取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

操作

この取扱説明書は、BSデジタル放送をご覧いただくための操作や設定を説明しています。
新しいデジタル放送の110度CSデジタル放送については、同梱の「110度CS操作ガイドブック」で補足説明しています。110度CSデジタル放送をご覧になるための操作や機能は、BSデジタル放送とほぼ同じです。詳しくは、「110度CS操作ガイドブック」を参照してください。

BSテレビを見る

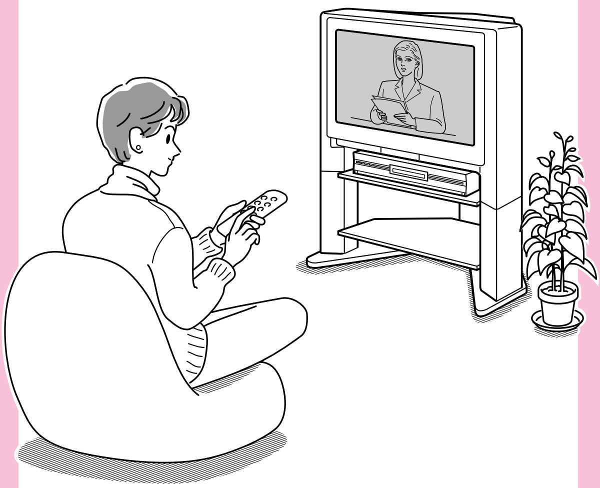
BSの番組を選ぶ

BSの番組を予約する

その他のBS操作

BSテレビを見る

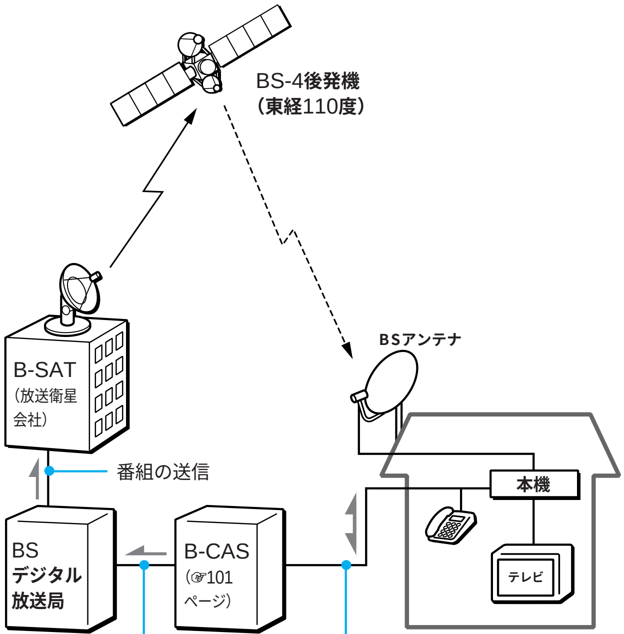
ここでは、BSデジタルの特長や、BSテレビを見たり、BSテレビやBSラジオと連動しているBSデータを見たりするときの操作について説明しています。



BSデジタル放送って何？

2000年12月に本放送が開始された放送衛星BS-4後発機を利用したデジタル衛星放送（BS*）です。従来のテレビ放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と違い、映像や音声をデジタル化して大容量の情報を扱えるため、高画質な映像や多チャンネルの番組を楽しめます。幅広いジャンルの番組内容で、デジタルハイビジョン信号HDを中心に、ラジオ放送、データ放送（双方向サービス）が楽しめます。
特に**「デジタルハイビジョン信号HD」**では1125iと750pの画像方式があり、大画面になっても走査線（テレビ画面を水平に走る線）が目立たなく、臨場感あふれる高精細画質を楽しめます**。

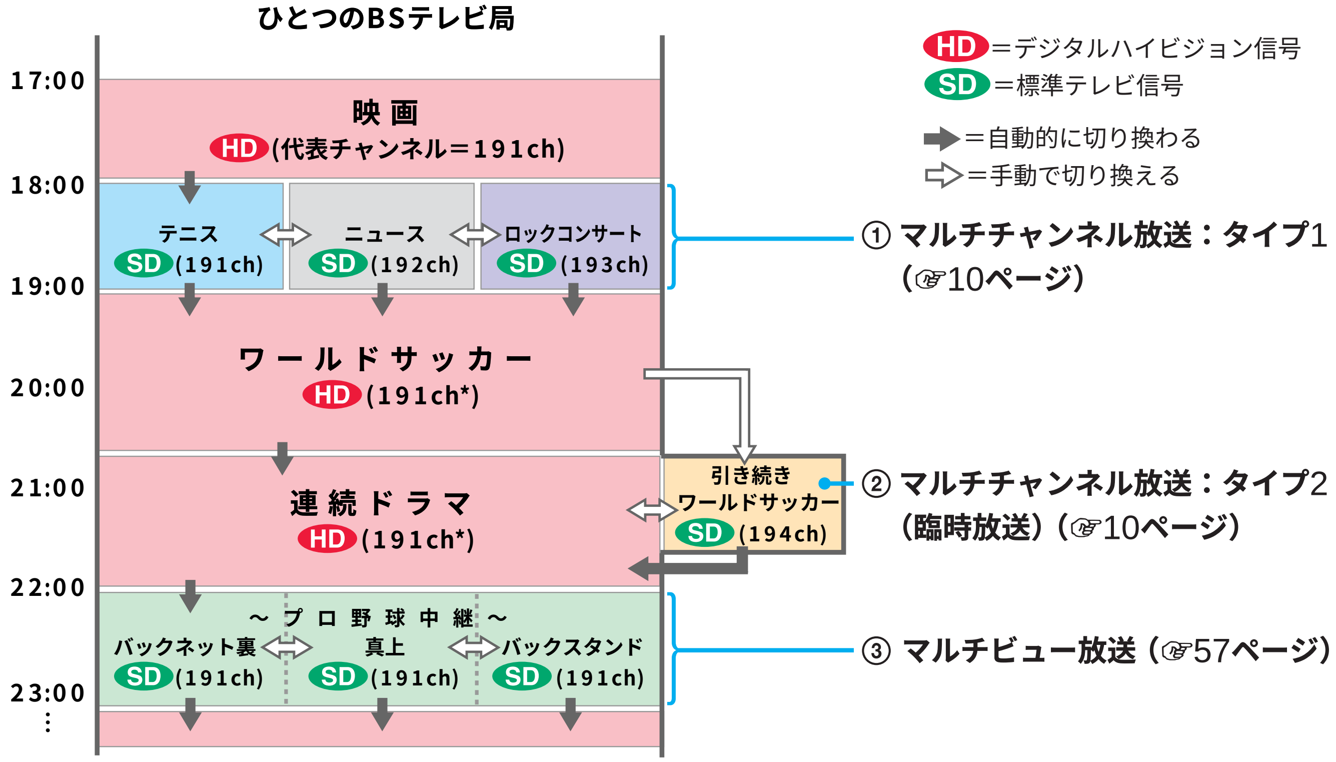
* BSはBroadcasting Satellite（放送衛星）の略です。
**BSデジタルの画質や画像方式、走査線についての詳しい説明は、79ページをご覧ください。



BSデジタル独自の多チャンネル放送って何？

BSデジタルでは、ひとつのBS放送局が、デジタルハイビジョン信号HDの1チャンネル放送と、標準テレビ信号SDの多チャンネル（2〜5チャンネル）放送を、下のイラストのように時間帯によって切り換えながら放送する場合があります。

また、下のイラストのように、標準テレビ信号SDの多チャンネル放送を利用したサービスには、①**マルチチャンネル放送：タイプ**1、②**マルチチャンネル放送：タイプ**2、③**マルチビュー放送**があります。



* 18:00から192chや193chを見ていたときは、代表チャンネルの191chに切り換わらないまま、見ていたチャンネルで引き続き、その後の番組をご覧いただけることもあります。

① マルチチャンネル放送：タイプ1

同じBS放送局の複数のチャンネルで、それぞれ違う番組を放送します。

例：テニス、ニュース、ロックコンサートを、同じ放送局の別のチャンネルで、同じ時間帯に放送する

→ **詳しくは、「画面に視聴中の番組以外のチャンネル番号が表示されたときは［マルチチャンネル放送］」（☞10ページ）をご覧ください。**

② マルチチャンネル放送：タイプ2（臨時放送）

同じBS放送局の別のチャンネルで、臨時放送を行います。

例：サッカー中継で、放送時間内に試合が終わらないときに、同じ放送局の別チャンネルで引き続き試合終了まで放送し、元のチャンネルでは予定どおりに、その後の連続ドラマを放送する

→ **詳しくは、「画面に視聴中の番組以外のチャンネル番号が表示されたときは［マルチチャンネル放送］」（☞10ページ）をご覧ください。**

③ マルチビュー放送

生中継の番組などで、最大3つの映像を同じチャンネルで楽しめる放送です。それぞれのカメラからの映像を、本機のリモコンの映像切換ボタンで切り換えて見ることができます。

例：プロ野球中継で、3方向（バックネット裏、真上、バックスタンド）からの画面を切り換えて見る

→ **詳しくは、「マルチビュー放送や第2映像などを見る［映像切換ボタン］」（☞57ページ）をご覧ください。**

この他にも、緊急時に同じBS放送局の別チャンネルで行われる**緊急放送**があります。

例：地震などの災害時に、緊急ニュース番組を放送する

→ **詳しくは、「緊急放送のお知らせが出たときは」（☞11ページ）をご覧ください。**

BSデジタル放送って何？（つづき）

BSデジタルでは、テレビ以外にもサービスがあるの？

BSラジオとBSデータがあります。
本機では、すべての放送を楽しめます。

BSラジオ

音楽CD並み（BSアナログ・Bモード並み）の高音質放送などがあります。
➔「BSラジオを聞く」（☞50ページ）

BSデータ

テレビ放送を、従来の「見るもの」から「参加するもの/使うもの」へと変化させる、双方向的な番組が実現されています。
BSテレビやBSラジオの番組と**連動して放送されるBSデータ**（☞14ページ）と、BSデータだけを専門に放送する**BS独立データ**（☞52ページ）があります。

たくさんのBSチャンネルから、どうやって見たい番組を探すの？

見たい番組を簡単に探し出せるように、**番組表**（EPG: Electronic Program Guide）があります。
番組表では、テレビ画面上でそのチャンネルの番組表を見ることができます。
また、本機ではMY**プラスボタン**を使ってチャンネル別の番組表を見たり、ジャンル別の番組表を見たりすることができます。
➔「BSの番組を選ぶ」（☞18〜33ページ）

BSデジタルは有料なの？

2000年12月から新たに放送開始された民放系BS新会社5局は無料放送を行っています。
ただし、NHK（BS1、BS2、デジタルハイビジョン）やWOWOW、スター・チャンネルBS、セント・ギガなどは有料放送（NHKのBS受信料も含む）のため、視聴するには、各局への加入申し込みと契約が必要です（次ページの表参照）。

BSデジタルは、録画できるの？

本機では、i.LINKを使って、デジタルハイビジョン信号HDも標準テレビ信号SDも、オリジナル画像を生かした高画質のまま録画できます。また、i.LINKを使わなくても、現行のテレビ（地上波）と同等の画質のアナログ信号に変換し録画できます。
ただし、有料BS局などでは、著作権上の問題から、録画できない番組もあります。
➔「BSの番組を予約する」（☞34〜48ページ）

BSアナログ放送はなくなるの？

従来のNHK（BS1、BS2）ハイビジョンの3チャンネルは、デジタルとアナログの同時放送（サイマル放送）が行われるため、お持ちのBSアナログチューナー内蔵のテレビやビデオで引き続き見ることができます。ただし、2007年以降にBSアナログは終わり、BSデジタルに1本化される予定です。

加入申し込みが必要な有料BS放送局のカスタマーセンター（お問い合わせ先）一覧

以下のBSは有料放送（NHKのBS受信料も含む）のため、視聴するには、各局へ加入申し込みをして契約する必要があります。

加入申し込み方法はBS放送局により異なります。詳しくは、ご覧になりたいBS放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

なお、無料放送でも登録が必要な場合があります。詳しくは、ご覧になりたいBS放送局へお問い合わせください。

また、B-CAS（ビーキャス）カード（BSデジタル用ICカード）を本体のICカード挿入口に入れて、B-CAS用ユーザー登録はがきを投函してください（☞101ページ）。

2001年9月現在の電話番号とホームページアドレスです。

BS放送局	お問い合わせ電話番号/ホームページアドレス
NHK BS1 NHK BS2 NHK デジタル ハイビジョン	03-3465-1111 受付 9:00～23:00（平日） 9:00～22:00（土日） http://www.nhk.or.jp/
WOWOW	0570-008080 （携帯電話などをお使いの方は、045-683-8080） 受付 9:00～20:00 http://www.wowow.co.jp/
テレビ放送のみが、視聴申込が必要な有料放送です。ラジオ放送（WOWOW wave：491、492ch）と独立データ放送（WOWOW navi：791、792ch）は無料放送です。	
スター・チャンネルBS	0570-010-110 （携帯電話などをお使いの方は、045-339-1555） 受付 10:00～20:00 http://www.star-ch.co.jp/
テレビ放送のみが、視聴申込が必要な有料放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。	
セント・ギガ	0120-336-765 受付 10:00～21:00 http://www.stgiga.co.jp/
ラジオ放送のみが、視聴申込が必要な有料放送です。独立データ放送（633、636ch）は無料放送です。	

ご注意

加入申し込みを行わずに、NHK（BS1、BS2、デジタルハイビジョン）を受信すると、テレビ画面に連絡をお願いする案内が、自動表示されることがあります。

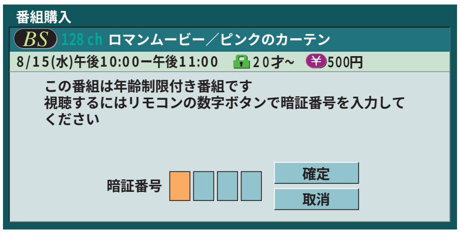
BSテレビを見る

ペイ・パー・ビュー（PPV）を選んだときは

あらかじめ、「準備8：B-CAS（ビーキャス）カード（BSデジタル用ICカード）を入れて登録する」を行ってください（☞101ージ）。その後、「ペイ・パー・ビュー（PPV）を見る」（☞15ページ）の手順に従って、操作してください。

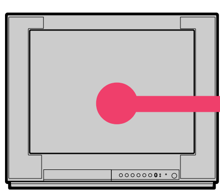
視聴年齢制限付き番組を選んだときは

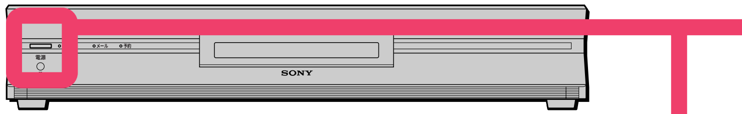
暗証番号入力画面が表示されます。数字ボタンで4桁の暗証番号（☞113ページ）を入力すると見ることができます。



画面表示についてのちょっと一言

「(各種切換)」メニューの「チャンネル番号の表示時間」で、画面表示ボタンを押した後の表示時間を選べます。
プラズマテレビをつないでいるときは、お買い上げ時の設定「表示後数秒間で消す」のままお使いください。





テレビ電源ボタン

テレビコンポーネントボタン

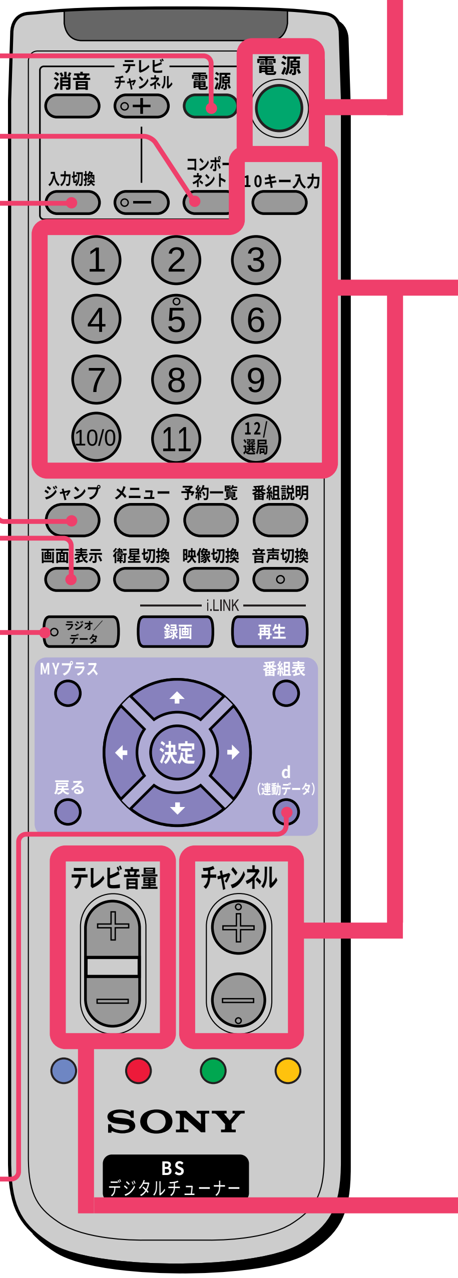
テレビ入力切換ボタン

ジャンプボタン
押すたびに、
1つ前に見ていたチャンネル
↕
今見ているチャンネル
と切り換わります。

画面表示ボタン
番組タイトル/チャンネルが表示されます。
表示された番組タイトル/チャンネルは、数秒後に自動的に消えます（☞147ページ）。

ラジオ/データボタン
BSテレビに切り換えます。
チャンネル＋/ーボタンで選べるチャンネルが、押すたびに、次のように切り換わります。
BSテレビチャンネル
↓
BSラジオチャンネル
↓
BS独立データチャンネル

d（連動データ）ボタン
BSテレビに連動しているBSデータを見るときに押します（☞14ページ）。



1 テレビの電源を入れ、テレビ側で本機をつないだ端子の入力に切り換える。



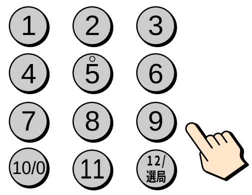
ちょっと一言

本機リモコンでテレビを操作できるように設定すると便利です（☞112ページ）。

2 本機の電源を入れる。



3 リモコンを本機に向けて数字ボタンを押し、BSテレビ局の代表チャンネル*1を選ぶ。



*1 リモコンの背面にも、対照表が載っています。

ちょっと一言

- *2 の付いたBS放送局は有料放送（NHKのBS受信料も含む）のため、視聴するには、各局へ加入申し込みをして契約する必要があります（☞7ページ）。
- ⑪、⑫ ボタンに、お好きなBSチャンネルを登録できます（☞109ページ）。

数字ボタン	BS放送局（代表チャンネル）
1	NHK BS1（101）*2
2	NHK BS2（102）*2
3	NHK デジタルハイビジョン（103）*2
4	BS日テレ（141）
5	BS朝日（151）

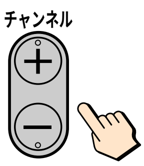
数字ボタン	BS放送局（代表チャンネル）
6	BS-i（161）
7	BSジャパン（171）
8	BSフジ（181）
9	WOWOW（191）*2
10/0	スター・チャンネルBS（200）*2

（2001年9月現在）

次の方法でも、チャンネルを選べます。

代表チャンネル以外のチャンネルを選ぶときは、次の方法で選んでください。

チャンネル＋/－ボタンで選ぶには



押し続けると、BSテレビ内でチャンネル番号のみ早く切り換わり、離すとそのBSテレビのチャンネルが映ります。

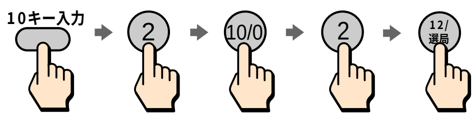
ご注意

BSラジオや独立データになっているときは、ラジオ/データボタンを押して、BSテレビに切り換えてから選んでください。

3ケタのチャンネル番号で直接選ぶには

① 10キー入力ボタンを押す。
② ①～⑩ までの数字ボタンで、BSテレビの3ケタのチャンネル番号を百の位から順に押す。
③ ⑫ ボタンを押す。（押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。）

例）202chを見るとき



番組表やMYプラスからBSテレビを選ぶには

「BSの番組を選ぶ」（☞18～33ページ）をご覧ください。

BSテレビを見ているときは、BSテレビの番組表のみが表示されます。

4 テレビの音量を調節する。



ちょっと一言

本機リモコンでテレビを操作できるように設定すると便利です（☞112ページ）。

次のページにつづく

選局についてのちょっと一言

- BSテレビを見ているときに、画面上に、臨時ニュースなどの文字スーパーが表示されることがあります。文字スーパー放送は、終了するまで消すことはできません。
- 数字ボタンを押して選局できるチャンネルは、お好みで変更できます。（「⑪ボタン、⑫ボタンに好みのBSチャンネルを登録する」☞109ページ）
- チャンネル＋/－ボタンを押して選局できるチャンネルは、お好みで変更できます。（「チャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるBSチャンネルを設定する」☞110ページ）

「降雨対応放送に切り換わりました」と表示されたときは

降雨対応放送を受信しています。
お買い上げ時は、降雨時に受信状態が悪くなると、降雨対応放送に自動的に切り換わるように設定されています（対応していない番組もあります）。
降雨対応放送は、画質や音質が通常の放送に比べ低下します。

ご注意

降雨時「受信できません　大雨・大雪やアンテナの調整ズレなどの場合もあります」と表示されて、映像や音声が出なくなる場合は、受信中の放送が降雨対応でないためか、降雨対応放送で対応できない気象状況となっているためです。

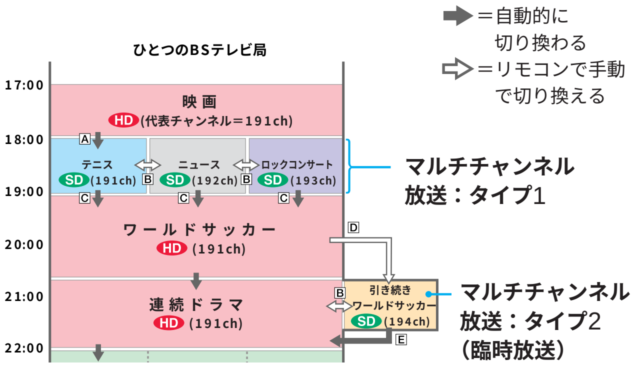
降雨対応放送についてのちょっと一言

- お買い上げ時は、天候回復後、自動的に通常の放送に戻るように設定されています。
- 「（初期設定）」メニューの「衛星設定」で、「降雨対応放送受信」を「切」にすると、降雨対応放送に切り換わりません。

画面に視聴中の番組以外のチャンネル番号が表示されたときは［マルチチャンネル放送］

標準テレビ信号SDの多チャンネル放送を利用した、マルチチャンネル放送が行われています。
マルチチャンネル放送には2タイプあります。

- **マルチチャンネル放送：タイプ1**
  同じ放送局の複数のチャンネルで、それぞれ違う番組を放送します。
  例：テニス、ニュース、ロックコンサートを、同じ放送局の別のチャンネルで、同じ時間帯に放送する。
- **マルチチャンネル放送：タイプ2（臨時放送）**
  同じ放送局の別のチャンネルで、臨時放送を行います。
  例：サッカー中継で、放送時間内に試合が終わらないときに、同じ放送局の別チャンネルで引き続き試合終了まで放送し、元のチャンネルでは予定どおりに、その後の連続ドラマを放送する。



A マルチチャンネル放送（タイプ1）開始
…代表チャンネルへ自動的に移行します。

B マルチチャンネル放送中の選局
…10キー入力ボタンと数字ボタンで3ケタのチャンネル番号を入力して切り換えます。

C マルチチャンネル放送（タイプ1）終了
…18:00から192chや193chを見ていたときは、代表チャンネルの191chに切り換わらないまま、見ていたチャンネルで引き続き、その後の番組（ワールドサッカーや連続ドラマ）をご覧いただけます。

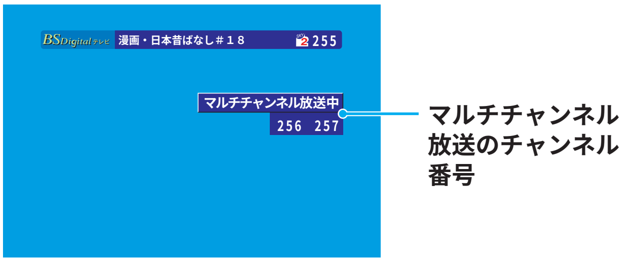
D 臨時放送開始
…中継延長になりHDからSDに変わり、引き続き放送します。ご覧になるときは、10キー入力ボタンと数字ボタンで3ケタの新しいチャンネル番号（上の例では194ch）を入力して切り換えます。

E 臨時放送終了
…代表チャンネルへ自動的に移行します。

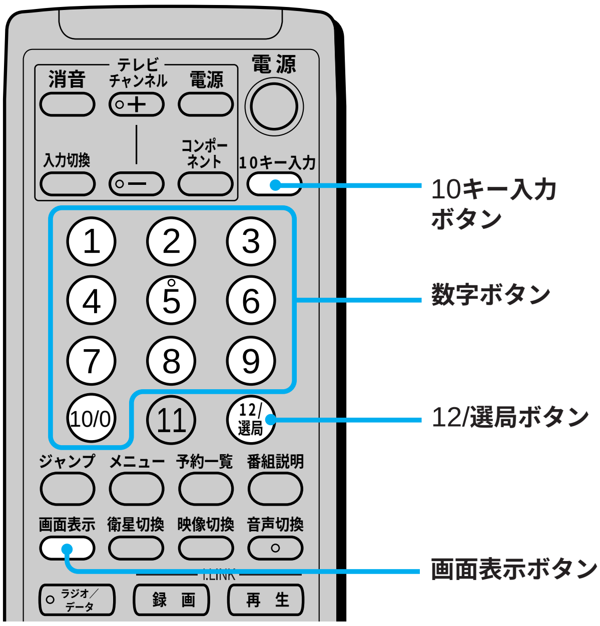
現在視聴中のBS放送局でマルチチャンネル放送が始まると

画面右端にマルチチャンネル放送のチャンネル番号*が数秒間表示されます。

* チャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるように設定したチャンネル（☞110ページ）は表示されません。



マルチチャンネル放送を見るときは



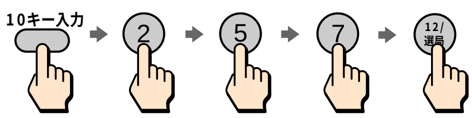
1 **10キー入力ボタンを押す。**

2 **数字ボタンで、マルチチャンネル放送を行っている3ケタのチャンネル番号を、百の位から順に押す。**

3 **⑫ボタンを押す。（押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。）**

マルチチャンネル放送を見ることができます。

例）257chで行われているマルチチャンネルを見るとき



ご注意

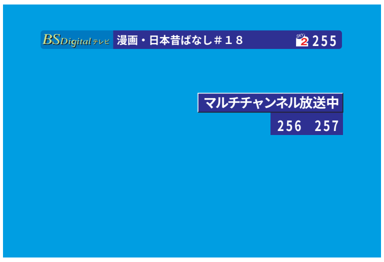
チャンネル＋/－ボタンでは、マルチチャンネル放送のチャンネルは選べません。

マルチチャンネル放送を行っているか確認するときは

画面表示ボタンを押す。

マルチチャンネル放送を行っているときは、チャンネル番号*が数秒間表示されます。

* チャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるように設定したチャンネル（☞110ページ）は表示されません。



緊急放送のお知らせが出たときは

標準テレビ信号SDの多チャンネル放送を利用した緊急放送が行われています。

緊急放送には、地震などの災害時に放送される緊急ニュース番組などがあります。

緊急放送が始まると

放送局から緊急放送のお知らせが表示され、緊急放送を行っているチャンネル番号が表示されます。



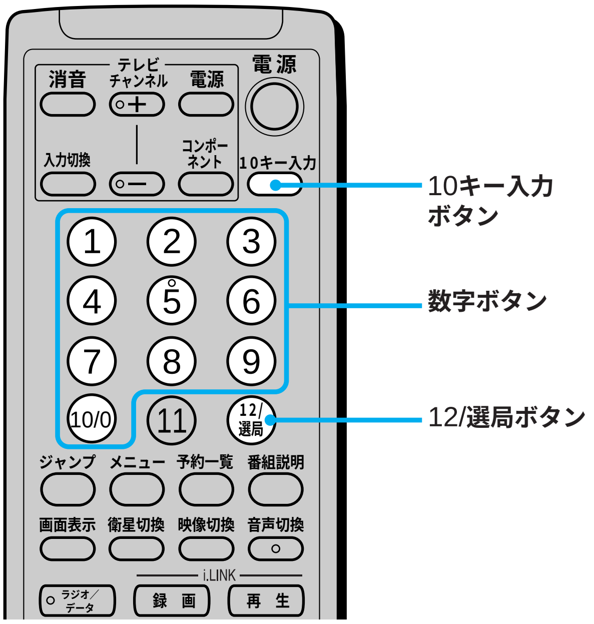
ご注意

緊急放送のお知らせは約30秒間表示されます。

次のページにつづく

BSテレビを見る（つづき）

緊急放送を見るときは



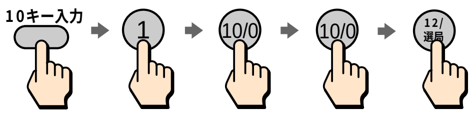
1　10キー入力ボタンを押す。

2　数字ボタンで、緊急放送を行っている3ケタのチャンネル番号を百の位から順に押す。

3　⑫ボタンを押す。（押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。）

緊急放送を見ることができます。

例） 100chで行われている緊急放送を見るとき



ご注意

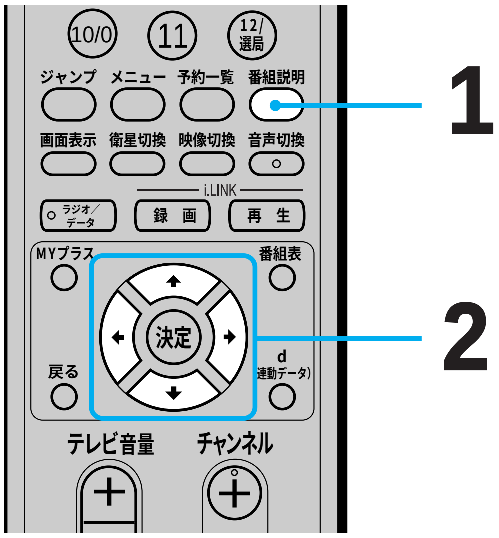
チャンネル＋/－ボタンでは、緊急放送のチャンネルは選べません。

番組説明を見る

［番組説明ボタン］

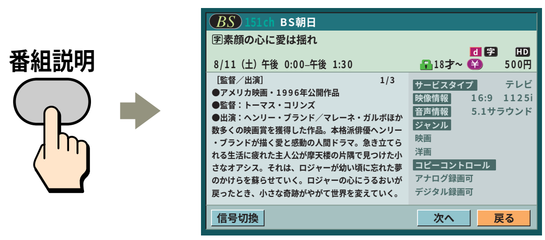
視聴中の番組の出演者やあらすじ、ジャンルや各種情報など、番組内容を見ることができます。

また、番組表ボタン（☞20～22ページ）やMYプラスボタン（☞23～33ページ）で表示される番組一覧から、放送開始前の番組を選ぶと、番組説明を見ることができ、そのまま予約に進めます（☞34～48ページ）。

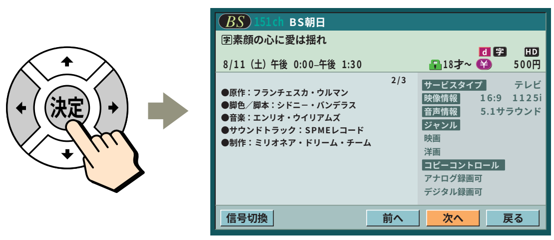


1　番組を見ているときに、番組説明ボタンを押す。

「番組説明」画面が表示されます。



2　番組説明が2ページ以上あるときは、←/→で「次へ」を選び、決定ボタンを押す。

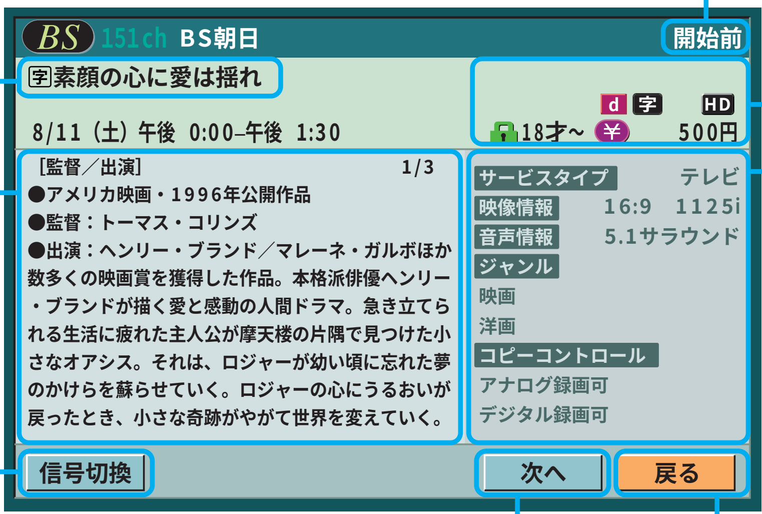


「番組説明」画面について

下記の番組はフィクションであり、実際のBS放送局での放送内容や、実際の人物、地名などとは関係ありません。

番組説明を消すときは

もう1度、番組説明ボタンを押す。
または、←/→で「戻る」を選び、決定ボタンを押す。



番組タイトル

番組説明
番組の出演者やあらすじなどの番組内容です。番組説明が複数ページあるときは、ページ数が表示されます。この例では、3ページ中の1ページ目を表します。

信号切換
「信号切換」画面（☞58ページ）を表示します。第2音声など、映像や音声、データに信号が複数ある番組のときに切り換えられます。

「前へ」、「次へ」
前ページまたは次ページを表示します。

「戻る」
「番組説明」画面を消します。もう1度、番組説明ボタンを押しても消せます。

番組の状況
「プレビュー」や「開始前」、「予約済」、「終了」などが表示されます。

マーク表示欄

番組情報欄
「サービスタイプ」：テレビ、ラジオ、データのいずれか

「映像情報」：画面の横縦比（16:9か4:3）と画像方式（1125i、750p、525p、525i）（☞79、95ページ）

「音声情報」：ステレオや二重音声、5.1chサラウンドなど（☞54ページ）

「ジャンル」：番組のジャンル（分野やテーマ）（☞27～33ページ）

「コピーコントロール」：録画が可能かの情報

表示マークについて

- 字：字幕のある放送（☞60ページ）
- d：BSテレビやBSラジオと連動しているBSデータ放送（☞14ページ）
- MV：マルチビュー放送（☞57ページ）
- HD：デジタルハイビジョン信号 HD（☞79ページ）
- SD：標準テレビ信号 SD（☞79ページ）
- （鍵マーク）：視聴年齢制限付き番組です。（☞8ページ）
- ¥：ペイ・パー・ビュー（PPV）など有料番組（☞15ページ）
- （時計マーク・赤）：録画予約した番組（☞34～41ページ）
- （時計マーク・青）：視聴予約した番組（☞43～44ページ）

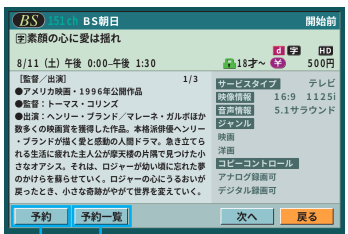
ちょっと一言
MV、HDまたはSDは同じ場所に表示されるため、いずれか1つが表示されます。

番組一覧から「番組説明」画面を表示したときは

以下の番組一覧から、「番組説明」画面を表示すると、「信号切換」の代わりに「予約」や「予約一覧」の項目が表示されて、そのまま録画予約や視聴予約、予約の確認/取消に進めます。
予約方法については、☞34～48ページをご覧ください。

- 番組表ボタンで「番組表」から☞20～22ページ
- MYプラスボタンで「 MYチャンネル番組表」画面から☞25～26ページ
- MYプラスボタンで「 MYジャンル番組表」画面から☞28～30ページ
- MYプラスボタンで「 全ジャンル番組表」画面から☞31～33ページ

ご注意
すでに放送が終了した番組は予約できません。

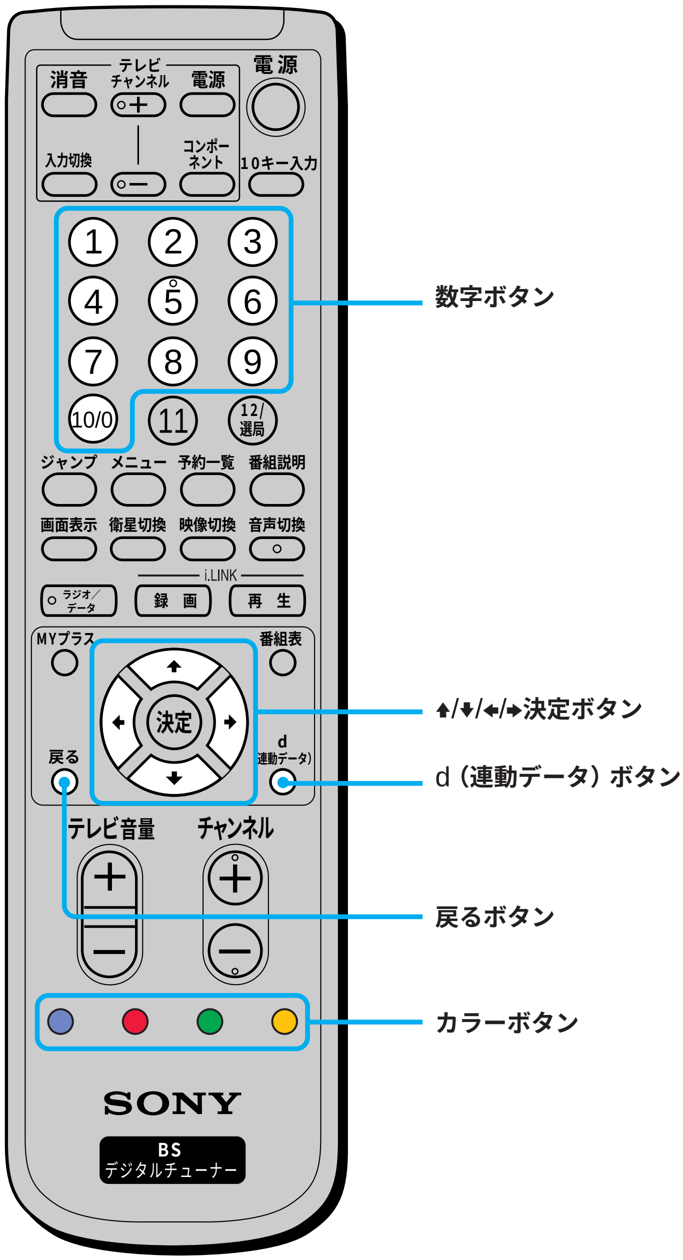


「予約」
番組予約の画面を表示します。

「予約一覧」
予約一覧を表示します。

BSテレビやBSラジオと連動しているBSデータを見る [d (連動データ) ボタン]

BSテレビ（☞8ページ）やBSラジオ（☞50ページ）を視聴しているときに、番組に連動しているBSデータを見ることができます。
視聴するだけではなく、視聴者がリモコンのボタンを使って参加できる番組もあります。
番組と連動してBSデータを行っているかどうかの案内は、各BS局によって異なります。



ご注意

- あらかじめ電話回線の接続（☞89ページ）と設定（☞103ページ）を行ってください。視聴者参加型の番組に参加できなかったり、情報を選べなかったりする場合があります。
- BSテレビやBSラジオに連動しているBSデータでは、本機に接続された電話回線を使って通信を行う場合があるため、電話回線の通話料がかかる場合があります。
- 番組によっては、BSテレビやBSラジオに連動しているBSデータが自動的に画面に表示されることがあります。
- リモコンや本体のボタンは、BSデータの番組で使うときだけ機能が変わる場合があります。この場合の操作については、テレビ画面に表示されるBSデータ番組の指示にしたがってください。
- BSデータの番組では、本機につないだ電話回線を使って通信を行う場合があります。通信中（本機の表示窓に「通話」と表示）は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。

ちょっと一言

BSデータだけを専門に放送するBS独立データもあります。（☞52ページ）

1 BSテレビやBSラジオを視聴中、d（連動データ）ボタンを押して、番組と連動しているBSデータが行われているか確認する。

番組と連動しているBSデータの放送が行われているときは、そのBSデータの画面が表示されます。

「データ取得中です」と表示された場合は、しばらくお待ちください。



2 BS番組と連動しているBSデータがあるときは、画面の指示に従って、リモコンを操作する。

BSデータ番組の指示に従って、次のボタンを使ってください。

「データ取得中です」と表示された場合は、しばらくお待ちください。

- ↑/↓/←/→決定ボタン（選んで決定するときなど）
- 戻るボタン
- ①〜⑩⓪ までの数字ボタン（数字を入力するときなど）
- カラーボタン（●・●・●・●）

ちょっと一言

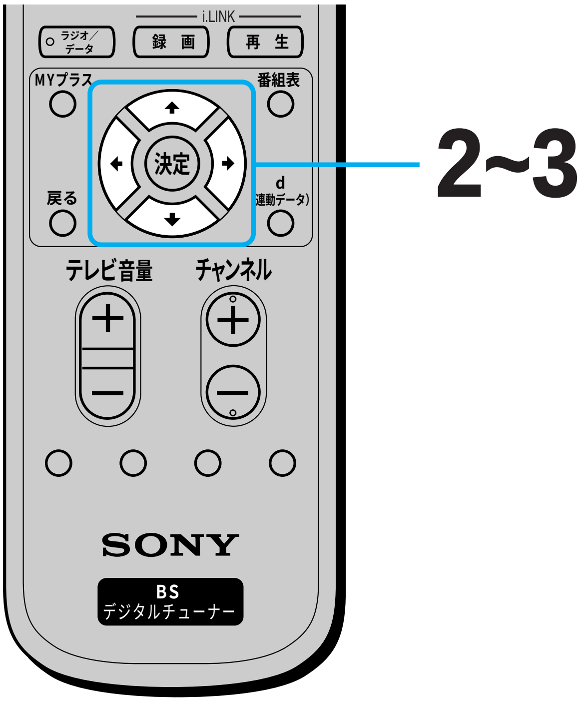
終了する場合も、画面の指示に従って操作してください。指示が無い場合は、d（連動データ）ボタンや戻るボタンで終了できる場合もあります。

ペイ・パー・ビュー (PPV) を見る

ペイ・パー・ビュー（PPV：PAY PER VIEW）とは、「見るたびに支払う」の意味で、番組単位で随時、視聴購入します。また、一日ずつ契約できるペイ・パー・デイ（PPD）もあります。
ペイ・パー・ビュー（PPV）には、購入前に内容を確認（プレビュー：事前視聴）できる番組もあります。

プレビューについて

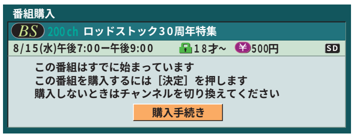
- PPV番組により見られる回数、時間が異なります。プレビューが終了しても、購入操作は引き続き行えます。
- プレビューを見た後、購入をやめるときは、チャンネルを変えてください。



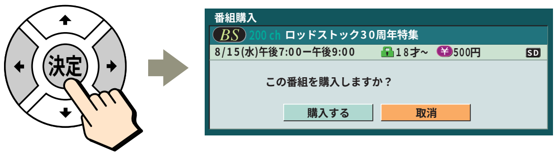
PPV番組を見る前に

- 必ず電話回線をつないでください（☞89ページ）。
- B-CAS（ビーキャス）カード（BSデジタル用ICカード）を本体のICカード挿入口に入れて、B-CAS用ユーザー登録はがきを投函してください（☞101ページ）。
- 加入申し込みが別途必要になるBS放送局もあります（☞108ページ）。

1 PPV番組を選ぶ。



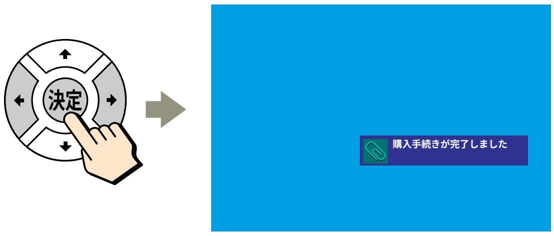
2 「購入手続き」が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す。



3 購入手続きを行う。

購入するときは

←/→で「購入する」を選び、決定ボタンを押す。
購入したPPV番組が映ります。



購入をやめるときは

←/→で「取消」を選び、決定ボタンを押す。

ご注意

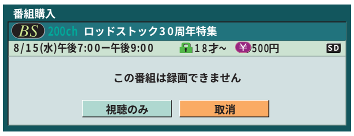
購入操作の途中に他のチャンネルを選ぶと、購入は中止されます。この場合は、手順1から操作し直してください。

次のページにつづく

ペイ・パー・ビュー（PPV）を見る（つづき）

こんなメッセージが表示されたら

「この番組は録画できません」

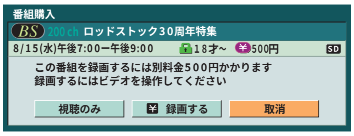


購入するときは
◆/◆で「視聴のみ」を選び、決定ボタンを押す。

購入をやめるときは
◆/◆で「取消」を選び、決定ボタンを押す。

「この番組を録画するには別途料金がかかります」

録画有料番組となります。「録画する」の前に「¥」マークが付きます。



見るだけのときは
◆/◆で「視聴のみ」を選び、決定ボタンを押す。

録画するときは
◆/◆で「録画する」を選び、決定ボタンを押す。
録画防止信号が解除され、本機のi.LINK端子につないだハードディスクレコーダーVRP-T1や、S映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）につないだビデオで録画できるようになります。

購入をやめるときは
◆/◆で「取消」を選び、決定ボタンを押す。

「この番組はi.LINKでは録画できません」

本機で受信したデジタル信号に、デジタルコピープロテクトがかかっています。本機のi.LINK端子につないだハードディスクレコーダーVRP-T1などにデジタル録画できません。
S映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）につないだビデオでデジタル信号をアナログ信号に変換し、テレビ（地上波）と同等の画質でアナログ録画できます。

「ICカードのデータがいっぱいになったので購入できません　電話線をつなぐと自動的にデータが送られて購入できるようになります」

購入額がカードの上限金額を越えています。
また、番組の購入可能件数を越えたときにもこの表示が出ます。
電話回線をつないでください。

「購入時間が過ぎているため購入できません」

番組によっては購入可能時間が決まっているため購入できない場合があります。

「この番組は視聴できません」

番組に視聴不可の制御情報が送られているため、視聴できません。「了解」が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押してください。

録画防止機能について

i.LINKでデジタル録画するとき

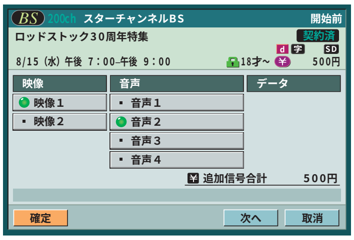
本機は、DTLAのコピープロテクション技術に対応しています。したがって、コピーを許可されていない番組は録画することはできません。
コピープロテクションについて詳しくは、☞117ページをご覧ください。

ビデオなどにアナログ録画するとき

本機は、録画防止機能（コピープロテクション）が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりするものがあります。
また、音声に関しても、本機後面の光デジタル音声出力端子からの信号を、正しく録音できない番組があります。ご注意ください。
本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

追加信号について

PPV番組によっては、最大4種類の映像、最大8種類の音声から切り換えられます。映像/音声を選ぶ画面で、追加したい信号を選んで番組を楽しめます。
なお、「¥」マークの付いた映像、音声などを選ぶと、選んだ分の追加料金が発生します。

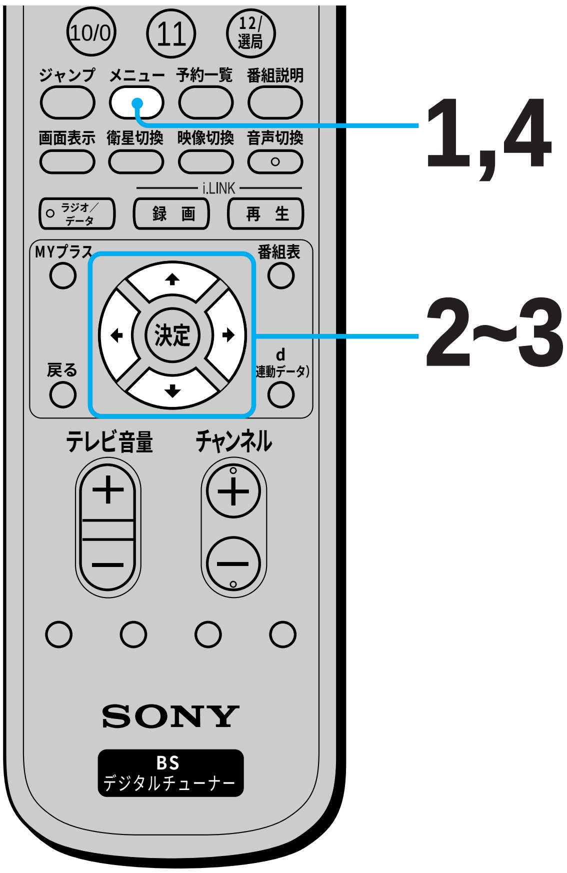


ペイ・パー・ビュー（PPV）の購入概算額を見る

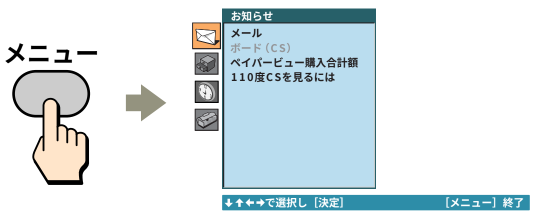
先月分と今月分の購入概算額を確認できます。正確な購入合計額については、ご覧になっている各BS放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください（☞7ページ）。

ご注意

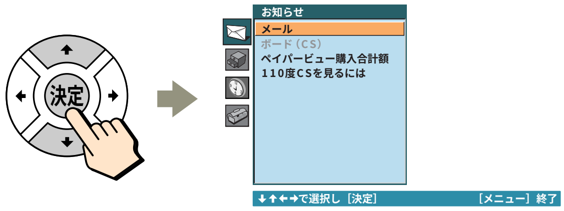
- 「ペイ・パー・ビュー購入合計額」にはペイ・パー・シリーズなどの購入金額は含まれません。
- ペイ・パー・デイ（PPD）の月極契約では、概算金額と実際に請求される金額が大きく異なることがあります。概算金額では、見た日数分だけの合計金額が加算されます。



1 メニューボタンを押す。

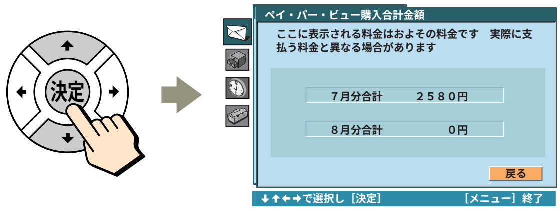


2 ↑/↓で「✉（お知らせ）」を選び、決定ボタンを押す。



3 ↑/↓で「ペイパービュー購入合計額」を選び、決定ボタンを押す。

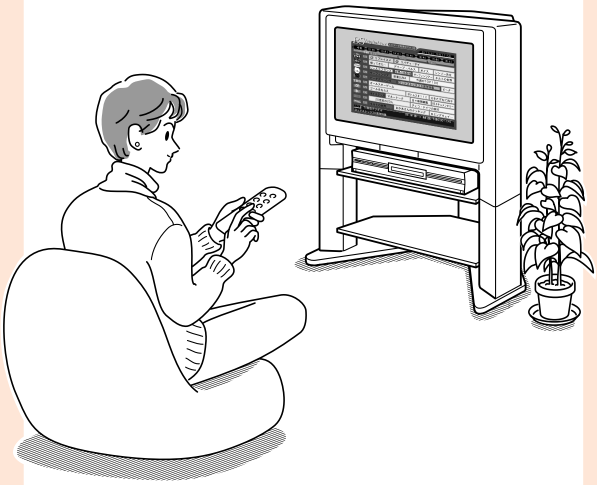
購入したPPV番組の前月分と今月分の概算額が表示されます。



4 メニューボタンを押して、メニューを消す。

BSの番組を選ぶ

ここでは、テレビ画面に表示されるBSの番組一覧を使ってできる操作について説明しています。
番組一覧から見たいBS番組を探して選局したり、番組説明を見たりできます。
また、リモコンのMYプラスボタンを使って、チャンネル別やジャンル別の番組表を表示し、簡単に視聴したい番組を選べます。

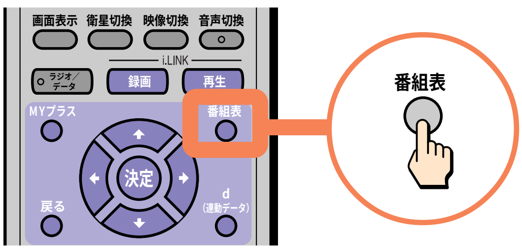


こんな番組一覧があります

BS放送は、テレビ画面に番組一覧を表示しながら、簡単に選局や検索ができます。

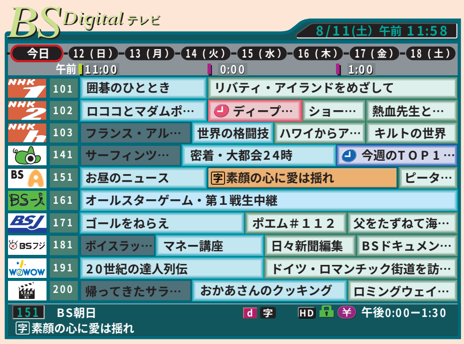
番組表（EPG*）からすばやく選ぶ

* EPGは、電子番組表（Electronic Program Guide（エレクトロニック・プログラム・ガイド））の略です。



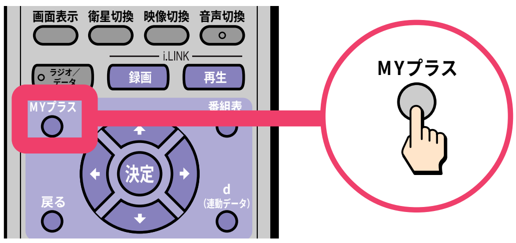
番組表（EPG）

番組表ボタンで、約1週間先までの番組表から視聴したい番組を選べます（☞20ページ）。



現在放送中の番組を選ぶと、その番組を視聴できます。
また、放送開始前の番組を選ぶと「番組説明」画面から、そのまま録画予約や視聴予約に進めます。
予約方法については、☞34～48ページをご覧ください。

MYプラスで視聴したい番組をすばやく探す



MYプラスボタンで、お好みのチャンネルやジャンル（分野やテーマ）から視聴したい番組を簡単に探せます。MYプラスには、4とおりの中から番組を探したり選んだりできます。

MYチャンネル選局

よく視聴するチャンネルを一覧表示して簡単に選べます（☞23ページ）。



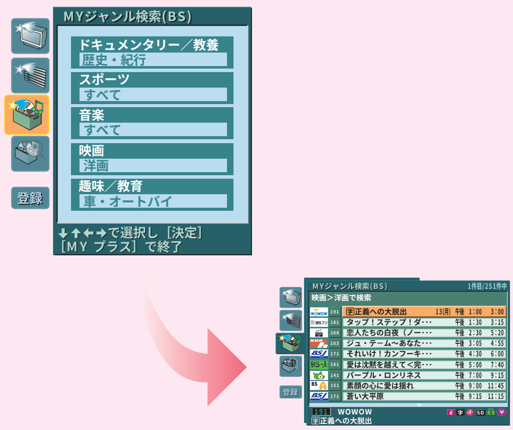
MYチャンネル番組表

特定のBSチャンネルの番組表だけを表示して簡単に探せます（☞25ページ）。



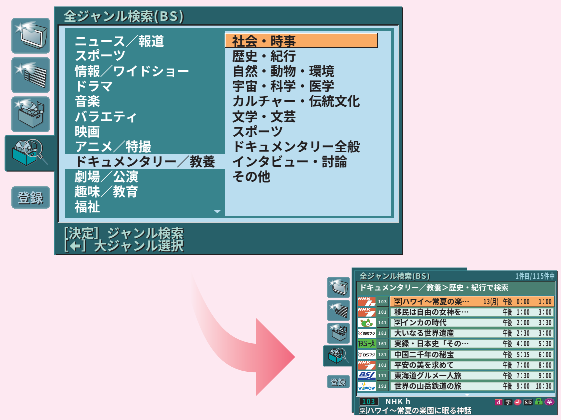
MYジャンル検索

よく視聴するジャンルから番組を絞り込んで探せます（☞27ページ）。



全ジャンル検索

すべてのジャンルから番組を絞り込んで探せます（☞31ページ）。



現在放送中の番組を選ぶと、その番組を視聴できます。
また、放送開始前の番組を選ぶと「番組説明」画面から、そのまま録画予約や視聴予約に進めます。
予約方法については、☞34～48ページをご覧ください。
ただし、MYチャンネル選局からは、放送開始前の番組を選べないので予約はできません。

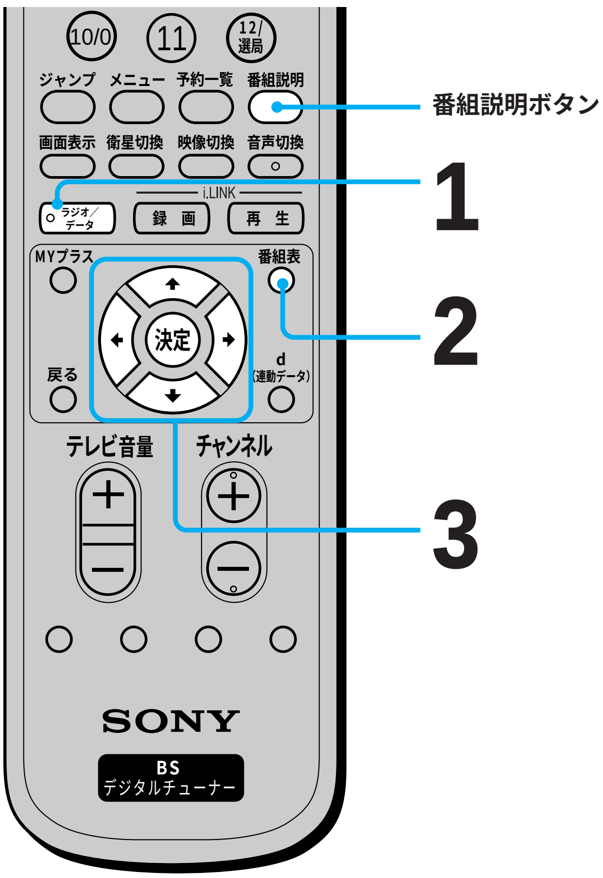
BSの番組表から見たい番組を選ぶ

[番組表ボタン]

BS放送では、BS放送局が送信する番組情報を元に、BSの番組表：EPG*を約1週間先まで見ることができます。
1度に1つの放送サービス（BSテレビ、BSラジオ、BS独立データ）の番組表を表示できます。

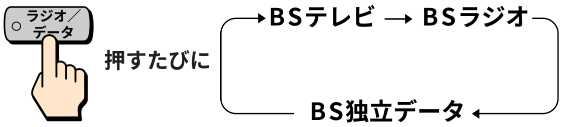
* EPGは、電子番組表（エレクトロニック・プログラム・ガイド Electronic Program Guide）の略です。

放送開始前の番組を選ぶと、番組説明を見ることができ、そのまま録画予約や視聴予約に進めます。予約方法については、☞34〜48ページをご覧ください。



1 見たい番組表のBSの種類（放送サービス）を、ラジオ/データボタンをくり返し押して選ぶ。

選んだBSに切り換わります。



2 番組表ボタンを押す。

選んだBSの番組表（例えば、BSテレビのときはBSテレビの番組表）が表示されます。
約1週間先までの番組情報を見ることができます。
「データ取得中です」と表示された場合は、しばらくお待ちください。

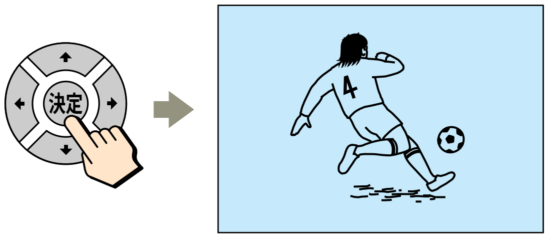


番組表についての詳しい説明は☞22ページをご覧ください。

3 ↑/↓/←/→で見たい番組を選び、決定ボタンを押す。

放送中の番組を選ぶと

選んだ番組になります。

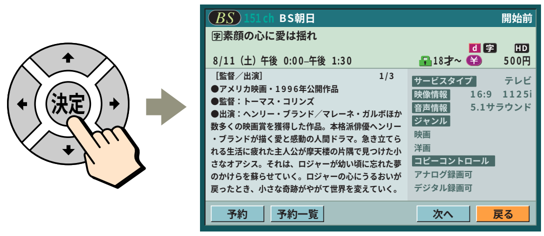


💡 **ちょっと一言**

決定ボタンの代わりに番組説明ボタンを押すと、「番組説明」画面が表示されます。

放送開始前の番組を選ぶと

受信中の映像と音声が消えて「番組説明」画面が表示されます。また、本機後面のS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）やi.LINK端子からの信号も出力されなくなります。



録画予約するときは

- ハードディスクレコーダーVRP-T1にi.LINKでデジタル録画するとき（☞34ページ）
- ビデオにAVマウスでアナログ録画するとき（☞37ページ）

視聴予約するときは

☞43ページ

予約しないときは

↑/↓/←/→で「戻る」を選び、決定ボタンを押す。

💡 **ちょっと一言**

日時をすばやく移動したいときは（高速スクロール）

←/→を押し続け、見たい時間帯になったらボタンを離します。高速スクロール中は番組タイトル欄の表示が消えます。

決定ボタンの代わりに番組説明ボタンを押すと

受信中の映像と音声が消えて「番組説明」画面が表示されます。放送中の番組を選んでも、「番組説明」画面が表示されます。また、本機後面のS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）やi.LINK端子からの信号も出力されなくなります。

「番組表」画面を消すときは

もう1度、番組表ボタンを押す。

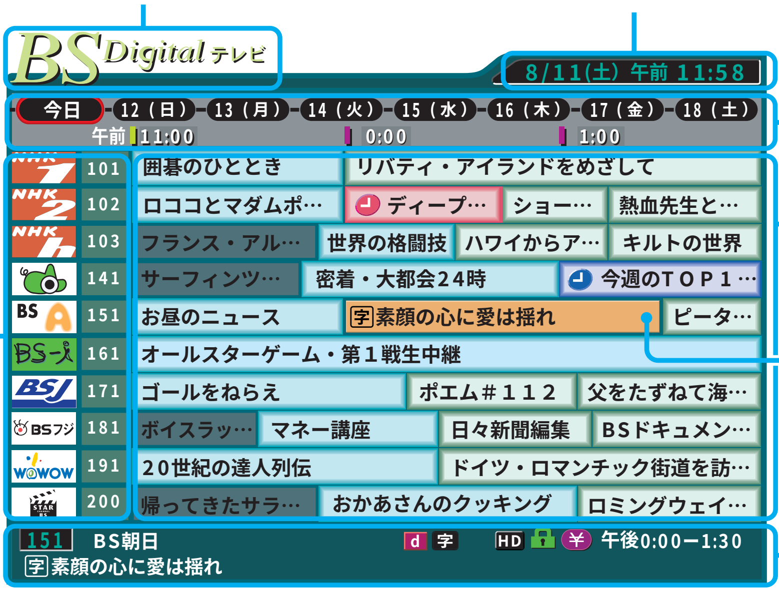
次のページにつづく

番組表（EPG）について

下記の番組はフィクションであり、実際のBS放送局での放送内容や、実際の人物、地名などとは関係ありません。

BSデジタルの種類
現在番組表に表示されているBSデジタルの放送サービスの種類（BSテレビ、BSラジオ、BS独立データ）が表示されます。

現在日時
放送局からの信号を受けて自動表示されるため、時計合わせは不要です。万一、正しく時刻が表示されていないときは、「リセットボタンについて」（☞138ページ）をご覧ください。



日付と時刻

番組タイトル
1ページ内に、3時間分の番組が表示されます。

チャンネルロゴ（マーク）とチャンネル番号

カーソル（選ばれているところ）
黄色で表示され、リモコンの▲/▼/◀/▶で移動できます。

番組情報欄
（カーソル）で選んでいる番組の情報です。

表示マークについて

- マルチチャンネル放送（同じ放送局の複数のチャンネルで、それぞれ違う番組を放送☞10ページ）
- 字 ： 字幕放送（☞60ページ）
- d ： BSテレビやBSラジオと連動しているBSデータ放送（☞14ページ）
- MV ： マルチビュー放送（☞57ページ）
- HD ： デジタルハイビジョン信号HD（☞79ページ）
- SD ： 標準テレビ信号SD（☞79ページ）
- ： 視聴年齢制限付き番組（☞8ページ）
- ¥ ： PPV番組など有料番組（☞15ページ）
- ： 録画予約した番組（☞34、37ページ）
- ： 視聴予約した番組（☞43ページ）

ちょっと一言
、MV、HDまたはSDは同じ場所に表示されるため、いずれか1つが表示されます。

他に、BS放送局から、二カ国語放送やニュースなど番組の種類を表すマークが付いてくる場合があります。以下はその一例です。

- 二 ： 二か国語放送（☞54ページ）
- S ： ステレオ放送（☞55ページ）
- 字 ： 字幕放送
- B ： 圧縮Bモードステレオ放送（☞55ページ）
- N ： ニュース番組

番組の表示色について

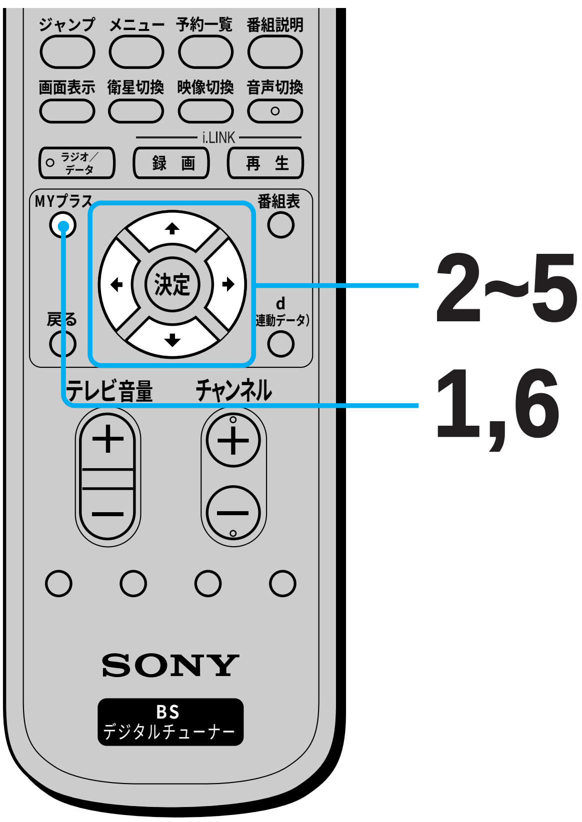
- ：現在選んでいる番組（カーソル）
- ：現在放送中の番組
- ：すでに終了した番組
- ：放送開始前の番組
- ：録画予約した番組（☞34、37ページ）
- ：視聴予約した番組（☞43ページ）

好みのBSチャンネル一覧からBSチャンネルを選ぶ［MYチャンネル選局］

よく視聴するBSチャンネルをテレビ、ラジオ、独立データの区別なく登録し、登録したBSチャンネルの一覧［**MYチャンネル選局**］を表示し、すばやくチャンネルを選べます。
さらに登録した中から、チャンネル別の番組表も表示できます［**MYチャンネル番組表**］
（☞25ページ）。

よく視聴するBSチャンネルをあらかじめMYチャンネルに登録する

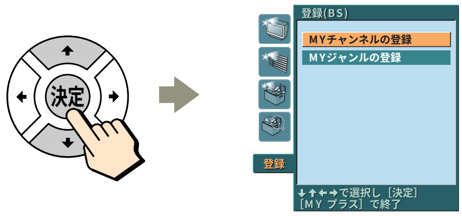
BSのテレビ、ラジオ、独立データの区別なく、最大20チャンネルまで登録できます。



1 MYプラスボタンを押す。



2 ↑/↓で 登録 を選び、決定ボタンを押す。



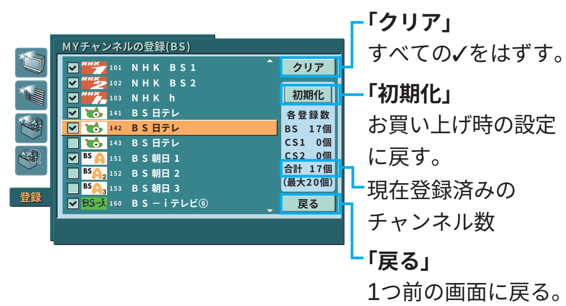
3 ↑/↓で「MYチャンネルの登録」を選び、決定ボタンを押す。



4 ↑/↓で登録したいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、あらかじめ、BSテレビとBS独立データの代表チャンネルが登録されています（□に、✓がすでに付いています）。

選んだBSチャンネルの□に✓が付き、MYチャンネルに登録されます。



ご注意

臨時チャンネルは□も表示されず登録できません。

✓をはずすには

✓の付いているチャンネルを選び、決定する。

次のページにつづく

好みのBSチャンネル一覧からBSチャンネルを選ぶ［MYチャンネル選局］（つづき）

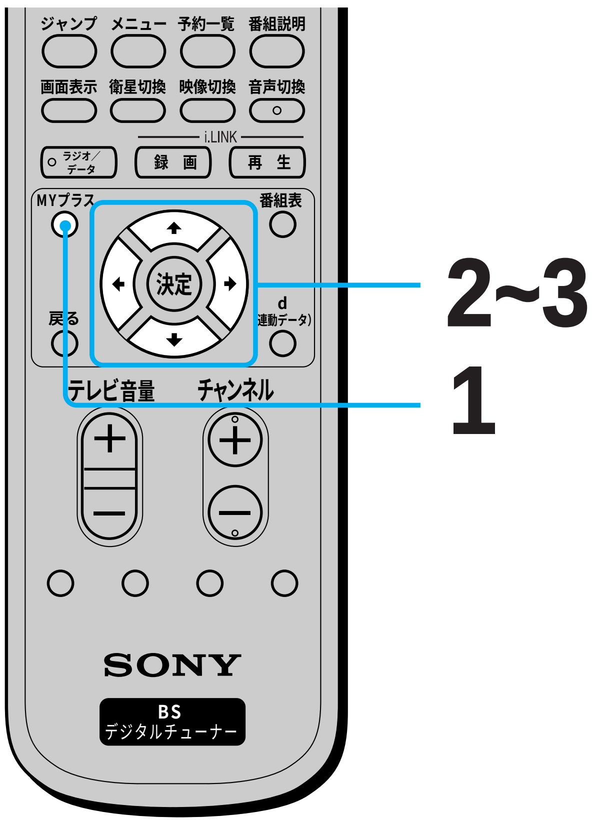
5 **引き続きチャンネルを登録するときは、手順4をくり返す。**

テレビ、ラジオ、独立データの区別なく最大20チャンネルを登録できます。

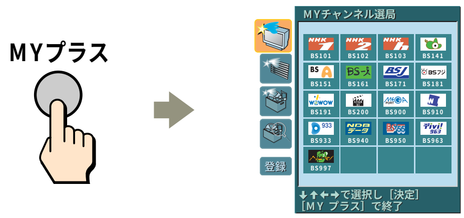
6 **MYプラスボタンを押して、「MYチャンネルの登録」画面を消す。**

「MYチャンネル選局」画面からBSチャンネルを選ぶ

あらかじめ登録したMYチャンネルから、視聴したいチャンネルを選びます。



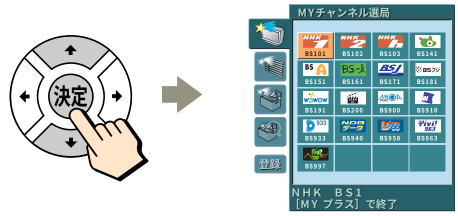
1 **MYプラスボタンを押す。**



2 **↑/↓で「（MYチャンネル選局）」を選び、決定ボタンを押す。**

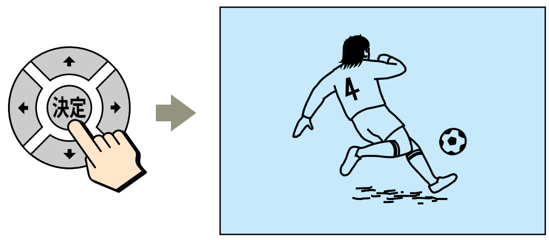
「MYチャンネル選局」画面が表示されます。

「MYチャンネル選局」画面



3 **↑/↓/←/→で視聴したいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。**

選んだBSチャンネルになります。



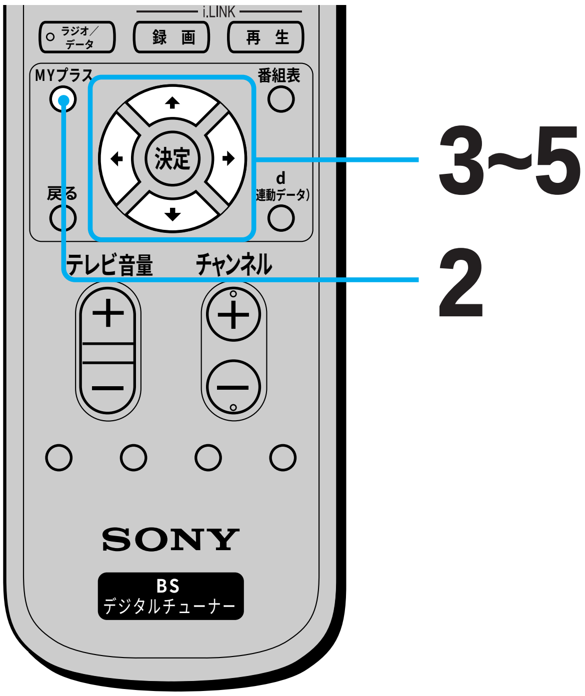
「MYチャンネル選局」画面を消すときは

もう1度、MYプラスボタンを押す。

好みのBSチャンネルの番組表から番組を探す［MYチャンネル番組表］

MYチャンネルに登録したチャンネル（☞23〜24ページ）の中から、チャンネル別の番組表を約1週間先まで見ることができます。

放送開始前の番組を選ぶと、番組説明を見ることができ、そのまま録画予約や視聴予約に進めます。予約方法については、☞34〜48ページをご覧ください。



1 番組表を表示したいチャンネルを、MYチャンネルにあらかじめ登録しておく。

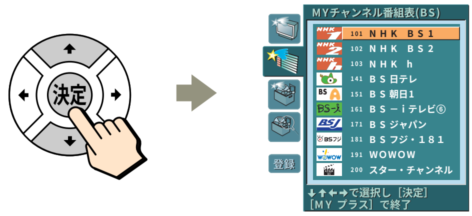
「よく視聴するBSチャンネルをあらかじめMYチャンネルに登録する」（☞23〜24ページ）を行ってください。
すでに登録済みのときは、この操作は不要です。

2 MYプラスボタンを押す。



3 ↑/↓で「（MYチャンネル番組表）」を選び、決定ボタンを押す。

MYチャンネルに登録したBSチャンネルが一覧表示されます。



4 ↑/↓でチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

現在放送中の番組を先頭に、選んだチャンネルだけの番組表が表示されます。

ご注意

お買い上げ時、または長時間電源コードを抜いた状態の時は、次に電源を入れた後は、番組表に表示される番組が少ないことがあります。電源コードを抜いていると、BS放送局が送信する番組情報をデータ取得できないためです。

「MYチャンネル番組表」画面



他のチャンネルの番組表を見たいときは
←を押してから、チャンネルを選び直す。

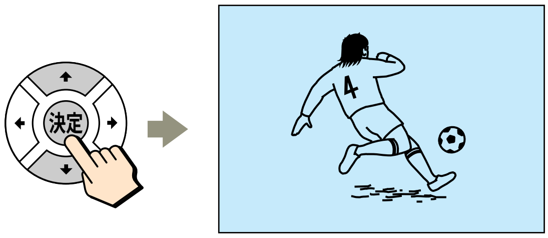
「MYチャンネル番組表」画面についての詳しい説明は☞26ページをご覧ください。

次のページにつづく

5 ⬆/⬇で番組を選び、決定ボタンを押す。

放送中の番組を選ぶと

その番組になります。

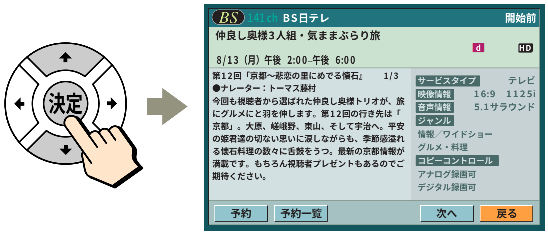


ちょっと一言

決定ボタンの代わりに番組説明ボタンを押すと、「番組説明」画面が表示されます。

放送開始前の番組を選ぶと

受信中の映像と音声が消えて「番組説明」画面が表示されます。また、本機後面のS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）やi.LINK端子からの信号も出力されなくなります。



録画予約するときは

- ハードディスクレコーダーVRP-T1にi.LINKでデジタル録画するとき（☞34ページ）
- ビデオにAVマウスでアナログ録画するとき（☞37ページ）

視聴予約するときは

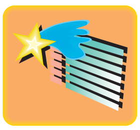
☞43ページ

予約しないときは

⬆/⬇/⬅/➡で「戻る」を選び、決定ボタンを押す。

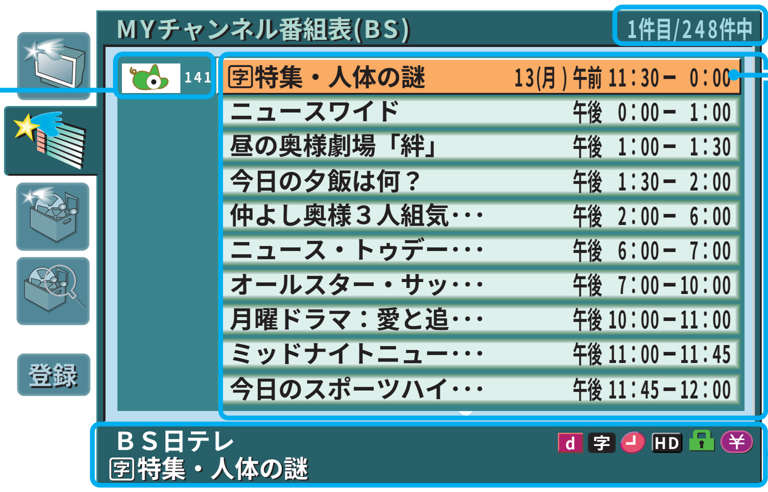
「MYチャンネル番組表」画面を消すときは

もう1度、MYプラスボタンを押す。



「MYチャンネル番組表」画面について

下記の番組はフィクションであり、実際のBS放送局での放送内容や、実際の人物、地名などとは関係ありません。



チャンネルロゴ（マーク）とチャンネル番号

表示件数

カーソル
黄色で表示され、リモコンの⬆/⬇で移動できます。

番組タイトルと放送開始日時
上下に▲/▼があるときは、リモコンの⬆/⬇で前後の番組を見ることができます。

番組情報欄
（カーソル）で選んでいる番組の情報です。

番組の表示色や表示マークについては、☞22ページをご覧ください。

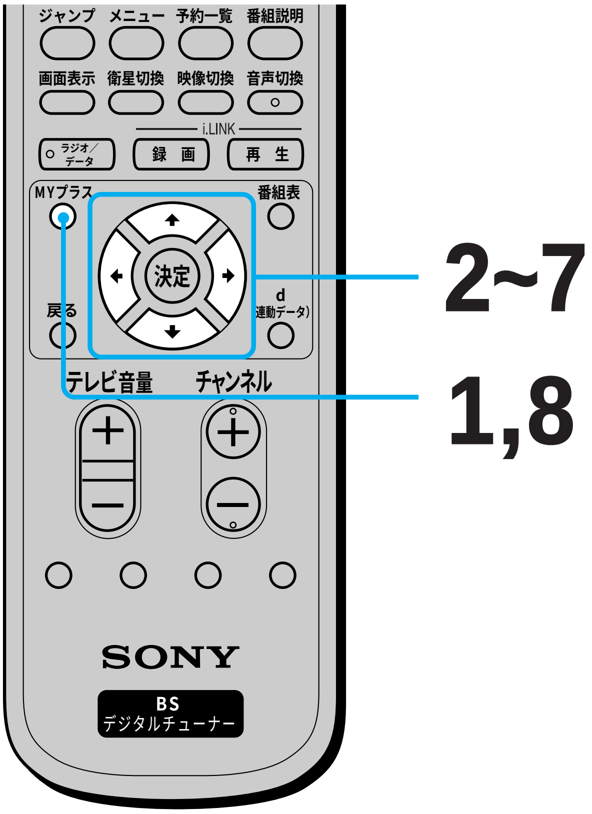
好みのジャンルの一覧から番組を探す［MYジャンル検索］

BS放送局が送信する番組ジャンル情報*を元に、よく視聴するジャンル（分野やテーマ）を登録しておけば、視聴したいジャンル別の番組一覧をテレビ、ラジオ、独立データの区別なく約1週間先まで最大999番組を表示し、すばやく番組を探せます［**MYジャンル検索**］。
また、すべてのジャンルから視聴したい番組を探し出すこともできます［**全ジャンル検索**］☞31〜33ページ。

* 1つの番組が最大3つのジャンル情報を持ち、それぞれのジャンルで検索できます。ただし、「番組説明」画面（☞13ページ）の番組情報欄に表示される「ジャンル」には代表的なジャンルが1つだけ表示されます。

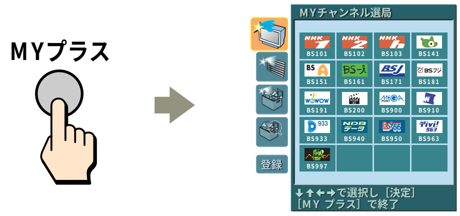
よく視聴するジャンルをあらかじめMYジャンルに登録する

最大5つのジャンルを、大ジャンルまたは、さらに細かいジャンル（小ジャンル）で登録できます。

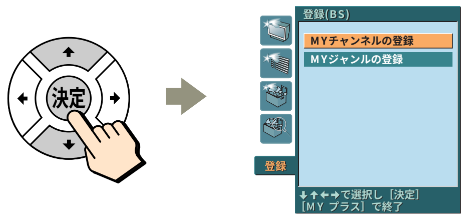


ここでは例として、「登録4」に「大ジャンル：映画、小ジャンル：洋画」を登録する手順を説明します。

1 MYプラスボタンを押す。

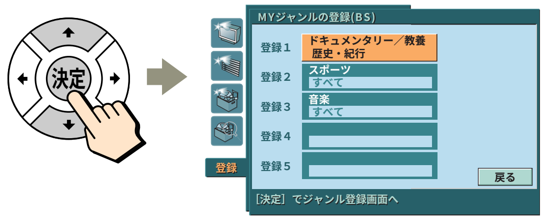


2 ↑/↓で 登録 を選び、決定ボタンを押す。



3 ↑/↓で「MYジャンルの登録」を選び、決定ボタンを押す。

お買い上げ時にあらかじめ設定されている3つのジャンルが表示されます。



ご注意

新たにジャンルを追加したり、登録済みのジャンルを入れ換えて上書きできますが、登録済みのジャンルを空欄にはできません。

4 ↑/↓で新たに追加または入れ換えたいジャンル（ここでは「登録4」）を選び、決定ボタンを押す。

ジャンルが一覧表示されます。



次のページにつづく

好みのジャンルの一覧から番組を探す［MYジャンル検索］（つづき）

5 **ジャンルを選ぶ。**

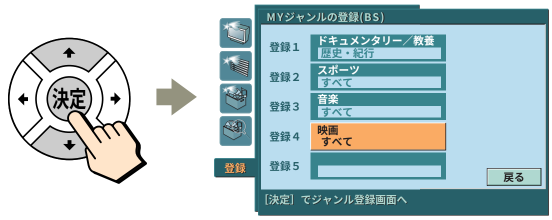
大ジャンルと小ジャンルを登録したいときは

↑/↓で登録したい大ジャンル（ここでは「映画」）を選び、→を押す。
小ジャンルを選ぶ画面になります。

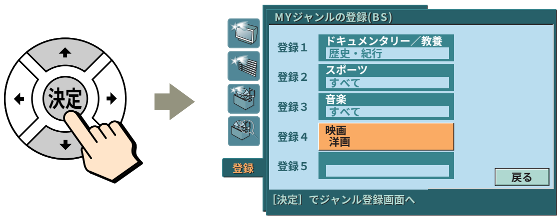


大ジャンルだけ登録したいときは

↑/↓で登録したい大ジャンル（ここでは「映画」）を選び、決定ボタンを押す。
小ジャンルは、MYジャンルに「すべて」として登録されます。
手順7に進んでください。



6 **↑/↓で登録したい小ジャンル（ここでは「洋画」）を選び、決定ボタンを押す。**
選んだ大ジャンルとその小ジャンルが、MYジャンルに登録されます。



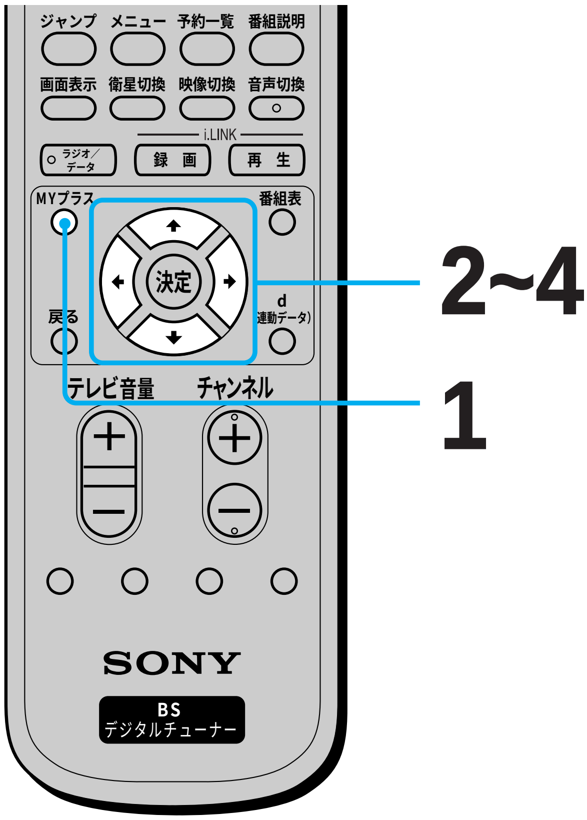
7 **引き続きジャンルを登録するときは、手順4～6をくり返す。**
最大5つのジャンルを登録できます。

8 **MYプラスボタンを押して、「MYジャンルの登録」画面を消す。**

「MYジャンル検索」画面から番組を探す

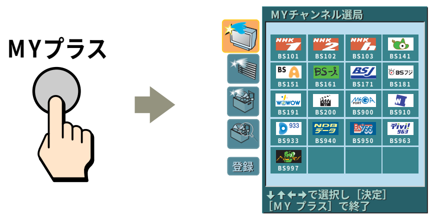
あらかじめ登録したMYジャンルから、視聴したいジャンル別の番組一覧をテレビ、ラジオ、独立データの区別なく約1週間先まで最大999番組を表示し、視聴したい番組を探せます。

放送開始前の番組を選ぶと、番組説明を見ることができ、そのまま録画予約や視聴予約に進めます。予約方法については、**☞34～48ページをご覧ください。**



ここでは例として、「大ジャンル：映画、小ジャンル：洋画」を探す手順を説明します。

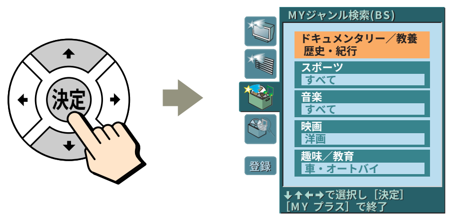
1 **MYプラスボタンを押す。**



2 ↑/↓で「(MYジャンル検索)」を選び、決定ボタンを押す。

「MYジャンル検索」画面が表示されます。

「MYジャンル検索」画面



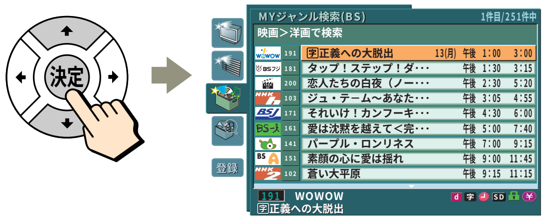
3 ↑/↓で視聴したいジャンルを選び、決定ボタンを押す。

現在放送中の番組を先頭に、選んだジャンルだけの番組表が開始時刻順に表示されます。

ご注意

お買い上げ時、または長時間電源コードを抜いた状態の時は、次に電源を入れた後は、番組表に表示される番組が少ないことがあります。電源コードを抜いていると、BS放送局が送信する番組情報をデータ取得できないためです。

「MYジャンル番組表」画面



他のジャンルの番組表を見たいときは

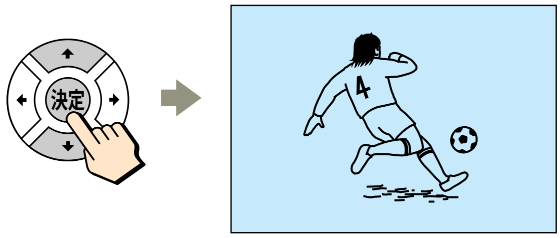
←を押してから、視聴したいジャンルを選び直す。

「MYジャンル番組表」画面についての詳しい説明は☞30ページをご覧ください。

4 ↑/↓で番組を選び、決定ボタンを押す。

放送中の番組を選ぶと

その番組になります。

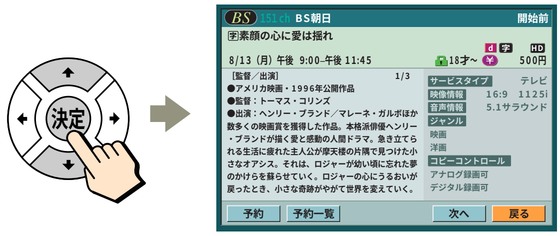


ちょっと一言

決定ボタンの代わりに番組説明ボタンを押すと、「番組説明」画面が表示されます。

放送開始前の番組を選ぶと

受信中の映像と音声が消えて「番組説明」画面が表示されます。また、本機後面のS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）やi.LINK端子からの信号も出力されなくなります。



録画予約するときは

- ハードディスクレコーダーVRP-T1にi.LINKでデジタル録画するとき（☞34ページ）
- ビデオにAVマウスでアナログ録画するとき（☞37ページ）

視聴予約するときは

☞43ページ

予約しないときは

↑/↓/←/→で「戻る」を選び、決定ボタンを押す。

「MYジャンル番組表」画面を消すときは

もう1度、MYプラスボタンを押す。

次のページにつづく

「MYジャンル番組表」画面について

下記の番組はフィクションであり、実際のBS放送局での放送内容や、実際の人物、地名などとは関係ありません。



チャンネルロゴ（マーク）とチャンネル番号

表示件数

ジャンル表示

カーソル
黄色で表示され、リモコンの⬆/⬇で移動できます。

番組タイトルと放送開始日時
上下に▲/▼があるときは、リモコンの⬆/⬇で前後の番組を見ることができます。

番組情報欄
（カーソル）で選んでいる番組の情報です。

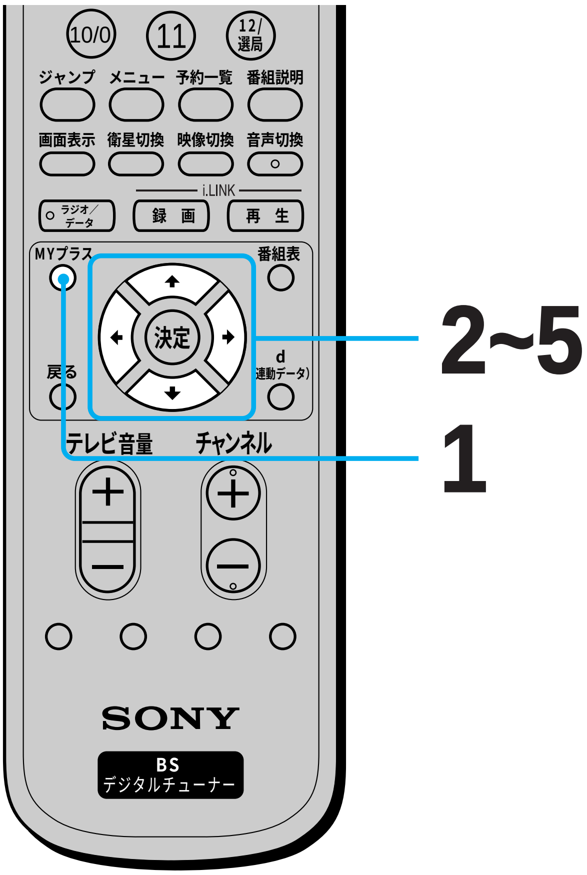
番組の表示の色や表示マークについては、☞22ページをご覧ください。

すべてのジャンルの一覧から番組を探す

[全ジャンル検索]

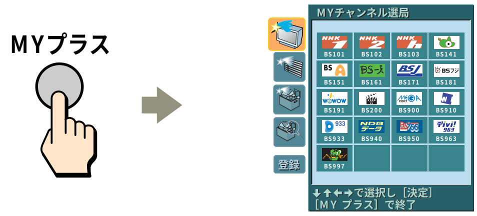
BS放送局が送信する番組ジャンル情報*を元に、すべてのジャンル（分野やテーマ）[**全ジャンル検索**] から、視聴したいジャンル別の番組一覧をテレビ、ラジオ、独立データの区別なく約1週間先まで最大999番組を表示し、すばやく番組を探せます。

* 1つの番組が最大3つのジャンル情報を持ち、それぞれのジャンルで検索できます。ただし、「番組説明」画面（☞13ページ）の番組情報欄に表示される「ジャンル」には代表的なジャンルが1つだけ表示されます。



ここでは例として、「大ジャンル：ドキュメンタリー/教養、小ジャンル：歴史・紀行」を探す手順を説明します。

1 MY**プラスボタンを押す。**



2 **↑/↓で「(全ジャンル検索)」を選び、決定ボタンを押す。**

すべてのジャンルが一覧表示されます。

「全ジャンル検索」画面



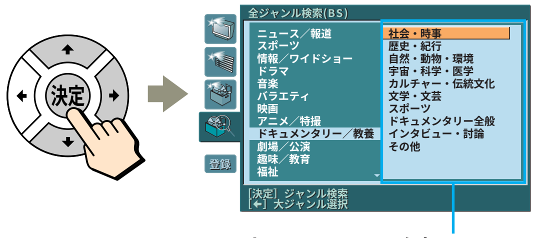
大ジャンルを一覧表示します。

次のページにつづく

3 ジャンルを選ぶ。

大ジャンルと小ジャンルを選んで検索したいときは

↑/↓で大ジャンルを選び、→を押す。
小ジャンルを選ぶ画面になります。



小ジャンルを一覧表示します。

大ジャンルだけで検索したいときは

↑/↓で大ジャンルを選び、決定ボタンを押す。

現在放送中の番組を先頭に、選んだ大ジャンルの番組表が開始時刻順に表示されます。

ご注意

お買い上げ時、または長時間電源コードを抜いた状態の時は、次に電源を入れた後は、番組表に表示される番組が少ないことがあります。電源コードを抜いていると、BS放送局が送信する番組情報をデータ取得できないためです。

手順5に進んでください。

「全ジャンル番組表」画面



「全ジャンル番組表」画面についての詳しい説明は☞33ページをご覧ください。

他のジャンルの番組表を見たいときは

←を押してから、視聴したいジャンルを選び直す。

4 ↑/↓で小ジャンルを選び、決定ボタンを押す。

現在放送中の番組を先頭に、選んだ小ジャンルの番組表が開始時刻順に表示されます。

ご注意

お買い上げ時、または長時間電源コードを抜いた状態の時は、次に電源を入れた後は、番組表に表示される番組が少ないことがあります。電源コードを抜いていると、BS放送局が送信する番組情報をデータ取得できないためです。

「全ジャンル番組表」画面



他のジャンルの番組表を見たいときは

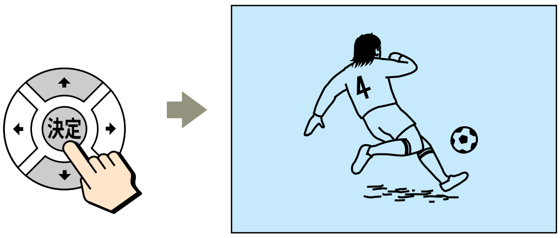
←を押して、ジャンルを選び直す。

「全ジャンル番組表」画面についての詳しい説明は☞33ページをご覧ください。

5 ↑/↓で番組を選び、決定ボタンを押す。

放送中の番組を選ぶと

その番組になります。

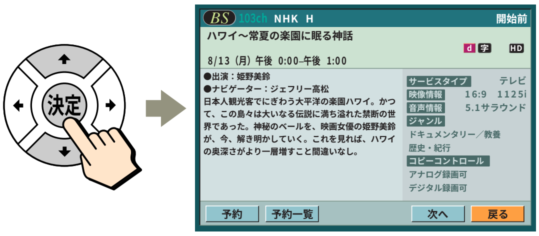


ちょっと一言

決定ボタンの代わりに番組説明ボタンを押すと、「番組説明」画面が表示されます。

放送開始前の番組を選ぶと

受信中の映像と音声が消えて「番組説明」画面が表示されます。また、本機後面のS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）やi.LINK端子からの信号も出力されなくなります。



録画予約するときは

- ハードディスクレコーダーVRP-T1にi.LINKでデジタル録画するとき（☞34ページ）
- ビデオにAVマウスでアナログ録画するとき（☞37ページ）

視聴予約するときは

☞43ページ

予約しないときは

↑/↓/←/→で「戻る」を選び、決定ボタンを押す。

「全ジャンル検索」画面を消すときは

もう1度、MYプラスボタンを押す。

「全ジャンル番組表」画面について

下記の番組はフィクションであり、実際のBS放送局での放送内容や、実際の人物、地名などとは関係ありません。



チャンネルロゴ（マーク）とチャンネル番号

表示件数

ジャンル表示

番組タイトルと放送開始日時
上下に▲/▼があるときは、リモコンの↑/↓で前後の番組を見ることができます。

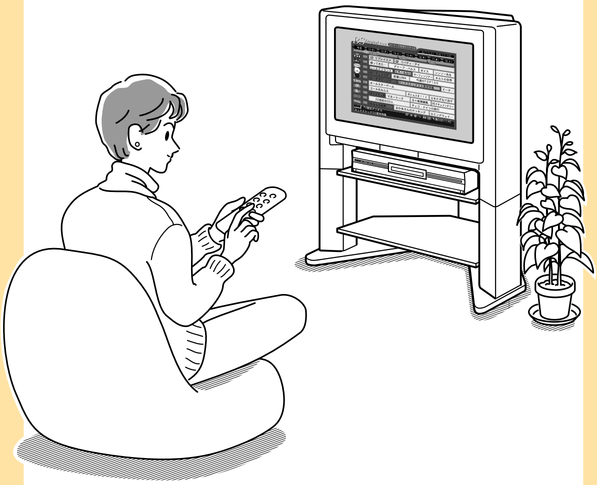
カーソル
黄色で表示され、リモコンの↑/↓で移動できます。

番組情報
（カーソル）で選んでいる番組の情報です。

番組の表示の色や表示マークについては、☞22ページをご覧ください。

BSの番組を予約する

ここではBSの番組を予約する操作を説明しています。例えば、ハードディスクレコーダーVRP-T1*にi.LINKでデジタル録画したり、ビデオにAVマウスでアナログ録画したり、見たい番組に自動的に切り換えたり、予約内容を確認/取消したりする操作です。
また、放送開始時刻の変更に対応して録画したり、アナログ録画で二重音声放送の録画音声を選んだり、番組の始めにタイトルを入れたりする操作についても説明しています。



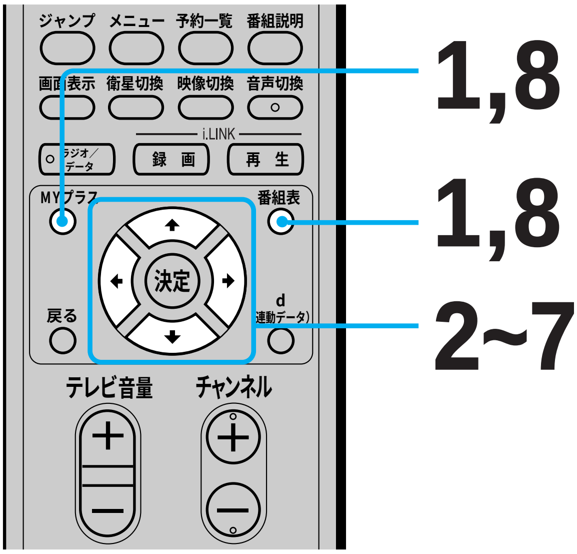
ハードディスクレコーダーVRP-T1にi.LINKでデジタル録画予約する

本機とハードディスクレコーダーVRP-T1をi.LINKで連動させて、BS**デジタル放送をデジタル高画質でデジタル録画できます。**
他の予約（☞37～44）ページと合わせて、最大15件まで予約できます。

* ソニー製のデジタル レコーディング ハードディスクドライブ（Digital Recording HDD）です。i.LINK操作画面（☞66、69ページ）では「HDR」と表示されます。

ご注意

- **次の番組はデジタル録画予約できません**
  －放送時間が未定のとき
  －コピープロテクションにより録画できない番組のとき
  －未契約チャンネルのとき
  －視聴できないデータサービスのとき
  －すでに予約が15件あるとき（☞45ページ）
  －PPV番組ですでに放送開始しているとき
  －視聴予約（☞43ページ）を行っているとき
- **本機はDTLAのコピープロテクション技術に対応しています（☞16、37、117ページ）。**

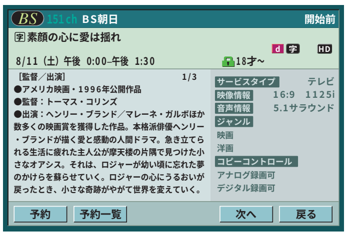


予約する前に確認してください。

- ハードディスクレコーダーVRP-T1を本機と正しくつないでください。また、ハードディスクレコーダーVRP-T1に必要な設定も行ってください（☞62、118ページ）。
- B-CASカード（BSデジタル用ICカード）を正しく入れ、ICカード挿入口のふたを閉めてください（☞101ページ）。
- 前の番組が延長されて、開始時刻が変更される可能性があるときは、「放送開始時刻の変更に対応してBS録画予約する」（☞48ページ）を行ってください。

1 予約したい番組の「番組説明」画面を表示させる。

- **番組表ボタンで「番組表」から☞20～22ページ**
- **MYプラスボタンで「 MYチャンネル番組表」画面から☞25～26ページ**
- **MYプラスボタンで「 MYジャンル番組表」画面から☞27～30ページ**
- **MYプラスボタンで「 全ジャンル番組表」画面から☞31～33ページ**



すでに番組が放送中のときは

番組説明ボタンを押して「番組説明」画面を表示させます。

ご注意

- 放送中の番組で終了時刻前2分を切っているときは、録画予約はできません。
- 番組を視聴中に番組説明ボタンを押しても「予約一欄」ボタンは表示されないので、手順2以降の録画予約操作はできません。

2 ◀/▶で「予約」を選び、決定ボタンを押す。

「この番組はi.LINKでのデジタル録画はできません」と表示されたときは

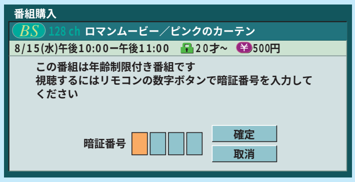
デジタル録画はできません。番組によっては、S映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）につないだビデオでアナログ録画できます（☞37～42ページ）。

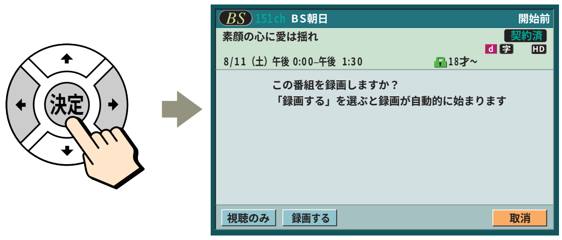
「予約が重複しています　重なっている予約は、実行されない場合があります　この番組を予約しますか？」と表示されたときは

◀/▶で「予約する」を選び、決定ボタンを押せば予約できます。正しく録画されるかは、「予約一覧」画面で予約内容を確認してください（☞45ページ）。

視聴年齢制限付き番組を選んだときは

暗証番号入力画面が表示されます。①～⑩までの数字ボタンで4桁の暗証番号を入力してください。

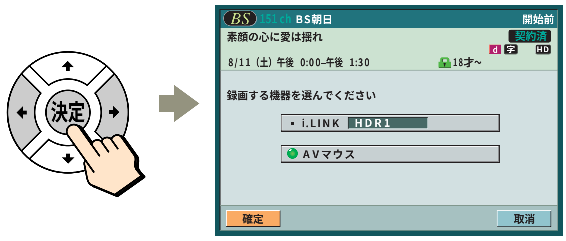




3 ◀/▶で「録画する」を選び、決定ボタンを押す。

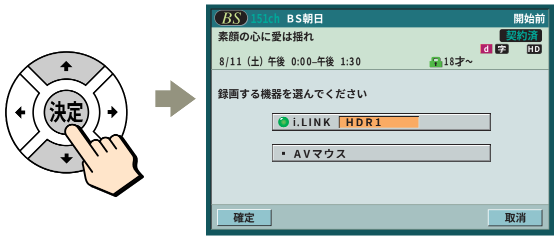
録画するときは

PPV番組のため、別途料金がかかります（☞15～17ページ）。



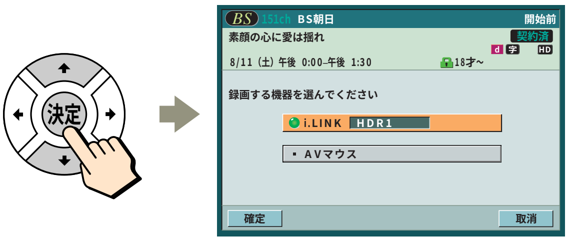
次のページにつづく

4 ↑/↓で「i.LINK」を選び、決定ボタンを押す。



5 ↑/↓で録画したい「HDR」を1台を選び、決定ボタンを押す。

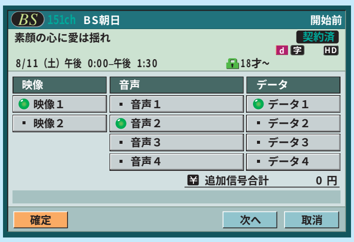
予約した時刻になると選んだハードディスクレコーダーVRP-T1が自動的にLINCされます（☞64ページ）。

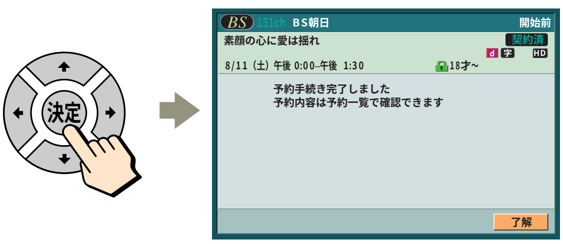


6 ↑/↓/←/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。

映像/音声/データの信号などが複数ある番組のときは

信号を選ぶ画面が表示されます。「次へ」を選ぶと、5種類目以降の信号が表示されます。
無料信号は、自動ですべて録画されます（録画しないようには変更はできません）。
有料信号は、↑/↓/←/→で録画したい信号を複数選べます。選べない信号は録画できません。



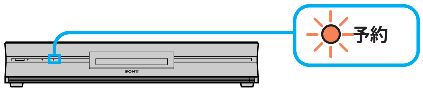


7 「了解」が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す。

見ていた番組一覧（番組表やMYチャンネル番組表など）に戻り、予約した番組に🕘が表示されます。
また、本体前面の予約ランプが点灯します。

例：手順1で番組表を表示していたとき





8 番組一覧を消す。

「番組表」のときは番組表ボタンを押す。
「MYチャンネル番組表」や「MYジャンル番組表」、「全ジャンル番組表」のときはMYプラスボタンを押す。

ちょっと一言

「予約一覧」画面で予約内容を確認することをおすすめします（☞45ページ）。他の予約と重なっていると正しく録画できないためです。

予約した時刻になると

本機と連動してハードディスクレコーダーVRP-T1の電源が入り、録画が終了すると自動的に電源が切れます。
開始時刻の約1分前に予約したチャンネルに切り換わり、約10秒前から録画が始まります。
録画中は本体前面の表示窓に「予約実行中」と表示されます。

本体表示窓



録画実行中のご注意

- 接続した他のi.LINK対応機器の電源を入/切したり、接続を外したりすると、画像が乱れたりとぎれたりすることがあります。
- BSの操作（例：BSチャンネル切換、BSデータの操作、信号切換、番組表の表示など）はできません。
- 次のときは録画が解除されます。
  - 他の予約と重なっているとき（☞45ページ）
  - 電源ボタンを押したとき（電源が切れます）

BSデジタル放送のデジタル録画制限について

BS放送局が番組によって、次の3段階に設定して、信号を送っています。「番組説明」画面（☞13ページ）の番組情報欄で「コピーコントロール」情報を確認してください。

デジタル録画不可

デジタルハイビジョン信号HD・標準テレビ信号SDのいずれでもデジタル録画できません。ただし、番組によっては、本機後面のS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）につないだビデオでアナログ録画できます（☞37～42ページ）。

デジタル録画可

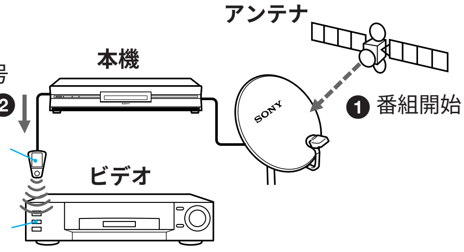
録画した番組を、さらにデジタルで録画（ダビング）・再生できます。

デジタル録画1回可（コピーワンス）

デジタル録画できますが、デジタル録画した番組をさらに録画したり（ダビング）、再生したりするときにはアナログ信号になります。

ビデオにAVマウスでアナログ録画予約する

下図のように、付属のAVマウスを使って、ビデオ側で予約設定せずにビデオと本機を連動させ、**BSデジタル放送を現行のテレビ（地上波）と同等の画質でアナログ録画できます。**
他の予約（☞34、43ページ）と合わせて、最大15件まで予約できます。



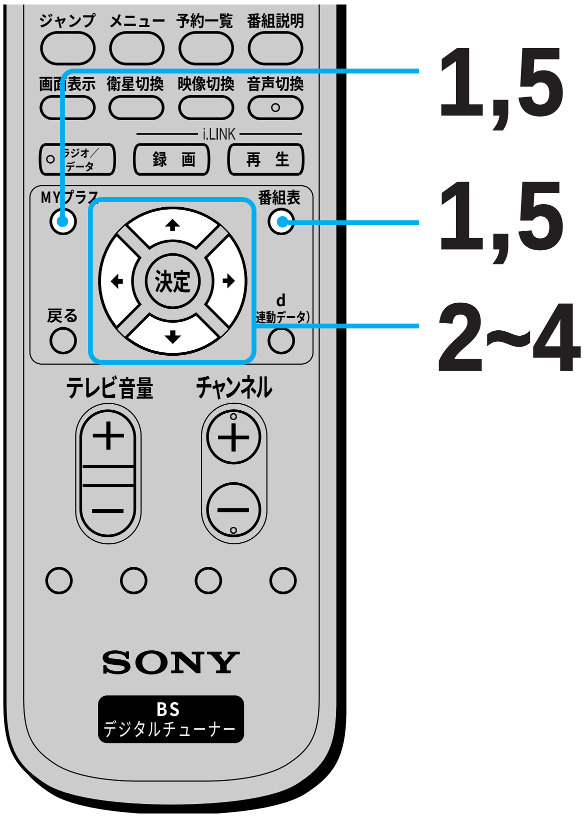
番組開始時間に合わせて、本機がビデオに録画開始の赤外線リモコン信号を送ります。

ご注意

次の番組はアナログ録画予約できません。
－放送時間が未定のとき
－コピープロテクションにより録画できない番組のとき
－未契約チャンネルのとき
－視聴できないデータサービスのとき
－すでに予約が15件あるとき（☞45ページ）
－PPV番組ですでに放送開始しているとき
－視聴予約（☞43ページ）を行っているとき

次のページにつづく

ビデオにAVマウスでアナログ録画予約する（つづき）

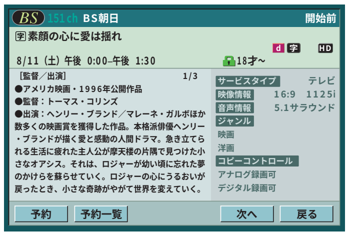


予約する前に確認してください。

- **AVマウスを設定し、ビデオを正しく操作できるか確認してください（☞105ページ）。**
  AVマウスでビデオを正しく操作できないときは、☞40ページをご覧ください。
- **ビデオ側で以下の設定をした後、ビデオの電源を切っておいてください。**
  ビデオの電源が入ったままだと、録画できない場合があります。
  －ビデオの入力を、本機をつないだ入力に切り換える。
  －ビデオの録画モード（標準/3倍やSP/LPなど）を選ぶ。
- 二重音声番組を予約するときは、録画する音声をあらかじめ選んでください（☞41ページ）。お買い上げ時は主音声のみが記録されるように設定されています。
- お買い上げ時は、本機後面のS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）から次の信号が出力され、つないだビデオ機器に記録されます。
  －録画するときに番組の冒頭に入る「タイトル」画面
  －文字スーパー
  －BSデータの画像や効果音
  －字幕放送の字幕（☞60ページ）
  －「データ取得中です」などの画面表示
  これらすべてを記録したくないときのみ、「（予約設定）」メニューの「画面表示録画」を「録画しない」に変更してください。
- B-CASカードを正しく入れ、ICカード挿入口のふたを閉めてください（☞101ページ）。
- 前の番組が延長されて、開始時刻が変更される可能性があるときは、「放送開始時刻の変更に対応してBS録画予約する」（☞48ページ）を行ってください。

1 予約したい番組の「番組説明」画面を表示させる。

- **番組表ボタンで「番組表」から**
  ☞20～22ページ
- **MYプラスボタンで「 MYチャンネル番組表」画面から☞25～26ページ**
- **MYプラスボタンで「 MYジャンル番組表」画面から☞27～30ページ**
- **MYプラスボタンで「 全ジャンル番組表」画面から☞31～33ページ**



すでに番組が放送中のときは

番組説明ボタンを押して「番組説明」画面を表示させます。

ご注意

- 放送中の番組で、終了時刻前2分を切っているときは、録画予約はできません。
- 番組を視聴中に番組説明ボタンを押しても「予約一欄」ボタンは表示されないので、手順2以降の録画予約操作はできません。

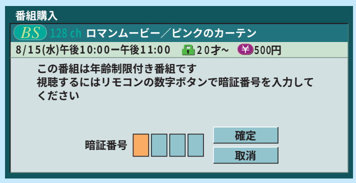
2 ←/→で「予約」を選び、決定ボタンを押す。

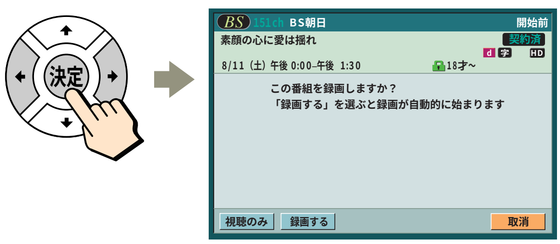
「予約が重複しています　重なっている予約は、実行されない場合があります　この番組を予約しますか？」と表示されたときは

←/→で「予約する」を選び、決定ボタンを押せば予約できます。正しく録画されるかは、「予約一覧」画面で予約内容を確認してください（☞45ページ）。

視聴年齢制限付き番組を選んだときは

暗証番号入力画面が表示されます。①～⑩までの数字ボタンで4桁の暗証番号を入力してください。





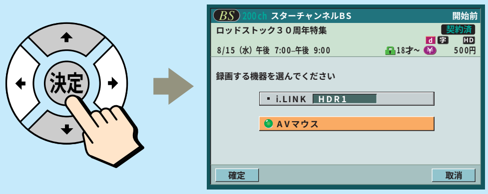
3 ←/→で「録画する」を選び、決定ボタンを押す。

¥録画する のときは

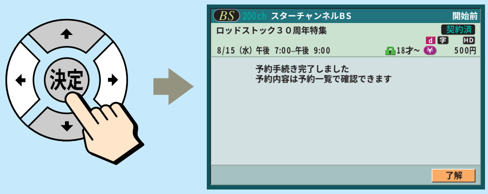
PPV番組のため、別途料金がかかります（☞15～17ページ）をご覧ください。

ハードディクスレコーダーVRP-T1もつないでいるときは、「AVマウス」を選んでください。

① ↑/↓で「AVマウス」を選び、決定ボタンを押す。



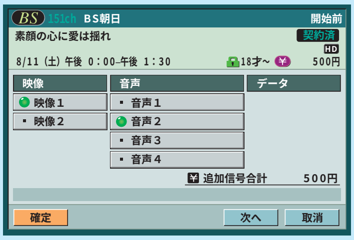
② ↑/↓で「確定」を選び、決定ボタンを押す。

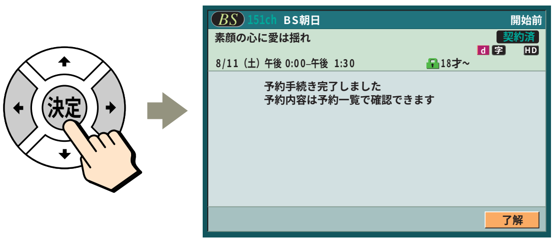


③ 手順4へ進んでください。

映像/音声の信号などが複数ある番組のときは

信号を選ぶ画面が表示されます。
↑/↓/←/→で録画したい信号を1つ選べます（選べない信号は録画できません）。「次へ」を選ぶと、5種類目以降の信号が表示されます。



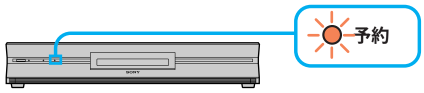


4 「了解」が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す。

見ていた番組一覧（番組表やMYチャンネル番組表など）に戻り、予約した番組に🕘が表示されます。
また、本体前面の予約ランプが点灯します。

例：手順1で番組表を表示していたとき





5 番組一覧を消す。

「番組表」のときは番組表ボタンを押す。
「MYチャンネル番組表」や「MYジャンル番組表」、「全ジャンル番組表」のときはMYプラスボタンを押す。

ちょっと一言

「予約一覧」画面で予約内容を確認することをおすすめします（☞45ページ）。他の予約と重なっていると正しく録画できないためです。

BSの番組を予約する

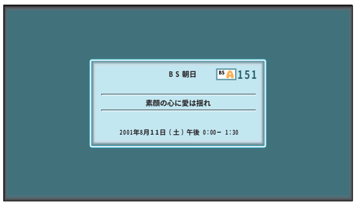
次のページにつづく

ビデオにAVマウスでアナログ録画予約する（つづき）

録画するときに番組冒頭にタイトルを入れるには

「（予約設定）」メニューの「画面表示録画」を「録画する」（お買い上げ時の設定）に設定します。「録画する」にすると、録画中に見ているテレビ画面にもタイトル画面が表示されます。

タイトル画面



ご注意

字幕やBSデータの画像などの画面表示も録画されます。
詳しくは☞42ページをご覧ください。

予約した時刻になると

本機と連動してビデオの電源が入り、録画が終了すると、自動的に電源が切れます。
開始時刻の約1分前に予約したチャンネルに切り換わり、約10秒前から録画が始まります。
録画中は本体前面の表示窓に「予約実行中」と表示されます。

本体表示窓



ご注意

録画実行中のご注意

- BSの操作（例：BSチャンネル切換、BSデータの操作、信号切換、番組表の表示など）はできません。
- 次のときは録画が解除されます。
  - 他の予約と重なっているとき（☞45ページ）
  - 電源ボタンを押したとき（電源が切れます）
- ビデオのAPC（アダプティブ・ピクチャー・コントロール）機能などが働くと、録画の冒頭が途切れることがあります。

AVマウスが使えないときは

お手持ちのビデオの予約機能を使って録画予約してください。

1 **38〜39ページの手順1〜5を行う。**

2 **お手持ちのビデオで、録画予約する。**

ビデオ側で、本機をつないだビデオ側の入力を、予約したい番組放送時刻に録画できるように予約します。ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。

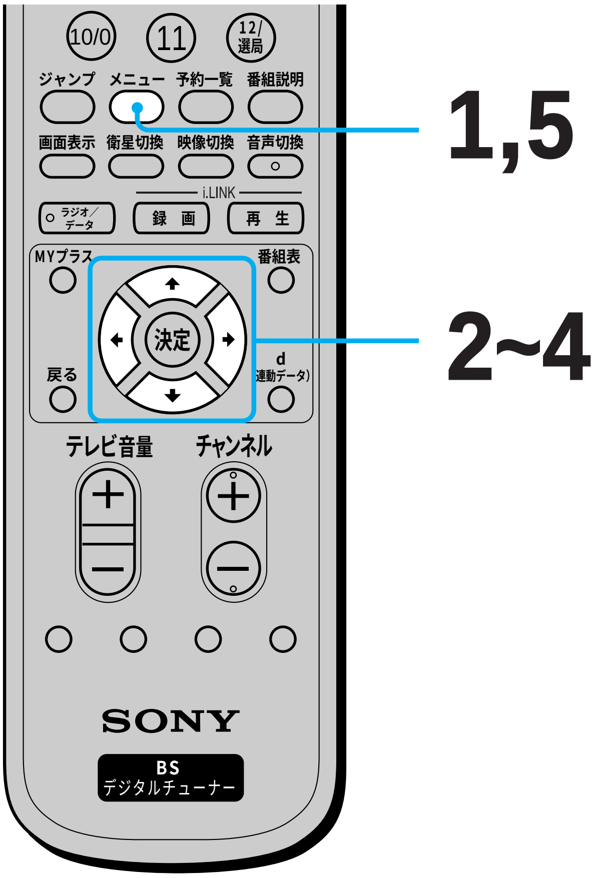
ご注意

録画実行中のご注意

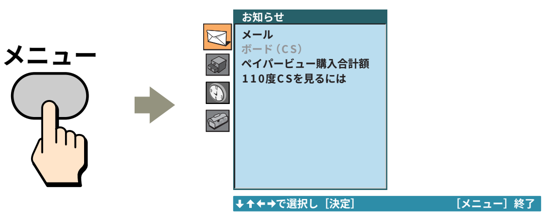
予約した番組の放送開始時刻の変更には対応できません。
例：スポーツ番組の延長などのため番組の開始時刻が繰り下がったとき、予約した番組は途中までしか録画されません。PPV番組などの場合は、途中までの録画でも料金がかかりますのでご注意ください。

録画予約する二重音声番組の音声をあらかじめ選ぶ

選んだ音声に固定されるため、録画予約の実行中は音声切換ボタンを押しても音声は切り換わりません。
お買い上げ時は主音声のみが記録されるように設定されています。



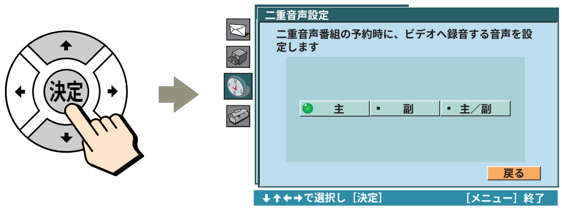
1 メニューボタンを押す。



2 ↑/↓で「（予約設定）」を選び、決定ボタンを押す。

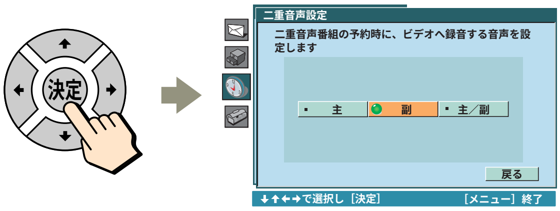


3 ↑/↓で「二重音声設定」を選び、決定ボタンを押す。



4 ↑/↓/←/→で「主」、「副」または「主/副」を選び、決定ボタンを押す。

設定を変更しないかぎり、すべての二重音声番組が選んだ音声で録画されます。



5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

BSの番組を予約する

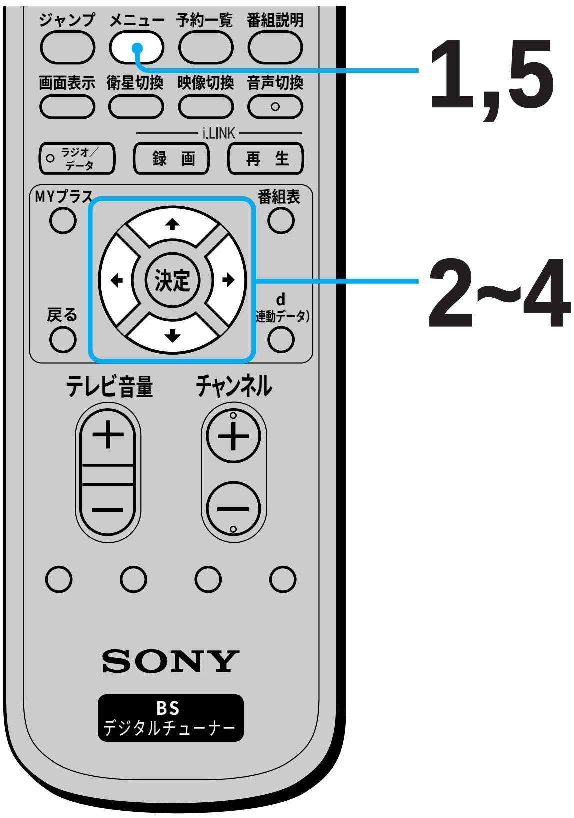
ビデオに本機の画面表示や字幕放送などを録画するには［画面表示録画］

お買い上げ時は「（予約設定）」メニューの「画面表示録画」が「録画する」に設定されています。本機のＳ映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）から、テレビに表示されている次の画面表示や信号がつないだビデオ機器にそのまま出力され、記録できます。

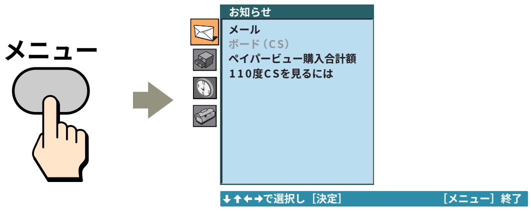
お買い上げ時の設定（「録画する」）でビデオに出力される画面表示や信号

- 画面表示*
- 「番組説明」画面*（☞12ページ）
- 番組表ボタンやMYプラスボタンで表示できる番組一覧*（☞18、19ページ）
- 録画するときに番組冒頭に入る「タイトル」画面（☞40ページ）
- 文字スーパー
- BSデータの画像や効果音
- 字幕放送の字幕（☞60ページ）

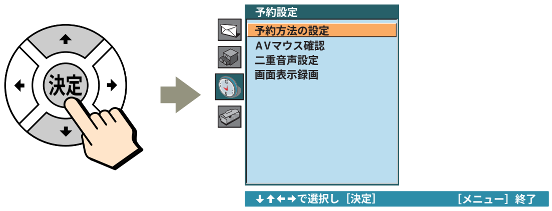
*予約した録画時には記録されません。



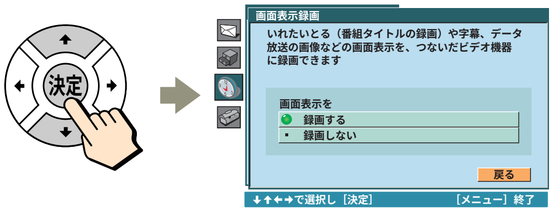
1 メニューボタンを押す。



2 ↑/↓で「（予約設定）」を選び、決定ボタンを押す。



3 ↑/↓で「画面表示録画」を選び、決定ボタンを押す。



4 ↑/↓で「録画する」（お買い上げ時の設定）または「録画しない」を選び、決定ボタンを押す。



「録画する」を選ぶと
ビデオ機器に出力され、録画できるようになります。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

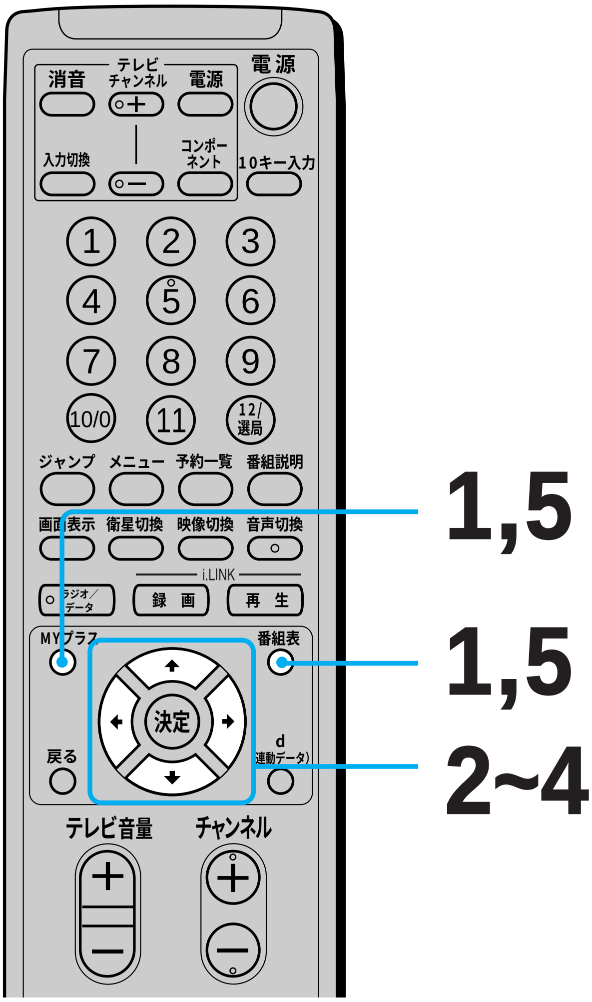
ご注意

録画予約したとき、お使いのビデオ機器のメーカーによっては、録画の冒頭やタイトル画面が途切れる場合があります。また、ビデオのAPC（アダプティブ・ピクチャー・コントロール）機能が働いても、同様なことがおきる場合があります。

見たいBSの番組に切り換える
[視聴予約]

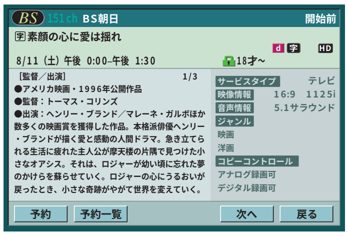
開始時刻になると、本機の電源が入り、他のBSを見ていても予約したBSチャンネルに自動的に切り換わります。
他の予約（☞34〜41ページ）と合わせて、最大15件まで予約できます。

予約開始時刻にテレビの電源は自動的に入りません。
予約開始時刻までに、あらかじめテレビの電源を入れ、テレビ側で本機をつないだ端子の入力に切り換えておいてください。



1 視聴予約したい番組の「番組説明」画面を表示させる。

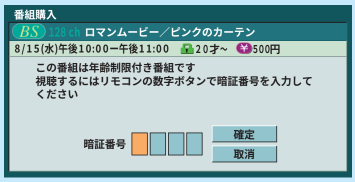
- 番組表ボタンで「番組表」から☞20〜22ページ
- MYプラスボタンで「 MYチャンネル番組表」画面から☞25〜26ページ
- MYプラスボタンで「 MYジャンル番組表」画面から☞27〜30ページ
- MYプラスボタンで「 全ジャンル番組表」画面から☞31〜33ページ

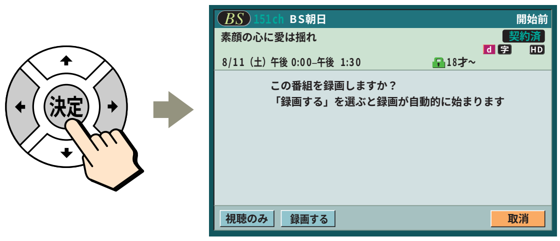


2 ←/→で「予約」を選び、決定ボタンを押す。

「予約が重複しています　重なっている予約は、実行されない場合があります　この番組を予約しますか？」と表示されたときは
←/→で「予約する」を選び、決定ボタンを押せば予約できます。正しく録画されるかは、「予約一覧」画面で予約内容を確認してください（☞45ページ）。

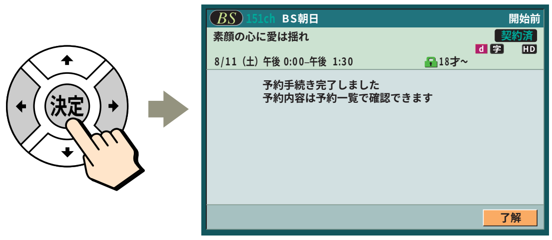
視聴年齢制限付き番組を選んだときは
暗証番号入力画面が表示されます。①〜⑩/0までの数字ボタンで4桁の暗証番号を入力してください。





見たいBSの番組に切り換える［視聴予約］（つづき）

3 **←/→で「視聴のみ」を選び、決定ボタンを押す。**

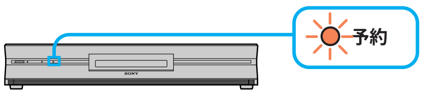


4 **「了解」が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す。**

見ていた番組一覧（番組表やMYチャンネル番組表など）に戻り、予約した番組にが表示されます。
また、本体前面の予約ランプが点灯します。

例：手順1で番組表を表示していたとき





5 **番組一覧を消す。**
「番組表」のときは番組表ボタンを押す。
「MYチャンネル番組表」や「MYジャンル番組表」、「全ジャンル番組表」のときはMYプラスボタンを押す。

ちょっと一言

「予約一覧」画面で予約内容を確認することをおすすめします（☞45ページ）。他の予約と重なっていると解除されることがあるためです。

予約した時刻になると

本機の電源が入り、予約したBSチャンネルに切り換わります。
また、本体前面の表示窓に「予約実行中」と表示されます。

本体表示窓



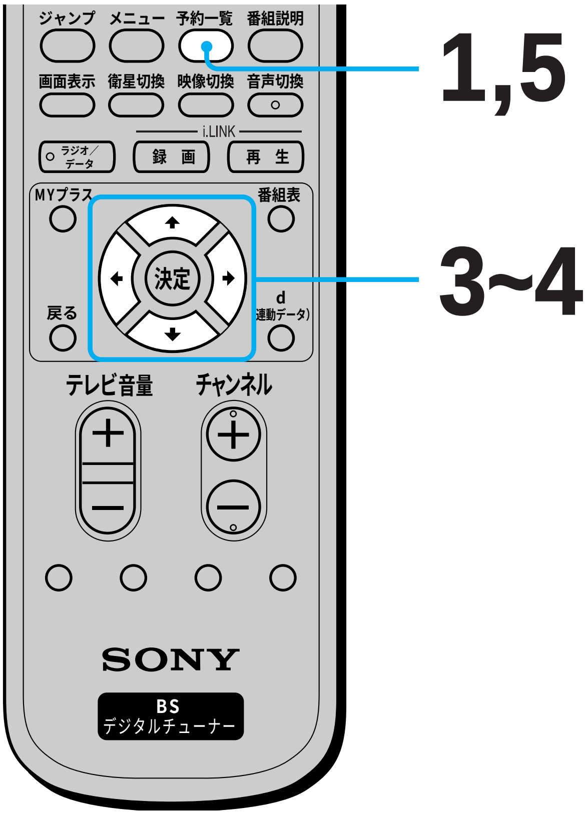
ちょっと一言

映像/音声/データの信号などが複数ある番組のときは、視聴中に信号を切り換えてください（☞58ページ）。

予約が正しく実行されるか確認する

[予約一覧ボタン]

予約が重なっていたり、連続していたりすると、録画予約/視聴予約が正しく実行されないことがあります。
「予約一覧」画面で確認し、予約の変更や取消を行ってください。

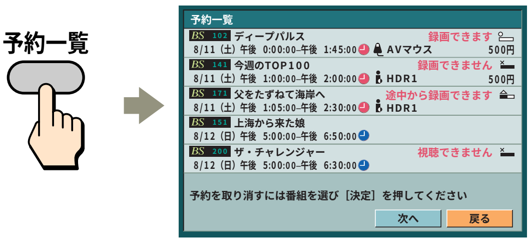


1 予約一覧ボタンを押す。

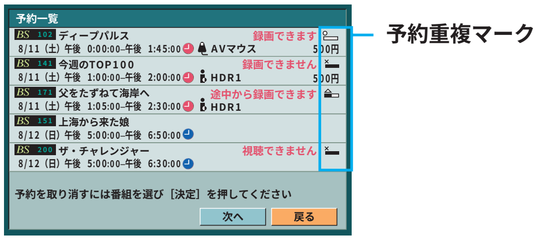
「予約一覧」画面が表示され、予約状況*が確認できます。

*BS放送局側で放送時刻の変更や中止をすると、予約状況も変更され、予約が実行されるごとに「予約一欄」画面が更新されます。

「予約一覧」画面

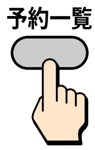


2 予約重複マークがないか確認する。



予約重複マークが1つも表示されていないときは

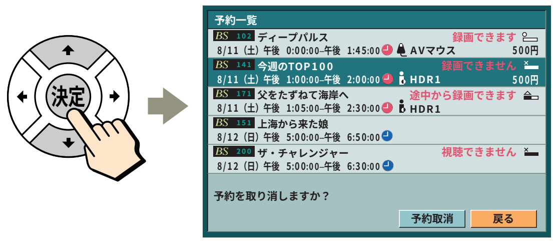
すべての予約が正しく実行されます。
予約一覧ボタンを押して、「予約一覧」画面を消してください。これ以降の手順を行う必要はありません。



予約重複マークが表示されているときは

予約時間が重複しているため、正しく実行されない予約があります。
予約重複マークや、予約がどのように実行されるかについて「重複している予約はどうなるの？」（☞47ページ）で確認してから、手順3に進んでください。

3 ↑/↓で取り消したい番組を選び、決定ボタンを押す。

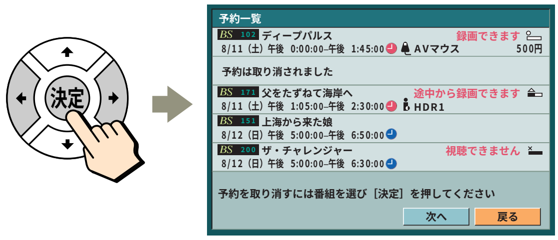


次のページにつづく

予約が正しく実行されるか確認する［予約一覧ボタン］（つづき）

4 **←/→で「予約取消」を選び、決定ボタンを押す。**

予約は取り消されます。



5 **予約一覧ボタンを押す。**

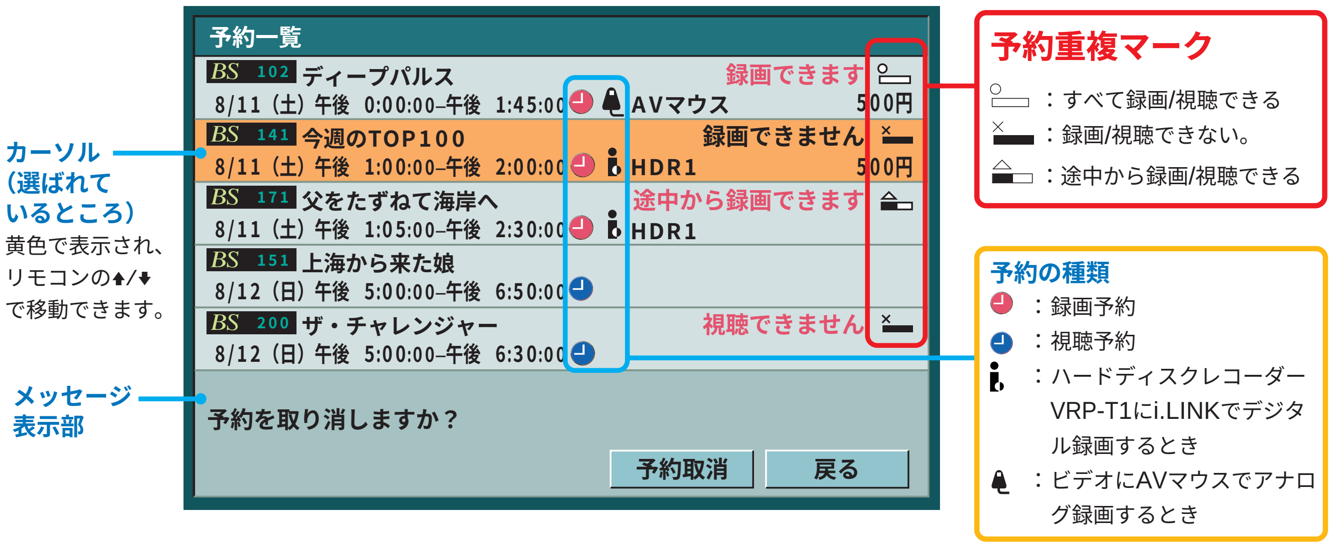
予約一覧が消えます。

ちょっと一言

番組表（EPG）（☞20〜22ページ）やMYプラス（☞23〜33ページ）の番組一覧で、「番組説明」画面から「予約一覧」を選んでも、「予約一覧」画面を表示できます。

「予約一覧」画面について

下記の番組はフィクションであり、実際のBS放送局での放送内容や、実際の人物、地名などとは関係ありません。



ちょっと一言

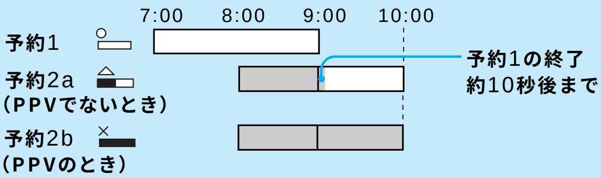
「予約一覧」画面では、予約した番組の放送時刻が秒単位まで表示され、秒単位で時刻が重なっていても重複している予約となります。

重複している予約はどうなるの？

- の部分は実行されません（録画予約のときは録画されません）。
- PPV番組（☞15ページ）は、番組の途中からは録画されず、予約自体が自動的に取り消されます。

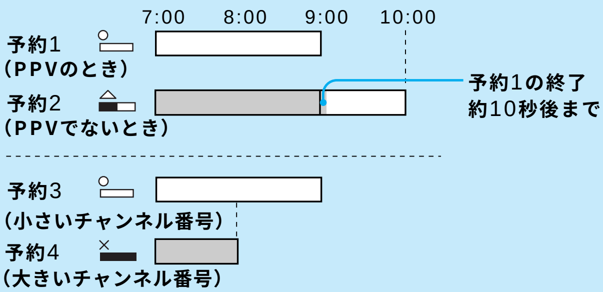
放送時刻が重なっているときは？

先に始まる番組（予約1）が優先されます（）。
後から始まる番組（予約2a）は、予約1の終了約10秒*後から録画されます（）。ただし、PPV番組（☞15ページ）（予約2b）は、予約自体が自動的に取り消されます（）。



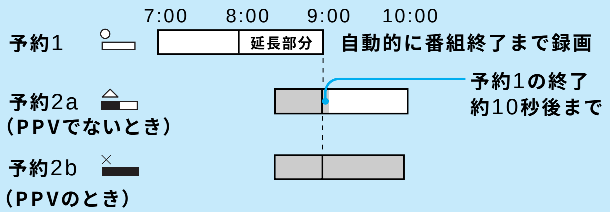
開始時刻が同じときは？

PPV番組（☞15ページ）（予約1）が優先されます（）。
重なった他の予約（予約2）がPPV番組より放送時間が長いときは、予約1の終了約10秒*後から録画されます（）。
両方ともPPV番組のときや、両方ともPPV番組でないときは、小さいチャンネル番号（予約3）の予約が優先されます（）。



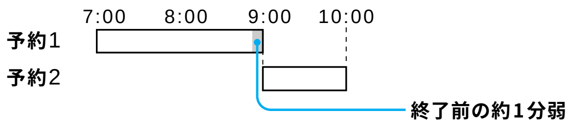
前の番組が延長されて、他の予約に重複したときは？

延長された番組（予約1）が自動的に番組終了まで録画（視聴）されます（）。
延長により重複した番組（予約2a）は、予約1の終了約10秒*後から録画されます（）。ただし、PPV番組（☞15ページ）（予約2b）は、予約自体が自動的に取り消されます（）。



前の予約の終了時刻と、後の予約の開始時刻が同じとき（予約が連続しているとき）は？

録画予約が重複していないため、予約重複マークは表示されません。
ただし、先に始まる番組（予約1）が録画予約のときは、終了前の約1分弱は録画されません。後から始まる番組（予約2）にチャンネルが切り換わるためです。



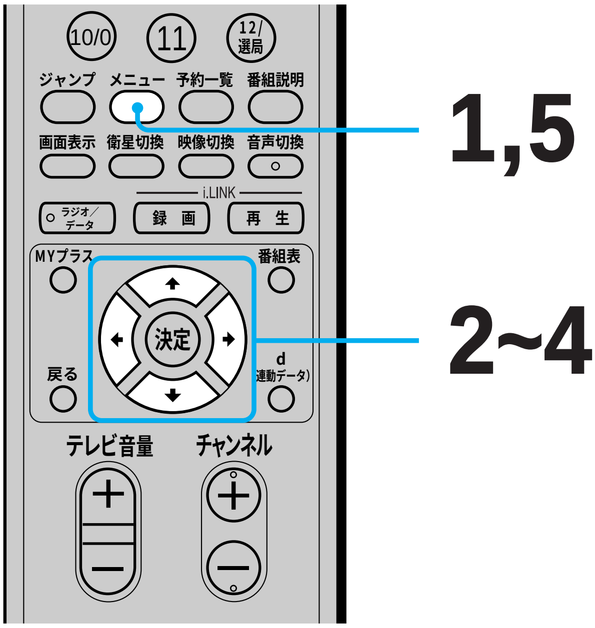
＊ 録画する機器を切り換えたときは、10秒以上かかることがあります。

放送開始時刻の変更に対応してBS録画予約する

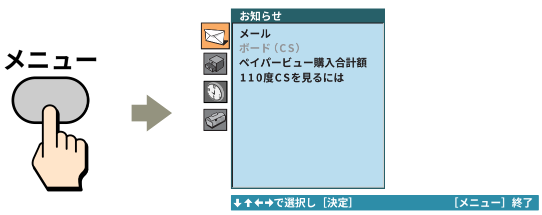
スポーツ番組の延長などで、予約した番組の開始時刻が繰り下がったときに、その時刻に合わせて録画されるように設定できます。
BS放送局が送信する放映時刻情報を本機が検知して、3時間以内の遅れであれば対応できます。
お買い上げ時は、開始時刻が変更されると予約も取り消されるように設定されています。

ご注意

以下のときは、放送時刻の変更に対応しません。
－放送局が放映時刻情報を送信しない番組のとき
－AVマウスやi.LINK接続を使わないで、ビデオの予約機能を使って録画するとき（☞40ページ）



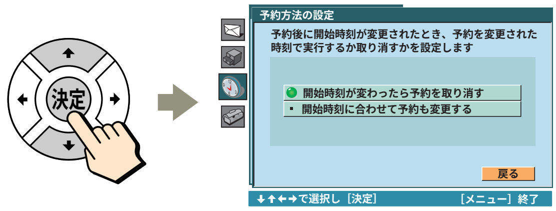
1 メニューボタンを押す。



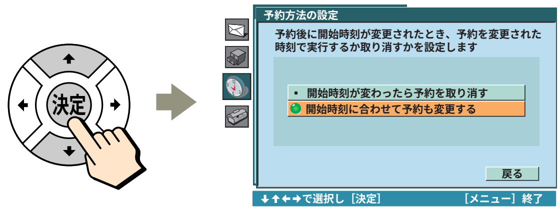
2 ↑/↓で「（予約設定）」を選び、決定ボタンを押す。



3 ↑/↓で「予約方法の設定」を選び、決定ボタンを押す。



4 ↑/↓で「開始時刻に合わせて予約も変更する」を選び、決定ボタンを押す。



「開始時刻が変わったら予約を取り消す」（お買い上げ時の設定）を選ぶと
開始時刻が変更された場合は、予約自体が取り消されます。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

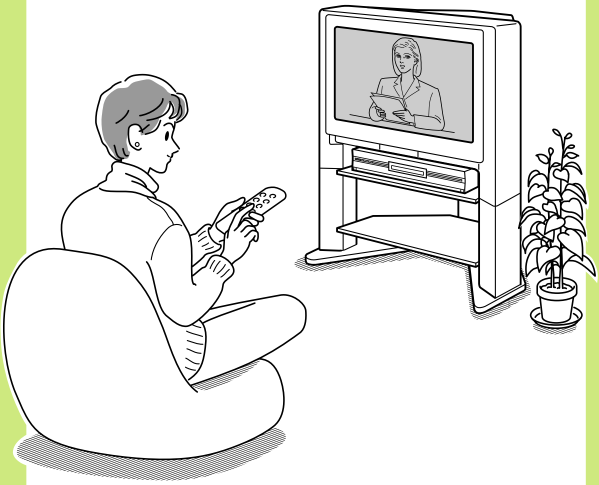
ご注意

「開始時刻に合わせて予約も変更する」を選び、開始時刻が変更されて、次の予約番組と時間が重複したときは、前の番組が自動的に番組終了まで録画されます。後の番組は前の番組の終了約10秒*後から録画されます。ただし後の番組がPPV番組のときは、予約自体が自動的に取り消されます（☞47ページ）。
* 録画する機器を切り換えたときは、10秒以上かかることがあります。

予約した番組の終了時刻が繰り下がったときは
予約していたスポーツ番組の放送が延長されたなど、終了時刻が繰り下がったときは、どちらの設定でも、自動的に放送終了まで録画されます。

その他の BS操作

ここでは、BSラジオを聞いたり、BSデータを見たりするときの操作について説明しています。
また、BS特有の多彩な機能の操作についても説明しています。音声を切り換えたり、マルチビュー放送や字幕放送を見たりするなどの操作です。
BS放送局からのお知らせを見たりするときの操作も説明しています。



BSラジオを聞く

BSラジオでは、静止画像や連動したデータ（☞14ページ）を楽しめるラジオ放送と、音声のみのラジオ放送があり、番組によっては、音楽CD並みの高音質が楽しめます。

次のBS放送局が放送を予定しています。
（2001年9月現在）

BS放送局	チャンネル
ビー・エス・コミュニケーションズ	300, 301
ミュージックバード	316〜319
ジェイエフエヌ衛星放送	320〜323
セント・ギガ[1]	333
BS日テレ	444, 445
BS朝日	455, 456
BS-i	461, 462
BSジャパン	471, 472
LFX 488	488
BSQR 489	489
WOWOW wave[2]	491, 492

[1] 有料放送のため、視聴するには加入申し込みをして契約する必要があります（☞7ページ）。

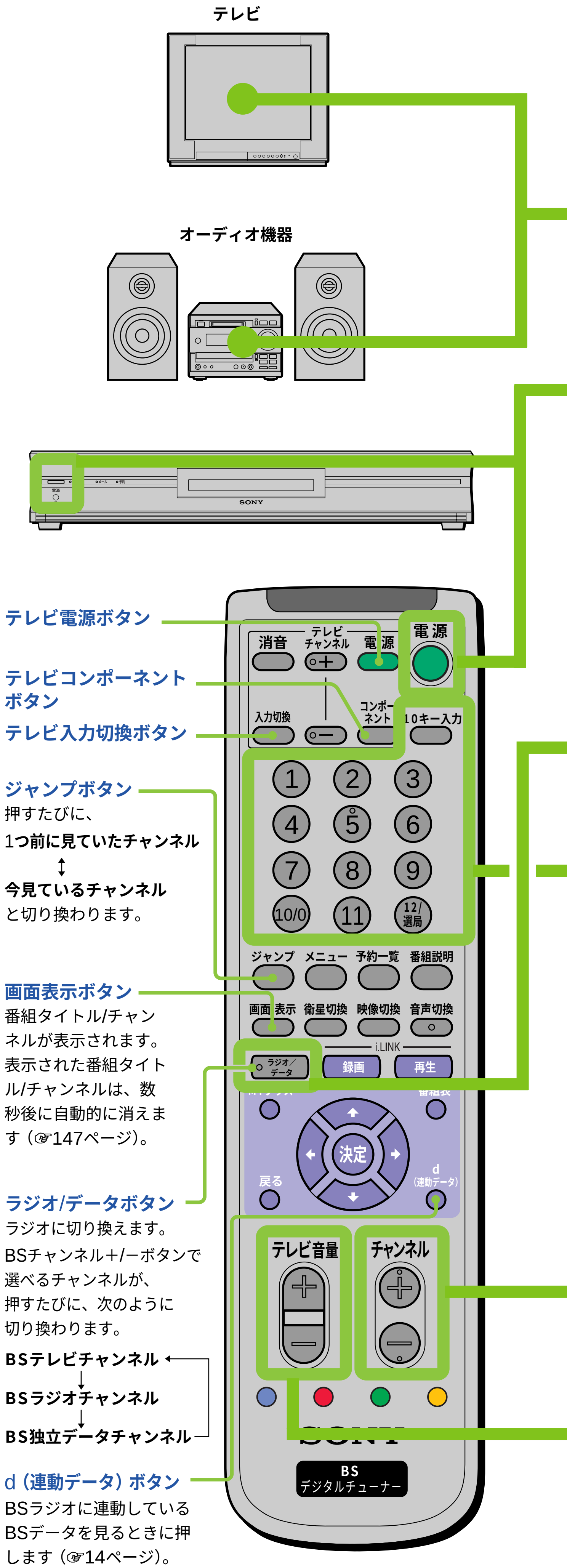
[2] WOWOW wave（WOWOWのラジオ放送）は無料放送です。

ちょっと一言

本機リモコンでテレビを操作できるように設定すると便利です（☞112ページ）。

画面表示についてのちょっと一言

「（各種切換）」メニューの「チャンネル番号の表示時間」で、画面表示ボタンを押した後の表示時間を選べます。
プラズマテレビをつないでいるときは、お買い上げ時の設定「表示後数秒間で消す」のままお使いください。



テレビ：テレビのスピーカーで、デジタルラジオ放送を聞く場合

オーディオ：本機につないだオーディオ機器などのスピーカーで、デジタルラジオ放送を聞く場合

1

テレビ

テレビの電源を入れ、テレビ側で本機をつないだ端子の入力に切り換える。

オーディオ

オーディオ機器の電源を入れ、オーディオ側で本機をつないだ入力に切り換える。

2

本機の電源を入れる。

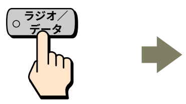


3

ラジオ/データボタンをくり返し押して、ラジオに切り換える。

テレビ

ラジオに切り換わるとテレビ画面に「この番組はデジタルラジオ放送です」* と表示されます。



テレビ画面

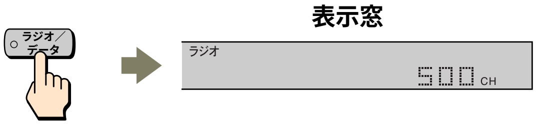


* BS放送局によっては表示されません。

オーディオ

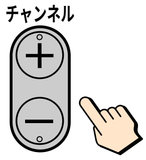
ラジオに切り換わると本機の表示窓に「ラジオ」と表示されます。

表示窓



4

リモコンを本機に向けてチャンネル+/ーボタンを押し、BSラジオチャンネルを選ぶ。



押し続けると、BSラジオ内でチャンネル番号のみ早く切り換わり、離すとそのBSラジオのチャンネルが映ります。

BSテレビやBS独立データに切り換わることなく、BSラジオの中で順送りに選局します。

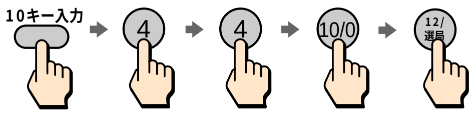
3ケタのチャンネル番号で直接選ぶには

① 10キー入力ボタンを押す。

② ①～⑩ までの数字ボタンで、BSラジオの3ケタのチャンネル番号を百の位から順に押す。

③ ⑫ボタンを押す。（押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。）

例）440chを選ぶとき



番組表やMYプラスから番組を選ぶには

「BSの番組を選ぶ」（☞18～33ページ）をご覧ください。

BSラジオを聞いているときは、BSラジオのチャンネルのみの番組表が表示されます。

5

テレビ

テレビの音量を調節する。



ちょっと一言

本機リモコンでテレビを操作できるように設定すると便利です（☞112ページ）。

オーディオ

オーディオ機器の音量を調節する。

その他のBS操作

BS独立データを見る

BSテレビやBSラジオの番組に連動して見ることができるBSデータ（☞14ページ）とは別に、BSデータのみを専門に放送するBS独立データがあります。
様々なニュースや情報を見たり、クイズやゲームなど双方向サービス*1を楽しんだりできます。

以下のBS独立データ専門局があります（2001年9月現在）。

*1 双方向サービスを受けるためには、登録が必要な場合があります。詳しくは、ご覧になりたいBS放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

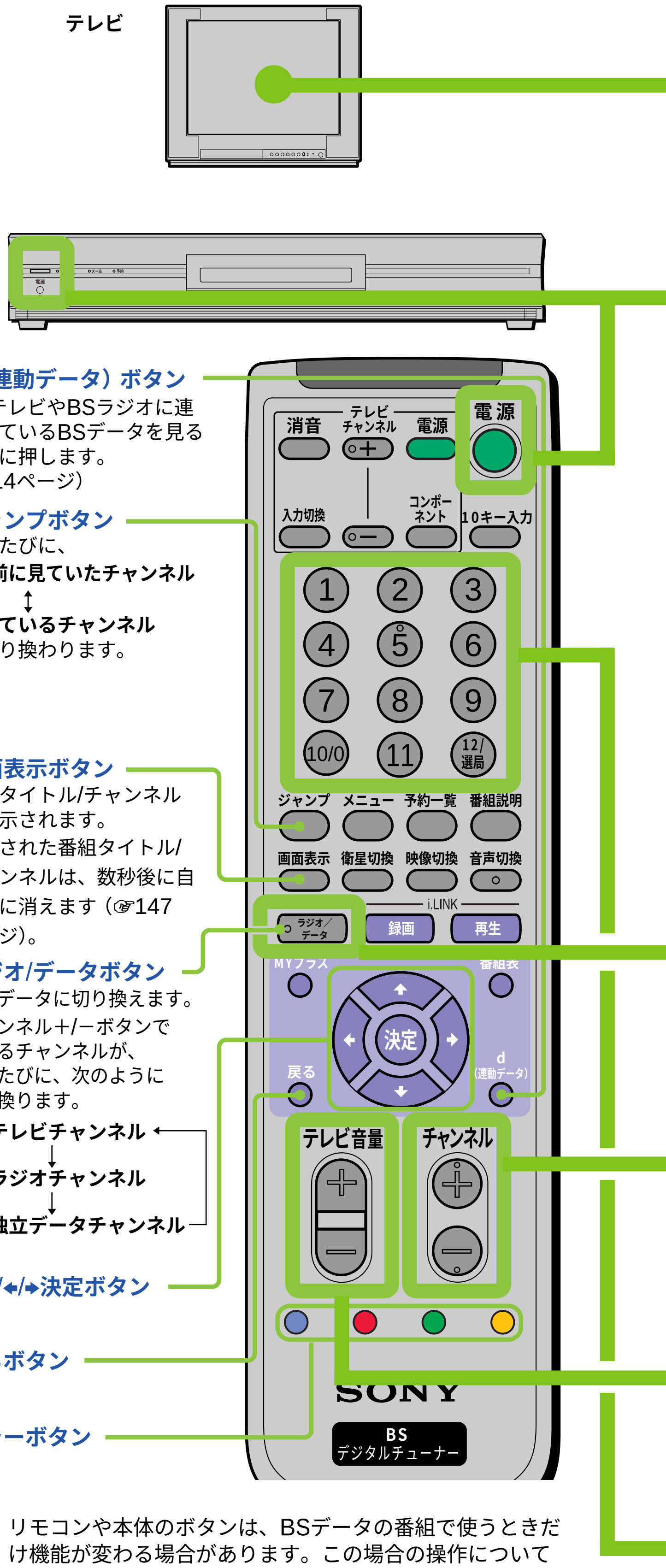
BS放送局	チャンネル
メガポート放送	900, 901, 906, 908, 909
ウェザーニュース	910
デジキャス	933〜935
日本データ放送	940, 944, 945
BS955	950〜956, 959
Tivi!963	963
ch999	997〜999

また、次のBSテレビ/ラジオ局でも、独立データ専用チャンネルがあります。*2の付いたBS放送局もBS独立データ放送は無料です。

BS放送局	チャンネル
セント・ギガ*2	633, 636
BS日テレ	744
BS朝日	755
BS-i	766
BSジャパン	777
WOWOW navi*2	791, 792
スター・チャンネルBS*2	800

ご注意

- あらかじめ電話回線の接続（☞89ページ）と設定（☞103ページ）を行ってください。視聴者参加型の番組に参加できなかったり、情報を選べなかったりする場合があります。
- BS独立データ放送では、本機に接続された電話回線を使って通信を行う場合があるため、電話回線の通話料がかかる場合があります。



d（連動データ）ボタン
BSテレビやBSラジオに連動しているBSデータを見るときに押します。
（☞14ページ）

ジャンプボタン
押すたびに、
1つ前に見ていたチャンネル
↕
今見ているチャンネル
と切り換わります。

画面表示ボタン
番組タイトル/チャンネルが表示されます。
表示された番組タイトル/チャンネルは、数秒後に自動的に消えます（☞147ページ）。

ラジオ/データボタン
独立データに切り換えます。
チャンネル＋/−ボタンで選べるチャンネルが、押すたびに、次のように切り換わります。
BSテレビチャンネル
↓
BSラジオチャンネル
↓
BS独立データチャンネル

↑/↓/←/→決定ボタン

戻るボタン

カラーボタン

- リモコンや本体のボタンは、BSデータの番組で使うときだけ機能が変わる場合があります。この場合の操作については、テレビ画面に表示されるBSデータ番組の指示にしたがってください。
- BSデータの番組では、本機につないだ電話回線を使って通信を行う場合があります。通信中（本機の表示窓に「通話」と表示）は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。

画面表示についてのちょっと一言
「(各種切換)」メニューの「チャンネル番号の表示時間」で、画面表示ボタンを押した後の表示時間を選べます。
プラズマテレビをつないでいるときは、お買い上げ時の設定「表示後数秒間で消す」のままお使いください。

1 テレビの電源を入れ、テレビ側で本機をつないだ端子の入力に切り換える。

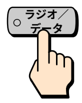


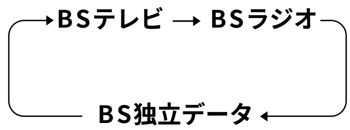
ちょっと一言
本機リモコンでテレビを操作できるように設定すると便利です。
（☞112ページ）

2 本機の電源を入れる。

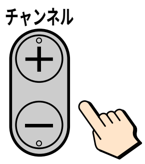


3 ラジオ／データボタンをくり返し押して、BS独立データに切り換える。





4 チャンネル＋/－ボタンを押して、BS独立データチャンネルを選ぶ。



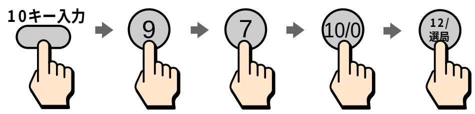
押し続けると、BS独立データ内でチャンネル番号のみ早く切り換わり、離すとそのBS独立データのチャンネルが映ります。

BSテレビやBSラジオに切り換わることなく、BS独立データの中で順送りに選局します。

3ケタのチャンネル番号で直接選ぶには

① 10キー入力ボタンを押す。
② ①～⑩までの数字ボタンで、BS独立データの3ケタのチャンネル番号を百の位から順に押す。
③ ⑫ボタンを押す。（押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。）

例）970chを選ぶとき



番組表やMYプラスからBS独立データを選ぶには

「BSの番組を選ぶ」（☞18～33ページ）をご覧ください。
BS独立データを見ているときは、BS独立データのチャンネルのみ番組表が表示されます。

5 テレビの音量を調節する。

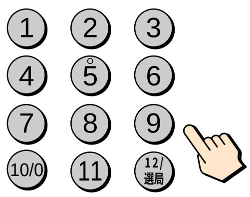
ちょっと一言
本機リモコンでテレビを操作できるように設定すると便利です（☞112ページ）。



6 画面の指示に従ってリモコンを操作する。

BSデータ番組の指示にしたがって、次のボタンを使ってください。
「データ取得中です」と表示された場合は、しばらくお待ちください。

- ↑/↓/←/→決定ボタン（選んで決定するときなど）
- 戻るボタン
- ①～⑩までの数字ボタン（数字を入力するときなど）
- カラーボタン（●・●・●・●）

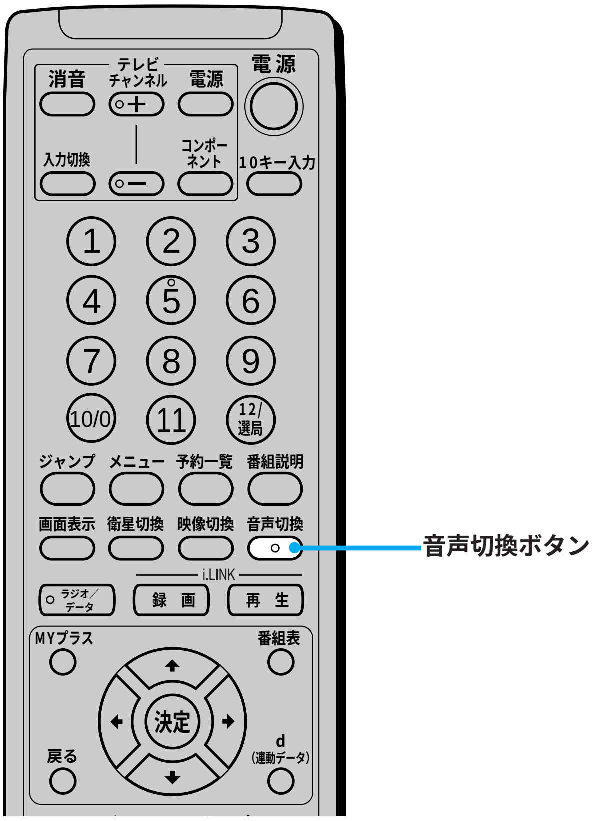


BSの音声を切り換える [音声切換ボタン]

二か国語番組など二重音声番組のときや、第2音声など、音声信号が複数ある番組（☞58ページ）では聞きたい音声を選べます。

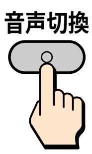
ご注意

二重音声放送や第2音声などがないときは、切り換わりません。



音声切換ボタンをくり返し押して選ぶ。

押すたびに音声が切り換わります。



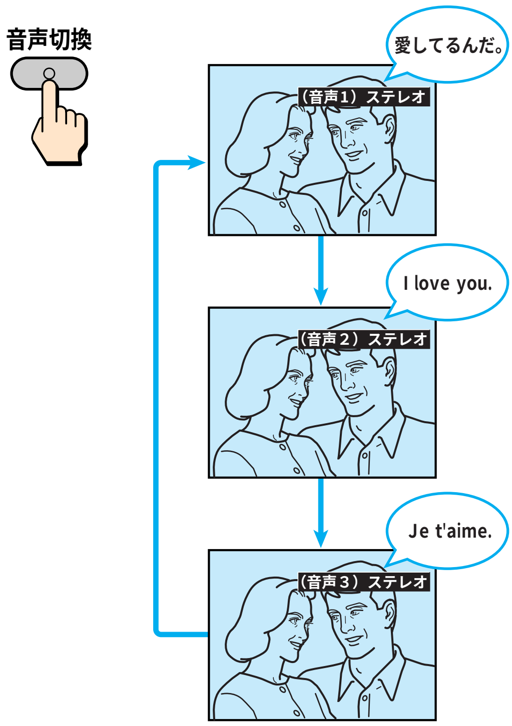
二か国語番組など二重音声番組のとき



画面表示	テレビの左スピーカーの音声	テレビの右スピーカーの音声
主	両方とも主音声	
副	両方とも副音声	
主／副	主音声	副音声

第2音声など音声信号が複数ある番組のとき

音声信号の数（最大で第8音声まで）は番組ごとに異なります。また、テレビの両方のスピーカーから選んだ音声が出ます。



ちょっと一言

アナログ録画予約時（☞37ページ）は、録画したい音声をあらかじめ選びます（☞41ページ）。

BSデジタルの音声について

BSデジタル放送には、次のような音声モードがあります。

モノラルモード
通常のニュース放送などに使われています。

ステレオモード
音楽番組などに使われています。
- ステレオ
- ステレオ（高音質モード）：「番組説明」画面（☞13ページ）の右側の番組情報欄で「音声情報」に「圧縮Bモード」と表示されます。

サラウンド
映画などに使われています。
- サラウンド
（表示窓に「5.1CH」と表示されていないとき）
- 5.1chサラウンド
（表示窓に「5.1CH」と表示されているとき）

テレビ（モノラルテレビは除く）のスピーカーで音声を聞くとき

5.1ch（チャンネル）サラウンドなどの音声は、通常のステレオ放送（2ch）に変換されます。
（L：左フロント、R：右フロント、RL：左リア、RR：右リア、C：センター）

「番組説明」画面（☞13ページ）での表示	テレビの左スピーカーの音声	テレビの右スピーカーの音声
モノラル	モノラル	モノラル
ステレオ	ステレオ（L）	ステレオ（R）
圧縮Bモード	ステレオ（L）	ステレオ（R）
3/1サラウンド*1 3/2サラウンド*1 5.1サラウンド*1	ステレオ （L+RL+C）	ステレオ （R+RR+C）

*1 どのサラウンド信号を送信するかは、BS放送局側が決定するため、本機側では好みのサラウンド信号に切り換えられません。

本機後面の音声5.1CH出力端子から出力される信号について（☞128ページ）

「（各種切換）」メニューで、「サラウンド設定」を選び、本機後面の音声5.1CH出力端子から出る音声を「5.1ch」（お買い上げ時の設定）と「4ch」、「2ch」に切り換えられます。

5.1ch（チャンネル）入力対応のオーディオ機器をつないでいるときは

「（各種切換）」メニューで「サラウンド設定」が「5.1ch」（お買い上げ時の設定）になっていることをご確認ください。
下の表のように音声信号が出力されます。

「番組説明」画面（☞13ページ）での表示	本機5.1ch出力端子からの音声信号の有無					
	左フロント	センター	右フロント	左リア	右リア	ウーファー
モノラル	○	×	○	×	×	×
ステレオ	○	×	○	×	×	×
圧縮Bモード	○	×	○	×	×	×
3/1サラウンド*1	○	○	○	└○┘*2		×
3/2サラウンド*1	○	○	○	○	○	×
5.1サラウンド*1	○	○	○	○	○	○

○：音声が出力されている
×：音声が出力されていない

*1 どのサラウンド信号を送信するかは、BS放送局側が決定するため、本機側では好みのサラウンド信号に切り換えられません。
*2 1つのサラウンド信号を左右に振り分けて、左右リアとも同じ音声が出力されます。

次のページにつづく

BSの音声を切り換える
[音声切換ボタン]（つづき）

4ch（チャンネル）入力対応のオーディオ機器をつないでいるときは

「（各種切換）」メニューで「サラウンド設定」を「4ch」に設定してください。
本機後面の音声5.1CH出力端子の左フロント/右フロント/左リア/右リア端子から音声を出力します。サラウンドなどの音声は、センターの信号を左右フロントに振り分けて出力します。
音声5.1CH出力端子のセンター/ウーファー端子には、つなぎません。

「番組説明」画面（☞13ページ）での表示	本機5.1ch出力端子の左フロント/右フロント/左リア/右リア端子からの音声信号の有無			
	左フロント	右フロント	左リア	右リア
モノラル	○	○	×	×
ステレオ	○	○	×	×
圧縮Bモード	○	○	×	×
3/1サラウンド*2	○*1	○*1	○	○
3/2サラウンド*2	○*1	○*1	○	○
5.1サラウンド*2	○*1	○*1	○	○

○：音声が出力されている
×：音声が出力されていない

*1 センターの音声信号を左/右フロントに振り分けて一緒に出力します。
*2 どのサラウンド信号を送信するかは、BS放送局側が決定するため、本機側では好みのサラウンド信号に切り換えられません。

その他のオーディオ機器（2ch入力対応）をつないでいるときは

「（各種切換）」メニューで「サラウンド設定」を「2ch」に設定してください。
すべての音声が通常のステレオ音声（2ch）に変換され、本機後面の音声5.1CH出力端子の左フロント端子と右フロント端子からのみ出力されます。

本機後面の光デジタル音声出力端子から出力される信号について（☞130ページ）

光デジタル入力対応のオーディオ機器に接続すると、BSデジタルの高音質な音声を楽しめます。
「（各種切換）」メニューで、「光デジタル出力」を設定してください。

AACデコーダー内蔵のAVアンプなどをつないでいるときは

「（各種切換）」メニューで、「光デジタル出力」を「オート」に設定してください。
BSデジタルのデジタル音声がAAC音声（BSデジタル放送用音声方式）がそのまま出力されます。

サンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどをつないでいるときは

「（各種切換）」メニューで、「光デジタル出力」を「PCM」（お買い上げ時の設定）に設定してください。
BSデジタルのデジタル音声が、PCM音声（2ch）のデジタル信号に変換されて、本機後面の光デジタル音声出力端子から出力されます。

マルチビュー放送や第2映像などを見る [映像切換ボタン]

マルチビュー放送や第2映像など、映像信号が複数ある番組（☞58ページ）では、見たい映像を選べます。

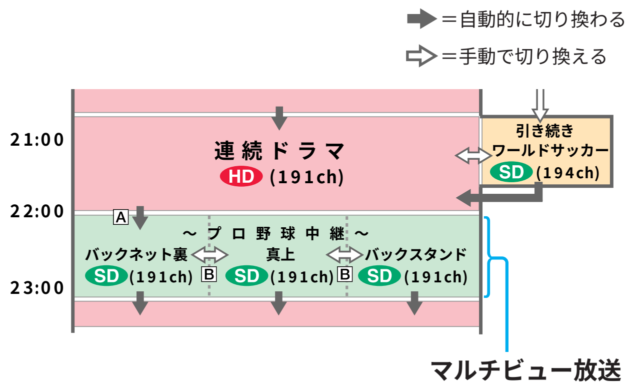
ご注意

マルチビュー放送や第2映像などがないときは切り換わりません。

マルチビュー放送って何？

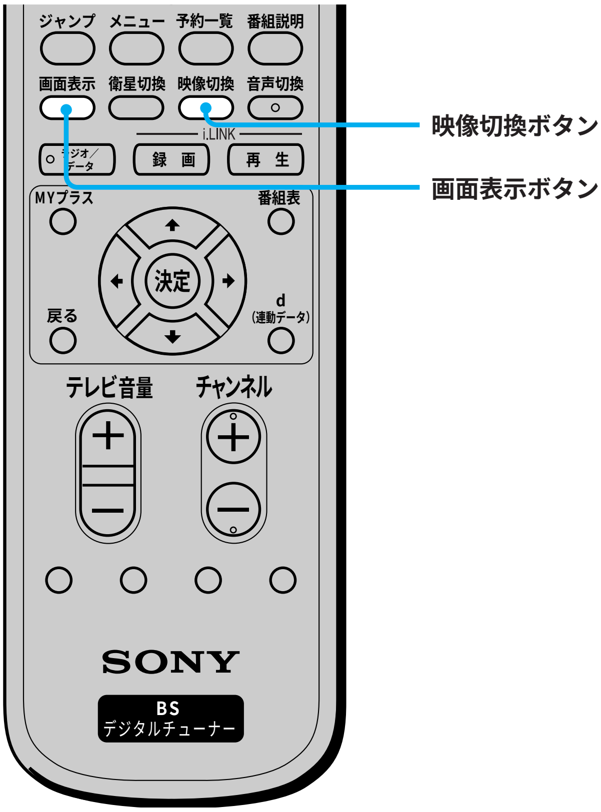
マルチビュー放送とは、生中継の番組などで、最大3つの映像を同じチャンネルで楽しめる放送です。
それぞれのカメラからの映像を、映像切換ボタンで切り換えて見ることができます。

例：プロ野球中継で、3方向（バックネット裏、真上、バックスタンド）からの画面を切り換えて見る



A マルチビュー放送開始
…主画面へ自動的に移行します。

B マルチビュー放送中の選局
…映像切換ボタンで切り換えます。

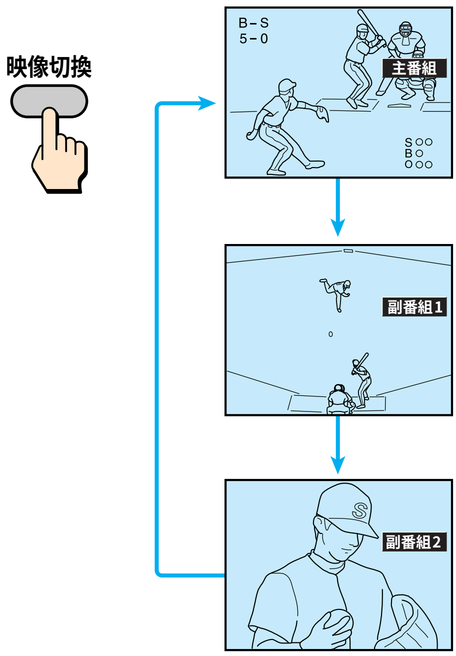


映像切換ボタンを押す。

押すたびに映像と音声が切り換わります。

マルチビュー放送のとき

現在視聴中のBS放送局でマルチビュー放送が始まると、画面右端に「マルチビュー放送中」と数秒間表示されます。



その他のBS操作

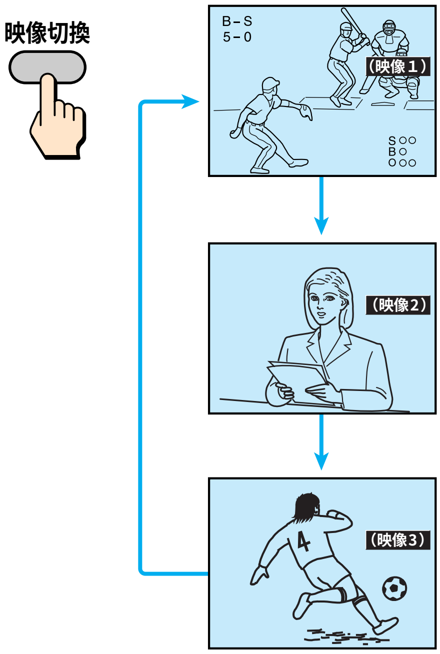
次のページにつづく

マルチビュー放送や第2映像などを見る［映像切換ボタン］（つづき）

マルチビュー放送を行っているか確認するときは、画面表示ボタンを押す。
マルチビュー放送を行っているときは、「主番組」または「副番組1」、「副番組2」と表示されます。
また、以下のときもマルチビュー放送が行われています。
- 「マルチビュー放送中」などと画面に表示されるとき
- 番組表（☞22ページ）でMVが表示されるとき

第2映像など映像信号が複数ある番組のとき

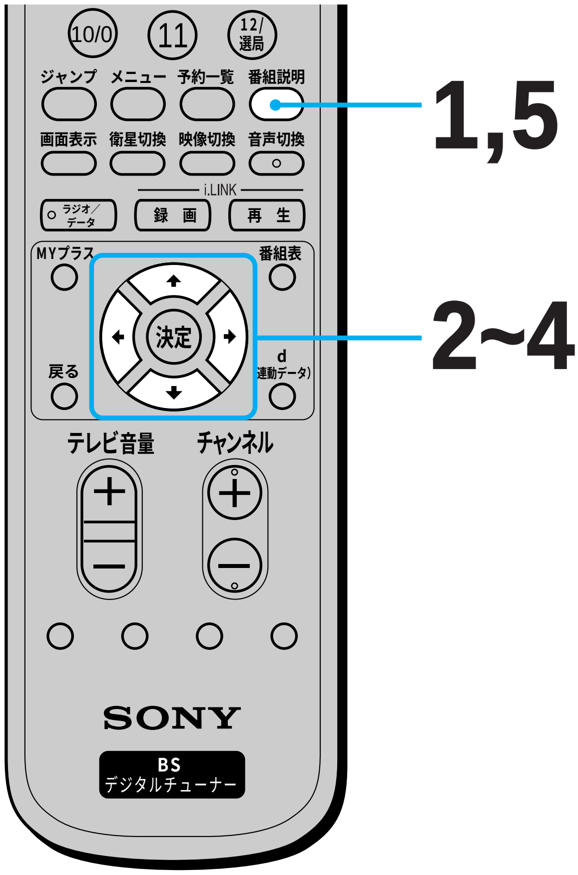
映像信号の数（最大で第4映像まで）は番組ごとに異なります。



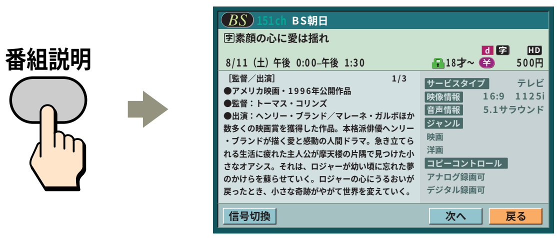
第2映像や第2音声、第2データなどを選ぶ
［信号切換］

番組によっては、第2映像や第2音声、第2データなど複数の映像/音声/データ信号の中から視聴したい信号を選べます。

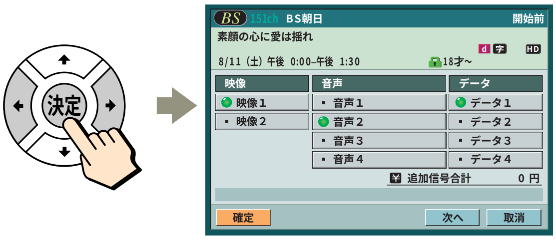
ご注意
- 切り換えられる信号がないときは切り換わりません。
- BS予約の録画実行中は切り換わりません。



1 BSの番組を視聴中に番組説明ボタンを押す。



2 ←/→で「信号切換」を選び、決定ボタンを押す。



3 ↑/↓/←/→で切り換えたい信号を選び、決定ボタンを押す。

選んだ信号（第2映像や第2音声、第2データなど）に切り換わります。

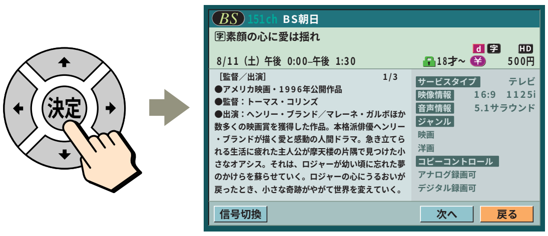
ちょっと一言

最大で表示される信号は、映像が4種類、音声が8種類、データが16種類です。5種類目以降の信号は「次へ」を選ぶと表示されます。



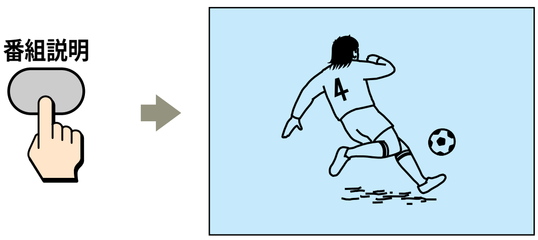
4 ↑/↓/←/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。

「番組説明」画面に戻ります。



5 番組説明ボタンを押す。

視聴中のBS番組に戻ります。



ご注意

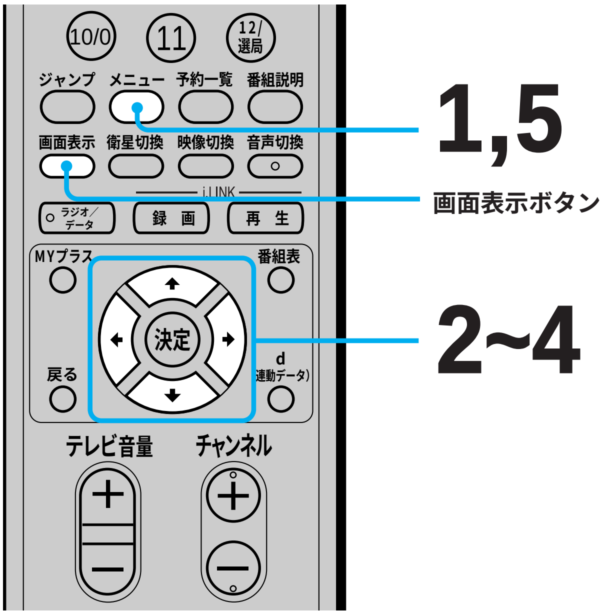
- チャンネルを切り換えたとき（例：第2音声に設定中）は、お買い上げ時の設定（第1音声）に切り換わります。
- 切り換えた信号（例：第2音声に設定したとき）の番組が終了し、次の番組にも同じ信号（この例では第2音声）があるときは引き続き、その信号を受信します。
  次の番組では第2音声が購入対象（¥マークが表示される）になる場合があります。このときは、58～59ページの手順に沿って、他の購入対象でない信号（例えば第1音声）を選んでください（もちろん、第2音声を購入して引き続き視聴することもできます）。
  ただし、次の番組に切り換えた信号がないときには、お買い上げ時の設定（第1音声）に切り換わります。
- 信号を切り換えることにより、購入（¥マークが表示されます）が必要になることがあります（☞15ページ）。

字幕放送を見る

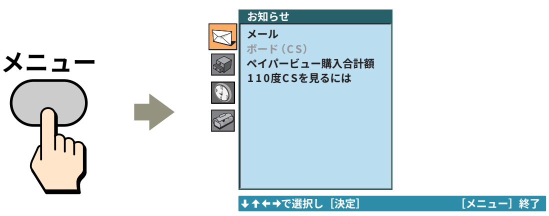
字幕放送は最大2言語の放送が行われます。
字幕放送が行われているときに、お買い上げ時は「第1言語」の字幕が自動的に表示されるように設定されています。
字幕を消したり、字幕の言語を切り換えたりできます。

字幕放送を行っているか確認するときは

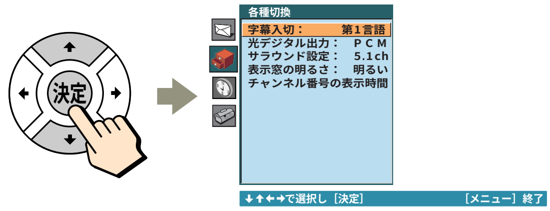
画面表示ボタンを押す。
字幕放送を行っているときは、画面右上に「字幕有」と表示されます。



1 メニューボタンを押す。

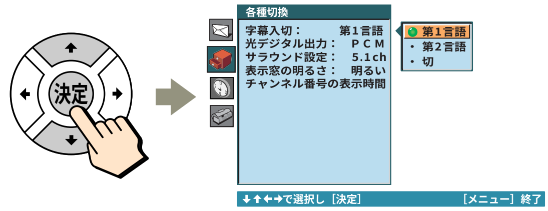


2 ↑/↓で「(各種切換)」を選び、決定ボタンを押す。

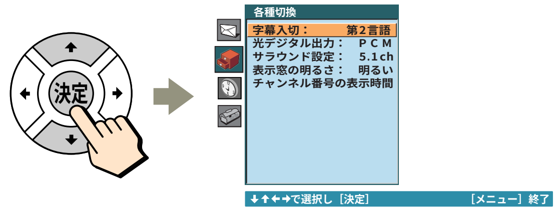


3 「字幕入切」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

選ばれていないときは、↑/↓で選び、決定ボタンを押す。



4 ↑/↓で「第1言語」または「第2言語」、「切」を選び、決定ボタンを押す。



5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

「第1言語」に戻すときは

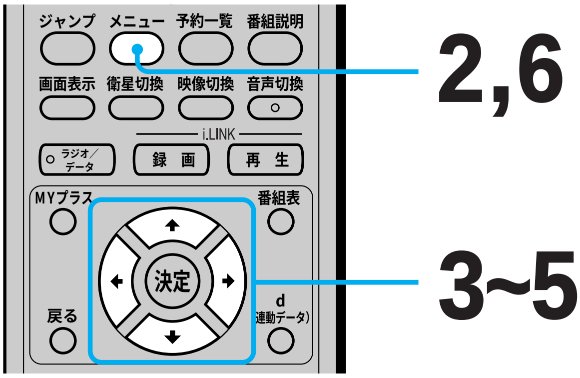
上記の手順4で「第1言語」を選びます。

ご注意

- 「(予約設定)」メニューの「画面表示録画」を「録画しない」に設定したときは、本機のS映像/映像/音声出力端子(ビデオへ)から字幕放送が出力されなくなり、つないだビデオ機器で録画できなくなります。
- メニューで「切」を選んでも、BS放送局側で字幕を消せない設定にしている番組もあります。

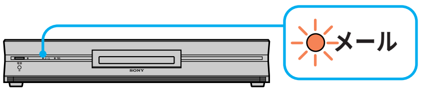
BS放送局からのお知らせを見る

お客様に宛てたBS放送局や本機からのお知らせ（メール）を見ることができます。

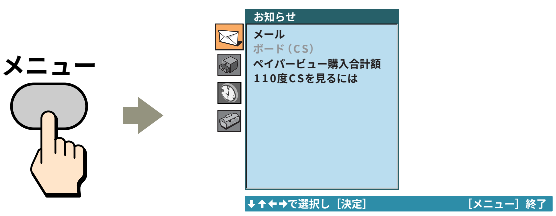


1 本体のメールランプが点灯しているのを確認する。

新しいメールや未読のメールがあるときは、本体前面の「メール」ランプが点灯します。

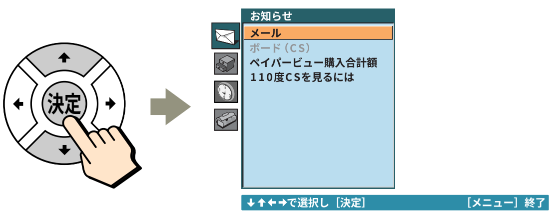


2 メニューボタンを押す。



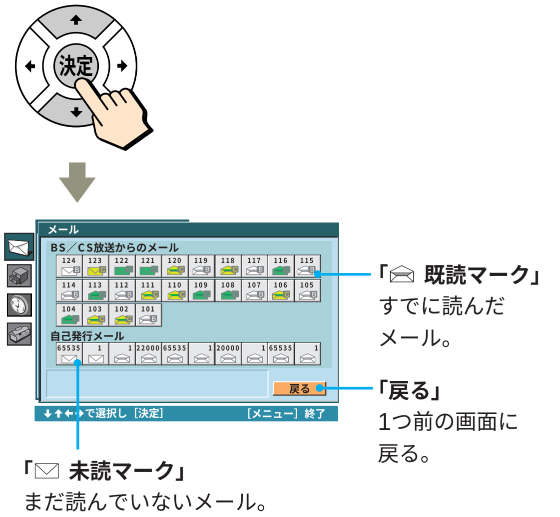
3 「✉（お知らせ）」が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す。

選ばれていないときは、↑/↓で選び、決定ボタンを押す。



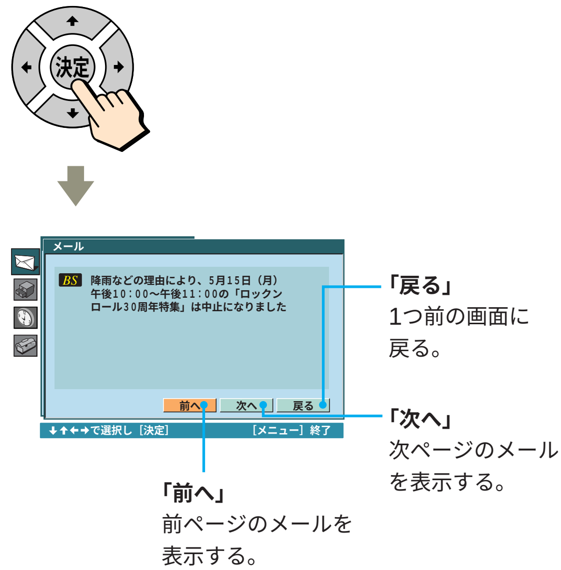
4 ↑/↓で「メール」を選び、決定ボタンを押す。

「BS/CS放送からのメール」は24通まで、「自己発行メール」（本機からのメール）は10通まで一覧表示されます。



- 既読の古いメールから順に削除され、新しいメールを追加します。既読メールがないときは、未読の古いメールから順に削除します。
- メールはお客様自身で削除できません。

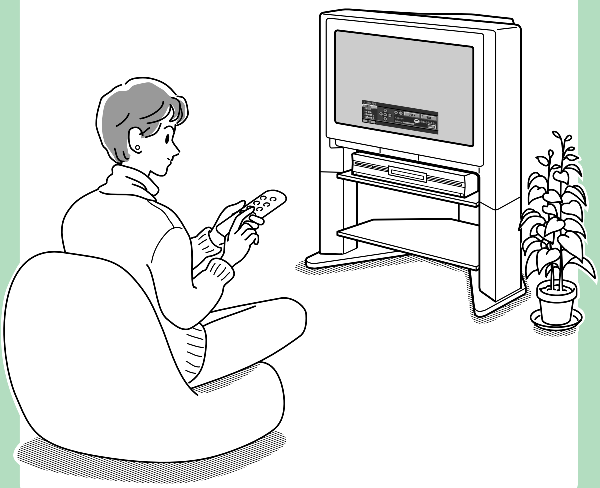
5 ↑/↓/←/→で見たいメールを選び、決定ボタンを押す。



6 読み終えたら、メニューボタンを押して、メニューを消す。

i.LINKで操作する

ここでは、ハードディスクレコーダーVRP-T1や、MICROMV方式デジタルビデオカメラDCR-IP7をi.LINKで操作する方法について説明しています。
本機のi.LINK操作画面を使って、受信中のBSデジタル放送をハードディスクレコーダーVRP-T1にデジタル録画したり、ハードディスクレコーダーVRP-T1や、MICROMV方式デジタルビデオカメラDCR-IP7に録画された映像をデジタル再生したりできます。
あらかじめ、「i.LINKでの接続」（☞116～126ページ）を行ってください。



本機でi.LINK操作できる機器について

本機でi.LINK操作できるi.LINK対応機器

本機では、下記のi.LINK対応機器などを操作できます（2001年9月現在）。

ソニー製ハードディスクレコーダーVRP-T1

ソニー製のデジタル レコーディング ハードディスクドライブ（Digital Recording HDD）のことです。
i.LINK操作画面（☞66、69ページ）では「HDR」と表示されます。
なお、ソニー製ハードディスクレコーダーClip-Onは、i.LINK対応機器でないため、つなげません。

ソニー製MICROMV方式デジタルビデオカメラDCR-IP7

i.LINK操作画面（☞74ページ）では「M-MV」と表示されます。

上記以外のi.LINK対応機器について

- D-VHSデッキなどのi.LINK対応機器は、本機のi.LINK操作画面では操作できません（☞120ページ）。なお、ソニー製D-VHSビデオデッキSLD-DC1（HD録画未対応）も、本機のi.LINK操作画面では操作できません。
- 次のi.LINK対応機器は、本機が対応していないため、つながないでください。
  - DV方式デジタルビデオカメラ
  - パソコン
  - MDデッキ

本機から操作画面でi.LINK接続した機器を簡単操作

ソニー製ハードディスクレコーダーVRP-T1

ハードディスクレコーダーVRP-T1にBSデジタル放送をデジタル録画する（☞64ページ）

「i.LINK録画」操作画面

本機につないだテレビで受信中のBSデジタル画面



ハードディスクレコーダーVRP-T1に録画した番組をデジタル再生する（☞67ページ）

「i.LINK再生」（HDR）操作画面

本機につないだテレビで再生画面を表示



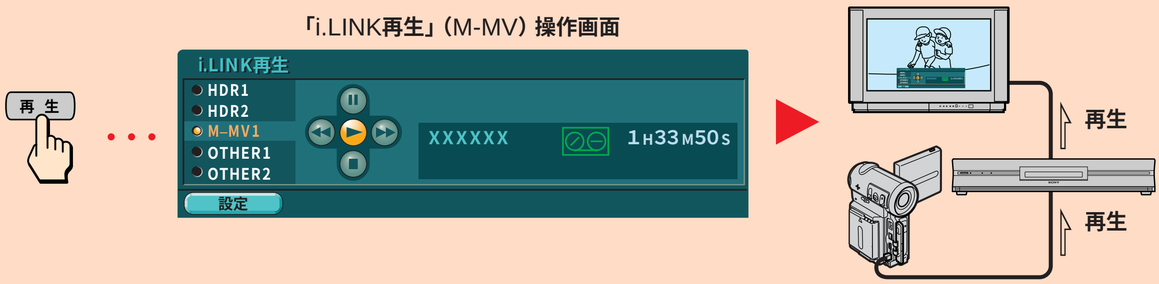
：映像・音声信号の流れ

ソニー製MICROMV方式デジタルビデオカメラ

MICROMV方式デジタルビデオカメラDCR-IP7の映像をデジタル再生する（☞73ページ）

本機につないだテレビで再生画面を表示

「i.LINK再生」（M-MV）操作画面



MICROMV方式デジタルビデオカメラDCR-IP7

：映像・音声信号の流れ

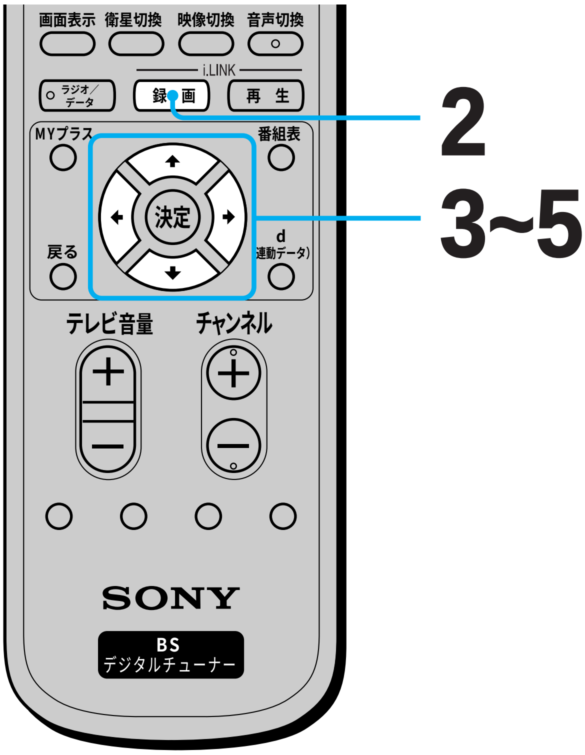
ハードディスクレコーダーVRP-T1をi.LINKで操作する

i.LINK操作画面を使って、本機からハードディスクレコーダーVRP-T1を操作できます。
あらかじめ、ハードディスクレコーダーVRP-T1の接続と設定を行っておいてください（☞118、122ページ）。

ハードディスクレコーダーVRP-T1にBSデジタル放送をデジタル録画する［i.LINK録画ボタン］

「i.LINK録画」操作画面を使って、受信中のBSデジタル放送をハードディスクレコーダーVRP-T1にデジタル録画します。

BSデジタル放送を予約してデジタル録画するときは、☞34ページをご覧ください。

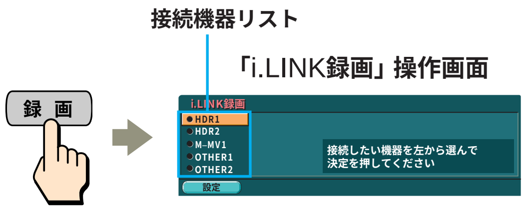


1 録画したいBSデジタルのチャンネルを選ぶ。

- BSテレビのチャンネルを選ぶときは、☞8〜9ページをご覧ください。
- BSラジオのチャンネルを選ぶときは、☞50〜51ページをご覧ください。
- BS独立データのチャンネルを選ぶときは、☞52〜53ページをご覧ください。

2 i.LINK録画ボタンを押す。

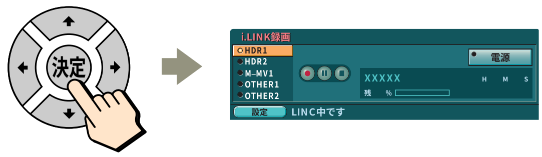
「i.LINK録画」操作画面が表示されて、接続中の機器と接続されたことのある機器が「接続機器リスト」に表示されます。



3 ↑/↓/←/→でLINC*したい（操作したい）「HDR」を1台選び、決定ボタンを押す。

「LINC中です」と表示されて、選んだ「HDR」に●が付きます。

すでにLINC中のときは、メッセージは表示されません。



* LINCについて詳しくは、「i.LINK（アイリンク）について」（☞116〜118ページ）をご覧ください。

「HDR」が表示されないときや、6台以上のi.LINK対応機器をつないでいるときは
登録機器を変更してください（☞122ページ）。

4 LINCしたハードディスクレコーダーVRP-T1の電源を入れる。

操作画面右下にが表示されていないときは

←/→で「電源」ボタンを選び、決定ボタンを押す。



操作画面右下にが表示されているときは

手順5以降を行う。

5 ↑/↓/←/→で「●(録画)」ボタンを選び、決定ボタンを押す。

録画が始まります。



「ディスクがいっぱいです」と表示されたときは

ハードディスクレコーダーVRP-T1に空き容量がありません。不要な番組を削除してください（☞71ページ）。

録画実行中のご注意

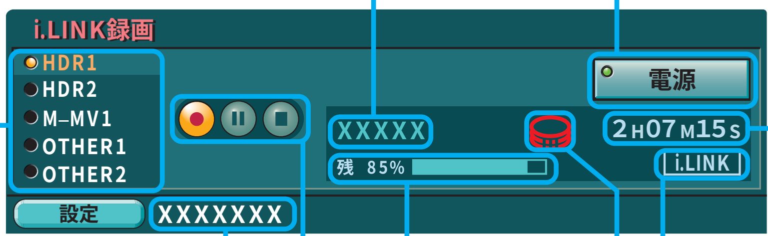
BSの操作（例：BSチャンネル切換、番組表の表示など）はできません。

「i.LINK録画」操作画面を消すときは

もう1度、i.LINK録画ボタンを押す。

次のページにつづく

「i.LINK録画」操作画面について



「電源」ボタン
LINC中のハードディスクレコーダーVRP-T1の電源を入/切します*。電源が入っているときは、左上が緑色に点灯します。

* 本機の電源を切ると、約10分後に自動的にハードディスクレコーダーVRP-T1の電源も切れます。

ハードディスクレコーダーの製品名

接続機器リスト
「HDR」の右の数字は、ハードディスクレコーダーVRP-T1の中で何番目につないだかを示します。

録画経過時間
0H00M00S
時間 分 秒

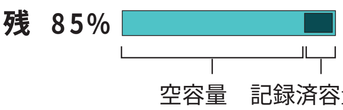
メッセージ表示部

ハードディスクレコーダーVRP-T1の入力がi.LINKになっていることを表示します。

録画操作用のボタン
↑/↓/←/→で選び、決定ボタンを押す。

操作	ボタン
録画	●
録画停止	■
録画一時停止	II

ハードディスクレコーダーVRP-T1の残り容量



ハードディスクレコーダーVRP-T1の状態

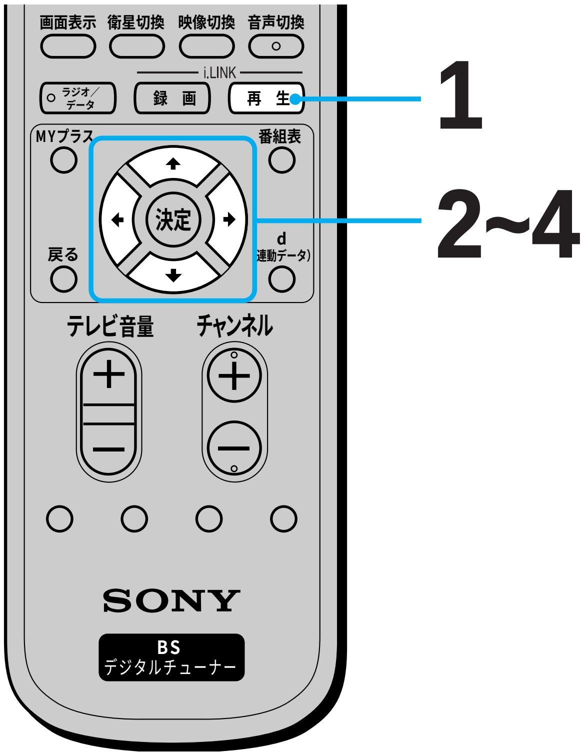
- ：停止時
- （回転）：録画時
- （点滅）：録画一時停止時
- （回転）：再生時
- （点滅）：再生一時停止時
- 表示無し：LINC中のハードディスクレコーダーVRP-T1の電源が切れているとき

ハードディスクレコーダーVRP-T1に録画した番組をデジタル再生する［i.LINK再生ボタン］

「i.LINK再生」（HDR）操作画面を使って、ハードディスクレコーダーVRP-T1に録画した番組をデジタル再生します。

ご注意

BS番組によっては、デジタルで録画できても、録画したデータをさらに録画したり（ダビング）、再生したりするときにはアナログ信号になるものがあります。
放送局が番組とともに、2回目以降の録画を禁止する信号を送っているためです（☞37ページ）。



1 i.LINK再生ボタンを押す。

「i.LINK再生」操作画面が表示されて、接続中の機器と接続されたことのある機器が「接続機器リスト」に表示されます。



2 ↑/↓/←/→でLINC*したい（操作したい）「HDR」を1台選び、決定ボタンを押す。

「LINC中です」と表示されて、選んだ「HDR」に●が付きます。

すでにLINC中のときは、メッセージは表示されません。



* LINCについて詳しくは、「i.LINK（アイリンク）について」（☞116～118ページ）をご覧ください。

「HDR」が表示されないときや、6台以上のi.LINK対応機器をつないでいるときは
登録機器を変更してください（☞122ページ）。

次のページにつづく

ハードディスクレコーダーVRP-T1をi.LINKで操作する（つづき）

3 LINCしたハードディスクレコーダーVRP-T1の電源を入れる。

操作画面右下に が表示されていないときは

←/→で「電源」ボタンを運び、決定ボタンを押す。

「電源」ボタン
電源が入ると左上が緑色に点灯します。



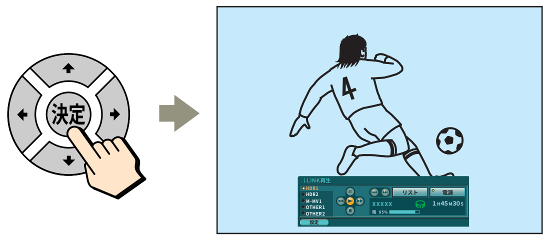
操作画面右下に が表示されているときは

手順4以降を行う。

4 ←/→/↑/↓で「▶（再生）」ボタンを選び、決定ボタンを押す。

再生が始まります。

ちょっと一言
再生中に番組説明ボタンを押すと、「番組説明」画面が表示されます。ただし、「サービスタイプ」や「映像情報」などの番組情報は表示されないことがあります。



「コピープロテクションにより表示できません」と表示されたときは

録画した番組を再生できません。本機のD1/D3/D4映像出力端子、S2映像/映像/音声出力端子（テレビへ）のどちらからも、信号を出力できません。

「コピープロテクションにより解像度を変換しています」と表示されたときは

録画した番組をそのまま再生できません。本機のD1/D3/D4映像出力端子から、現行のテレビ放送（525i）と同等の画質に変換された信号でテレビに出力します。

「i.LINK再生」操作画面を消すときは

もう1度、i.LINK再生ボタンを押す。

「i.LINK再生」（HDR）操作画面について



「リスト」ボタン
LINCしたハードディスクレコーダーVRP-T1に録画された番組のリストを表示します（☞70ページ）。

「電源」ボタン
LINC中のハードディスクレコーダーVRP-T1の電源を入/切します*。電源が入っているときは、左上が緑色に点灯します。

* 本機の電源を切ると、約10分後に自動的にハードディスクレコーダーVRP-T1の電源も切れます。

ハードディスクレコーダーの製品名

接続機器リスト
「HDR」の右の数字は、ハードディスクレコーダーVRP-T1の中で何番目につないだかを示します。

再生経過時間
0H00M00S
時間　分　秒

「設定」ボタン
i.LINK対応機器の登録変更などのときに使います（☞122ページ）。

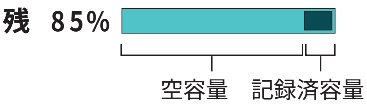
メッセージ表示部

再生操作用のボタン
↑/↓/←/→で選び、決定ボタンを押す。

操作	ボタン
再生	
再生停止	
再生一時停止	
早送り	
早戻し	
次の番組を頭出し	
今の番組を頭出し	*

* くり返し押すと、その前の番組を頭出しします。

ハードディスクレコーダーVRP-T1の残り容量



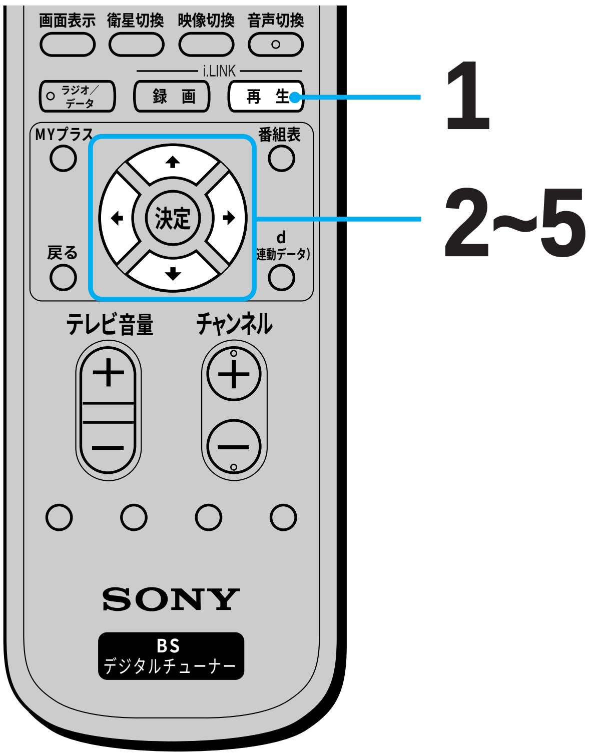
ハードディスクレコーダーVRP-T1の状態

：停止時
（回転）：再生時
（点滅）：再生一時停止時
（回転）：録画時
（点滅）：録画一時停止時
表示無し　：LINC中のハードディスクレコーダーVRP-T1の電源が切れているとき

次のページにつづく

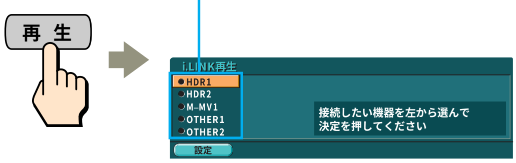
ハードディスクレコーダーVRP-T1に録画した番組のリスト（番組一覧）からデジタル再生する［リスト］

ハードディスクレコーダーVRP-T1の「リスト」画面から、見たい番組を選んで、デジタル再生します。



1 **i.LINK再生ボタンを押す。**
「i.LINK再生」操作画面が表示されて、接続中の機器と接続されたことのある機器が「接続機器リスト」に表示されます。

接続機器リスト



2 **↑/↓/←/→でLINC*したい（操作したい）「HDR」を1台選び、決定ボタンを押す。**
「LINC中です」と表示されて、選んだ「HDR」に●が付きます。
すでにLINC中のときは、メッセージは表示されません。



* LINCについて詳しくは、「i.LINK（アイリンク）について」（☞116～118ページ）をご覧ください。

「HDR」が表示されないときや、6台以上のi.LINK対応機器をつないでいるときは
登録機器を変更してください（☞122ページ）。

3 **LINCしたハードディスクレコーダーVRP-T1の電源を入れる。**

操作画面右下に⊜が表示されていないときは
←/→で「電源」ボタンを選び、決定ボタンを押す。

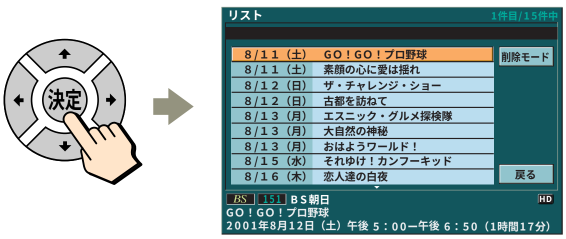
「電源」ボタン
電源が入ると左上が緑色に点灯します。



操作画面右下に⊜が表示されているときは
手順4以降を行う。

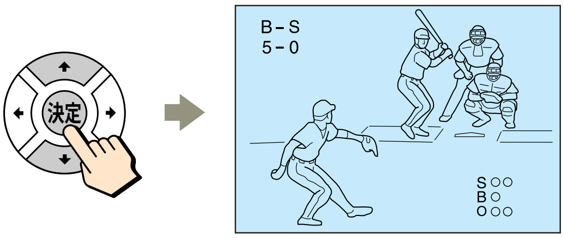
4 **↑/↓/←/→で「リスト」ボタンを選び、決定ボタンを押す。**
「リスト」（番組一覧）画面が表示されます。

「リスト」画面



5 ↑/↓で再生したい番組を選び、決定ボタンを押す。

「リスト」画面が消え、選んだ番組の再生が始まります。



「コピープロテクションにより表示できません」と表示されたときは

録画した番組を再生できません。本機のD1/D3/D4映像出力端子、S2映像/映像/音声出力端子（テレビへ）のどちらからも、信号を出力できません。

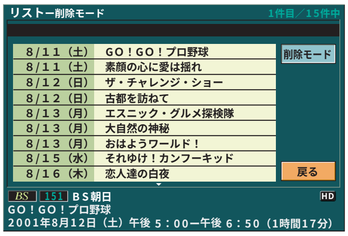
「コピープロテクションにより解像度を変換しています」と表示されたときは

録画した番組をそのまま再生できません。本機のD1/D3/D4映像出力端子から、現行のテレビ放送（525i）と同等の画質に変換された信号でテレビに出力します。

リストから不要な番組を削除するには［削除モード］

1 70ページの手順1〜4を行う。

2 ↑/↓で「削除モード」ボタンを選び、決定ボタンを押す。



3 ↑/↓/←で削除したい番組を選び、決定ボタンを押す。



4 「削除実行」ボタンが選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

リストから番組が削除されます。

5 ↑/↓/→で「戻る」ボタンを選び、決定ボタンを押す。

「i.LINK再生」操作画面に戻ります。

6 i.LINK再生ボタンを押して、「i.LINK再生」操作画面を消す。

次のページにつづく

ハードディスクレコーダーVRP-T1を i.LINKで操作する（つづき）

「リスト」画面について



メッセージ表示部

番組タイトルと録画日
上下に▲/▼があるときは、リモコンの⬆/⬇で前後の番組を見ることができます。

カーソル（選ばれているところ）
黄色で表示され、リモコンの⬆/⬇/⬅/➡で移動できます。

番組情報欄
（カーソル）で選んでいる番組の情報です。

HD ： デジタルハイビジョン信号 HD（☞79ページ）
SD ： 標準テレビ信号 SD（☞79ページ）
🔒 ： 録画時に視聴年齢制限付きだった番組
再生時に暗証番号入力画面は表示されません。

録画件数

「削除モード」ボタン
リストから不要な番組を削除するモードに入ります（☞71ページ）。

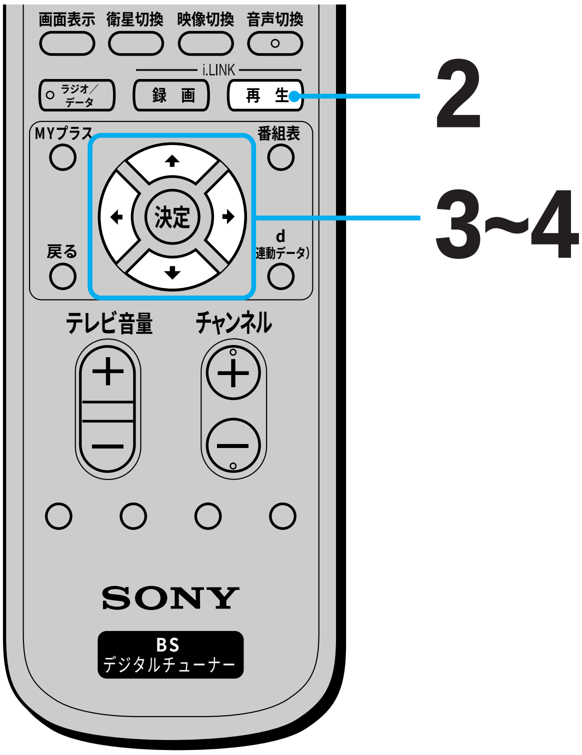
「戻る」ボタン
「i.LINK再生」操作画面に戻ります。

放送年月日　**放送時間**　**実際に録画された時間**

MICROMV方式デジタルビデオカメラの映像をデジタル再生する [i.LINK再生ボタン]

「i.LINK再生」(M-MV) 操作画面を使って、MICROMV方式デジタルビデオカメラDCR-IP7に録画された映像をデジタル再生します。i.LINK操作画面（☞74ページ）では「M-MV」と表示されます。

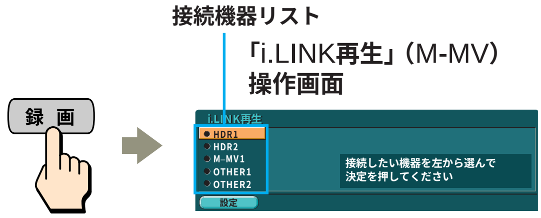
本機で受信中のBSデジタル放送は、i.LINK接続しても、MICROMV方式デジタルビデオカメラにデジタル録画できません。



1 MICROMV方式デジタルビデオカメラの電源スイッチをビデオモードにする。

2 i.LINK再生ボタンを押す。

「i.LINK再生」操作画面が表示されて、接続中の機器と接続されたことのある機器が「接続機器リスト」に表示されます。



3 ↑/↓/←/→でLINC*したい（操作したい）「M-MV」を1台選び、決定ボタンを押す。

「LINC中です」と表示されて、選んだ「M-MV」に●が付きます。



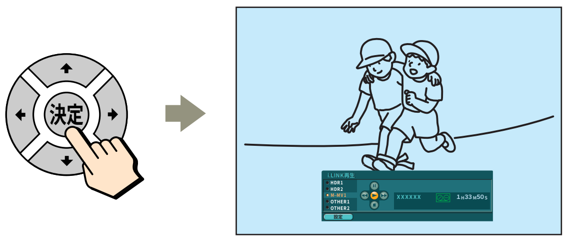
* LINCについて詳しくは、「i.LINK（アイリンク）について」（☞116～118ページ）をご覧ください。

「M-MV」が表示されないときや、6台以上のi.LINK対応機器をつないでいるときは
登録機器を変更してください（☞122ページ）。

▭ が表示されないときは
MICROMV方式デジタルビデオカメラのカセットが正しく入っているかを確認する。

4 ↑/↓/←/→で「▶（再生）」ボタンを選び、決定ボタンを押す。

再生が始まります。

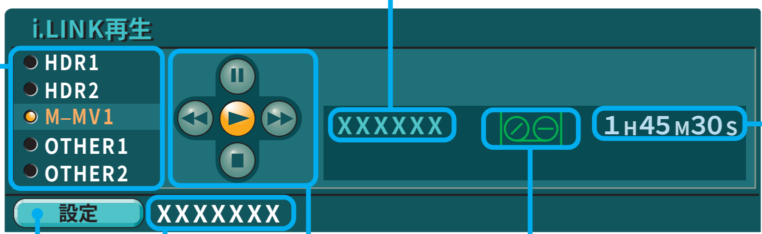


「i.LINK再生」操作画面を消すときは
もう1度、i.LINK再生ボタンを押す。

次のページにつづく

「i.LINK再生」（M-MV）操作画面について

MICROMV方式デジタル
ビデオカメラの製品名



接続機器リスト
「M-MV」の右の数字は、MICROMV方式デジタルビデオカメラの中で何番目につないだかを示します。

「設定」ボタン
i.LINK対応機器の登録変更などのときに使います（☞122ページ）。

メッセージ表示部

再生経過時間
0H00M00S
時間　分　秒

再生操作用のボタン
↑/↓/←/→で選び、決定ボタンを押す。

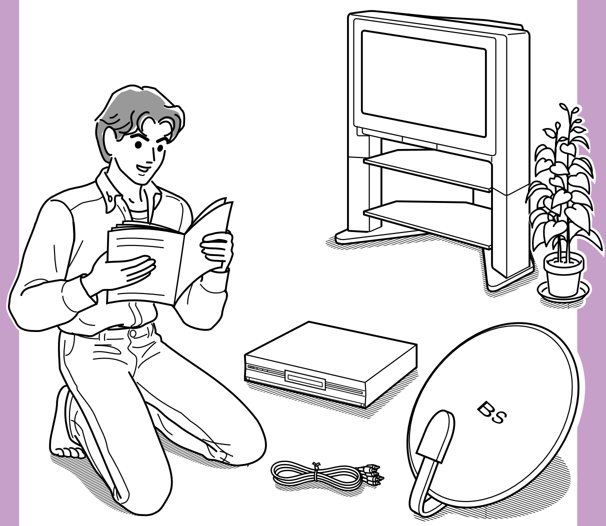
操作	ボタン
再生	
再生停止	
再生一時停止	
早送り再生	（押しこみ続ける）
早戻し再生	（押しこみ続ける）
早送り	（停止中に1度押しこむ）
早戻し	（停止中に1度押しこむ）

MICROMV方式デジタルビデオカメラの状態

- ：停止時
- （回転）：再生時
- （停止）：再生一時停止時
- （高速回転）：早送り再生/早戻し再生時
- （高速回転）：早送り/早戻し時
- ：録画時
  MICROMV方式デジタルビデオカメラで撮影中は、その映像が本機の画面に表示されます。本機のBSデジタル放送を録画しているのではありません。
- ：録画一時停止時
- 表示無し：LINCしているMICROMV方式デジタルビデオカメラの電源が入っていないとき、または、MICROMV方式デジタルビデオカメラにカセットが入っていないとき

接続

ここでは、本機とBSアンテナ、テレビ、ビデオとのつなぎかた、およびテレビに合わせた本機の設定や、BSデジタルを見るための設定などを説明しています。
オーディオ機器などをつなぐときは、☞128ページをご覧ください。

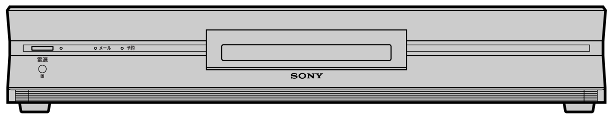


本機の上面に、物を置いたり、布などでふさいだりしないでください。
本機上面と底面には通風孔があります。ふさいでしまうと、内部に熱がこもって本体内部の温度上昇の原因となることがあります。

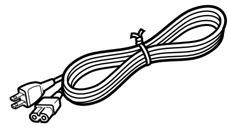
準備1：付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

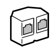
BSデジタルチューナーDST-BX500（1）



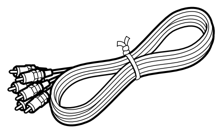
電源コード（1本）



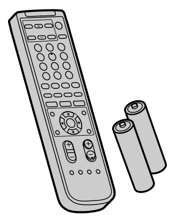
モジュラーテレホンコードカプラー（1個）



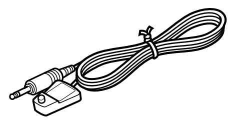
映像/音声コード（1本）



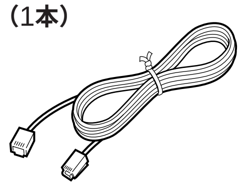
リモコン（1個）、単3型乾電池（2個）



AVマウス（1本）



テレホンコード（10m）（1本）



B-CAS（ビーキャス）カード（BSデジタル用ICカード）（1）と
B-CAS用ユーザー登録はがき台紙（1）

取扱説明書（1）

110度CS操作ガイドブック（1）

簡単操作ガイド（1）

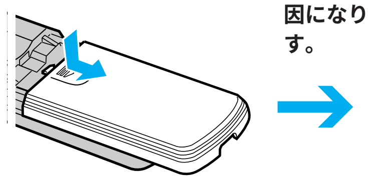
安全のために（1）

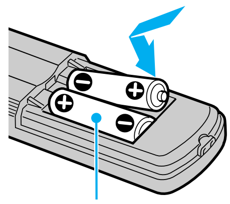
ソニーご相談窓口のご案内（1）

保証書（1）

リモコンに電池を入れるには

必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。無理に入れたり逆に入れたりするとショートの原因になり、発熱することがあります。



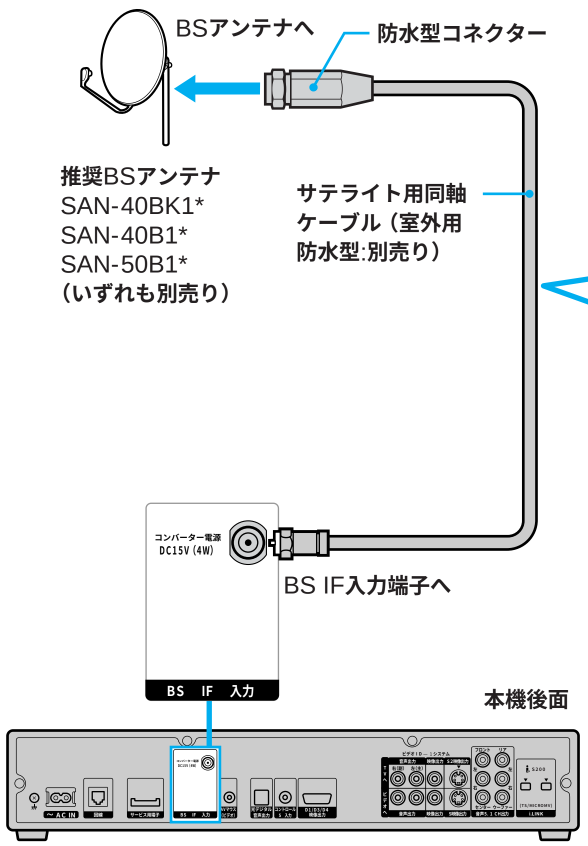


準備2：BSアンテナをつなぐ

BSアンテナを本機に直接つなぎます。BSアンテナの設置には技術が必要なため、お買い上げ店などに依頼することをおすすめします。

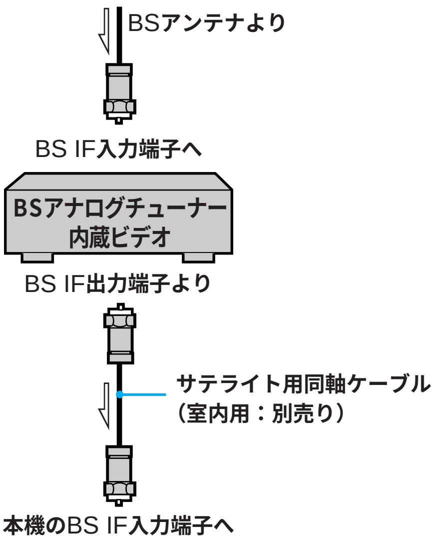
マンションなどの共同受信システムなどVHF/UHF/BS混合のときは、☞78ページをご覧ください。

本機の電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。
BSコンバーター電源のショートを防ぐためにも、下記の手順で接続してください。
①サテライト用同軸ケーブルをつなぐ。
②接続がすべて終わった後に、電源コードをつなぐ。
③本機の電源を入れる。



BSアナログチューナー内蔵ビデオをお持ちのときは

下の接続をすると、ビデオのBSアナログチューナーも使えるため、ビデオでBSアナログを録画しながら、本機で他のBSデジタルを見ることができます。



ご注意

- **BS IF入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブルをつないでください。**BS IF入力端子からはBSアンテナ用の電源（DC 15V）が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。
  推奨ケーブル
  – 室外用防水型：SAK-C10/C20/C30*など
- 次のようなときはBSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
  – お住まいの地域またはBSを送信する放送衛星会社（☞4ページ）の地域が雷雨、強風などの悪天候のとき
  – BSアンテナに雪が付着しているとき
  – 強風などでアンテナの向きが変わったとき（BSアンテナの向きを調整してください。☞97ページ）
- サテライト分配器を使って複数のBS機器をつなぐときは（☞78ページ）、どの端子からも電源を供給するタイプ（別売りEAC-BC2*またはEAC-BC4*など）を必ずお使いください。
- アンテナや分配器、ブースター（増幅器）、および共同受信システムが110度CSデジタル放送に対応していても、お使いのビデオによっては110度CSデジタル放送を受信できないことがあります。

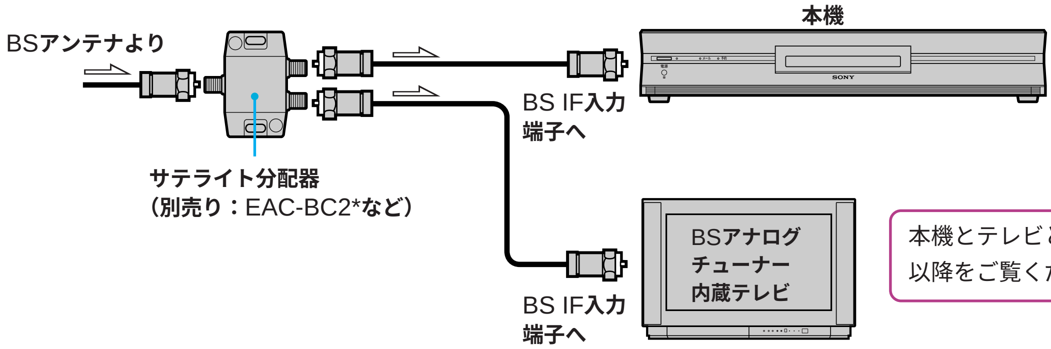
* 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

すでにBSアナログ放送をご覧いただいているときは

お持ちのBSアンテナの向きを変えることなく、そのままBSデジタルもBSアナログもそれぞれに対応したBSチューナーで受信できます。
ただし、一部のBSアンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないこともあります。受信状況が悪い場合は、BSアンテナ製造元のお客様窓口や、BSアンテナを購入した電気店などにお問い合わせください。

BSアナログチューナー内蔵テレビをお持ちのときは

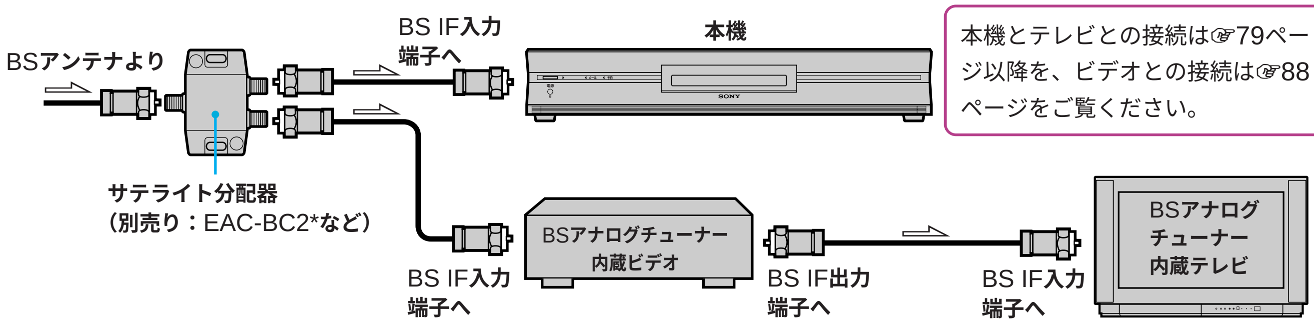
別売りのサテライト分配器EAC-BC2*などを使うと、テレビでBSアナログを受信できます。



本機とテレビとの接続は、☞79ページ以降をご覧ください。

BSアナログチューナー内蔵ビデオとBSアナログチューナー内蔵テレビの両方をお持ちのときは

別売りのサテライト分配器EAC-BC2*などを使うと、ビデオとテレビでBSアナログを受信できます。



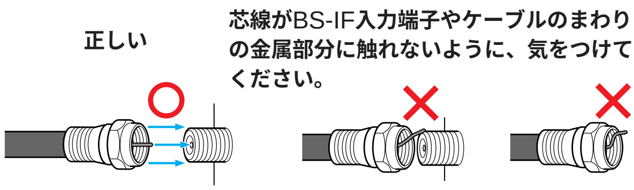
本機とテレビとの接続は☞79ページ以降を、ビデオとの接続は☞88ページをご覧ください。

「取扱説明書をご覧いただき、BSアンテナ電源（コンバーター電源）を確認してください」という表示が出たら

「（初期設定）」メニューの「衛星設定」で、「衛星アンテナ設定」が自動的に「切」になります。

1 **いったん本機の電源を切る。**

2 **サテライト用同軸ケーブルの芯線が、BS IF端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか、またはショートしていないか確認してください。**



3 **再び電源を入れた後、「（初期設定）」メニューの「衛星設定」で、「衛星アンテナ設定」を「入」または「オート」に設定する（☞96ページ）。**

* 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

次のページにつづく

準備2：BSアンテナをつなぐ（つづき）

ちょっと一言

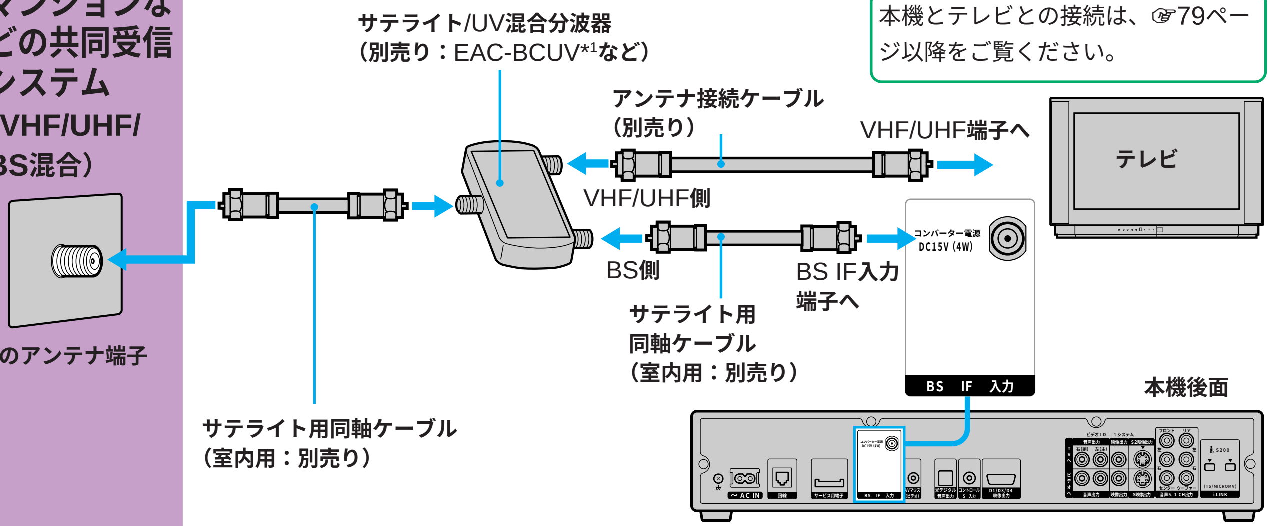
マンションなどの共同受信システムで、BS放送のアンテナレベルが低いときは、サテライトブースターをつなぐなど、信号の流れを見直す必要があります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に確認してください。

マンションなどの共同受信システムのときは

壁のアンテナ端子ひとつでBS放送とテレビ放送を受信できる共同受信システムのときは、下の接続図のように、BS放送とテレビ放送を分波して接続してください。
また、「(初期設定)」メニューの「衛星設定」で「衛星アンテナ設定」を「切」にしてください（☞96ページ）。

マンションなどの共同受信システム（VHF/UHF/BS混合）

本機とテレビとの接続は、☞79ページ以降をご覧ください。



BSアナログチューナー内蔵テレビやBSアナログチューナー内蔵ビデオをお持ちのときは

☞77ページをご覧になり、お持ちの機器に合わせて、サテライト分配器で信号を分けて、機器をつないでください。

*1 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

デジタルCS放送*2を含めた共同受信システムのときは

お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に、共同受信システム方式を確認して、その指示に従って、接続および受信方法の設定（☞96ページ）を行ってください。

*2 2001年9月現在放送されているスカイパーフェクTV!のことです。110度CS放送ではありません。

110度CSデジタル放送を受信するには

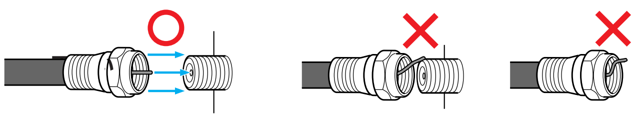
110度CSデジタル放送にアンテナや分配器、ブースター（増幅器）、および共同受信システムが対応していれば、110度CSデジタル放送を受信できます。詳しくは、同梱の「110度CS操作ガイドブック」をご覧ください。

「取扱説明書をご覧いただき、BSアンテナ電源（コンバーター電源）を確認してください」という表示が出たら

「(初期設定)」メニューの「衛星設定」で、「衛星アンテナ設定」が自動的に「切」になります。
以下の操作をしてください。

1 いったん本機の電源を切る。

2 同軸ケーブルやアンテナコネクターの芯線などがショートしていないか確認する。



芯線がBS-IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れないように、気をつけてください。

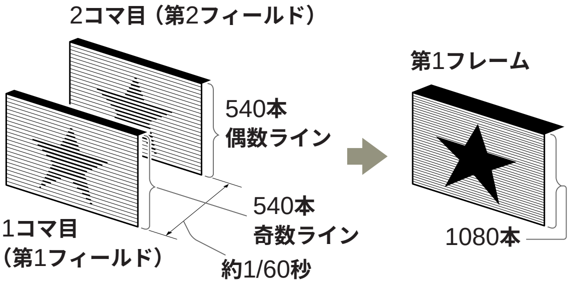
準備3：テレビをつなぐ

本機の上面に、物を置いたり、布などでふさいだりしないでください。
本機上面と底面には通風孔があります。ふさいでしまうと、内部に熱がこもって本体内部の温度上昇の原因となることがあります。

BSデジタルの画質について

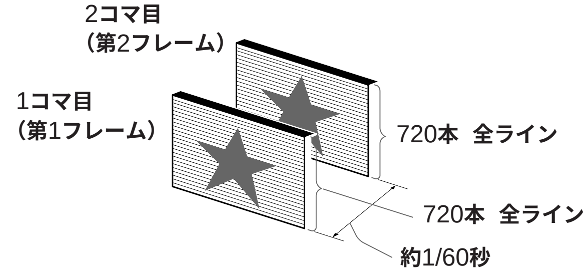
BSデジタルには、高画質のデジタルハイビジョン信号HDと、テレビ（地上波）と同等の画質の標準テレビ信号SDの2種類があります。それぞれの放送に2つずつ、以下のように**全部で4種類の画像方式があります**。本機は、すべての画像方式を受信できます。
お手持ちのテレビの種類によって、本機からテレビに出力する画像方式を切り換える必要があります。お手持ちのテレビに合わせたつなぎかたや、本機の設定については、「テレビのつなぎかたを選ぶ」（☞80ページ）をご覧ください。

1125i（1080i）のデジタルハイビジョン信号 HD



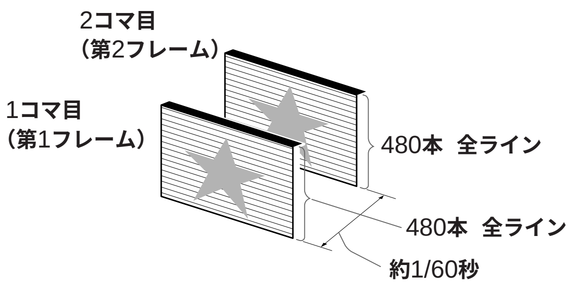
1125本（1080本）の走査線*を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（飛び越し走査：インターレース方式*）の画像方式。

750p（720p）のデジタルハイビジョン信号 HD



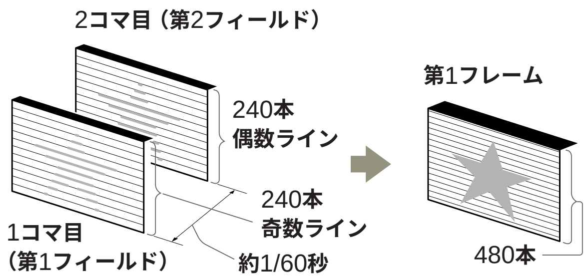
750本（720本）全部の走査線を順番どおりに描く（順次走査：プログレッシブ方式*）の画像方式。画面や文字のちらつきが少ないため、静止画放送に適しています。

525p（480p）の標準テレビ信号 SD



525本（480本）全部の走査線を順番どおりに描く（プログレッシブ方式*）の画像方式。画面や文字のちらつきが少なくなります。

525i（480i）の標準テレビ信号 SD



525本（480本）の走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（インターレース方式*）の画像方式。テレビ（地上波）放送やBSアナログ放送と同等の解像度です。

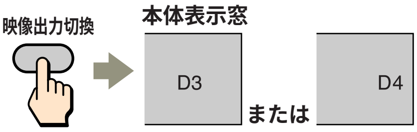
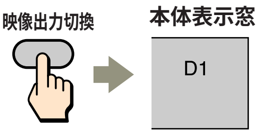
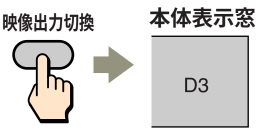
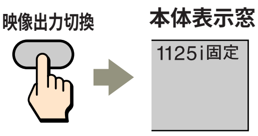
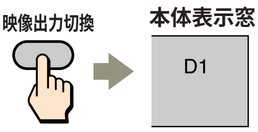
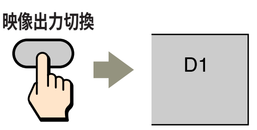
iはインターレース（飛び越し走査）、pはプログレッシブ（順次走査）の略。（　）内は有効走査線数*で数えたときの別称です。
* の詳しい説明は、用語集（☞142～143ページ）をご覧ください。

次のページにつづく

準備3：テレビをつなぐ（つづき）

テレビのつなぎかたを選ぶ

お手持ちのテレビの映像入力端子によって
ー 本機とテレビのつなぎかた
ー 本機前面の映像出力切換（D1/D3/D4/1125i固定）の設定
の2つがそれぞれ異なります。
よりよい画質でお楽しみいただくために、お手持ちのテレビのタイプに合わせて、本機とつないでください。
なお、テレビがA～Fのどのタイプか分からないときは、テレビのメーカーのお客様窓口またはテレビのお買い上げ店にお問い合わせください。

ステップ1： **テレビの映像入力端子を調べて、テレビのつなぎかたを、タイプA ～F から選ぶ。**	**ステップ2：** **本機前面の映像出力切換ボタンを設定する。** （お買い上げ時は「D3」に設定されています） 本機後面のD1/D3/D4映像出力端子から出力する信号を設定します。	**ステップ3：** **テレビをつなぐ。** つなぎかたについて詳しくは、下記のページをご覧ください。
A D4またはD3**映像入力端子**があるとき	テレビのD映像入力端子と同じ**「D4」または「D3」**を表示させる。 	別売りのD端子ケーブル[1] でつなぎます。テレビのD端子の種類によって画質は異なります。 A ☞81～82ページ
B D2またはD1[2] **映像入力端子**があるとき	「D1」を表示させる。 	別売りのD端子ケーブル[1] でデジタルハイビジョン信号HDも標準テレビ信号SDも、すべて525iに変換して気軽に楽しめます。 B ☞83ページ
C HD/DVD入力端子（Y P_B/C_B P_R/C_R）があるハイビジョンテレビなどのとき	「D3」を表示させる。 	別売りのD端子ピンケーブル[1] でデジタルハイビジョン信号HDも標準テレビ信号SDも、オリジナル画像を生かした高画質のまま楽しめます。 C ☞84ページ
D ハイビジョン入力専用のコンポーネント入力端子（Y/P_B/P_R）があるハイビジョンテレビなどのとき[3]	**「1125i固定」**を表示させる。 	別売りのD端子ピンケーブル[1] で1125iのデジタルハイビジョン信号HDはオリジナル映像を生かした高画質のまま、その他の放送もすべて1125iに変換して気軽に楽しめます。 D ☞85ページ
E DVD入力端子（Y/C_B/C_R）があるとき	「D1」を表示させる。 	別売りのD端子ピンケーブル[1] でデジタルハイビジョン信号HDも標準テレビ信号SDも、すべて525iに変換して気軽に楽しめます。 E ☞86ページ
F **S映像入力端子**または**映像入力端子**しかないテレビのとき	「D1」を表示させる。 	付属の映像/音声コードでデジタルハイビジョン信号HDも標準テレビ信号SDも、すべて525iに変換して気軽に楽しめます。 F ☞87ページ

[1] 別売りのD端子ケーブルやD端子ピンケーブルがなくても、付属の映像/音声コードを使って、お手持ちのテレビの映像入力端子につなげます。
「F S映像入力端子または映像入力端子しかないテレビのとき」（☞87ページ）をご覧になり、テレビをつないでください。

[2] D1映像入力端子があるソニー製テレビには、DVD入力（Y/CB/CR）端子も備えているものがあります。このときは、D1映像入力端子につないでください。

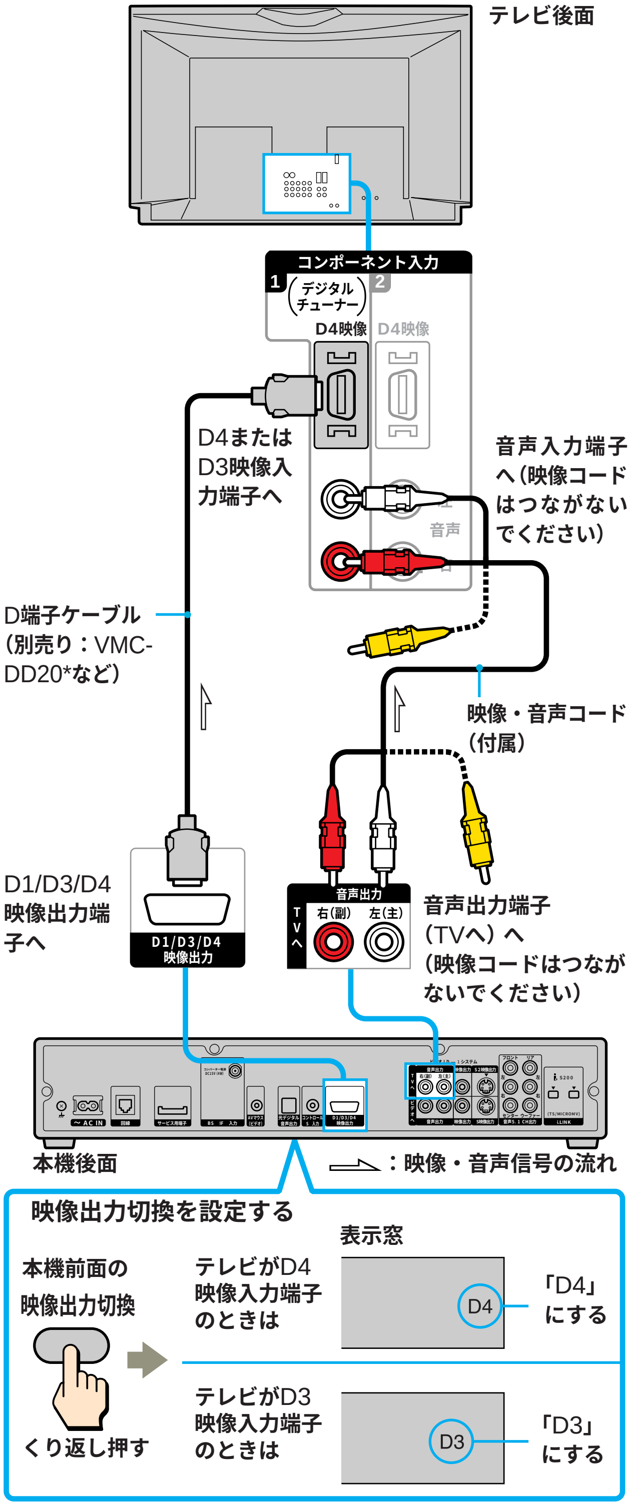
[3] 該当するソニー製テレビの型名は、☞85ページをご覧ください。

ご注意

- 本機後面のS2映像/映像/音声出力端子（TVへ）とS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）からの信号は、映像出力切換の設定に関係なく、つねに525i（480i）の標準テレビ信号 SD に変換されて出力されます。
- ビデオ一体型テレビをモニターとして本機とつないで視聴すると、テレビによってコピープロテクションが付いた番組が映らないことがあります。このときは、本機をビデオ一体型テレビのテレビ側の入力端子に直接つないでください。なお、ビデオ側の入力端子しかないテレビでは、コピープロテクションの付いた番組は視聴できません。

テレビをつないで本機の映像出力切換の設定をする

A テレビにD4またはD3映像入力端子があるとき



* 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

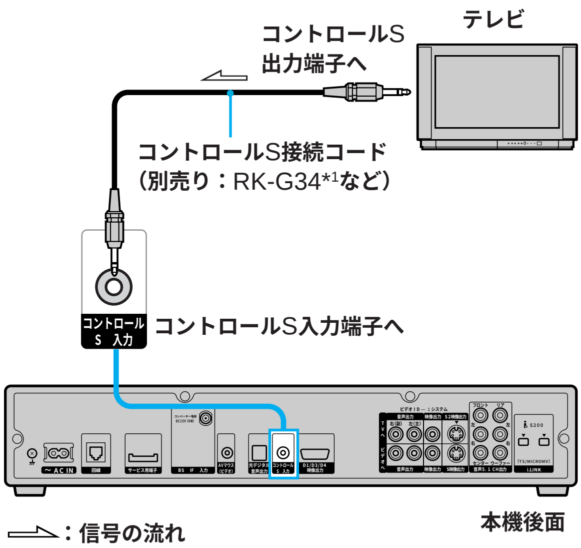
次のページにつづく

BSデジタルを見るときは

テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「コンポーネント」など）に切り換える。詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

コントロールS出力端子付きのソニー製テレビをお持ちのときは

別売りのコントロールS接続コード（RK-G34*1など）を使って、本機のコントロールS入力端子と、テレビのコントロールS出力端子をつないでください。
本機のリモコンをテレビに向けて、本機を操作できます。
ただし、テレビの主電源が入っていない（スタンバイ/オフタイマーランプが点灯していない）ときは、本機に向けて操作してください。



テレビによっては、テレビのリモコンで本機を操作できます。詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

*1 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

テレビに出力される信号について

テレビのD映像入力端子の種類と、それに合わせた本機の映像出力切換の設定によって異なります。

テレビがD4映像入力端子で、本機表示窓も「D4」と点灯しているとき

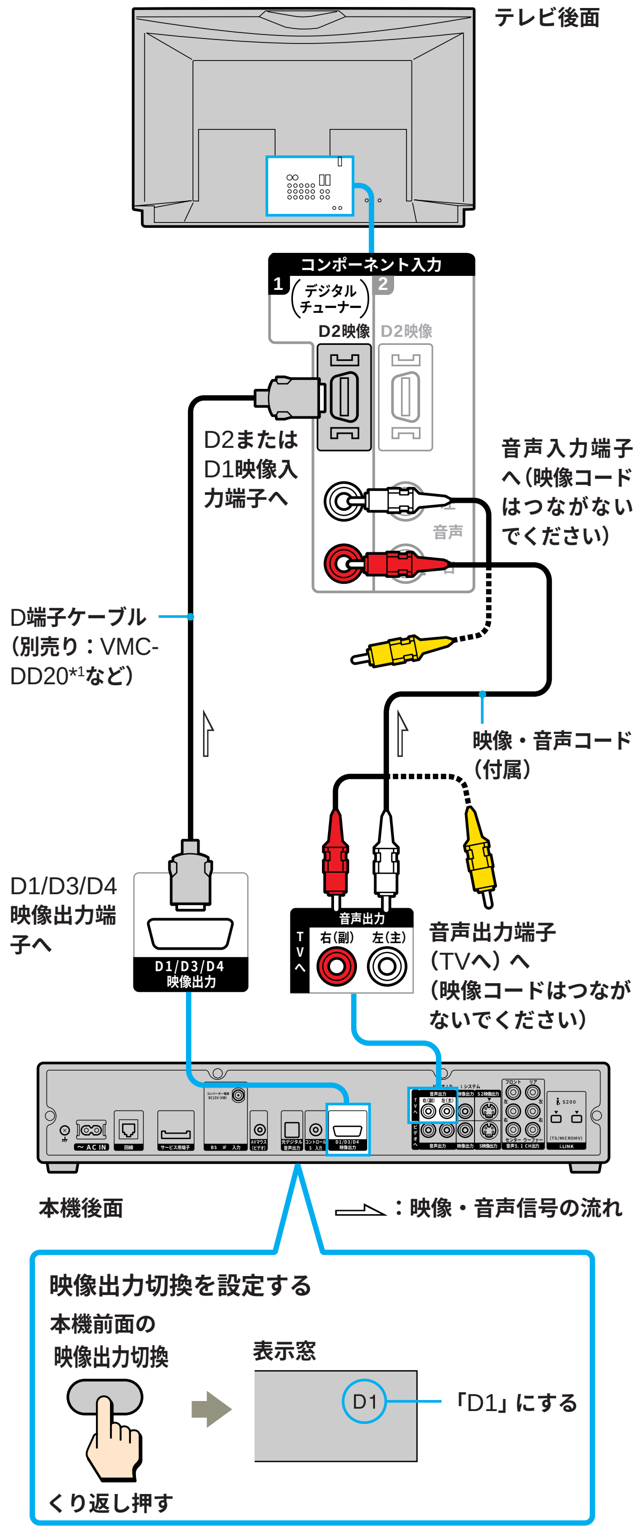
	本機が受信するBSデジタル信号		本機後面のD1/D3/D4映像出力端子からテレビに出力する信号*2
HD デジタルハイビジョン信号	HD (750p)	→	HD (750p)
	HD (1125i)	→	HD (1125i)
SD 標準テレビ信号	SD (525p)	→	SD (525p)
	SD (525i)	→	SD (525i)

テレビがD3映像入力端子で、本機表示窓も「D3」と点灯しているとき

	本機が受信するBSデジタル信号		本機後面のD1/D3/D4映像出力端子からテレビに出力する信号*2
HD デジタルハイビジョン信号	HD (750p)	→	HD (1125i)
	HD (1125i)	→	HD (1125i)
SD 標準テレビ信号	SD (525p)	→	SD (525p)
	SD (525i)	→	SD (525i)

*2 本機後面のS2映像/映像/音声出力端子（TVへ）とS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）からの信号は、映像出力切換の設定に関係なく、つねに525i（480i）の標準テレビ信号 SD に変換されて出力されます。

B テレビにD2またはD1映像入力端子があるとき



*1 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

BSデジタルを見るときは

テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「コンポーネント」など）に切り換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

テレビに出力される信号について
テレビがD2またはD1映像入力端子で、本機表示窓に「D1」と点灯しているとき

	本機が受信するBSデジタル信号	本機後面のD1/D3/D4映像出力端子からテレビに出力する信号*2
HD デジタルハイビジョン信号	HD（750p）	SD（525i）
	HD（1125i）	SD（525i）
SD 標準テレビ信号	SD（525p）	SD（525i）
	SD（525i）	SD（525i）

*2 本機後面のS2映像/映像/音声出力端子（TVへ）とS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）からの信号は、映像出力切換の設定に関係なく、つねに525i（480i）の標準テレビ信号 SD に変換されて出力されます。

ちょっと一言

D1映像入力端子があるソニー製テレビには、DVD入力（Y/CB/CR）端子も備えているものがあります。このときは、D1映像入力端子につないでください。

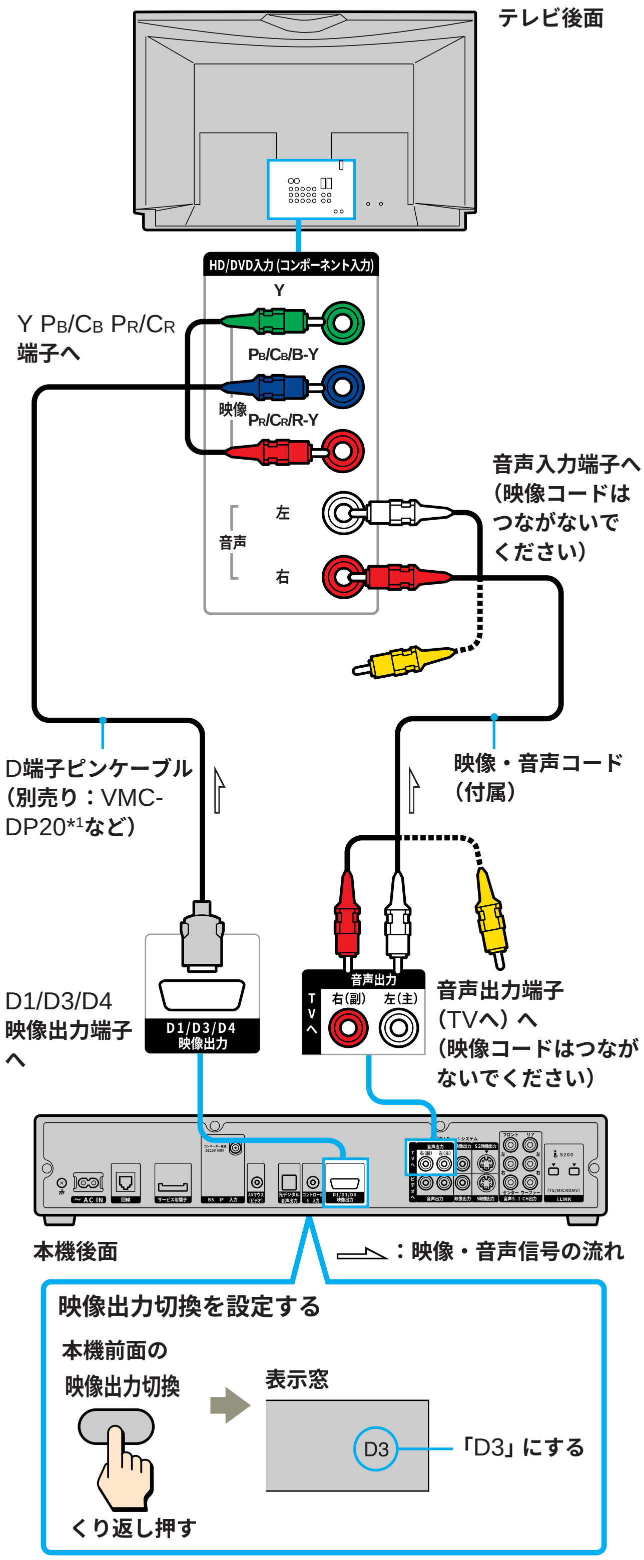
コントロールS出力端子付きのソニー製テレビをお持ちのときは

☞82ページをご覧ください。

次のページにつづく

準備3：テレビをつなぐ（つづき）

C HD/DVD入力端子（Y PB/CB PR/CR）があるハイビジョンテレビなどのとき



*1 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

BSデジタルを見るときは

テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「HD/DVD」や「コンポーネント」など）に切り換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

テレビに出力される信号について

	本機が受信するBSデジタル信号		本機後面のD1/D3/D4映像出力端子からテレビに出力する信号*2
HD デジタルハイビジョン信号	HD (750p)	→	HD (1125i)
	HD (1125i)	→	HD (1125i)
SD 標準テレビ信号	SD (525p)	→	SD (525p)
	SD (525i)	→	SD (525i)

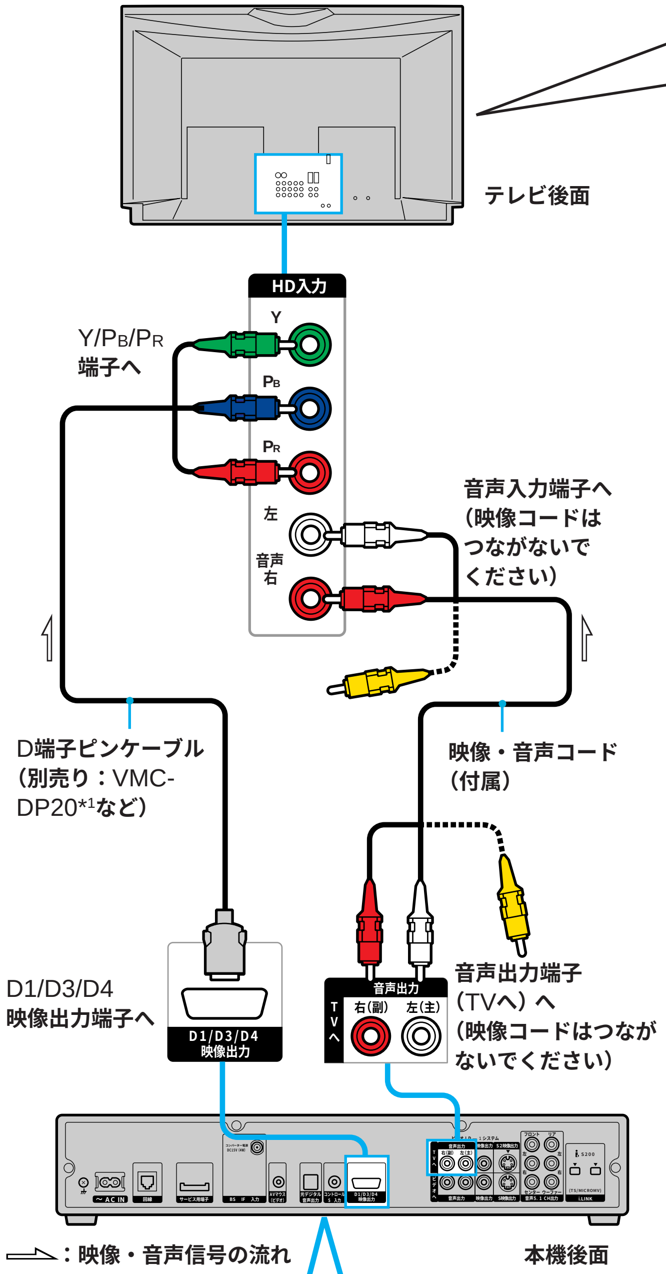
*2 本機後面のS2映像/映像/音声出力端子（TVへ）とS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）からの信号は、映像出力切換の設定に関係なく、つねに525i（480i）の標準テレビ信号 SD に変換されて出力されます。

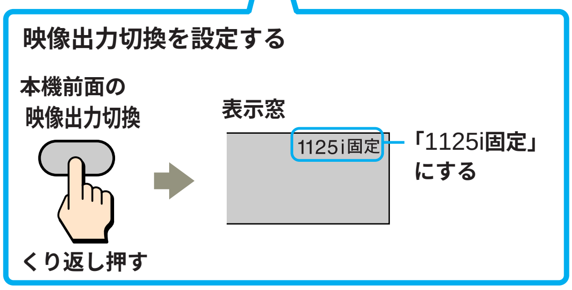
コントロールS出力端子付きのソニー製テレビをお持ちのときは

☞82ページをご覧ください。

D ハイビジョン入力専用のコンポーネント入力端子（Y/PB/PR）があるハイビジョンテレビなどのとき

該当するソニー製テレビは下記です。
- ハイビジョンテレビ（96年以前発売の下記モデル）：KW-28HD1、KW-28HD2、KW-28HD5、KW-32HD1、KW-32HD5、KW-2810HD、KW-3200HD、KW-3210HD、KW-3220HD
- モニター：KX-32HV50





*1 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

BSデジタルを見るときは

テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「HD/DVD」や「コンポーネント」など）に切り換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

テレビに出力される信号について

	本機が受信するBSデジタル信号	本機後面のD1/D3/D4映像出力端子からテレビに出力する信号*2
HD デジタルハイビジョン信号	HD (750p)	HD (1125i)
	HD (1125i)	
SD 標準テレビ信号	SD (525p)	
	SD (525i)	

*2 本機後面のS2映像/映像/音声出力端子（TVへ）とS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）からの信号は、映像出力切換の設定に関係なく、つねに525i（480i）の標準テレビ放送 SD に変換されて出力されます。

コントロールS出力端子付きのソニー製テレビをお持ちのときは

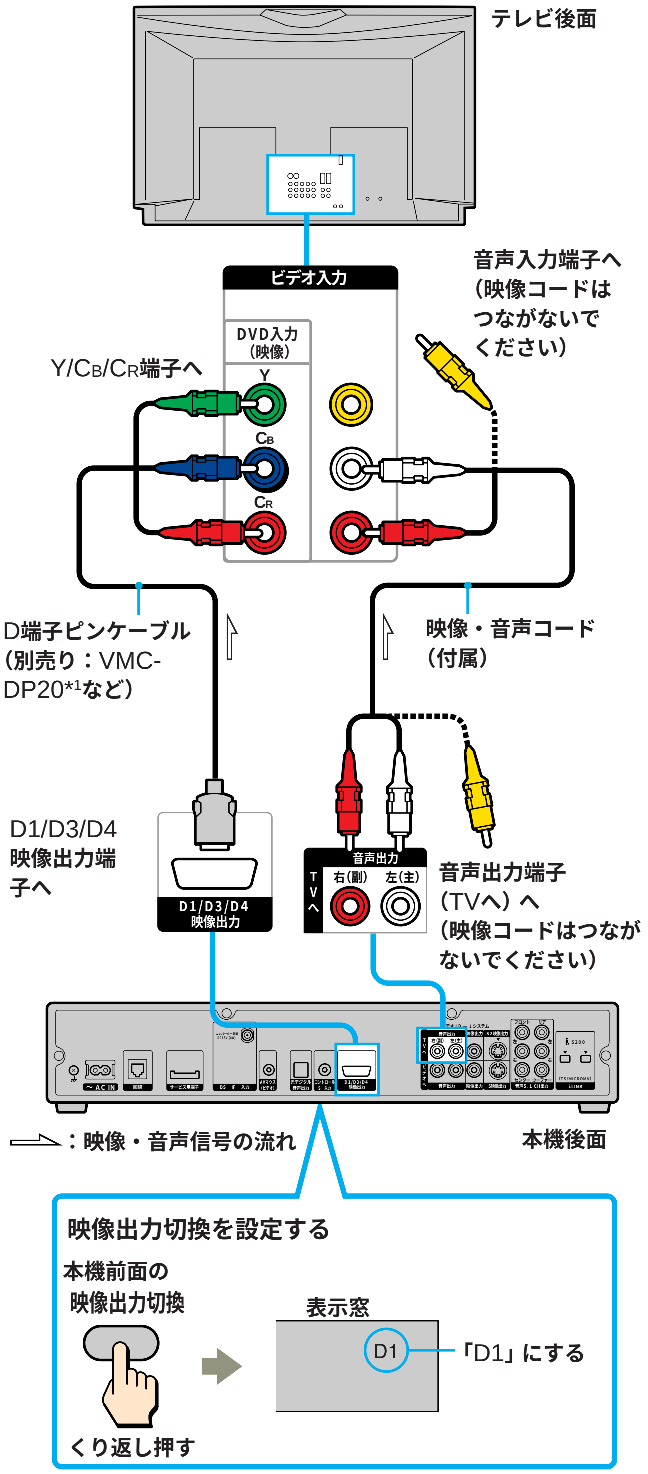
☞82ページをご覧ください。

次のページにつづく

準備3：テレビをつなぐ（つづき）

E　DVD入力端子（Y/CB/CR）があるとき

ちょっと一言
DVD入力端子（Y/CB/CR）があるソニー製テレビには、D1映像端子も備えているものがあります。このときは、D1映像入力端子につないでください。



*1 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

BSデジタルを見るときは

テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「DVD入力」や「ビデオ入力」など）に切り換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

テレビに出力される信号について

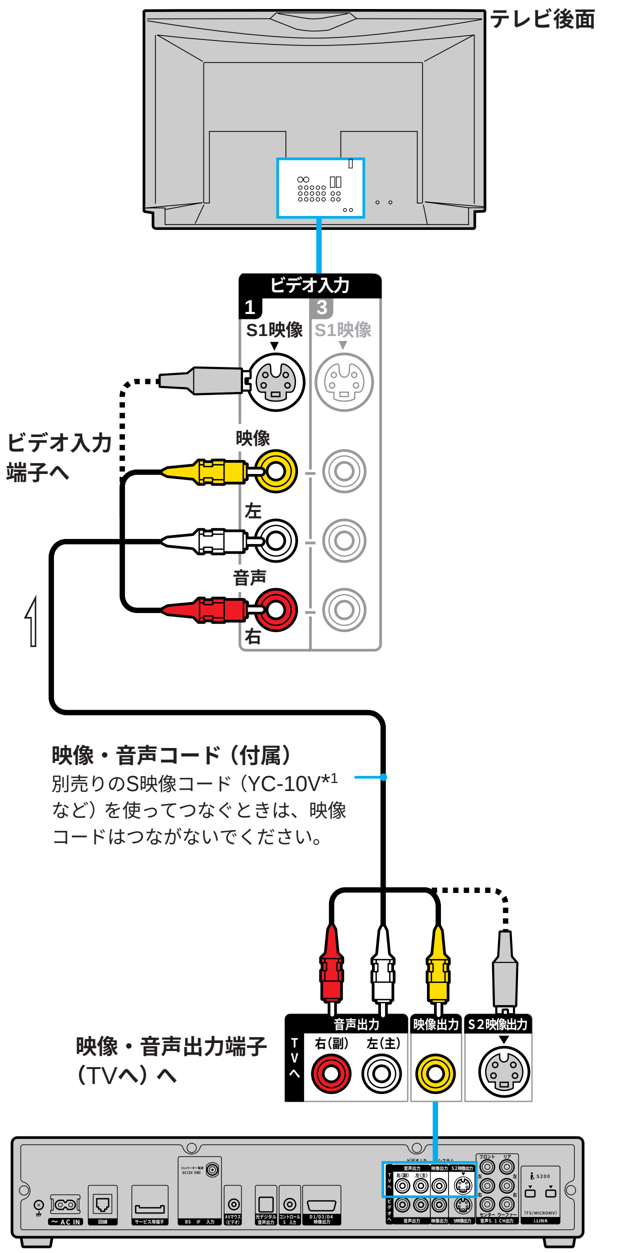
<table>
<tr><th></th><th>本機が受信するBSデジタル信号</th><th>本機後面のD1/D3/D4映像出力端子からテレビに出力する信号*2</th></tr>
<tr><td rowspan="2">HD デジタルハイビジョン信号</td><td>HD (750p)</td><td rowspan="4">SD (525i)</td></tr>
<tr><td>HD (1125i)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">SD 標準テレビ信号</td><td>SD (525p)</td></tr>
<tr><td>SD (525i)</td></tr>
</table>

*2 本機後面のS2映像/映像/音声出力端子（TVへ）とS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）からの信号は、映像出力切換の設定に関係なく、つねに525i（480i）の標準テレビ信号 SD に変換されて出力されます。

コントロールS出力端子付きのソニー製テレビをお持ちのときは

☞82ページをご覧ください。

F S映像入力端子または映像入力端子しかないテレビのとき



映像出力切換を設定する



*1 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

BSデジタルを見るときは

テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「ビデオ1」など）に切り換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

テレビに出力される信号について

本機前面表示窓の映像出力切換表示に関係なく、次のように変換されてテレビに出力されます。

	本機が受信するBSデジタル信号	本機後面のS2映像/映像出力端子（TVへ）からテレビに出力する信号*2
HD デジタルハイビジョン信号	HD (750p)	SD (525i)
	HD (1125i)	SD (525i)
SD 標準テレビ信号	SD (525p)	SD (525i)
	SD (525i)	SD (525i)

*2 本機後面のS2映像/映像/音声出力端子（TVへ）とS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）からの信号は、映像出力切換の設定に関係なく、つねに525i（480i）の標準テレビ信号 SD に変換されて出力されます。

コントロールS出力端子付きのソニー製テレビをお持ちのときは

☞82ページをご覧ください。

準備4：ビデオをつなぐ

本機でBSデジタル放送をビデオにアナログ録画予約したりするための接続です。
現行のテレビ放送と同等の画質（525i）に変換された信号でお手持ちのビデオに録画できます。
ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。

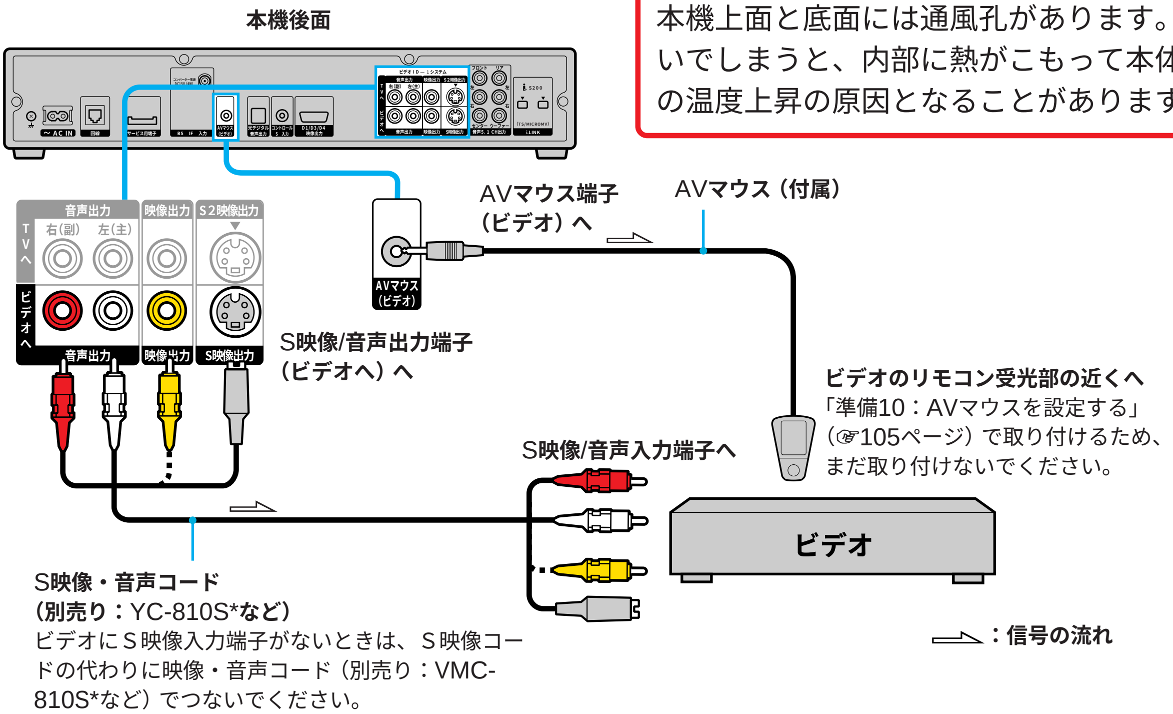
本機のS映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）につないだときのご注意

- デジタルハイビジョン信号HDも標準テレビ信号SDも、すべて525iに変換して出力されます。
- BSデジタルを録画するときは、BS録画予約することをおすすめします（☞37ページ）。BS録画予約をしないと、録画中にチャンネルを選んだりしたときなどに、画像が切り換わったり、乱れたりします。
- BSラジオやBSデータの音声は記録できますが、画像は正しく記録されないことがあります。

録画防止機能について

本機は、録画防止機能（コピープロテクション）が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりするものがあります。
また、音声に関しても、本機後面の光デジタル音声出力端子からの信号を、正しく録音できない番組があります。ご注意ください。
本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

本機とビデオを重ねて、置かないでください。本機の上面に、物を置いたり、布などでふさいだりしないでください。
本機上面と底面には通風孔があります。ふさいでしまうと、内部に熱がこもって本体内部の温度上昇の原因となることがあります。



＊ 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

準備5：電話回線につなぐ

次のときのために、**必ず本機を電話回線につなぐ必要があります。**

- B-CAS（ビーキャス）カード（BSデジタル用ICカード）に記憶された番組購入・契約状況などの情報を、電話回線を通じて定期的に本機から放送局へ自動送信するため
- ペイ・パー・ビュー（PPV）契約をして、番組単位で購入するとき（☞15ページ）
- BSデータを見ているときに放送局と通信を行うとき（表示窓に「通話」と表示されます。）（☞14、52ページ）

ご注意

次の電話回線には、つなげません。
- 公衆電話および、共同電話、地域集団電話
- 携帯電話および、PHS、自動車電話
- 船舶電話
- 外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」または「9」以外の数字を付けるとき

ちょっと一言

番組購入・契約状況などの情報の送受信について
- 購入情報などの送受信中には、本機の表示窓に「通話」と表示されます。

本体表示窓

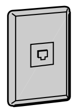


- 本機が電源スタンバイ（電源ランプが赤く点灯のとき）のまま、自動的に購入情報などを送受信することがあります。
- 購入情報などの送信には、1回あたり約30秒程度かかります。このときは、本機表示窓に「通話」と表示され、電話がかかってきたときは話し中になります。
- 本機が放送局と、購入情報などを送受信しているときは、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。
  その際、一部の通信機器で呼び出し音が鳴ることがあります。このときは、付属のモジュラーテレホンコードカプラーの代わりに、別売りの自動転換機TL-P20*を使ってください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器SMD-AP20*(2口用)をご使用ください。
  また、このときに緊急に電話をかけたいときなどは、本機の電源コードを抜いて、電源を切ってください。
- BS放送局によっては、ナンバーディスプレイで電話番号を「回線ごと非通知設定」にしていると通信できないことがあります。NTTに問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。
- 電話機やファクシミリを使っているときは、購入情報などの送受信はできません。

* 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

電話回線の使用状況に合わせてつなぐ

お住まいの電話回線の状況を次ページから選んで、つないでください。
また、**壁の電話コンセントがモジュラージャック式でないときは「その他のとき」（☞92ページ）をご覧ください。**



モジュラージャック

ご注意

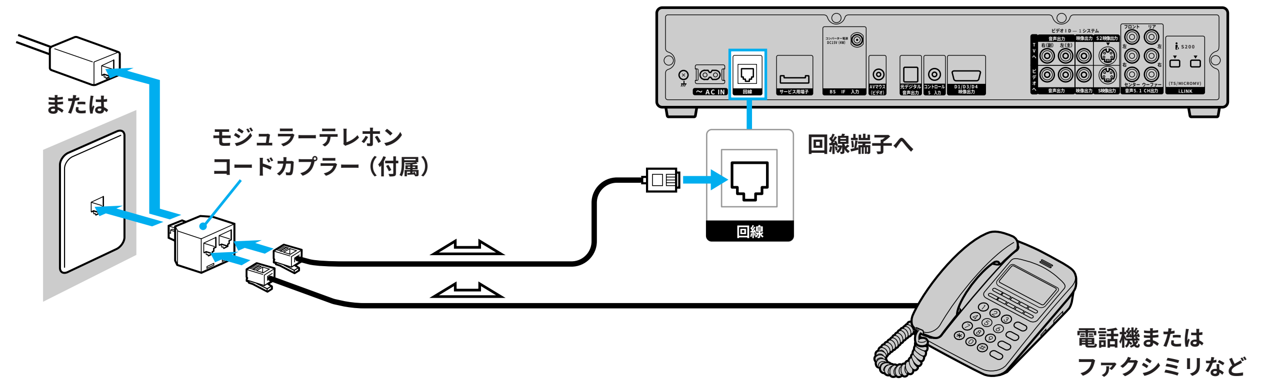
ホームテレホンのときは、壁の電話コンセントがモジュラージャック式でも専門業者による工事が必要です。

次のページにつづく

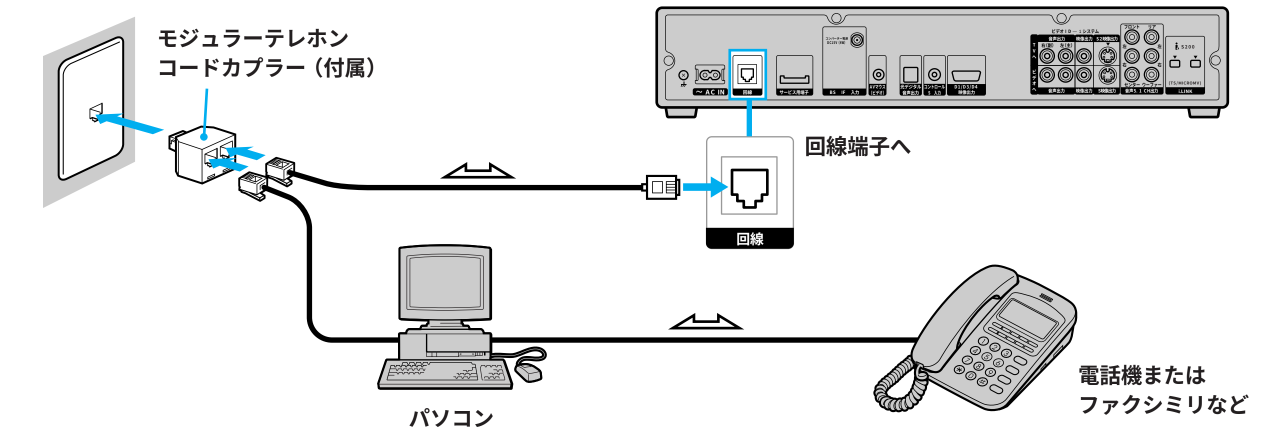
準備5：電話回線につなぐ（つづき）

：信号の流れ

壁の電話コンセントから電話を直接つないでいるとき



壁の電話コンセントからパソコンなどをつないでいるとき



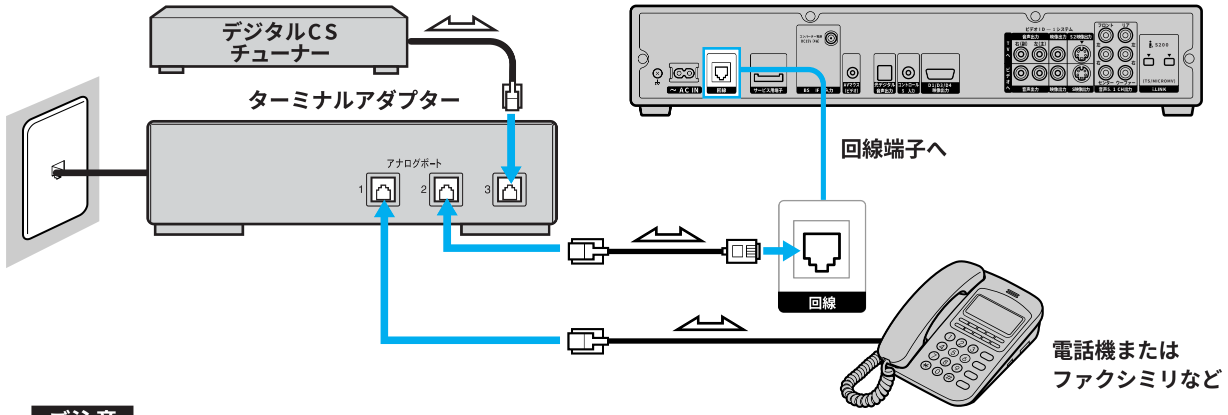
ちょっと一言

パソコンなどの通信や、すでに電話機やファクシミリなど通信機器を2台以上電話回線につないでいるときは、接続された通信機器がお互いに影響しあって、通信がうまくできないことがあります。このときは、付属のモジュラーテレホンコードカプラーの代わりに、別売りの高速データ通信用自動転換器SMD-AP20*（2口用）やSMD-AP300*（3口用）を使ってください。

* 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

ISDN回線を使っているとき

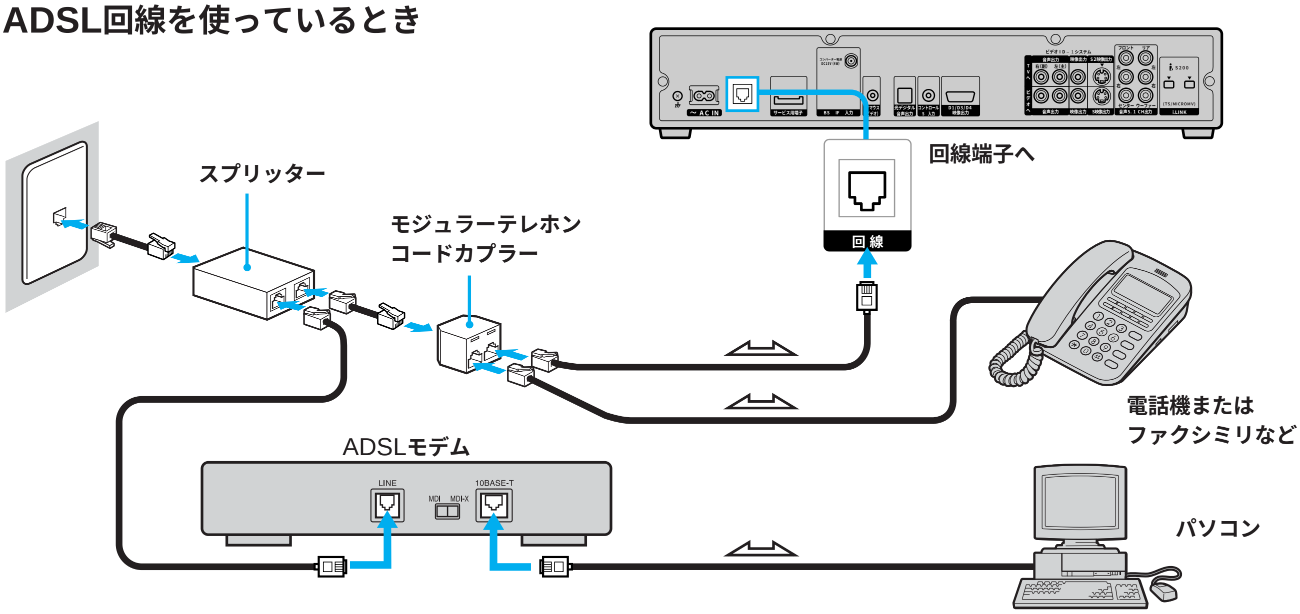
お手持ちのターミナルアダプターやダイヤルアップルーターのアナログポートに直接、本機をつないでください。



ご注意

- アナログポートには、付属のモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。2分配すると、正しく本機が働かないことがあります。
- ISDN回線端子に付属のモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。無理に押し込むと破損することがあります。
- ターミナルアダプターによっては、うまく通信できないことがあります。詳しくは、ターミナルアダプターの製造元にお問い合わせください。
- 本機の電話回線を「トーン」に設定してください（☞103ページ）。
- 別売りのコードレス通信ユニットCTU-50*とは併用できません。また、別売りのコードレス通信ユニットSPP-TU1*と併用するときは、うまく通信できないことがあります。

ADSL回線を使っているとき



ご注意

ADSLモデムと本機を直接つながないでください。本機はADSL回線には対応していません。

* 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

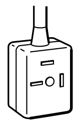
次のページにつづく

準備5：電話回線につなぐ（つづき）

その他のとき

壁の電話コンセントが3ピンプラグ式のとき

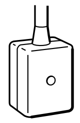
3ピンプラグ式



電話コンセントと付属のモジュラーテレホンコードカプラーの間に、別売りのテレホンモジュラーアダプターTL-30*をつないでください。

壁の電話コンセントがローゼット式ジャックのとき

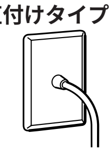
ローゼット式



別売りのモジュラーアダプター（TL-36*など）でつなげます。
この方式の電話工事は、「工事担任者」資格者（NTT116番）に依頼してください。

壁の電話コンセントが直付けタイプのとき

直付けタイプ



「工事担任者」資格者（NTT116番）に、モジュラージャックへの変換工事を依頼してください。

壁の電話コンセントと本機を使う場所が離れているとき

別売りのコードレス通信ユニットCTU-50*やSPP-TU1*などが使えます。

壁の電話コンセントに3つの通信機器をつなぐとき

別売りのテレホンモジュラートリプルアダプターTL-23*を使ってください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器SMD-AP300*（3口用）を使ってください。

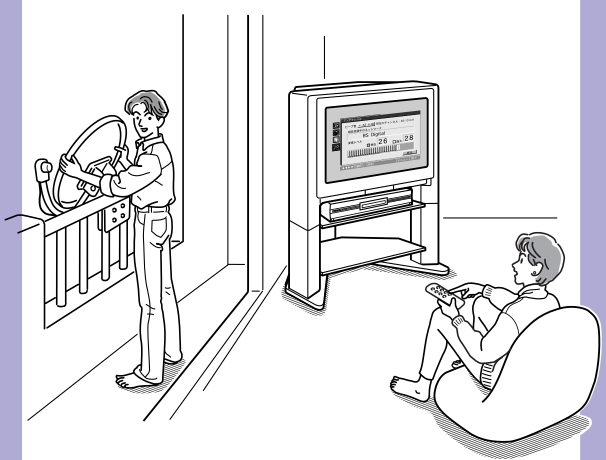
壁埋め込みタイプのホームテレホン（電話機、ターミナルボックス、ドアホンアダプター）のとき

専門業者による工事が必要です。

* 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

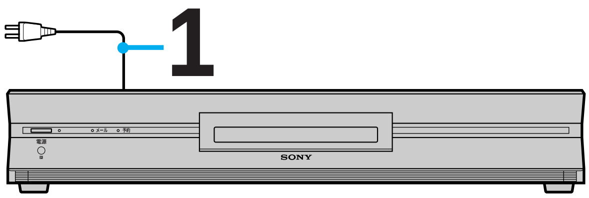
受信設定

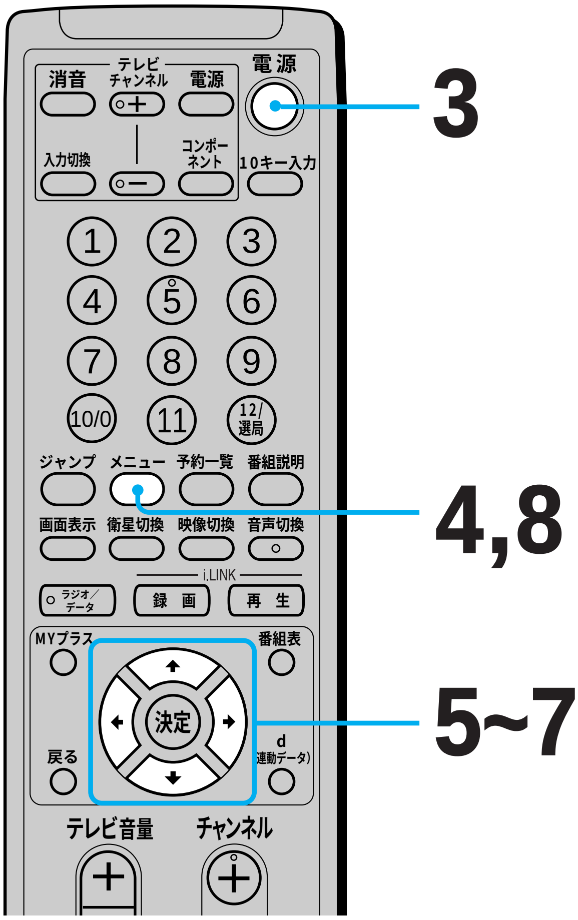
ここでは、テレビの横縦比に画像のサイズを合わせたり、BSデジタルを視聴するための設定を説明しています。
準備6～11（☞93～108ページ）まで行えば、BSを視聴することができます。



準備6：テレビの横縦比に画像を合わせる

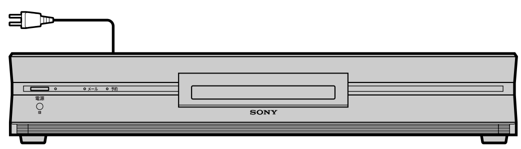
本機とテレビの電源を入れた後、テレビの横縦比に合った画像が映るように設定します。
テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。





1 **本機付属の電源コードを壁のコンセントにつなぐ。**

壁のコンセントへ

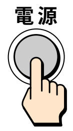


次のページにつづく

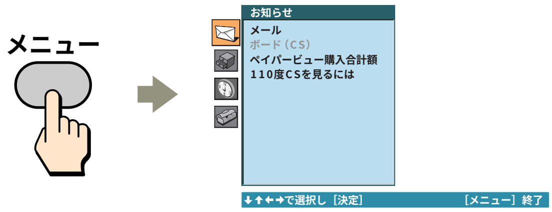
準備6：テレビの横縦比に画像を合わせる（つづき）

2 テレビの電源を入れ、テレビ側で本機をつないだ端子の入力に切り換える。

3 電源ボタンを押す。



4 メニューボタンを押す。



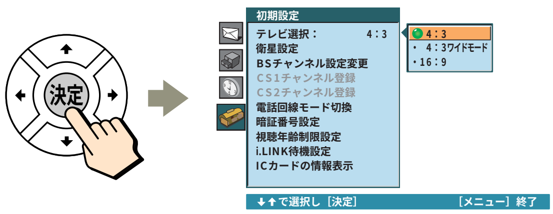
5 ↑/↓で「（初期設定）」を選び、決定ボタンを押す。



6 「テレビ選択」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

選ばれていないときは

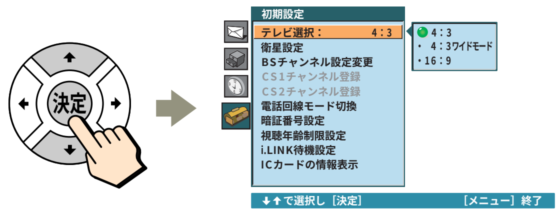
↑/↓で選び、決定ボタンを押す。



7 お使いのテレビのタイプを選ぶ。

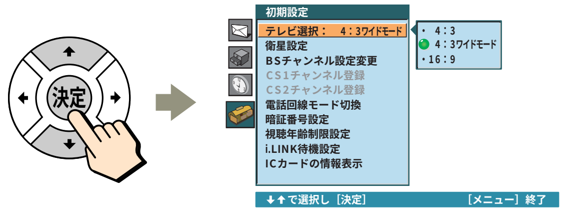
テレビ（横縦比4:3）でワイドモード*がないときは

↑/↓で「4:3」を選び、決定ボタンを押す。



テレビ（横縦比4:3）でワイドモード*があるときは

↑/↓で「4:3ワイドモード」を選び、決定ボタンを押す。



ワイドテレビ（横縦比16:9）のときは

↑/↓で「16:9」を選び、決定ボタンを押す。



ちょっと一言

テレビ（横縦比4:3）でワイドモード*があるかないかは、テレビの取扱説明書で確認してください。

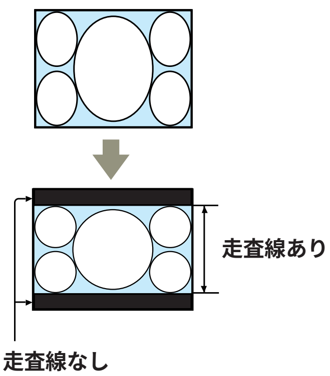
8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

＊ ワイドモードとは

下のイラストのように、BSデジタルやDVDプレーヤー、ビデオカメラなどで、あらかじめ縦長に圧縮（スクィーズ）して記録された横縦比4:3映像を、元の16:9のワイド画像で見ることができるテレビの機能です。画面上下の黒帯を除いた映像部分に水平走査線を集めるため、16:9のワイド画像をよりオリジナルに近い画質で楽しめます。

オリジナルの映像（16:9映像を4:3に縦長圧縮した映像）

ワイドモードが働いたテレビでの映像
走査線を密にしてより高画質にします。

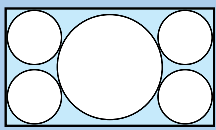
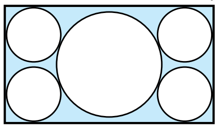
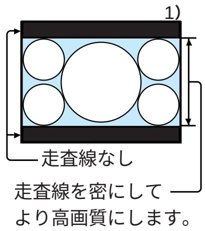
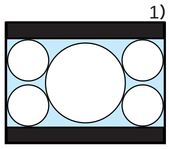
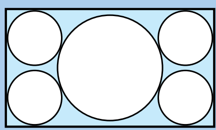
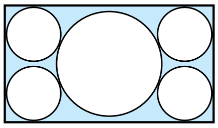
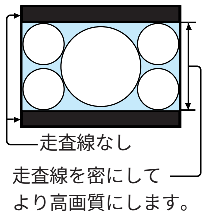
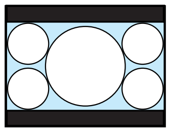
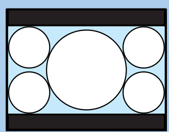
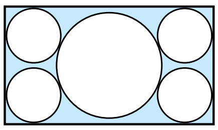
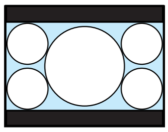
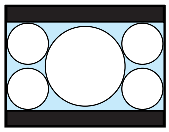
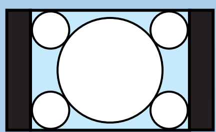
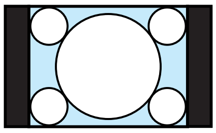
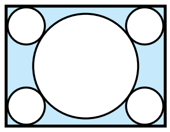
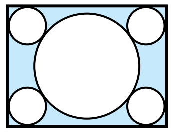
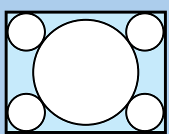
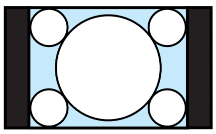
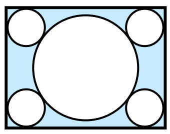
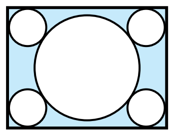
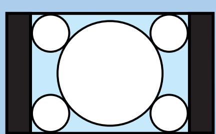
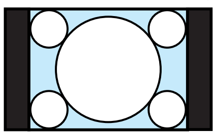
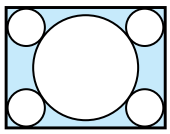
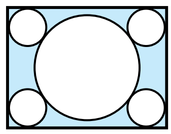


ご注意

本機前面の映像出力切換の設定が「D3」または「D4」のときは「4:3」を、「1125i固定」のときは「4:3」と「4:3ワイドモード」を選べません。

ワイドテレビやワイドモード付きのテレビのときは、テレビ側のワイドモード設定もあわせて行ってください。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
BSデジタルの画質（HDとSD）については、☞79ページもご覧ください。

テレビ画面での画像の見えかた一覧

オリジナルの映像		「テレビ選択」の設定によるテレビ画面での画像の見えかた		
		「16:9」を選んだとき	「4:3ワイドモード」を選んだとき	「4:3」を選んだとき
デジタルハイビジョン信号 HD の16:9映像		[1] 	[1] 	[1] 
標準テレビ信号 SD の16:9映像		[2] 		
標準テレビ信号 SD のレターボックス4:3映像（画面上下の黒帯を除いた映像部分は16:9）		[2]、[3] 		
デジタルハイビジョン信号 HD のサイドパネル16:9映像（画面左右の黒帯を除いた映像部分は4:3）		[1] 	[1] 	[1] 
標準テレビ信号 SD の4:3映像		[2] 		
標準テレビ信号 SD のサイドパネル16:9映像（画面左右の黒帯を除いた映像部分は4:3）		[2] 		

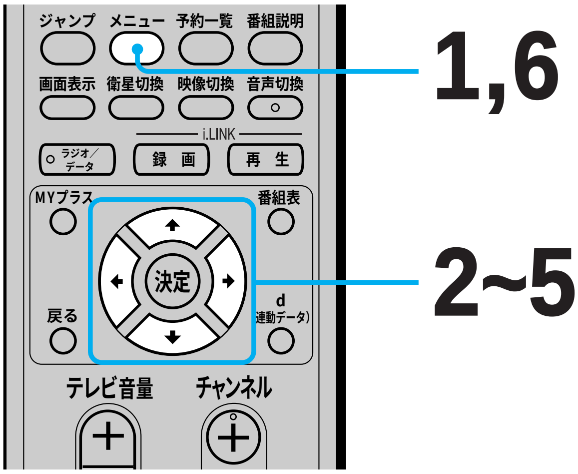
[1] 本機前面の映像出力切換の設定が「D1」のときは標準テレビ信号 SD の画質（525i）に変換されて映ります。
[2] 本機前面の映像出力切換の設定が「1125i固定」のときは、デジタルハイビジョン信号 HD の画質（1125i）に変換されて映ります。
[3] 本機前面の映像出力切換が「D1」、「D3」または「D4」のときは、テレビ側のワイド設定によっては、チャンネル表示などが画面からはみ出ることがあります。

準備7：BSアンテナの設定をする

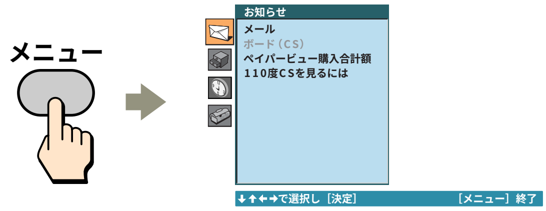
BSデジタルを見るときは、BSアンテナ電源（コンバーター電源）の設定と、BSアンテナの向きの調整を行ってください。
また、お住まいの地域に特有の放送を受信するために、地域設定を行ってください。

BSアンテナ電源を設定する

BSアンテナのつなぎかた（マンションなどの共同受信システムか、本機などに直接つないでいるかなど）に合わせて、BSアンテナへの電源供給を設定します。



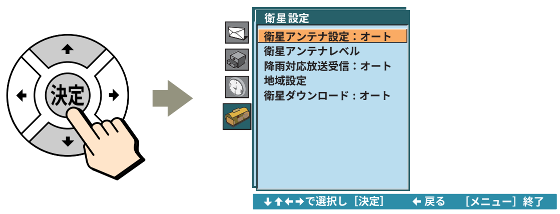
1 メニューボタンを押す。



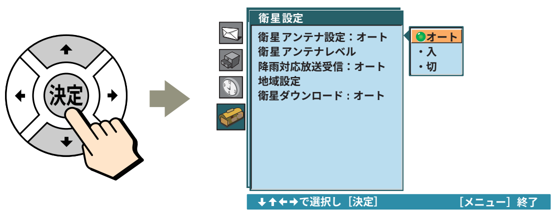
2 ↑/↓で「（初期設定）」を選び、決定ボタンを押す。



3 ↑/↓で「衛星設定」を選び、決定ボタンを押す。



4 ↑/↓で「衛星アンテナ設定」を選び、決定ボタンを押す。



5 マンションなどの共同受信システムのときは

↑/↓で「切」を選び、決定ボタンを押す。

BSアンテナをつないでいるときは

↑/↓で「オート」（お買い上げ時の設定）または「入」を選び、決定ボタンを押す。
BSが映ったり消えたりするときは「入」を選んでください。

設定	BSアンテナへの電源供給のしかた
オート（お買い上げ時の設定）	本機の電源が入っているときに、本機がBSアンテナに電源を供給するかどうかを自動的に判断する。本機の電源が切れているときは供給しない。
入	本機の電源が入っているときはつねに電源を供給する。本機の電源が切れているときは供給しない。
切	電源を供給しない。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

- 「オート」にしていても、BSアンテナの電源供給システムによっては、うまく働かないことがあります。このときは「入」にしてください。
- 1本のBSアンテナに分配器などをつないでBS電波を分け、本機とテレビやビデオ機器の両方でBSを受信できるようにしているときは、本機を「オート」に、他の機器を「入」（または「連動」）にしてください。このようにしないと、本機の電源を切るとテレビやビデオ機器からBSアンテナに電源が供給されないことがあります。他の機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

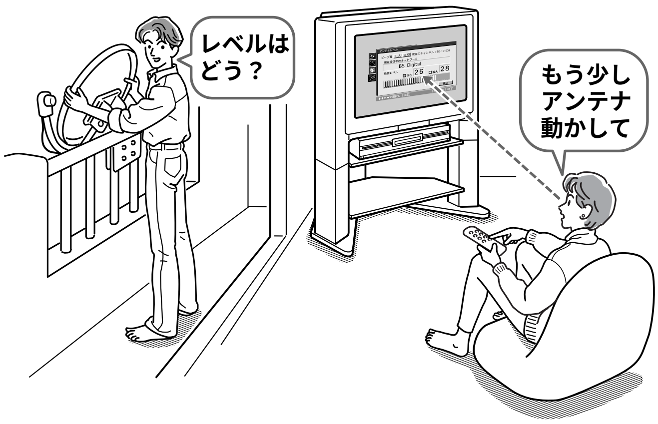
BSアンテナの向きを調整する

BSアンテナを本機に直接つないだときは、アンテナの向きを2人で調整します。1人がテレビ画面のレベル表示を見て、もう1人がBSアンテナを動かしながら、レベル表示が最大になるように調整します。
向きや角度については、BSアンテナの取扱説明書もあわせてご覧ください。

一部のBSアンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないことがあります。受信状況が悪い場合は、BSアンテナ製造元のお客様窓口や、BSアンテナを購入した電気店などにお問い合わせください。

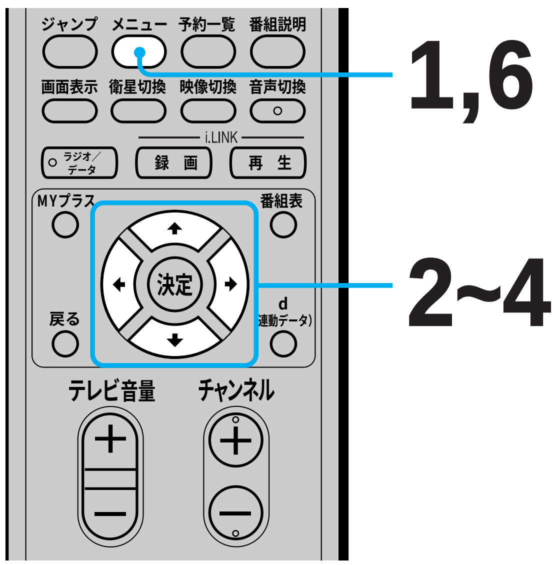
ご注意

「衛星アンテナ設定」が「切」になっているときは、「オート」または「入」にした後、電源を入れ直してください（☞96ページ）。



1人で調整するときは

手順4まで行ったのち、「1人で調整するときは」（☞99ページ）の手順にしたがって調整してください。

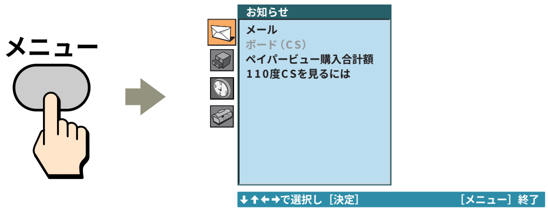


次のページにつづく

受信設定

準備7: BSアンテナの設定をする（つづき）

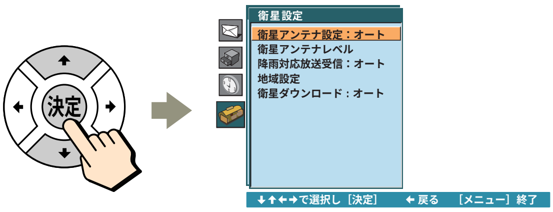
1 メニューボタンを押す。



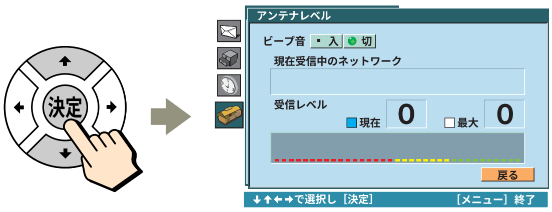
2 ↑/↓で「（初期設定）」を選び、決定ボタンを押す。



3 ↑/↓で「衛星設定」を選び、決定ボタンを押す。

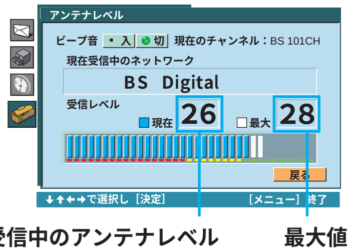


4 ↑/↓で「衛星アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す。



5 BSアンテナを動かして、アンテナレベルを調整する。

アンテナレベルが、できるかぎり最大の数値になるように、アンテナの向きを調整し固定します。



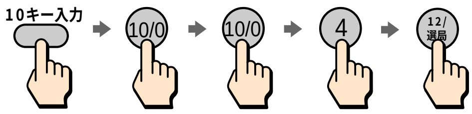
6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

BSの画面が映ります。画面がきれいに映らない場合は、お買い上げ店やソニーサービス窓口などにご相談ください。

110度CSのアンテナレベルを確認するには

はじめに、BSアンテナの設定を行ってから確認してください。

1. **衛星切換ボタンをくり返し押して、110度CSに切り換える。**
2. **004chに切り換える。**



3. **手順1〜4を行う。**
   「現在受信中のネットワーク」に名称が表示されて、アンテナレベルを確認できます。

ご注意

アンテナレベルがBSと比べて低いときは、アンテナや分配器、ブースターなどが110度CSに対応していないことがあります。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。

音を聞いて調整するには

画面で確認できないときに便利です。

1 **手順4のあと、↑/↓/←/→で「ビープ音」の「入」を選び、決定ボタンを押す。**

2 **手順5で最も高い音階の音になるよう、BSアンテナを調整する。**

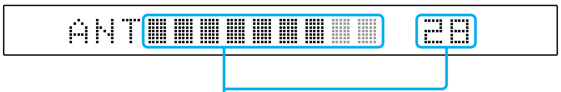
1人で調整するときは

調整は本体表示窓のアンテナレベル表示を見ながら行います。

1 **テレビ画面に「衛星アンテナレベル」の画面（☞98ページの手順4の画面）が表示されている状態のまま、本機の電源を入れたままで、電源コードを抜く。**

2 **アンテナ設置場所に本機を移動する。**

3 **市販の延長コードなどを利用して本機の電源を入れ、数秒待つ。**
表示窓にアンテナレベルが表示されます。



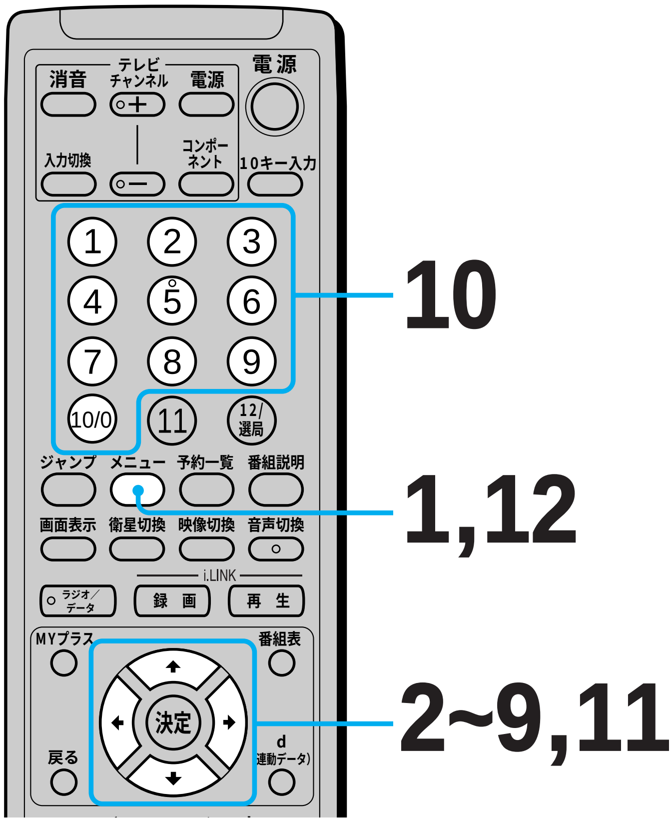
アンテナレベル

4 **表示窓のアンテナレベル表示を見ながら、BSアンテナを動かして調整する。**
アンテナレベルが、少しでも大きくなるように、アンテナの向きを調整し固定します。

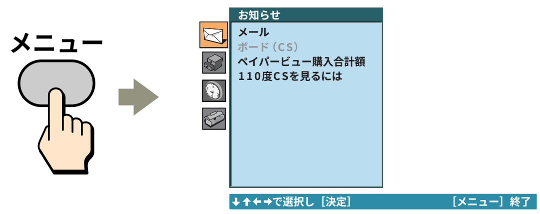
5 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

お住まいの地域に設定する

BSデジタルでは、地域ごとに特有の放送が行われる場合があります。お住まいの地域の放送を受信できるように、地域設定を行っておく必要があります。



1 **メニューボタンを押す。**



次のページにつづく

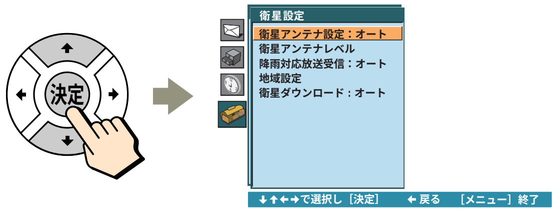
受信設定

準備7: BSアンテナの設定をする（つづき）

2 ↑/↓で「（初期設定）」を選び、決定ボタンを押す。



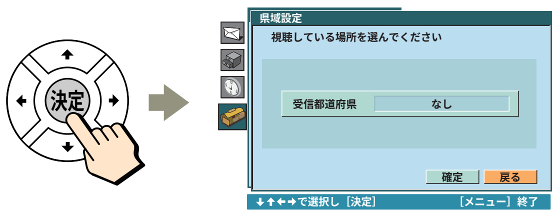
3 ↑/↓で「衛星設定」を選び、決定ボタンを押す。



4 ↑/↓で「地域設定」を選び、決定ボタンを押す。



5 「県域設定」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

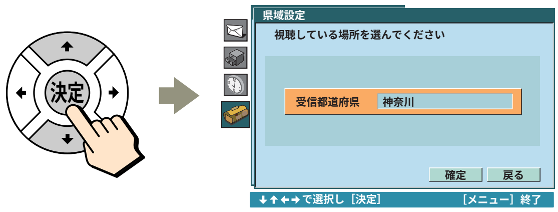


6 ↑で「受信都道府県」を選び、決定ボタンを押す。

都道府県名の表示欄がオレンジ色になります。



7 ↑/↓で、お住まいの都道府県名を選び、決定ボタンを押す。



ちょっと一言

「東北海道」と「西北海道」は下記の地域です。

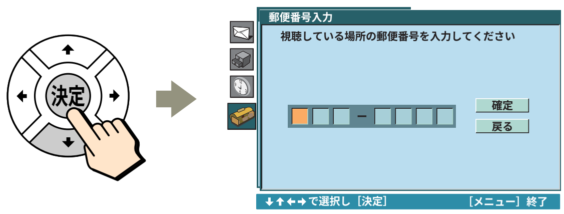
「東北海道」：宗谷、上川、留萌、網走、根室、釧路、十勝の各支庁

「西北海道」：石狩、空知、後志、胆振、日高、渡島、桧山の各支庁

8 ↑/↓で「確定」を選び、決定ボタンを押す。



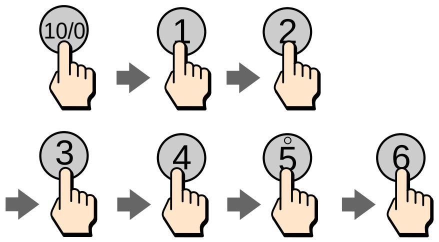
9 ↓で「郵便番号入力」を選び、決定ボタンを押す。

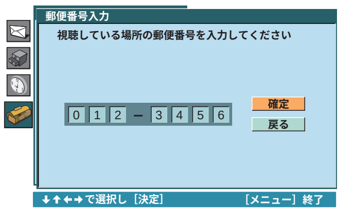


10 ①～⑩ までの数字ボタンで、お住まいの地域の郵便番号7ケタを入力する。

「0」を入力するときは、⑩ ボタンを押す。
郵便番号を間違えたときは←で戻り、入力し直してください。

例）郵便番号が　012-3456

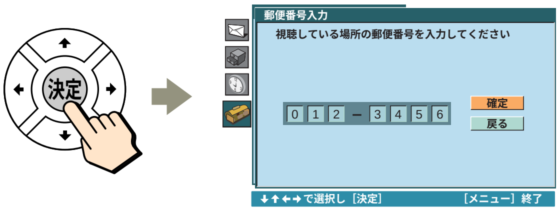




ご注意

お住まいの地域の郵便番号７ケタを正しく入力してください。間違った郵便番号を入れると、お住まいの地域に密着した情報が受信できなかったり、お住まいでない地域の情報を誤って受信したりするためです。

11 「確定」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。



12 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言

郵便番号を入力するときは、リモコンと本体の↑/↓/←/→決定ボタンでも行えます。←/→で入力するケタを選び、↑/↓で0～9の数字が選べます。→ボタンを押すと、数字が決定して次のケタに移動します。7ケタすべての数字を入力したら、最後に決定ボタンを押します。

準備8：B-CAS（ビーキャス）カード（BSデジタル用ICカード）を入れて登録する

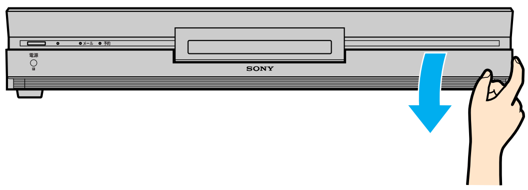
B-CAS*カード（BSデジタル用ICカード）はお客様とBS放送局をつなぐカードで、個々のお客様独自の番号などが記録されています。
BSデジタルでは、このカードを利用してCAS（限定受信システム）が採用されています。
ご登録いただくと各種サービスが利用できるようになります。
B-CASカードを本機に入れた後、必ずユーザー登録はがきを記入し、投函してください。

* B-CASは（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

ご注意

ユーザー登録をしないと、PPV番組（☞15ページ）が視聴できなかったり、BSデータ放送の双方向サービスが受けられなかったりします。また、連絡先不明のため、カードの交換や更改などのサービスが受けられません。

1 本機前面のパネルを開ける。

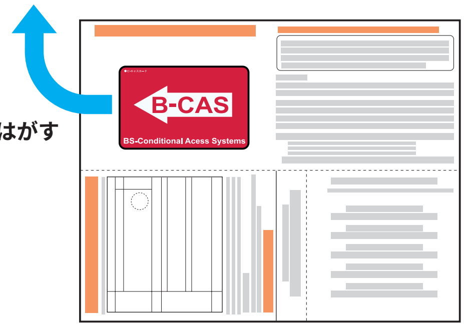


次のページにつづく

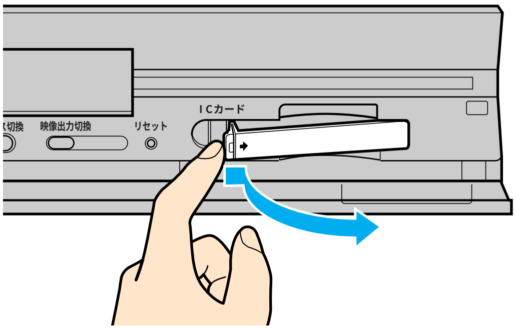
準備8: B-CAS（ビーキャス）カード（BSデジタル用ICカード）を入れて登録する（つづき）

2 **同封の「ビーキャス（B-CAS）カード使用許諾契約約款」の内容をお読みになり了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。**

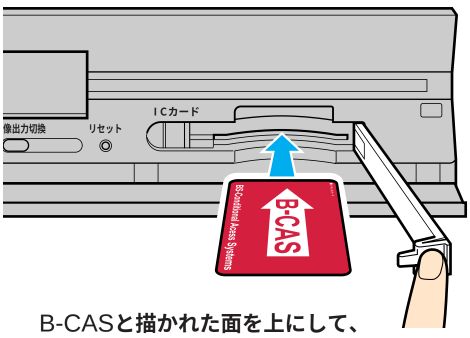
B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。



3 **ICカード挿入口のふたのつまみを右へ押し、指で押したまま手前に開ける。**

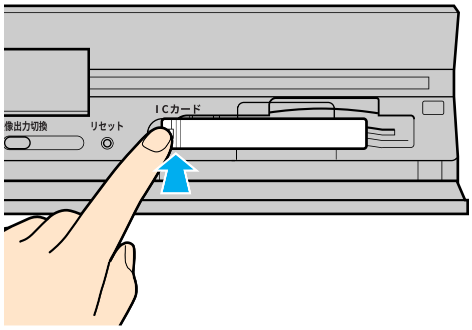


4 **B-CASカードを奥までしっかり挿入する。**



B-CASと描かれた面を上にして、
印刷された矢印の方向に挿入する。

5 **ICカード挿入口のふたを閉める。**



ご注意

ふたは必ず閉めてください。B-CASカードが正しく挿入されていると本機が判断できないためです。

6 **同梱のB-CAS用ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函する。**

B-CAS用ユーザー登録はがきの登録作業が終了すると、各種サービスが利用できるようになります。

ご注意

- B-CASユーザー用登録はがき台紙は、大切に保管しておいてください。有料放送に視聴を申し込む（☞108ページ）ときに必要なバーコードシールが付いていたり、B-CASカスタマーセンターへのお問い合わせ先が案内されていたりするためです。
- 転居などの際には、B-CASカスタマーセンターに連絡してください。

💡ちょっと一言

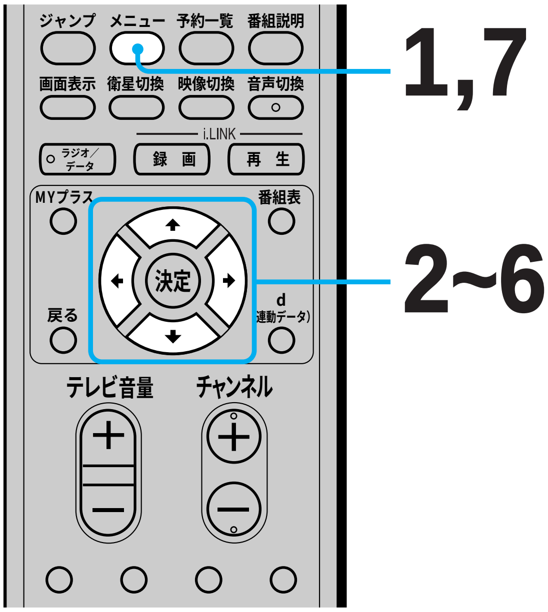
こんなメッセージが表示されたら...

（ICカードはB-CASカードのことです。）

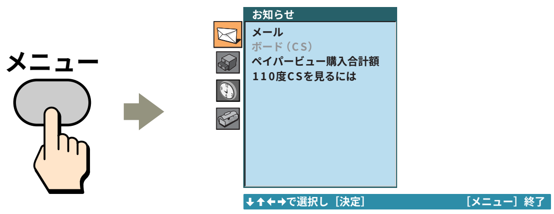
- 「ICカードとのアクセスが成立しません
  ICカードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターへ連絡してください：XXXX」
  → B-CASカードが奥までしっかり入っていない。
  → B-CASカードが前後逆向きに入っている。
  → B-CASカードが表裏逆向きに入っている。
  → B-CASカードが破損している。
  → B-CASカードとは別の種類のカードが入っている。
  → 上記のことを全て確認しても表示が消えず、メッセージの終りの部分に「：FFFF」と表示されているときは、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口へお問い合わせください。
  → ご覧になっている各BS放送局のカスタマーセンター（☞108ページ）またはB-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。
- 「ICカード挿入口のふたを閉めてください」
  → ICカード挿入口のふたが開いている。
- 「ICカードを入れてください」
  → B-CASカードが奥までしっかり入っていない。
- 「このICカードは使用できません」
  「ICカードを交換してください」
  → ご覧になりたいBS放送局のカスタマーセンター（☞108ページ）またはB-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。

準備9：電話回線を設定する

電話回線の設定と、接続テストを行います。お買い上げ時は、「自動設定」で「通常発信」の電話回線に設定されています。



1 メニューボタンを押す。



2 ↑/↓で「（初期設定）」を選び、決定ボタンを押す。



次のページにつづく

準備9: 電話回線を設定する（つづき）

3 **↑/↓で「電話回線モード切換」を選び、決定ボタンを押す。**



4 **↑/←/→で、電話回線を選び、決定ボタンを押す。**

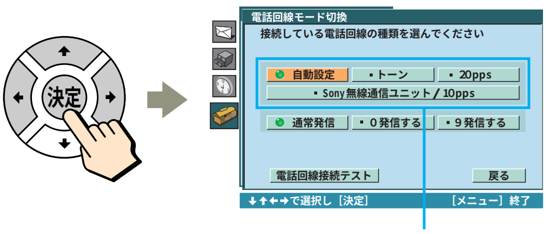
お買い上げ時は、「自動設定」に設定されています。

- **「自動設定」でうまく通信できないときは**
  NTTの料金明細書で「プッシュホン回線使用料」が請求されているときは、**「トーン」**を選んでください。
  請求されていないときは、**「20pps」**を選んでください。

- **ISDN回線などによるターミナルアダプターやダイヤルアップルーターを使っているときは**（☞91ページ）
  「トーン」を選んでください。

- **ADSL回線を使っているときは**（☞91ページ）
  「自動設定」（お買い上げ時の設定）のままお使いください。

- **別売りのコードレス通信ユニットCTU-50やSPP-TU1を使っているときは**（☞92ページ）
  「Sony無線通信ユニット／10pps」を選んでください。



電話回線

5 **←/→で、発信方法を選び、決定ボタンを押す。**

お買い上げ時は「通常発信」に設定されています。

外線に電話するときに、相手の電話番号にそのままかけるときは

手順6に進んでください。

外線に電話するときに、電話番号の前に「0」または「9」を付けるときは

寮や会社、学校、団体、法人などでPBX（交換機）を使い、外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」を付ける（0発信する）、または「9」を付ける（9発信する）場合のみ、次のように設定します。
0発信するとき →「0発信する」を選ぶ。
9発信するとき →「9発信する」を選ぶ。



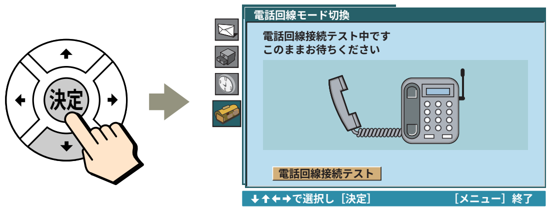
発信方法

ご注意

- 会社や法人などでビジネス回線を使っているときは、本機をつなげません。寮やビルの電話を管理している担当の方に「2線式一般アナログ回線」を依頼してください。通常、ファクシミリはこの回線に接続されています。
- 引っ越しなどで外線に電話する方法が変わったときは、必ず発信方法の設定を行ってください。
- BS放送局によっては、ナンバーディスプレイで電話番号を「回線ごと非通知設定」にしていると通信できないことがあります。NTTに問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。

6 ↓で「電話回線接続テスト」を選び、決定ボタンを押す。

正しい接続であれば、「電話回線は正しく接続されています」と表示されます。



「電話回線を他の機器で使用中か、正しく接続されていません　接続を確認してください」と表示されたときは

接続を確認し、また電話回線を他の機器で使っていないか確認してください（☞89～92ページ）。

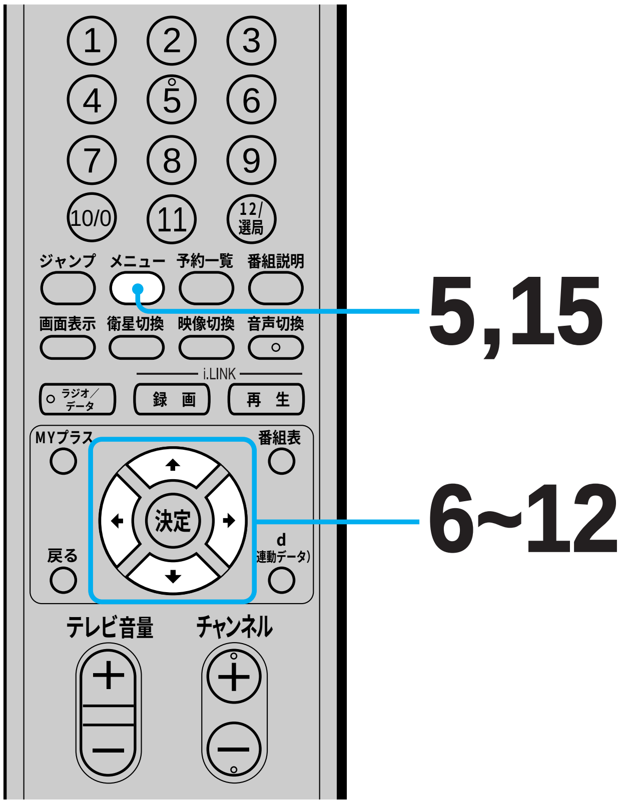
ご注意

「電話回線接続テスト」は、本機と電話回線が物理的に接続されてやり取りできるかをテストするもので、実際に電話が放送局へつながるかどうかはテストされていません。
そのため、本機と電話回線が接続されていても電話がつながらないことがあります。
このときは、再び、手順4で電話回線の種類（「トーン」や「20pps」、「Sony無線通信ユニット／10pps」）を正しく設定し直してください。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

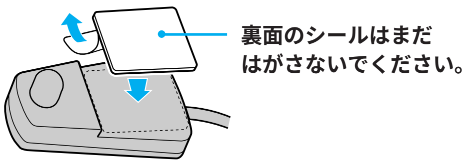
準備10：AVマウスを設定する

AVマウスは、本機と連動してビデオでアナログ録画予約できるように（☞37ページ）信号を出します。そのため、AVマウスから発信される信号を、お手持ちのビデオのリモコンコードに合わせて設定します。
本機と連動してビデオにアナログ録画予約するときは、必ずAVマウスを設定してください。



1 AVマウスに付属のシールを貼る。

AVマウスに付属のシールの代わりに、市販の両面テープも使えます。



次のページにつづく

準備10: AVマウスを設定する（つづき）

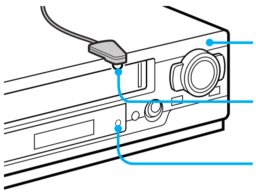
2 AVマウスを本機後面のAVマウス端子につなぐ。

接続のしかたについて、詳しくは「ビデオをつなぐ」（☞88ページ）をご覧ください。

3 AVマウスの取り付け予定位置を決める。

ビデオの取扱説明書でビデオのリモコン受光部位置を確認し、受光部の真上にAVマウスを置きます。

ご注意
- AVマウス裏面のシールは、まだはがさないでください。
- 取り付け位置によっては、動作しにくいビデオがあります。できるだけ受光部に近い位置に取り付けてください。

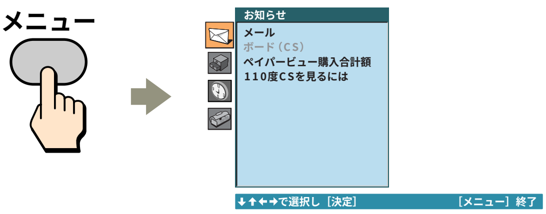


ちょっと一言
- AVマウスがビデオに届かない場合は、別売りの接続コード RK-G131*（3m）で延長してください。
- ソニー製ビデオのリモコン受光部には🅁マークが付いています。

* 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

4 ビデオの電源を切っておく。

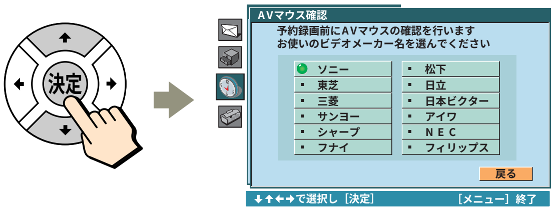
5 メニューボタンを押す。



6 ↑/↓で「（予約設定）」を選び、決定ボタンを押す。

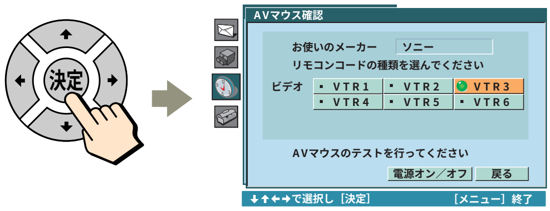


7 ↑/↓で「AVマウス確認」を選び、決定ボタンを押す。



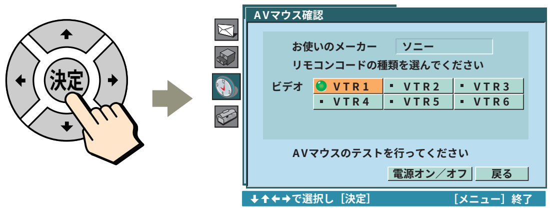
8 ↑/↓/←/→でお使いのビデオのメーカー名を選び、決定ボタンを押す。

例）：ソニー製ビデオを選ぶとき



9 ↑/↓/←/→でリモコンコードを選び、決定ボタンを押す。

お買い上げ時はソニーの「VTR3」を操作できるように設定されています。

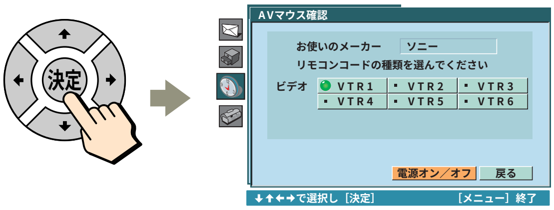


リモコンコード表

メーカー	リモコンコード番号
ソニー	VTR1　VTR2　VTR3 VTR4　VTR5　VTR6
松下	1 2 3 4 5
東芝	1 2
日立	1 2
三菱	1 2 3 4
日本ビクター	1 2 3 4
サンヨー	1 2 3 4
アイワ	1 2 3
シャープ	1 2 3
NEC	1 2 3 4
フナイ	1
フィリップス	1

10 ↑/↓/←/→で「電源オン/オフ」を選び、決定ボタンを押す。

AVマウスの動作テストが始まります。



ビデオの電源が自動的に入ると、テストは完了です。手順12に進んでください。
電源が入らないときは、手順3でAVマウスの位置を再確認してから、もう1度手順10を行ってください。

11 ビデオにリモコンコードが2個以上ある場合は、ビデオを操作できるまで、リモコンコードの設定を変えてテストする。

ちょっと一言

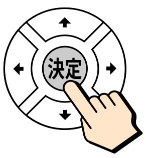
手順9で選んだ番号とビデオのリモコンコードの番号を合わせてください。その番号で操作できないときは、本機とビデオのリモコンコード番号を変えてください。本機とビデオのリモコンコード番号が異なっていても、操作できる場合があります。

ご注意

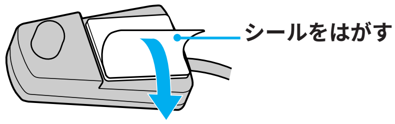
- **次のときはAVマウスは使えないため、取り付ける必要はありません。お手持ちのビデオの予約機能を使って録画予約してください（☞40ページ）。**
  - ビデオ一体型テレビ（テレビデオやビデオコンボなど）のとき
  - AVマウスのリモコンコードでビデオが操作できないとき（メーカーによっては、本機で操作できないリモコン信号が採用されているためです）
  - 電源スイッチが入/切の2つの状態切換でなく、入/スタンバイ/切など3つの状態切換になるビデオのとき
- AVマウスが使えないときは、はずしておいてください。

12 「電源オン/オフ」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

ビデオの電源が切れます。



13 動作テストが終わったら、AVマウスの裏面のシールをはがす。

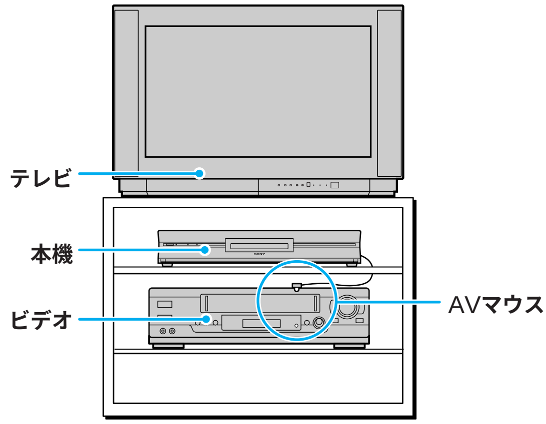


14 手順3で決めた取り付け予定位置にAVマウスを固定する。

無料番組などで録画予約できる（☞37ページ）ことをもう1度確かめてから、使うことをおすすめします。

ご注意

ビデオにほこりが付いていると、きちんと固定できません。
ビデオのほこりを取り除いてからAVマウスを固定してください。



15 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

動作テストに1度成功しても、リモコンの受光感度の低いビデオによっては、AVマウスでのアナログ録画予約（☞37～40ページ）がうまくいかないことがあります。詳しくは、ビデオの取扱説明書をご覧ください。

準備11：各局に視聴を申し込む

加入申し込みが必要な有料BS放送局のカスタマーセンター（お問い合わせ先）一覧

以下のBSは有料放送（NHKのBS受信料も含む）のため、視聴するには、各局へ加入申し込みをして契約する必要があります。

加入申し込み方法はBS放送局により異なります。詳しくは、ご覧になりたいBS放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

なお、無料放送でも登録が必要な場合があります。詳しくは、ご覧になりたいBS放送局へお問い合わせください。

また、B-CAS（ビーキャス）カード（BSデジタル用ICカード）を本体のICカード挿入口に入れて、B-CAS用ユーザー登録はがきを投函してください（☞101ページ）。

2001年9月現在の電話番号とホームページアドレスです。

BS放送局	お問い合わせ電話番号/ホームページアドレス
NHK BS1 NHK BS2 NHK デジタルハイビジョン	03-3465-1111 受付 9:00～23:00（平日） 9:00～22:00（土日） http://www.nhk.or.jp/
WOWOW	0570-008080 （携帯電話などをお使いの方は、045-683-8080） 受付 9:00～20:00 http://www.wowow.co.jp/
テレビ放送のみが、視聴申込が必要な有料放送です。ラジオ放送（WOWOW wave：491、492ch）と独立データ放送（WOWOW navi：791、792ch）は無料放送です。	
スター・チャンネルBS	0570-010-110 （携帯電話などをお使いの方は、045-339-1555） 受付 10:00～20:00 http://www.star-ch.co.jp/
テレビ放送のみが、視聴申込が必要な有料放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。	
セント・ギガ	0120-336-765 受付 10:00～21:00 http://www.stgiga.co.jp/
ラジオ放送のみが、視聴申込が必要な有料放送です。独立データ放送（633、636ch）は無料放送です。	

ご注意

加入申し込みを行わずに、NHK（BS1、BS2、デジタルハイビジョン）を受信すると、テレビ画面に連絡をお願いする案内が、自動表示されることがあります。

BSチャンネルを手動で設定する

⑪ボタン、⑫(選局)ボタンに好みのBSチャンネルを登録する

お買い上げ時は、①〜⑩/0の数字ボタンを押せば、あらかじめ登録されているBSテレビの代表チャンネル（☞9ページ）を選局できます。

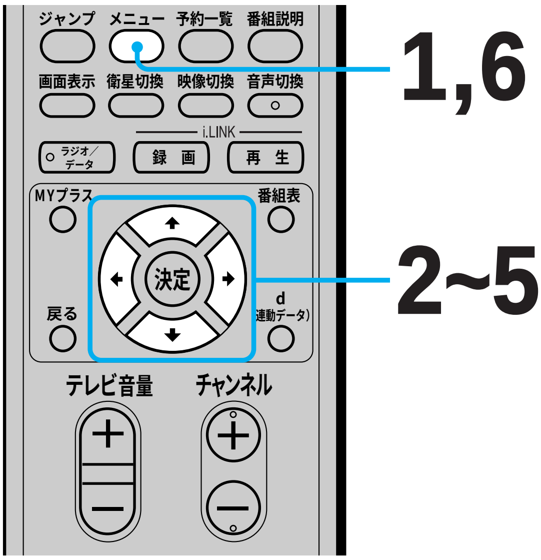
本機は、これに加えて、**⑪ボタンと⑫(選局)ボタンにお好きなBSチャンネルを登録して、選局できます。**

また、次のようなときに、①〜⑩/0ボタンに登録されているチャンネルも変更できます。

- BSラジオやBS独立データのチャンネルを、①〜⑫(選局)の数字ボタンで選びたいとき
- ①〜⑩/0ボタンに、好みの別のBSチャンネルを登録したいとき

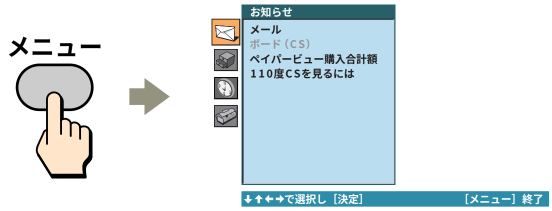
ちょっと一言

10キー入力ボタンを使って、3ケタのBSチャンネル番号で選局する方法もあります（☞9ページ）。



ここでは、例として⑪ボタンに新しくBSチャンネルを登録する手順を説明します。

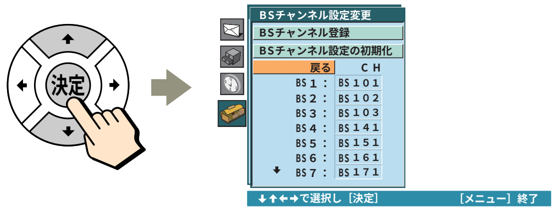
1 メニューボタンを押す。



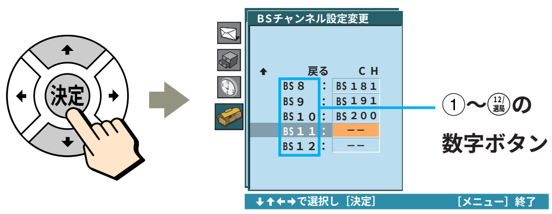
2 ↑/↓で「（初期設定）」を選び、決定ボタンを押す。



3 ↑/↓で「BSチャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。



4 ↑/↓で、「BS11」を選び、決定ボタンを押す。

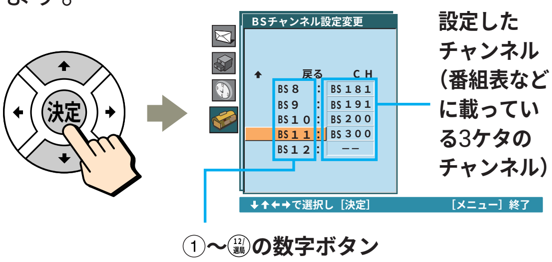


次のページにつづく

BSチャンネルを手動で設定する（つづき）

5 **↑/↓で、登録したいBSチャンネル番号を選び、決定ボタンを押す。**

放送のあるチャンネルから選べます。
リモコンの数字ボタンを押したとき、この操作で選んだチャンネルが選局されます。



6 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

登録されているBSチャンネルを変更したいときは

1 **手順4で、変更したい①〜⑫の数字ボタンを選び、決定する。**

2 **手順5で、変更したいBSチャンネル番号を選び、決定する。**

お買い上げ時の設定に戻すには

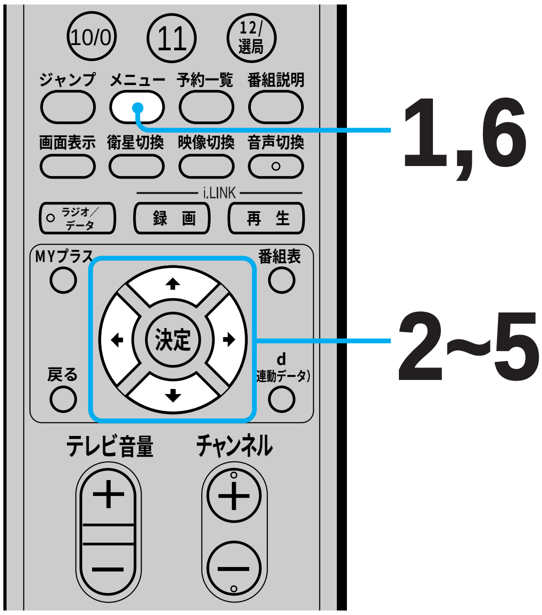
手順4で「BSチャンネル設定の初期化」を選び、決定ボタンを押す。
数字ボタンで選べるBSチャンネルが、お買い上げ時の設定（各BSテレビ局の代表チャンネル）に戻ります。

チャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるBSチャンネルを設定する

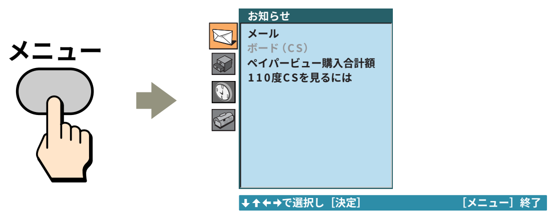
①〜⑫の数字ボタンで選べないチャンネルを、チャンネル＋/－ボタンで選んだり、番組表で表示したりできるように追加できます。
また、「自動登録」に設定するだけで、現在視聴できるBSチャンネルをすべて自動登録し、リモコンのチャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるようにできます。

ご注意

①〜⑫の数字ボタンで選べないチャンネルは、次の操作で追加しないと番組表に表示されません。



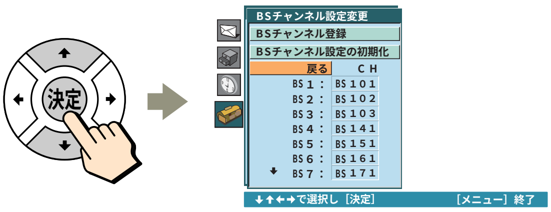
1 **メニューボタンを押す。**



2 ↑/↓で「（初期設定）」を選び、決定ボタンを押す。



3 ↑/↓で「BSチャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。



4 ↑/↓で「BSチャンネル登録」を選び、決定ボタンを押す。

BSのすべてのチャンネルが3ケタのチャンネル番号順に表示されます。



5 ↑/↓/←/→で、変更したいチャンネルにカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

選んだBSチャンネルの□に✓が付き、リモコンのチャンネル＋/−ボタンや番組表で選べるようになります。



「戻る」
1つ前の画面に戻る。

「次へ」
次ページを表示する。

「前へ」
前ページを表示する。

「自動登録」
すべての無料チャンネルおよび契約済みのチャンネルに、✓が付く。

「クリア」
リモコンの①〜⑫の数字ボタンで選べるチャンネルを除くすべての✓をはずす。

ちょっと一言

- 　　　　のように明るく表示されるチャンネルは、契約済みまたは無料のチャンネルです。
- 　　　　のように暗く表示されるチャンネルは、未契約のチャンネルまたは臨時チャンネルです。
- □の付いているチャンネルにだけ、✓を付けられます。
- 新しくBS放送局が開設されると、チャンネルが自動で追加されます。

現在視聴できるBSチャンネルをすべて自動登録するには

「自動登録」を選び、決定する。
現在視聴できるすべてのBSチャンネルに✓が付き、リモコンのチャンネル＋/−ボタンや番組表で選べるようになります。

✓をはずすには

✓の付いているチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

ご注意

- ①〜⑫の数字ボタンに登録されたチャンネルには、あらかじめ□のない✓が付いています。（✓は、はずせません。）
- 臨時チャンネルは選べません。□も表示されません。

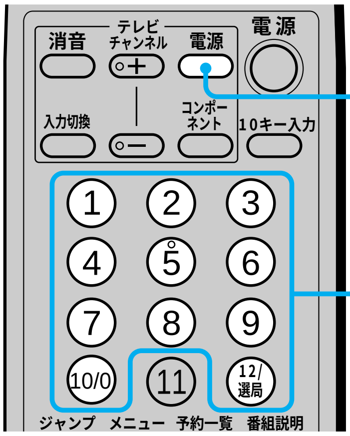
6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

本機のリモコンでテレビも操作する

本機のリモコンを使ってテレビも操作できます。

メーカー登録番号を設定する

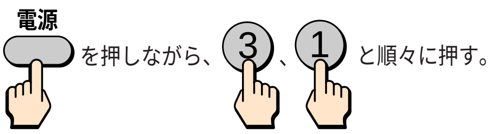
お買い上げ時は、ソニー製テレビを操作できる設定になっています。他社製テレビを操作するときは、メーカー登録番号を設定してください。



テレビ電源ボタンを押しながら、操作したいテレビのメーカー登録番号を2ケタ続けて押す。

登録番号が複数あるメーカーは、お手持ちのテレビが操作できるまで、設定し直してください。

例）：東芝製テレビ（登録番号31）の場合



メーカー登録番号表

メーカー	登録番号
ソニー	11（お買い上げ時の設定） 12 13
松下	21 22
東芝	31
日立	41 42
三菱	51 52 53
日本ビクター	61 62 63
サンヨー	71 72 73
アイワ	77 78 79
シャープ	81 82 83
NEC	91 92
フナイ	87 88 89 8+(10/0) 8+(12/選局)
パイオニア	(10/0)+1

ご注意

- リモコンの電池を取り出したり、電池が寿命になると、設定した内容は消えて、お買い上げ時の設定に戻ります。もう1度設定し直してください。
- メーカーによっては複数のリモコン信号を採用しているため、操作できないことがあります。そのときは、テレビのリモコンでテレビを操作してください。
- 本機リモコンのボタンに対応する機能がテレビにない場合は、そのボタンは働きません。

テレビを操作する

テレビのリモコン受光部に向けて、下記のボタンを使ってください。

ご注意

本機チューナーのリモコン受光部に向けても、テレビは操作できません。



電源ボタン
テレビの電源を入/切する。

チャンネル+/−ボタン
テレビのチャンネルを切り換える。

消音ボタン
テレビの音声を消す。

入力切換ボタン
テレビがビデオ入力に切り換わり、テレビのビデオ入力端子につないだ機器の映像になる。

コンポーネントボタン
テレビがコンポーネント入力に切り換わり、テレビのコンポーネント入力端子につないだ機器の映像になる。

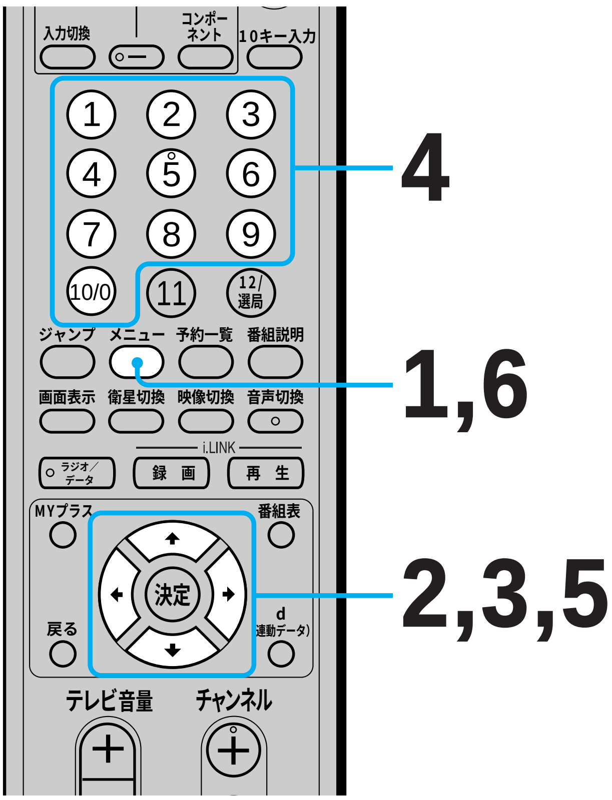
テレビ音量ボタン
テレビの音量を調節する。

暗証番号を設定する

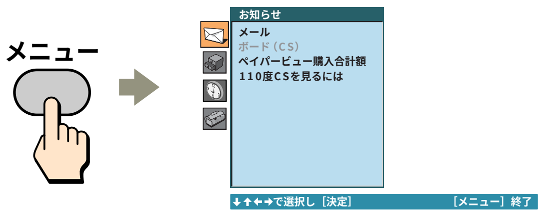
視聴年齢制限付き番組を視聴制限する（☞8ページ）ためには、暗証番号の設定が必要です。

ご注意

設定した暗証番号は、忘れないようにしてください。
視聴年齢制限付き番組を見るときに入力が必要です。
万一、忘れたときは、ご覧になりたいBS放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。



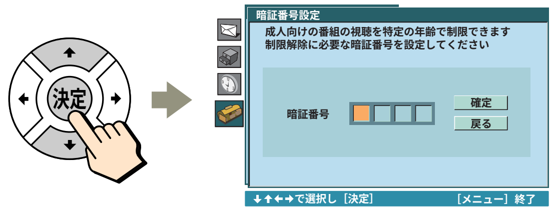
1 メニューボタンを押す。



2 ↑/↓で「（初期設定）」を選び、決定ボタンを押す。



3 ↑/↓で「暗証番号設定」を選び、決定ボタンを押す。



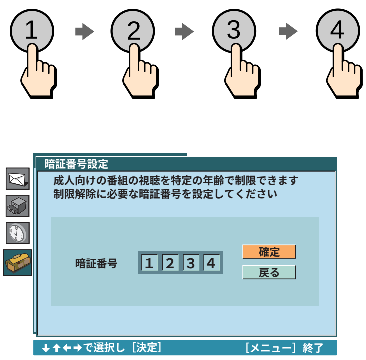
4 数字ボタンで4ケタの暗証番号を入力する。

「0」を入力するときは、10/0 ボタンを押す。
暗証番号を間違えたときは←で戻り、入力し直してください。

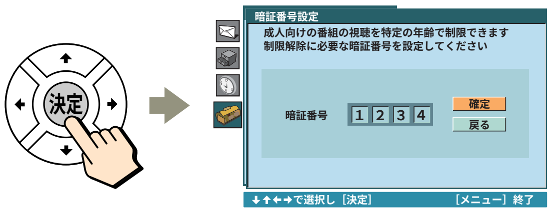
ご注意

設定した暗証番号は、忘れないようにしてください。
万一、忘れたときは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

例）暗証番号が1234の場合



5 「確定」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。



6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

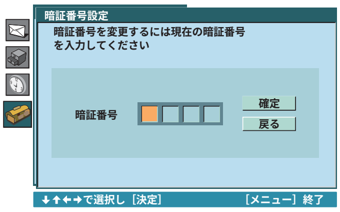
受信設定

次のページにつづく

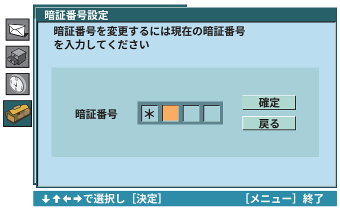
暗証番号を設定する（つづき）

暗証番号を変更するには

1. **メニューボタンを押す。**
2. **↑/↓で「（初期設定）」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **↑/↓で「暗証番号設定」を選び、決定ボタンを押す。**



4. **数字ボタンを押して、変更前の4ケタの暗証番号を入力する。**
   変更前の暗証番号は、＊マークで表示されます。

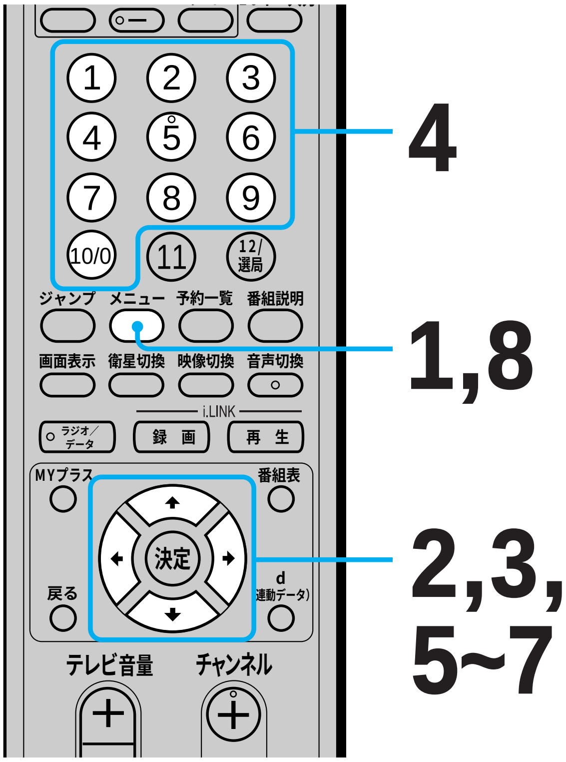


   変更前の暗証番号を忘れたときは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

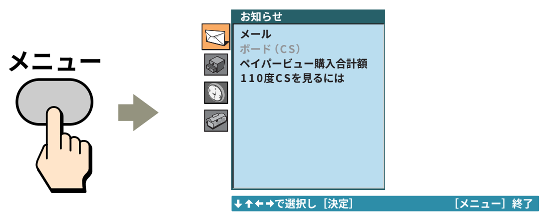
5. **「確定」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。**
6. **数字ボタンを押して、好みの数字を入力し、↑/↓で「確定」を選んで決定ボタンを押す。**
   暗証番号が変更されます。

視聴年齢制限を設定する

視聴年齢制限付き番組（番組表☞20ページやMYプラス☞25、27、31ページ、「番組説明」画面☞12ページでのついている番組）を視聴できる年齢を制限できます。
制限すると、設定した暗証番号（☞113ページ）を入れないと、視聴できなくなります。
お買い上げ時、視聴年齢制限は設定されていません。



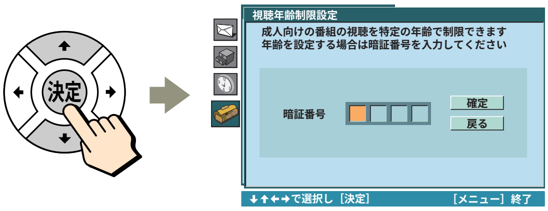
1 メニューボタンを押す。



2 ↑/↓で「(初期設定)」を選び、決定ボタンを押す。



3 ↑/↓で「視聴年齢制限設定」を選び、決定ボタンを押す。



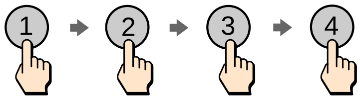
4 数字ボタンで、設定してある4ケタの暗証番号（☞113ページ）を入力する。

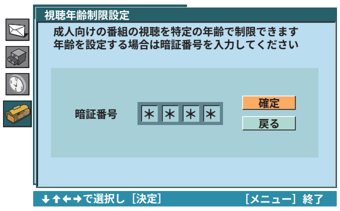
「0」を入力するときは、⑩/0 ボタンを押す。

暗証番号を間違えたときは←で戻り、入力し直してください。

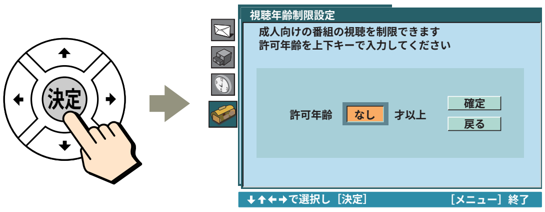
入力された数字は＊マークで表示されます。

例）暗証番号が1234の場合





5 「確定」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。



6 ↑/↓で年齢制限を設定し、決定ボタンを押す。

4歳〜19歳で設定できます。

例えば「14歳以上」に設定すると、15歳から視聴可能な番組を視聴するときに暗証番号の入力が必要です。15歳から視聴可能な番組は、番組表（☞20ページ）やMYプラス（☞25、27、31ページ）、「番組説明」画面（☞12ページ）では「15才〜（15歳以上視聴可能）」と表示されます。



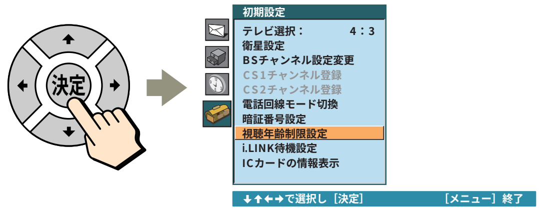
すべての成人向け番組の視聴を制限するときは

「4歳以上」などの低い年齢に設定する。

視聴年齢制限付き番組を選ぶと、暗証番号を入力しないと見ることができなくなります。

> **視聴制限をしないときは**
> 許可年齢を「なし」に設定する。
> 視聴年齢制限付き番組でも暗証番号を入力しないで、見ることができます。

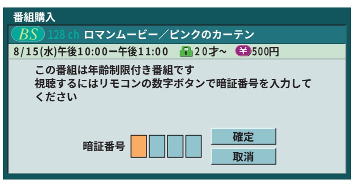
7 ↑/↓/←/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。



8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

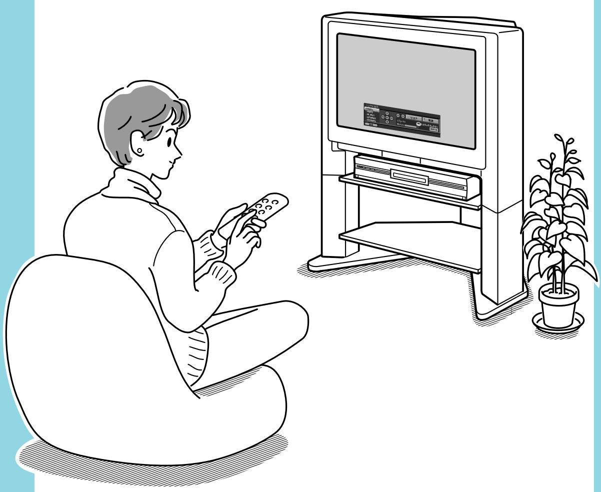
視聴年齢制限付き番組を選ぶと

暗証入力画面が表示されます。設定した暗証番号を①〜⑩/0の数字ボタンで入力すると、番組を見ることができます。



i.LINKでの接続

ここでは、本機とi.LINK対応機器の接続方法や設定について説明しています。
i.LINK対応機器の操作については、「i.LINKで操作する」（☞62〜74ページ）をご覧ください。



i.LINK（アイリンク）について

i.LINKで何ができるの？

i.LINKは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などの信号を双方向でやりとりしたり、他機を操作したりできます。
次のような特徴があります。

① i.LINKケーブル1本だけでi.LINK対応機器間をつなげます。

② 複数のi.LINK対応機器をつないだときは、他の機器を介してつないでも、操作やデータのやりとりができます。このため、接続順序は気にする必要ありません。

③ ただし、つなぐ機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、つないでも操作やデータのやりとりができない場合があります。

④ i.LINK操作するときは、操作する相手を1台だけ選ぶ必要があります（「LINCする」といいます）。すなわち、1度に1台だけi.LINK対応機器を操作でき、同時に複数の機器を操作できません。

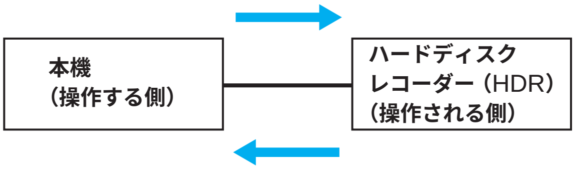
LINC（リンク）する：操作したいi.LINK対応機器を選ぶ

i.LINKケーブルでつないだだけでは、つないだi.LINK対応機器を本機は操作できません。
まず操作したい相手を1台だけ選ぶ必要があります。これを「LINCする」といいます。
「LINCする」と、本機と操作したい相手の機器間で、次の図のように信号のやりとりが行われます。

例）本機がハードディスクレコーダー（HDR）をLINCするとき

呼びかけ①と返答②でLINCが成立して初めて、i.LINK対応機器を操作できるようになります。

① 本機が「これから操作してもいいですか？」と、ハードディスクレコーダー（HDR）に信号を送る。



② ハードディスクレコーダー（HDR）が「了解です」と、本機に信号を送る

ちょっと一言

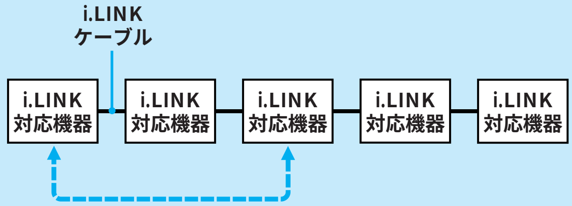
LINCは、Logical Interface Connection（ロジカル・インターフェース・コネクション：「論理的な接続を行う」の意）の略です。
i.LINK（アイリンク）および i はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

コピープロテクションについて（☞37ページもご覧ください。）

本機はDTLAのコピープロテクション技術に対応しています。
著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピープロテクション技術が採用されています。
この技術のひとつは、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。
このDTLAのコピープロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像/音声/データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。
また、DTLAのコピープロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、i.LINKでデジタルの映像/音声/データのやりとりができない場合があります。

i.LINKでの接続について

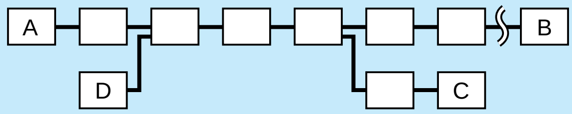
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブルで数珠つなぎにします（「デイジー・チェーン」と呼びます）。



2つの機器の間に他の機器がつながれていても、操作やデータのやりとりを行えます。

途中から分岐してつなげます

- i.LINK端子を3つ以上持つi.LINK対応機器の場合、途中から分岐してもつなげます。
- i.LINKの規格上、一番長い経路は17台までつなげます（i.LINKケーブルは、一番長い経路に対して連続して16本まで使用できます）。
  ひとつの経路に対して使用したi.LINKケーブルの数を「ホップ」と呼びます。例えば、下図のA→Cの経路は6ホップ、A→Dの経路は3ホップとなります。

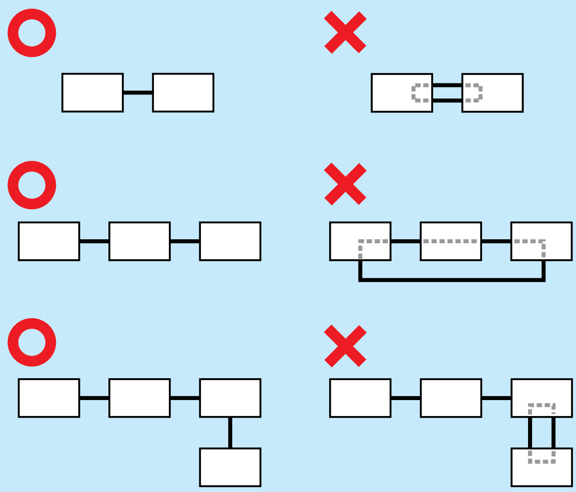


A→B、A→C、A→D、B→C、B→D、C→D、
いずれの経路も最大17台の機器をつなげます（最大16ホップ）。

接続が輪（ループ）にならないようにつないでください

デジタル信号は、接続したすべてのi.LINKケーブルに流れます。信号を出力した機器に同じ信号が戻らないよう、輪にならないようにつないでください。接続が輪（環状）になることを「ループ」と呼びます。

正しい接続例（ループしていない）　　**悪い接続例（ループしている）**



次のページにつづく

i.LINK（アイリンク）について（つづき）

接続についてのご注意

- i.LINKのデジタル信号は、その機器で取り扱えるかどうかに関わらず、つないだ他のi.LINK対応機器に中継されます。ただし、コンピューターなど一部のi.LINK対応機器の中には、電源が切られていたり、省電力モードに入っていると、データを中継しない機器があります。i.LINKでの接続の際は、つなぐ機器の取扱説明書もご覧ください。
- i.LINKは、すべてのi.LINK対応機器間での接続動作を保証するものではありません。i.LINK対応機器間でデータやコントロール信号がやりとりできるかどうかは、それぞれの機器の機能によって異なります。
- i.LINK対応機器には、その機器が対応している最大データ転送速度がi.LINK端子の周辺に表記されています。i.LINKの最大データ転送速度は、約100/200/400Mbps*が定義されており、200MbpsのものはS200、400MbpsのものはS400と表記されます。最大データ転送速度が異なる機器をつないだ場合や、機器の仕様により、実際の転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbps（メガビーピーエス）とは、「Mega bits per second」の略で、1秒間に通信できるデータの容量を示しています。200Mbpsでは、1秒間に200メガビットのデータを転送します。

ソニー製ハードディスクレコーダーVRP-T1をつなぐ

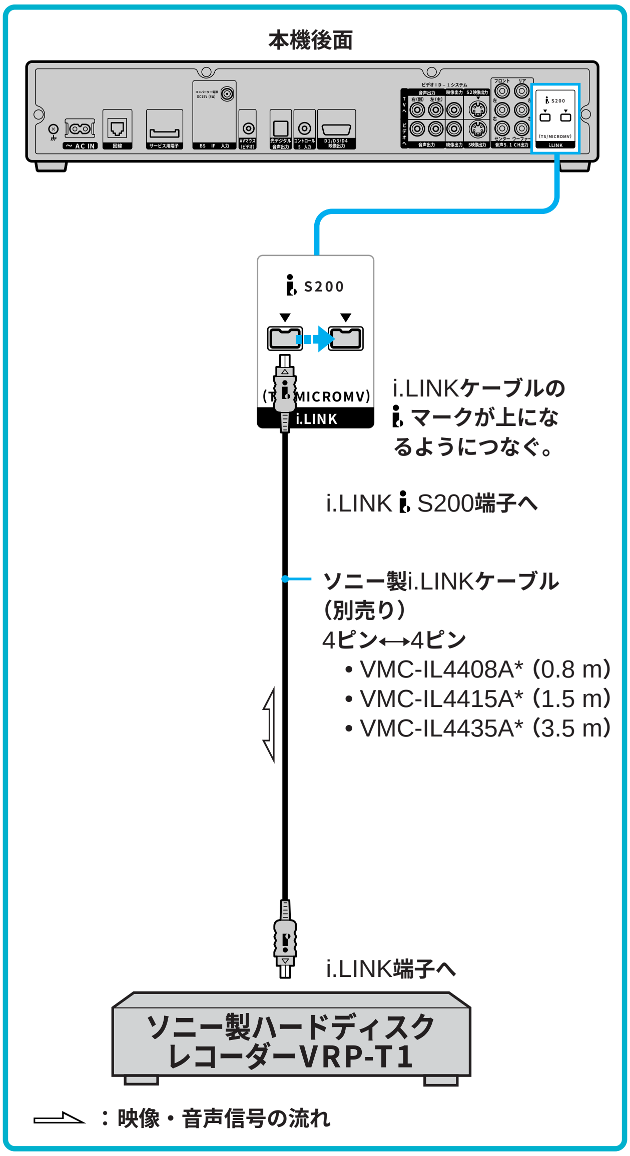
ソニー製のデジタル レコーディング ハードディスクドライブ（Digital Recording HDD）VRP-T1とつなぎます。

i.LINK操作画面（☞66、69ページ）などでは「HDR」と表示されます。

i.LINK接続をすると、本機のi.LINK操作画面を使って、受信中のBSデジタル放送をハードディスクレコーダーVRP-T1にデジタル録画したり（☞34、64ページ）、ハードディスクレコーダーVRP-T1に録画した番組をデジタル再生したりできます（☞67、70ページ）。

なお、ソニー製ハードディスクレコーダーClip-On（2001年9月現在）は、i.LINK対応機器でないため、つなげません。

ハードディスクレコーダーVRP-T1の取扱説明書もあわせてご覧ください。



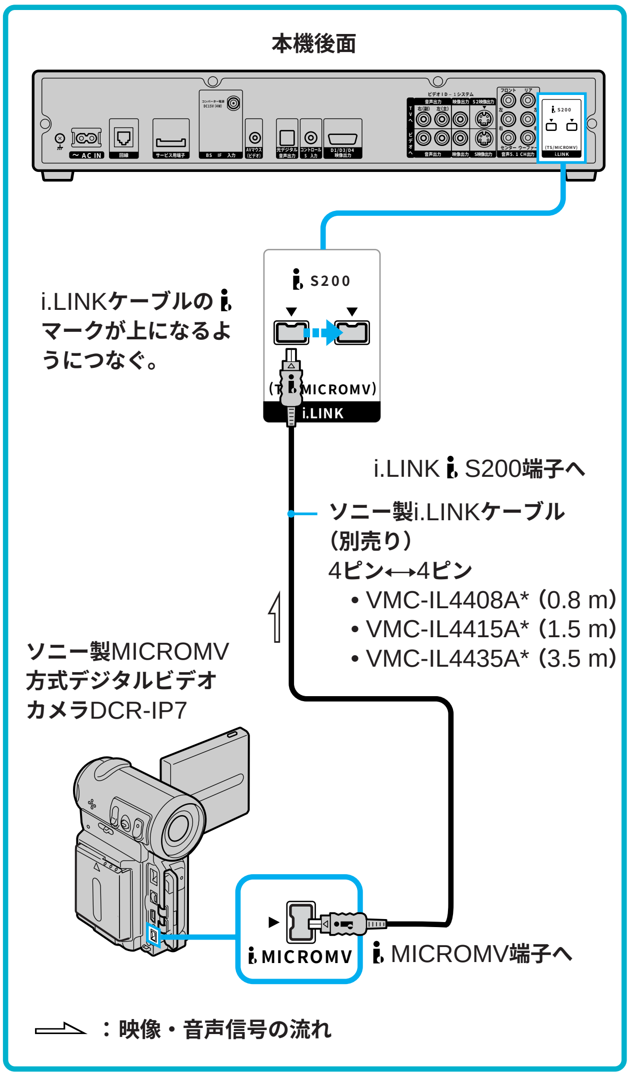
* 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

本機でハードディスクレコーダーVRP-T1を操作するには

☞34、64ページをご覧ください。

ソニー製MICROMV方式デジタルビデオカメラをつなぐ

ソニー製のMICROMV方式デジタルビデオカメラDCR-IP7をつなぎます。**i.LINK操作画面（☞74ページ）などでは「M-MV」と表示されます。**
i.LINK接続をすると、本機の「i.LINK再生」（M-MV）操作画面を使って、MICROMV方式デジタルビデオカメラの映像をデジタル再生できます（☞73ページ）。
MICROMV方式デジタルビデオカメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。



* 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

本機でMICROMV方式デジタルビデオカメラを操作するには

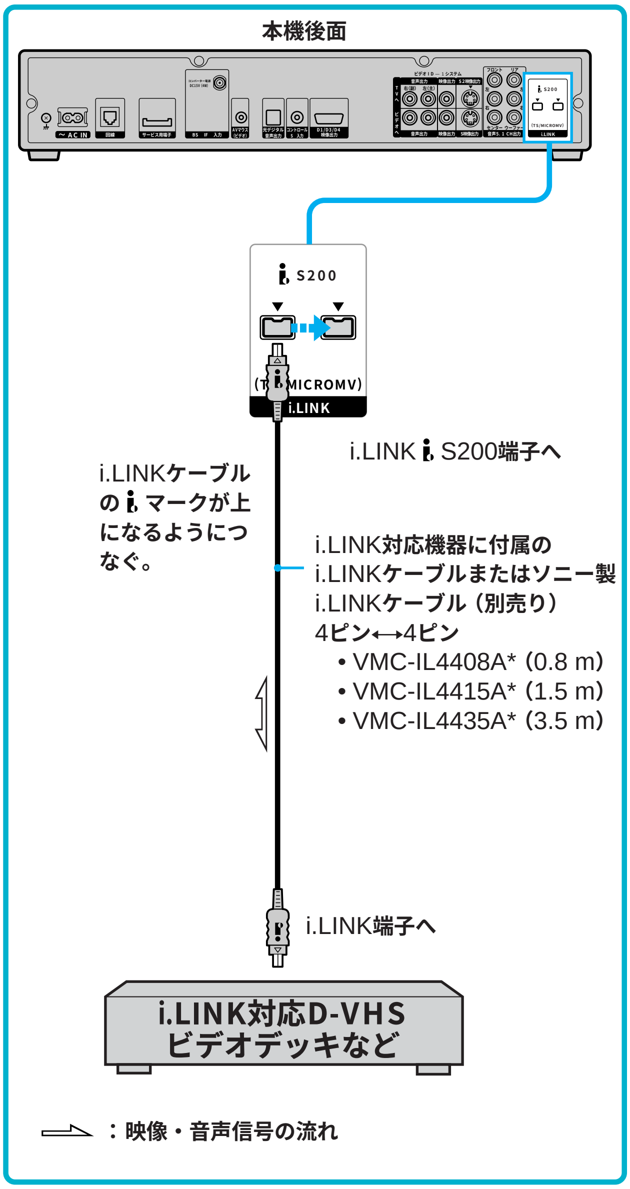
☞73ページをご覧ください。

その他のi.LINK対応機器をつなぐ

ソニー製ハードディスクレコーダーVRP-T1と、ソニー製MICROMV方式デジタルビデオカメラDCR-IP7以外のi.LINK対応機器をつないで、LINCする操作を説明します。本機でLINCしても、つないだ機器を本機では操作できません。**つないだ機器側で操作してください。**
つないだi.LINK対応機器の取扱説明書も必ずご覧ください。

ご注意

- D-VHSデッキなどのi.LINK対応機器は、本機の操作画面では操作できません。また、ソニー製D-VHSビデオデッキSLD-DC1（HD録画未対応）も、本機の操作画面では操作できません。
- 次のi.LINK対応機器は、本機が対応していないため、つながないでください。
  - DV方式デジタルビデオカメラ
  - パソコン
  - MDデッキ
- 機器によっては、正しくLINCできないことがあります。また、LINCできても、デジタル信号が正しくやりとりされないことがあります。詳しくは、つないだi.LINK対応機器の取扱説明書をご覧ください。



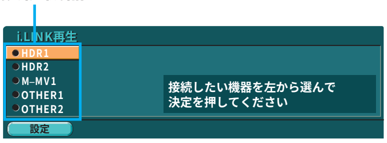
* 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

つないだi.LINK対応機器をLINCするには

1　再生するときはi.LINK再生ボタンを押して「i.LINK再生」操作画面を、録画するときはi.LINK録画ボタンを押して「i.LINK録画」操作画面を表示する。

接続中の機器とつないだことのある機器が「接続機器リスト」に表示されます。

接続機器リスト



2　↑/↓/←/→でLINCしたい（操作したい）「OTHER」*を1台選び、決定ボタンを押す。

「LINC中です」と表示されて、選んだ「OTHER」に●が付きます。

* ソニー製のハードディスクレコーダーVRP-T1とMICROMV方式デジタルビデオカメラ以外で本機とLINCできるi.LINK対応機器は、すべて「OTHER」と表示されます。

> **「OTHER」が表示されないときや、6台以上のi.LINK対応機器をつないでいるときは**
> 登録機器を変更してください（☞122ページ）。

3　i.LINK操作画面を消す。

「i.LINK再生」操作画面を表示しているときは
i.LINK再生ボタンを押す。

「i.LINK録画」操作画面を表示しているときは
i.LINK録画ボタンを押す。

4　つないだi.LINK対応機器側で操作する。

本機とLINCすると

LINCしたi.LINK対応機器との間で、デジタル信号の入出力ができるようになります。

ご注意

一部のi.LINK対応機器では、「OTHER」と表示されて本機とLINCできても、デジタル信号が正しくやりとりできない場合があります。つないだi.LINK対応機器の取扱説明書をご確認ください。

本機とLINCできないときは

↑/↓で「設定」ボタンを選び、接続機器の情報を確認してください。

本機が対応していないi.LINK対応機器のときは、設定画面に「操作できない機器です」というメッセージが表示されます。つないだi.LINK対応機器の取扱説明書をご確認ください。

i.LINK対応「機器設定」画面



本機が対応していないi.LINK対応機器の場合

i.LINK対応機器の設定をする

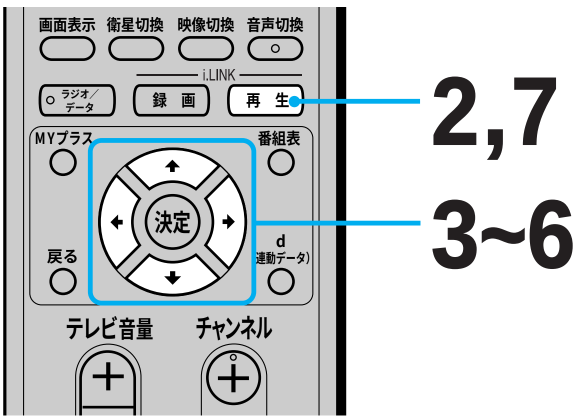
本機はつないだ順に最大5台までi.LINK対応機器を自動登録し、i.LINK操作画面にそれらの機器を表示できます。
この5台の中から、1度に操作できる（LINCできる）のは1台です。

6つ以上のi.LINK対応機器をi.LINKでつなぐときは［登録変更］

6台目のi.LINK対応機器をつなぐときは、すでにつないだ順に自動登録されている5台のいずれかと入れ換えて登録し直さないと、本機のi.LINK操作画面に表示されず、操作もできません。

ご注意

5台以内のときは、この操作はできません。



ここでは例として、「HDR2」の代わりに、別のハードディスクレコーダーVRP-T1を登録する場合

1 **LINCしているi.LINK対応機器の動作を停止させるか、電源を切る。**

2 **i.LINK再生ボタンを押す。**

「i.LINK再生」操作画面が表示されます。

「i.LINK再生」操作画面

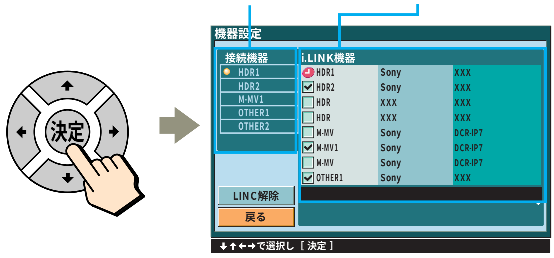


3 **↑/↓/←/→で「設定」ボタンを選び、決定ボタンを押す。**

「機器設定」画面が表示されます。

「機器設定」画面

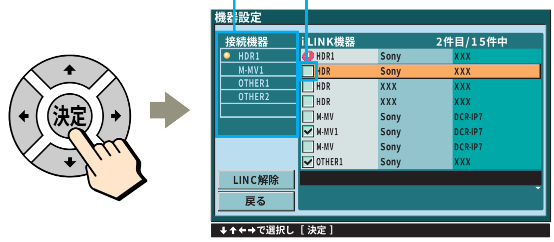
「接続機器」リスト　「i.LINK機器」リスト



「機器設定」画面についての詳しい説明は☞125ページをご覧ください。

4 **↑/↓/←/→で入れ換えたいi.LINK対応機器（ここでは「HDR2」）を選び、決定ボタンを押す。**

「接続機器」リストから「HDR2」が消えます。　□から✓がはずれます。



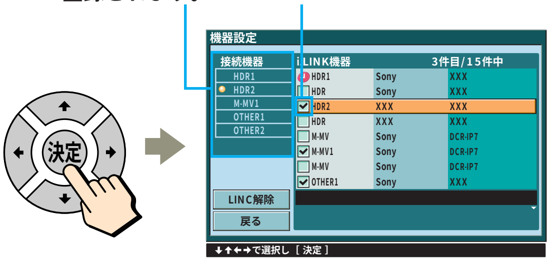
ご注意

- 「接続機器」リストには、i.LINKで接続中の機器とつないだことのある機器が表示されています。そのため、リストに表示されていても、LINCするには、実際にi.LINKケーブルでつなぐ必要があります。
- 現在LINC中の機器および録画予約されている機器（●マーク）は、入れ換えられません。

5 ↑/↓/←/→で新たに登録したいi.LINK対応機器（ここでは未登録の「HDR」）を選び、決定ボタンを押す。

「接続機器」リストに「HDR2」として登録されます。

□に✓が付きます。



ご注意

「操作できない機器です」と表示されるi.LINK対応機器は登録できません。

6 ↑/↓/←/→で「戻る」ボタンを選び、決定ボタンを押す。

「i.LINK再生」操作画面に戻ります。

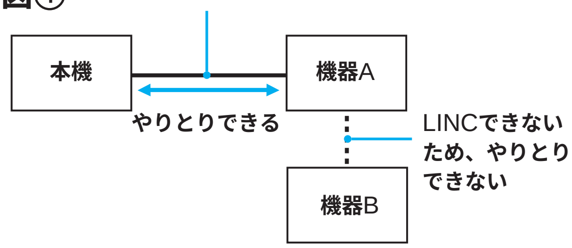


7 i.LINK再生ボタンを押して、「i.LINK再生」操作画面を消す。

LINC中のi.LINK対応機器をいったん解除するときは［LINC解除］

下の図①で、本機とLINC中の「機器A」は、本機とだけ、デジタル信号のやりとりができます。

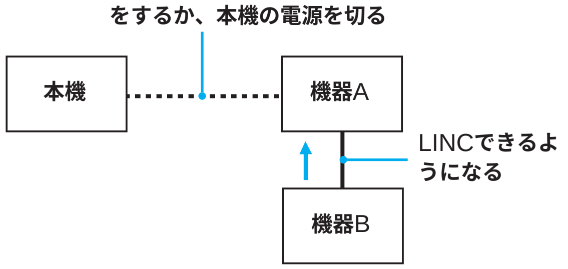
図①



「機器B」が「機器A」とやりとりする（図②）ためには、本機と「機器A」間のLINCをいったん解除する必要があります。

以下の手順を行ってください。

図②



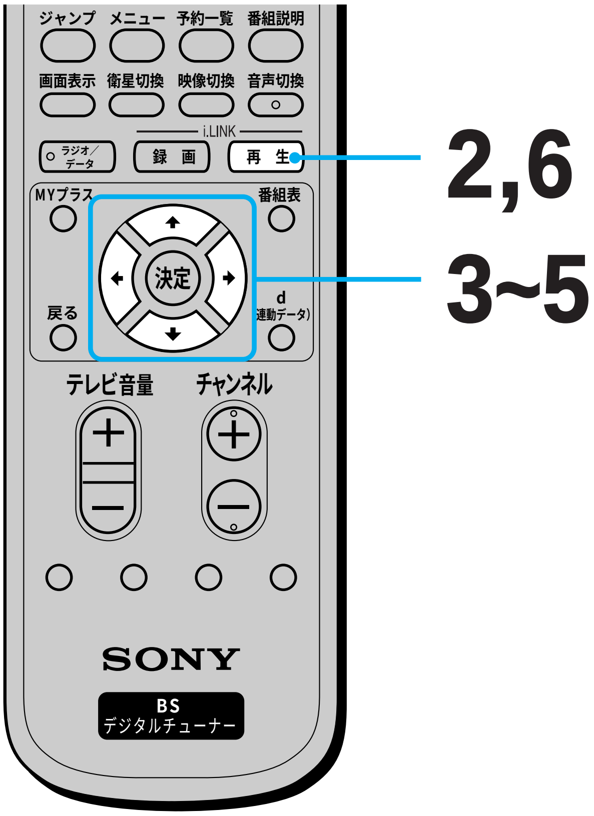
ご注意

i.LINK対応機器の録画予約終了後は、予約したi.LINK対応機器がLINCされたままになる場合があります。

i.LINKでの接続

次のページにつづく

i.LINK対応機器の設定をする（つづき）



1 **LINCしているi.LINK対応機器の動作を停止させる。**

2 **i.LINK再生ボタンを押す。**

「i.LINK再生」操作画面が表示されます。

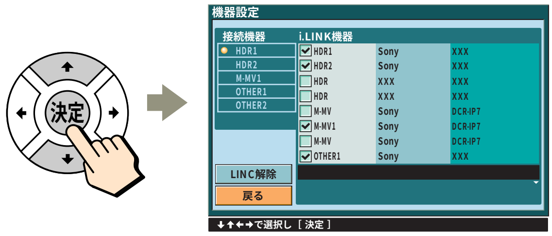
「i.LINK再生」操作画面



3 **↑/↓で「設定」ボタンを選び、決定ボタンを押す。**

「機器設定」画面が表示されます。

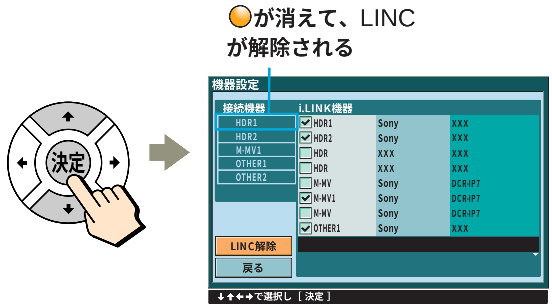
「機器設定」画面



「機器設定」画面についての詳しい説明は☞125ページをご覧ください。

4 **↑/↓で「LINC解除」ボタンを選び、決定ボタンを押す。**

LINCしていたi.LINK対応機器の●が消えて、LINCが解除されます。



5 **↑/↓/←/→で「戻る」ボタンを選び、決定ボタンを押す。**

「i.LINK再生」操作画面に戻ります。



6 **i.LINK再生ボタンを押して、「i.LINK再生」操作画面を消す。**

「機器設定」画面について

「接続機器」リスト
i.LINK操作画面から操作できるi.LINK対応機器を表示します。つないだ順に5台まで自動的に登録されます。
接続機器の右の数字は、同じHDRや同じM-MVの中で何番目につないだ機器かを示します。HDR、M-MV、OTHERの順に表示します。

●：　現在LINC中のi.LINK対応機器
HDR：　ソニー製ハードディスクレコーダーVRP-T1（☞64ページ）
M-MV：　ソニー製MICROMV方式デジタルビデオカメラDCR-IP7（☞73ページ）
OTHER：上記以外のi.LINK対応機器（☞120ページ）

✓：登録中のi.LINK対応機器（5台まで登録できます）

「i.LINK機器」リストの件数

カーソル（選ばれているところ）
黄色で表示され、リモコンの↑/↓/←/→で移動させて、i.LINK対応機器を選びます。

●：録画予約されているi.LINK対応機器（「接続機器」リストから登録を削除できません。）

□：未登録のi.LINK対応機器



「i.LINK機器」リスト
つないだすべてのi.LINK対応機器と、その情報が表示されます。上下に▲/▼があるときは、リモコンの↑/↓で前後の機器を見ることができます。

メッセージ欄
本機が対応していないi.LINK対応機器は、「操作できない機器です」と表示され、「接続機器リスト」に登録できません。

製品型名

メーカー名

「LINC解除」ボタン
LINC中のi.LINK対応機器をいったん解除します（☞123ページ）。

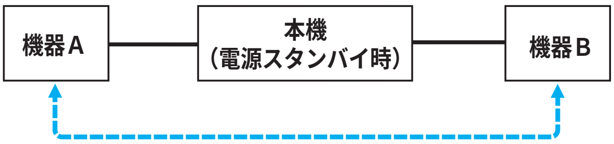
「戻る」ボタン
i.LINK操作画面に戻ります。

i.LINK対応機器の登録名
つないだ機器の登録名として、本機が決めた名前です。

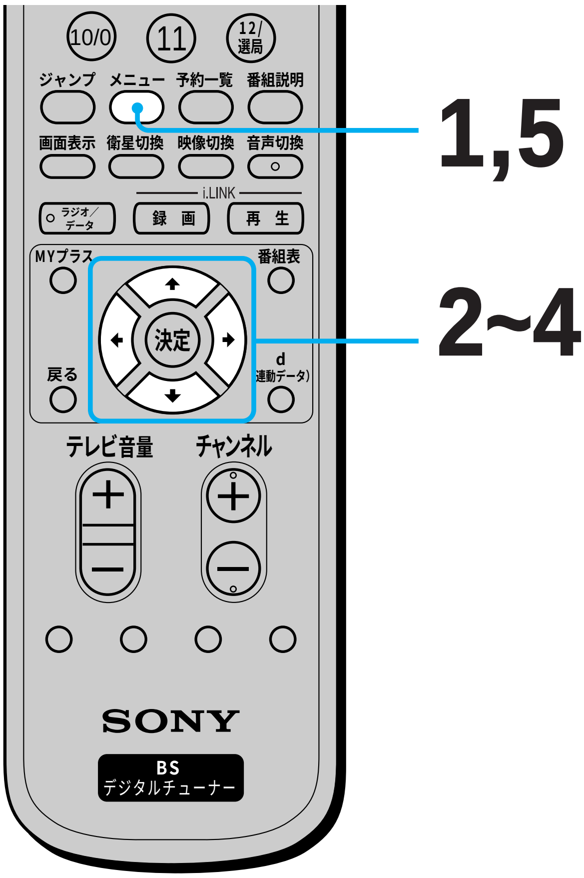
次のページにつづく

電源スタンバイ時に本機を中継してデジタル信号のやりとりをするには［i.LINK待機設定］

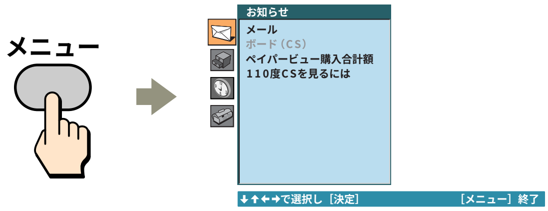
本機の電源スタンバイ時（本体前面の電源ランプが赤く点灯中）でも、「機器A」と「機器B」が本機を中継してデジタル信号のやりとりを行えるように設定できます。



「機器A」と「機器B」を直接つながなくても
デジタル信号のやりとりを行えます。



1 メニューボタンを押す。



2 ↑/↓で「（初期設定）」を選び、決定ボタンを押す。



3 ↑/↓で「i.LINK待機設定」を選び、決定ボタンを押す。



4 ↑/↓で「する」を選び、決定ボタンを押す。

「する」：　本機が電源スタンバイ時でも、本機を中継してデジタル信号のやりとりを行えます。
「しない」設定よりも、電源スタンバイ時の消費電力が上がります。

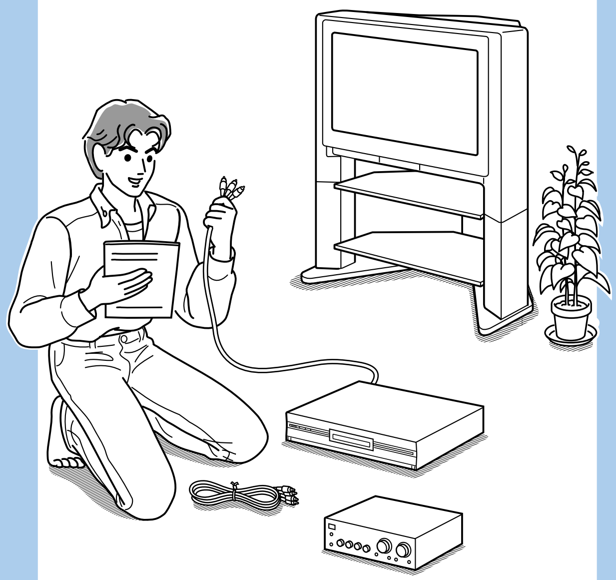
「しない」（お買い上げ時の設定）：本機が電源スタンバイ時は、本機を中継してデジタル信号のやりとりを行えません。



5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

他機との接続

ここでは、オーディオ機器へのつなぎかたについて説明しています。
本機の音声5.1CH出力端子に5.1ch（チャンネル）入力対応のオーディオ機器をつないで5.1chサラウンドの音声を楽しんだり、光デジタル音声出力端子にMDデッキなどをつないでデジタル音声を録音したりできます。



他機との接続

オーディオ機器をつなぐ

5.1ch（チャンネル）入力対応のオーディオ機器をつなぐ

本機後面の音声5.1CH出力端子に5.1ch（チャンネル）入力対応のオーディオ機器をつなぐと、本機が受信した5.1chサラウンドの音声を楽しめます。
サラウンドを充分に楽しむためには、5.1ch入力対応のオーディオ機器に加えて、5本のスピーカーとサブウーファーが必要です。

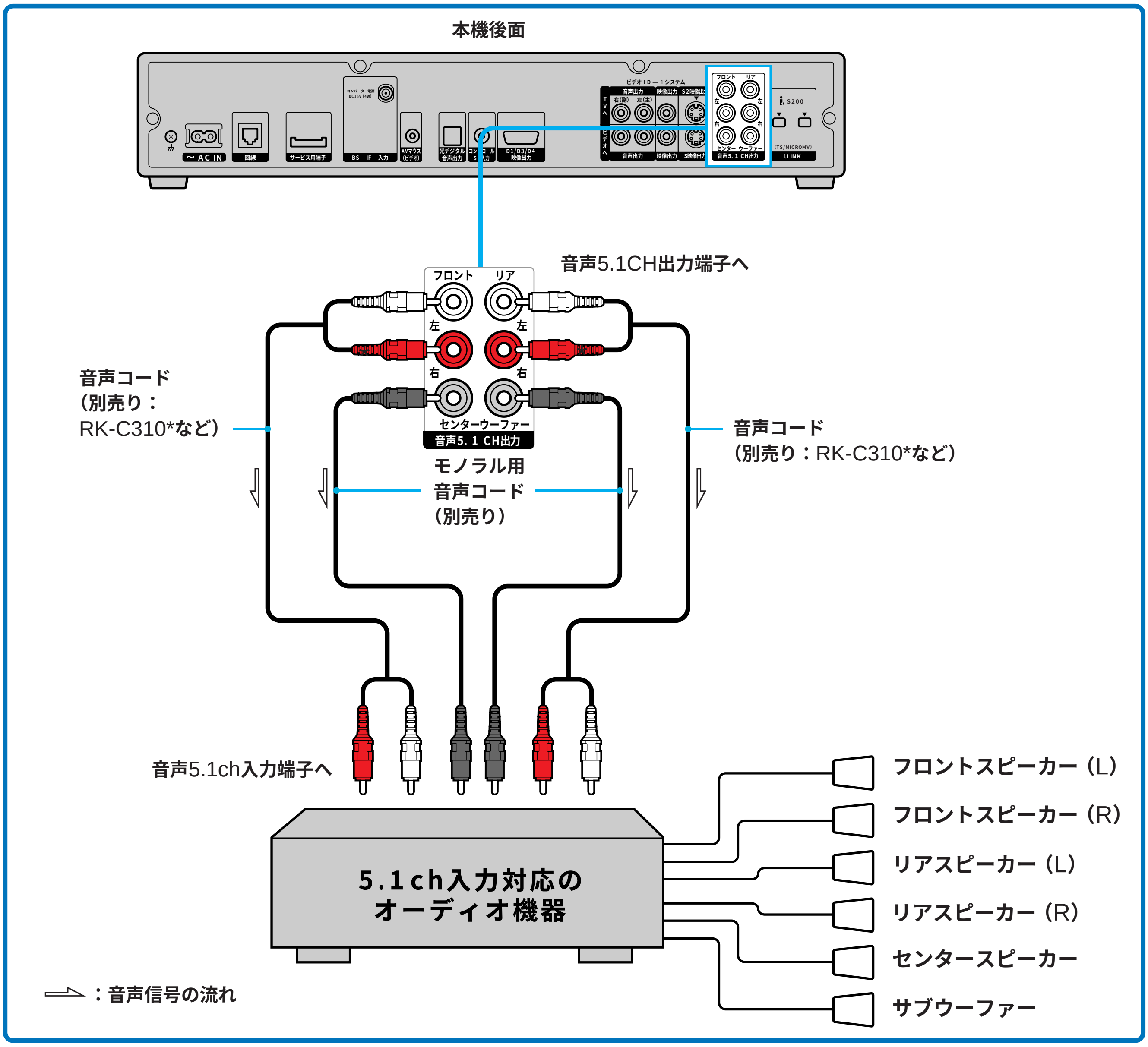
詳しくは、5.1ch入力対応のオーディオ機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

ご注意

「（各種切換）」メニューで、「サラウンド設定」が「5.1ch」（お買い上げ時の設定）になっていることをご確認ください。

ちょっと一言

本機と5.1ch入力対応のオーディオ機器のセンター端子やウーファー端子をつなぐためのモノラル用音声コードがないときは、音声コード（別売り:RK-C310*など）の同じ色のプラグどうしでつないでください。



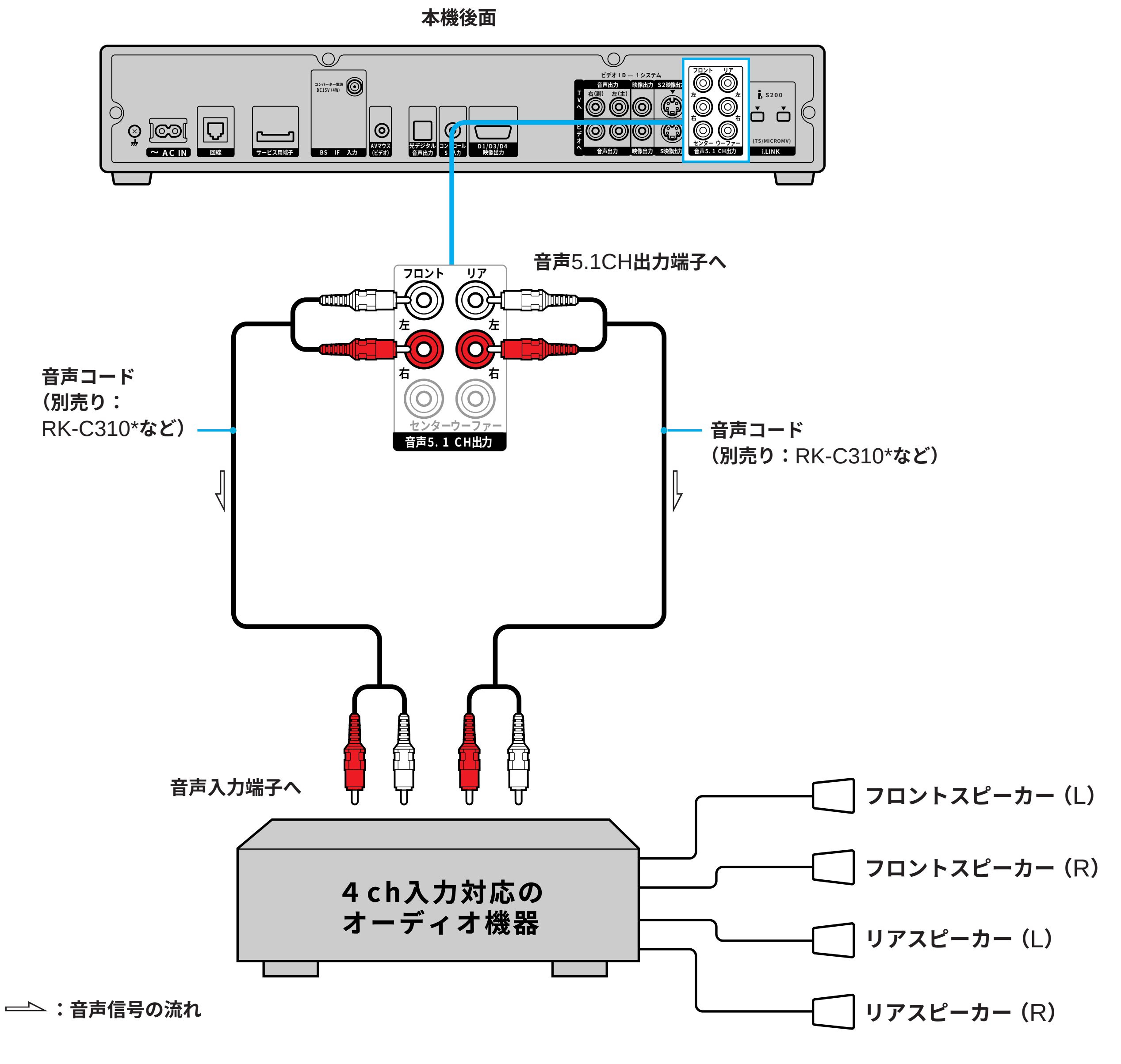
* 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

4ch（チャンネル）入力対応のオーディオ機器をつなぐ

本機後面の音声5.1CH出力端子の左フロント/右フロント/左リア/右リア端子につなぎます。
サラウンドなどの音声は、センターの信号を左右フロントに振り分けて出力します。
音声5.1CH出力端子のセンター/ウーファー端子にはつながないでください。
サラウンドを楽しむためには、4ch入力対応のオーディオ機器に加えて、4本のスピーカーが必要です。詳しくは、4ch入力対応のオーディオ機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

「(各種切換)」メニューで、音声5.1CH出力端子から出る音声を「4ch」に切り換えてください。

1 メニューボタンを押してメニューを出す。
2 ↑/↓で「(各種切換)」を選び、決定ボタンを押す。
3 ↑/↓で「サラウンド設定」を選び、決定ボタンを押す。
4 ↑/↓で「4ch」を選び、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押して、メニューを消す。



* 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

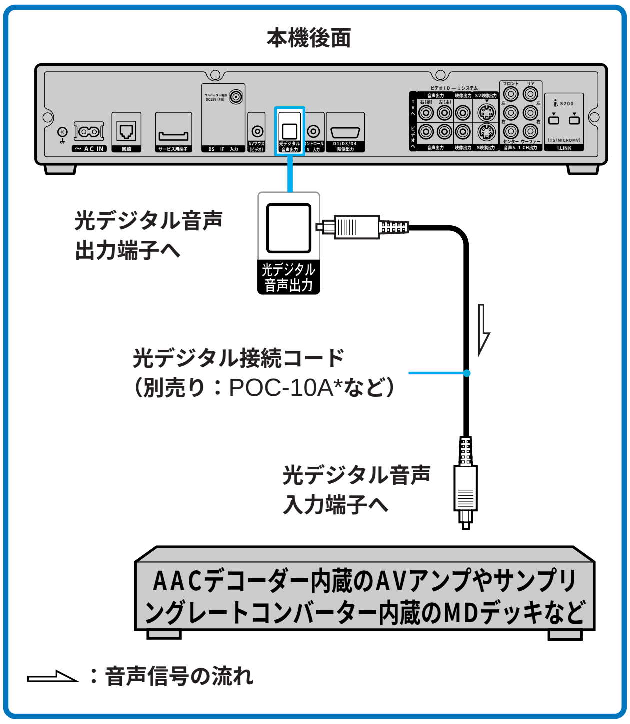
次のページにつづく

オーディオ機器をつなぐ（つづき）

光デジタル入力対応のオーディオ機器をつなぐ

光デジタル音声入力端子を持つAAC**デコーダー内蔵のAVアンプ**などや、**サンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキ**などをつなぎます。

本機はAAC音声信号に対応しているため、本機後面の光デジタル音声出力端子からBSデジタル放送などのデジタル音声が出力されます。
詳しくは、つなぐオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



* 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

AACデコーダー内蔵のAVアンプなどをつなぐときは

「（各種切換）」メニューで、光デジタル音声出力端子の設定を「オート」にしてください。
BSデジタル音声がAAC音声（BSデジタル放送用音声方式）のまま出力されます。

1　メニューボタンを押して、メニューを出す。

2　↑/↓で「（各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。

3　↑/↓で「光デジタル出力」を選び、決定ボタンを押す。

4　↑/↓で「オート」を選び、決定ボタンを押す。

5　メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言
BSデジタル放送によっては、5.1chサラウンドなどの音声を楽しめます。詳しくは、つなぐオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

サンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどの機器をつなぐときは

「（各種切換）」メニューで、光デジタル音声出力端子の設定を「PCM」（お買い上げ時の設定）にしてください。
BSデジタルのデジタル音声が、PCM音声（2ch）のデジタル信号に変換されて出力されます。

1　メニューボタンを押して、メニューを出す。

2　↑/↓で「（各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。

3　↑/↓で「光デジタル出力」を選び、決定ボタンを押す。

4　↑/↓で「PCM」（お買い上げ時の設定）を選び、決定ボタンを押す。

5　メニューボタンを押して、メニューを消す。

BS**録画予約実行中（☞34～40ページ）のご注意**

音声信号が1つのときは

予約されたBSチャンネルの音声を出力します。
ただし、「PCM」に設定されているときは、二重音声番組では、「（予約設定）」メニューの「二重音声設定」（☞41ページ）で設定した音声が出力されます。

第2音声など音声信号が複数あるときは

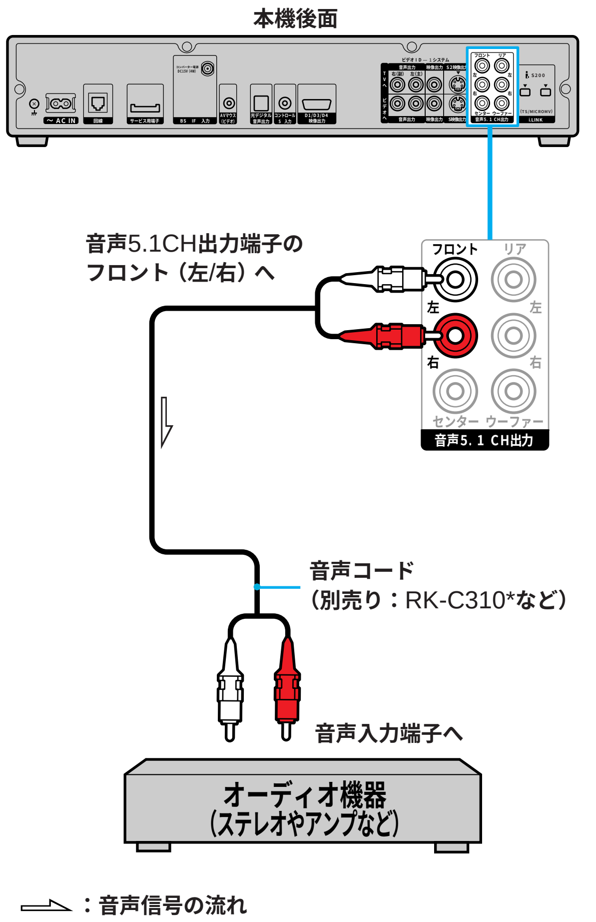
i.LINKでデジタル録画予約したとき（☞34ページ）は、第1音声が出力されます。
AVマウスでアナログ録画予約したとき（☞37ページ）は、予約時に設定した音声が出力されます。

ご注意

- BSデジタル放送では、「光デジタル出力」を「オート」にすると、光デジタル音声出力はAAC音声で出力されます。サンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどのAAC音声出力に対応していない機器につなぐときは、正しく出力されません。必ず、「PCM」に設定してください。
- 本機は、録画防止機能（コピープロテクション）が付いています（☞16、37、117ページ）。そのため、音声に関しても、本機後面の光デジタル音声出力端子からの信号を、録音できない番組があります。
- 光デジタル音声出力端子からは、BSデータでの効果音（ピンポンとかブーなど）は出力されません。

その他のオーディオ機器（2ch入力対応）をつなぐ

オーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



* 2001年9月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

「（各種切換）」メニューで、音声5.1CH出力端子から出る音声を「2ch」に切り換えてください。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
2 ↑/↓で「（各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。
3 ↑/↓で「サラウンド設定」を選び、決定ボタンを押す。
4 ↑/↓で「2ch」を選び、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

その他

ここでは、本機が正常に動かないときに解決する方法などについて説明しています。
また、各部の名前や索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。



故障かな？ と思ったら

修理に出す前に、もう1度、点検をしてください。それでも、正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

チューナー本体の型名：
ディーエスティー ビーエックス
DST-BX500

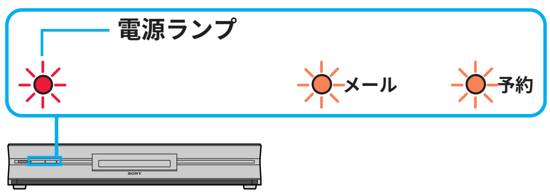
リモコンの型名：
アールエム ジェイ ディー
RM-J325D

故障の状況：できるだけくわしく

購入年月日：

自己診断表示ー電源ランプ、メールランプ、予約ランプが点滅したら

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、本体前面の電源ランプ、メールランプ、予約ランプが点滅して本機の状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。本体前面の電源ランプ、メールランプ、予約ランプが点滅したら、下の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。ご相談の内容によっては、修理が必要な場合があります。



1 本体前面の電源ランプ、メールランプ、予約ランプがどのように点滅しているかを確認してください。
2 電源を切り、電源コンセントを抜いてから、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にランプがどのように点滅しているかを知らせてください。

BSについて

症状		対処のしかた
映らない／乱れる	**アンテナの受信設定ができない/衛星が受信できない。**	• 一部のBSアンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないこともあります。BSデジタル対応の推奨アンテナを使ってください（☞76ページ）。また、お手持ちのBSアンテナについては、BSアンテナ製造元のお客様窓口や、BSアンテナを購入した電気店などにお問い合わせください。 • アンテナの前方に障害物がないところに設置してください。 • 取付金具は水平な位置に取り付けてください。 • アンテナ側は防水型コネクターをつないでください。 • アンテナと本機は、指定された別売りのサテライト用同軸ケーブルでつないでください（☞76ページ）。 • アンテナの方向・角度を調整してください（☞97ページ）。 • 仰角固定ボルトをしっかり固定してください。 • 仰角の数値は、お住まいの地域の数値に合わせてください。 • 雨の強い日は衛星から電波が届きにくく、受信設定ができないことがあります。
	BSが映らない/画像が乱れている。	**アンテナを直接つないでいる場合** • アンテナの前方に障害物があれば取り除いてください。 • アンテナ側は防水型コネクターをつないでください。 • ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。 • 「（初期設定）」メニューで「衛星設定」を選び、「衛星アンテナ設定」を「オート」または「入」にしてください（☞96ページ）。 • アンテナの方向・角度を調整してください（☞97ページ）。 **マンションなどの共同受信システムの場合** • ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。 • サテライト/UV分波器でVHF/UHFとBSを分波してください（☞78ページ）。 • 「（初期設定）」メニューで「衛星設定」を選び、「衛星アンテナ設定」を「切」にしてください（☞96ページ）。 **複数のBS機器をサテライト分配器でつないでいる場合** • アンテナ用電源を供給する機器のスイッチを「入」にしてください。 **その他** • 次のようなときはBSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。 – お住まいの地域またはBSを送信する放送衛星会社（☞4ページ）の地域が雷雨、強風などの悪天候のとき – BSアンテナに雪が付着しているとき – 強風などでアンテナの向きが変わったとき（BSアンテナの向きを調整してください。☞97ページ） • 本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがあります。 • BS専用のケーブルを使ってください（☞76ページ）。 • 加入申し込みが必要なBSチャンネルもあります（☞108ページ）。
	• **電源ランプ、メールランプ、予約ランプが点滅する。** • **テレビ画面に「取扱説明書をご覧いただき、BSアンテナ電源（コンバーター電源）を確認してください」と表示される。** • **本体前面の表示窓に「コンバータ カクニン」が点滅する。**	**BSアンテナをつないでいるときは** ①77ページ下の内容を確認してください。それでも表示が消えないときは、本機の電源を切り、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。 ②表示が消えたときは、もう1度、受信設定してください（☞96ページ）。そのときに、「（初期設定）」メニューの「衛星設定」で、「衛星アンテナ設定」を「オート」または「入」にしてから行ってください。 **マンションなど共同受信システムのときは** 78ページ下の内容を確認してください。それでも表示が消えないときは、本機の電源を切り、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

その他

故障かな？と思ったら（つづき）

症状		対処のしかた
映らない／乱れる	**チャンネルが映らない**	• 本機とテレビのつなぎかたと、映像出力切換の設定は正しいですか？（☞80〜87ページ） • B-CASカードは正しい向きで入っていますか？（☞102ページ） • ICカード挿入口のふたは閉まっていますか？（☞102ページ） • 放送日や時間を確認してください。 • 受信契約（加入申し込み）をしていますか？（☞108ページ） • 電源コードをしっかりつないでください。 • 長期間、コンセントやアンテナ、電話線を抜いたままにしないでください。視聴データなどの伝送ができなくなり、放送をご覧いただけなくなることがあります。
	チャンネル＋/－ボタンで選局できない。	• 本機では、BSテレビとBSラジオ、BS独立データの、それぞれのチャンネル内で順送り選局します。ご覧になっている放送の種類をご確認ください（☞9、51、53ページ）。 • ①〜⑫ の数字ボタンで選べないチャンネルは、設定しないとチャンネル＋/－ボタンで選局できません（☞109ページ）。 • マルチチャンネル放送の臨時放送（☞10ページ）や緊急放送（☞11ページ）は選局できません。
	BSのチャンネルが切り換わらない。	• 予約一覧でBS予約した録画の実行中かを確認してください（☞45ページ）。
	画面に何も映らない	• 音声だけのBSラジオのチャンネルが選ばれたためです。故障ではありません。
	映像が、通常に比べ画質/音質が低下した映像に勝手に切り換わる。	• 激しい雨など受信状態が悪いときなどに、降雨対応放送に切り換わる場合があります。ひんぱんに切り換わるときは、「（初期設定）」メニューの「衛星設定」で、「降雨対応放送受信」を「切」にしてください（☞10ページ）。
	チャンネルを切り換えたり、番組が切り換わったりするときにノイズが出る。	• デジタルハイビジョン信号 HD と標準テレビ信号 SD など映像の解像度が変化するときに、同期信号などの白い線が見えることがありますが、故障ではありません。
	画面の横縦比がおかしい。	• テレビの横縦比に画像を合わせてください（☞93ページ）。
番組表に表示されない	**番組表に表示されないチャンネルがある。**	• 本機では、番組表ボタンで番組表を表示したときは、BSテレビとBSラジオ、BS独立データで、それぞれの番組表が表示されます。ご覧になっている番組表をご確認ください（☞20ページ）。 • リモコンの↑/↓で、番組表を上下に送って表示したいチャンネルを選んでください。 • ①〜⑫ の数字ボタンで選べないチャンネルは、設定しないと番組表に表示されません（☞109ページ）。
	MYチャンネル番組表に表示されないチャンネルがある。	• MYチャンネル番組表のチャンネルは、あらかじめ登録しないと表示されません。「よく視聴するBSチャンネルをあらかじめMYチャンネルに登録する」（☞23ページ）を行ってください。。
	MYチャンネル番組表やMYジャンル番組表に表示される番組数が少ない。	• お買い上げ時、または長時間電源コードを抜いた状態のときは、次に電源を入れた後は、番組表に表示される番組が少ないことがあります。電源コードを抜いていると、BS放送局が送信する番組情報をデータ取得できないためです。
	ジャンル検索した番組のジャンルが「番組説明」画面で表示されるジャンルと違っている。	• 「番組説明」画面（☞13ページ）では、代表的なジャンルが1つしか表示されませんが、1つの番組が最大3つのジャンル情報を持っており、それぞれのジャンルで検索できるためです。

症状		対処のしかた
音声が乱れる	**音声が出ない/音声がおかしい。**	• 音量の調節は、リモコンをテレビに向けて操作してください。 • 二か国語放送などで、副音声や第2音声になっていませんか？（☞54ページ）
	二か国語が混じってビデオに録音されていた。	• S映像/映像/音声出力端子（ビデオへ）からビデオに録画するときは、あらかじめ「(予約設定)」メニューの「二重音声設定」で「主」、「副」または「主/副」を選んでください（☞41ページ）。「主/副」を選んだときは再生時にビデオのリモコンで聞きたい音声を選んでください。
番組の購入などができない	**ペイ・パー・ビュー（PPV）が購入できない。**	• 本機と電話回線が正しくつながれているか確認してください（☞89～92ページ）。 • 電話回線の種類などが正しく設定されているか確認してください（☞103ページ）。 • 番組によっては購入可能時間が決まっているものがあります。 • 番組の購入可能件数を越えると購入できなくなります。

予約について

症状		対処のしかた
予約した番組が録画・視聴できない	**録画予約した番組が録画されない。**	• 本機と連動させずにビデオ側の予約機能を使って予約したとき、ビデオ側で予約を設定しましたか？（☞40ページ） • 予約した番組の開始時刻が変わったとき、「(予約設定)」メニューの「予約方法の設定」が「開始時刻が変わったら予約を取り消す」に設定されていると、予約は取り消されます（☞48ページ）。 • 予約が重複しているときは、PPV番組（☞15ページ）は、番組の途中からは録画されず、予約自体が自動的に取り消されます（☞47ページ）。 • 著作権が保護されている番組では、録画できない場合があります（☞16、37ページ）。 • メール（☞61ページ）が送られていることがあります。メールを読んで録画されなかった理由を確認してください。
	i.LINKでソニー製ハードディスクレコーダーVRP-T1にデジタル録画予約した番組が録画されない。	• i.LINK対応機器が正しく接続されているかご確認ください。ループになっていたりホップ数をオーバーしていたりすると、i.LINK対応機器が使えなくなります（☞117ページ）。 • 接続に異常はありませんか？i.LINKケーブルがはずれていないかご確認ください（☞118～120ページ）。 • 他のi.LINK対応機器をLINCしていませんか？録画実行中に、予約したハードディスクレコーダーVRP-T1以外のi.LINK対応機器をLINCすると、予約が取り消されることがあります（☞123ページ）。
	AVマウスを使ってアナログ録画予約した番組が録画されない。	• お使いのビデオのメーカー名とリモコンコードが正しく入っていて、AVマウスで操作できるか確認してください（☞106ページ）。 • お使いのビデオは、電源スイッチを押すたびに電源が入/切するタイプですか？入→スタンバイ→切のように切り換わるタイプのビデオでは、正しく録画できないことがあります（☞107ページ）。 • 予約の際、ビデオの電源を「切」にしましたか？（☞38ページ） • ビデオの入力切換は正しいですか？（☞38ページ） • AVマウスの取り付け位置は正しいですか？（☞105ページ） • 動作テストに1度成功しても、リモコンの受光感度が低いビデオによっては、AVマウスでのアナログ録画予約（☞37～40ページ）がうまくいかないことがあります。詳しくは、ビデオの取扱説明書をご覧ください。

次のページにつづく

症状		対処のしかた
予約した番組が録画・視聴できない	**視聴予約した番組に切り換わらない。**	• 予約開始時刻までにテレビの電源を入れ、テレビ側で本機をつないだ端子の入力に切り換えた状態にしておきましたか？ 視聴予約した番組は、テレビの電源が自動的に入らないため、番組を見逃してしまいます（☞43ページ）。
	録画予約した番組の再生した映像が映らない、乱れる。	• メール（☞61ページ）が送られていることがあります。 メールを読んで、録画時の状況を確認してください。
	番組冒頭のタイトル画面が録画できない、途切れる。	• 録画予約したとき、お使いのビデオ機器のメーカーによっては、録画の冒頭やタイトル画面が途切れる場合があります。また、ビデオのAPC（アダプティブ・ピクチャー・コントロール）機能が働いても、同様なことがおきる場合があります。

メニューやリモコンについて

症状		対処のしかた
メニューが選べない／表示が消えない	**メニューで選べない項目がある。**	• 黒く表示されている項目は選べません（見ている画像の種類やメニューの設定によって、選べないように制約されています）。
	「ICカードとのアクセスが成立しません　ICカードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターへ連絡してください」と表示される。	• B-CASカードが奥までしっかり入っているか、入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう1度正しい向きで入れ直してください（☞101ページ）。 入れ直してもメッセージが表示されるときは、ご覧になっている各BS放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください（☞108ページ）。 • B-CASカードが破損している場合は、ご覧になっている各BS放送局のカスタマーセンター（☞108ページ）またはB-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。 • 付属のB-CASカード以外は使えません（☞101ページ）。
リモコンが働かない	**リモコンのボタンを押してもチューナーやテレビが動作しない。**	• リモコン用の乾電池が古くなっていませんか？新しいものと取り換えてください。テレビが動作してもチューナーが動作しないときも、乾電池が古くなってきています。 • 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。 • チューナーを操作するには、リモコン発光部をチューナーのリモコン受光部に向けて操作します。テレビを操作するにはテレビのリモコン受光部に向けてください。 • リモコン受光部（☞144ページ）に蛍光灯などの強い照明があたっているときは、照明があたらないように、照明器具または本機の位置を調整してください。 • リモコンのメーカー登録番号を、操作するテレビのメーカー登録番号と合わせてください（☞112ページ）。

i.LINKについて

症状		対処のしかた
i.LINK対応機器を操作できない	i.LINK対応機器をLINCできない。	• 次のi.LINK機器は本機が対応していないため、つながないでください。 －DV方式デジタルビデオカメラ －パソコン －MDデッキ • 接続に異常はありませんか？i.LINKケーブルがはずれていないかご確認ください（☞118～120ページ）。また、i.LINK対応機器の電源ケーブルがはずれていないかご確認ください。 • i.LINK操作画面の「接続機器」リストにLINCしたいi.LINK対応機器が登録されていない場合は、「機器設定」画面で登録変更を行ってください（☞122ページ）。 •「機器設定」画面で、LINCしたい機器が「i.LINK機器」リストに表示されていますか？（☞122ページ） • i.LINK対応機器が正しく接続されているかご確認ください。ループになっていたりホップ数をオーバーしていると、i.LINK対応機器を使用できなくなります（☞117ページ）。 • 機器によっては、正しくLINCできないことがあります。また、LINCできても、デジタル信号が正しくやりとりされないことがあります。詳しくは、つないだi.LINK対応機器の取扱説明書をご覧ください。
	i.LINK操作画面が操作できない。	• 本機のi.LINK操作画面を使って操作できるのはソニー製のハードディスクレコーダーVRP-T1と、MICROMV方式デジタルビデオカメラDCR-IP7のみです（☞62ページ）。 • D-VHSデッキなどのi.LINK対応機器は、本機の操作画面では操作できません。また、ソニー製D-VHSビデオデッキSLD-DC1（HD録画未対応）も、本機の操作画面では操作できません。
デジタル録画・再生ができない	ソニー製ハードディスクレコーダーVRP-T1にデジタル録画できない。	•「i.LINK録画」操作画面で、ハードディスクレコーダーVRP-T1をLINCしてください（☞64ページ）。 • 著作権が保護されている番組では、記録できない場合があります（☞37、117ページ）。
	ソニー製ハードディスクレコーダーVRP-T1またはソニー製MICROMV方式デジタルビデオカメラに録画された番組や映像を再生できない。	•「i.LINK再生」操作画面で、ハードディスクレコーダーVRP-T1またはMICROMV方式デジタルビデオカメラDCR-IP7をLINCしてください（☞67、70、73ページ）。

その他

症状		対処のしかた
その他	電源スタンバイ時に本体があたたかく感じられる。	• 故障ではありません。これは衛星からのデータを取得するために本機の電源が自動的に入るためです。（このとき表示窓には「データ取得中」と表示されます。） 本機は風通しの良い場所で使用し、ビデオなど他の機器を直接重ねて置かないことをおすすめします。 •「(初期設定)」メニューの「i.LINK待機設定」で、「する」を選んでいるときは、本機が電源スタンバイ中のときでも、i.LINK対応機器に対応することがあるためです。

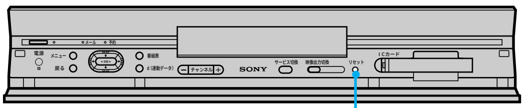
次のページにつづく

リセットボタンについて

過大な静電気や落雷による電源電圧の異常により、まれに、本機が操作を受け付けなくなるときがあります。この場合や以下のような症状が発生した場合は、本体前面のパネルを開けて、リセットボタンをペンの先などで1回押してください。
本体がリセットされて、正常に動作するようになります。

- 本機が操作を受け付けない
- 音が出ない。
- テレビ画面の映像が動かなくなった。

本機前面



また、リセット後に異常が改善されない場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にお知らせください。

自動で衛星ダウンロードする機能について

衛星ダウンロードとは、BSから送信されてくるソフトウェア書き換え用のデータ信号を本機が受信し、**電源スタンバイ中（本体の電源ランプが赤く点灯中）に、本機内部のソフトウェアを最新の内容に自動で書き換える機能です。**ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、BSデジタル放送電波の中に含まれて送信されます。

お買い上げ時は、本機が衛星ダウンロードを自動で行う設定（「衛星ダウンロード：オート」）になっているため、お客様が操作や設定することなく、常に最新版に書き換えられたソフトウェアで、BSデジタル放送を正しく受信し、お楽しみいただけます。

ご注意

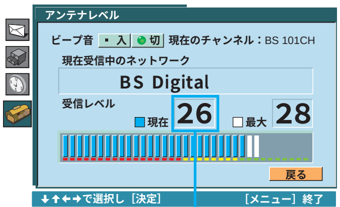
- 手動では衛星ダウンロードできません。
- 衛星ダウンロードを行わないように設定すると、BSデジタル放送が正しく受信できなくなることがあります。そのため、自動で衛星ダウンロードできる設定のまま、お使いいただくよう、強くお勧めします。
- BS予約した録画の実行中（☞34～40ページ）は、衛星ダウンロードは行われません。

次の2つの条件を満たしていれば、電源スタンバイ中に、自動で衛星ダウンロードが行われます。

● **BSアンテナの「現在の受信レベル」が『20以上』になっている。**

20未満のときは、衛星ダウンロードが正しく行われません。アンテナの向きを調整して、受信レベルを20以上にしてください。

BSアンテナの「現在の受信レベル」は、「(初期設定)」メニューの「衛星設定」で、「衛星アンテナレベル」を選ぶと、画面に表示されます。



20以上であれば、衛星ダウンロードが正しく行われます。

● **「衛星ダウンロード：オート」の設定*になっている。**

「衛星ダウンロード：しない」に設定されていると、衛星ダウンロードが行われません。

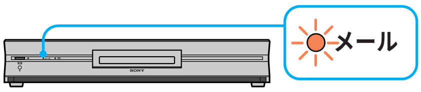
なお、「衛星ダウンロード」設定は、「(初期設定)」メニューの「衛星設定」で、「衛星ダウンロード」を選ぶと、画面に表示されます。

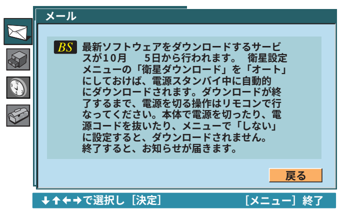
* お買い上げ時の設定です。

衛星ダウンロードの流れについて

衛星ダウンロードが行われるときは

放送衛星（BS）からソフトウェア書き換え用のデータ信号が送信されてきたときは、本体のメールランプが点灯し、次のような**「衛星ダウンロードのお知らせ」のメールが届きます。**





文面は異なる場合があります。

次のページにつづく

その他

自動で衛星ダウンロードする機能について（つづき）

「衛星ダウンロードのお知らせ」のメールを確認したいときは

1 本体のメールランプが点灯しているのを確認する。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ↑/↓で「✉（お知らせ）」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「メール」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓/←/→で新しいメールを選び、決定ボタンを押す。
「衛星ダウンロードのお知らせ」のときは、☞139ページのような内容のメールが表示されます。

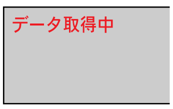
6 メールを読んだ後、メニューボタンを押して、メニューを消す。

衛星ダウンロードの実行中は

衛星ダウンロードは電源スタンバイ時（本体の電源ランプが赤く点灯しているとき）にのみ、自動的に行われます。
電源スタンバイ中、数時間ごとに、衛星から数分程度のソフトウェア書き換え用のデータ信号が送信され、本機がその信号を受信し、本機内部のソフトウェアを最新の内容に自動で書き換えます。書き換えは、30分前後かかります（内容により時間は異なります）。
また、衛星ダウンロード中は、本体の表示窓に「データ取得中」*と表示されます。

* 衛星放送が送信する番組情報などのデータを取得するときも表示されます。

本体表示窓



ご注意

衛星ダウンロード中は、電源の入/切をしたり、電源コードを抜いたりしないでください。衛星ダウンロードの中断により、ソフトウェアの書き込みが途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。

衛星ダウンロードについてのQ&A

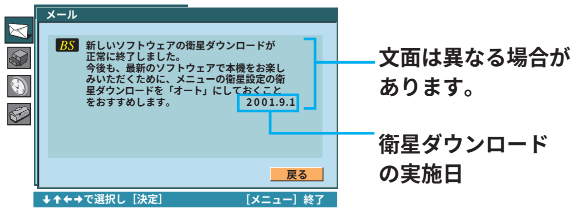
「1回目の信号でうまく衛星ダウンロードできなかったら？」
ご安心ください。ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、一定の期間内に何回も送信されます。

「電源コードを抜いておくと衛星ダウンロードされないの？」
電源コードが抜かれているときは、衛星ダウンロードは行われません。

「衛星ダウンロードによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったりしないの？」
ご安心ください。お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。

衛星ダウンロードが正常に終了すると

「衛星ダウンロードのお知らせ」のメールが自動的に削除され、その代わりに、**「衛星ダウンロード終了のお知らせ」のメールが届きます。**



ちょっと一言
新しく「衛星ダウンロードのお知らせ」のメールが送られてくると、その代わりに「衛星ダウンロード終了のお知らせ」のメールは、自動的に削除されます。

「衛星ダウンロード終了のお知らせ」のメールが届かないときは
まず、次のことをご確認ください。
- BSアンテナの「現在の受信レベル」が『20以上』になっていますか。
- 電源スタンバイ状態になっていましたか。

それでも、メールが届かないときは、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口へご相談ください。

「i.LINK待機設定」を「する」に設定しているときは ☞126ページ
「衛星ダウンロードにより最新ソフトウェアが取り込まれています。
本機前面のパネルを開けてリセットボタンを押せば新しいプログラムが有効になります。
終了すると、お知らせが届きます。」
のようなメールが届きます。メールの指示に従って、電源を入/切してください。

主な仕様

受信方式	BSデジタル放送方式 110度CSデジタル放送方式
受信チャンネル	BS・110度CSデジタル（テレビ、ラジオ、独立データ）の各チャンネル
対応周波数	1022〜2072 MHz
対応ローカル周波数	10.678 GHz
アンテナ入力	75 Ω、F型コネクター（コンバーター電源出力DC15 V、最大 4 W、芯線側＋、オート/入/切、メニュー切り換え）
映像出力（テレビ用）	ピンジャック 1Vp-p 75 Ω
S2映像出力（テレビ用）	ミニDIN 4ピン Y：1 Vp-p 75 Ω、C：0.286 Vp-p 75 Ω
映像出力（ビデオ用）	ピンジャック 1Vp-p 75Ω
S映像出力（ビデオ用）	ミニDIN 4ピン Y：1 Vp-p 75 Ω、C：0.286 Vp-p 75 Ω
D1/D3/D4映像出力	14ピンマルチコネクター Y：1 Vp-p（0.3 V 負同期付き） Cb/Cr：± 350 mVp-p 出力インピーダンス 75 Ω
音声出力	ステレオ、ピンジャック （テレビ用、ビデオ用各1系統） 5.1ch出力、ピンジャック 最大出力レベル 2.0 Vrms 出力インピーダンス 1 kΩ以下
光デジタル音声出力	AAC/PCM対応
コントロールS入力	ミニジャック
AVマウス（ビデオ）	ミニジャック
i.LINK	4ピン　S200
電話回線端子	モジュラージャック
モデム通信速度	2400 bps
使用周囲温度	0〜40 ℃
電源	AC100 V，50/60 Hz
消費電力	約24 W （スタンバイ時消費電力0.3 W、i.LINK待機時消費電力24W）
最大外形寸法	430 × 77 × 304.5 mm （幅×高さ×奥行き）（最大突起部含む）
本体質量	約 3.2 kg

付属品

- 電源コード（1）
- 映像/音声コード（1）
- AVマウス（1）
- テレホンコード（10m）（1）
- モジュラーテレホンコードカプラー（1）
- リモコン RM-J325D（1）
- 単3型乾電池（2）
- B-CASカード（BSデジタル用ICカード）（1）とB-CAS用ユーザー登録はがき台紙（1）
- 取扱説明書（1）
- 110度CS操作ガイドブック（1）
- 簡単操作ガイド（1）
- 安全のために（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）
- 保証書（1）

- 本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
- i.LINKは、IEEE1394-1995とIEEE 1394a-2000を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ "" は商標です。
- このBSデジタルチューナーは日本国内用です。電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがありますがご了承ください。
- 本機は電気通信事業法第50号第1項の規定に基づく技術基準適合認定モデルです。

機器名　DST-BX500
認証番号　A01-0455JP

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
各BS局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたいBS放送局のカスタマーセンターやB-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）に問い合わせてください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。
その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、BSデジタルチューナーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

型名： DST-BX500
故障の状態：できるだけくわしく
お買い上げ年月日：

お買い上げ店 **TEL.**
お近くのサービスステーション **TEL.**

This BS digital tuner is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

用語集

五十音順

ア行

アンテナレベル（☞97ページ）
アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、アンテナの向きや角度、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

インターレース（飛び越し走査）（☞79ページ）
例えば標準テレビ信号 SD では、有効走査線480本のうち、まず奇数番目の走査線（240本）を1/60秒かけて描き（この1画面を1フィールドという）、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線（240本）を描き、合わせて有効走査線480本の1枚の完全な画面（フレーム）を作っていく飛び越し走査のことです。

カ行

緊急放送（☞11ページ）
標準テレビ信号 SD の多チャンネル放送を利用した放送です。緊急放送には、地震などの災害時に放送される緊急ニュース番組などがあります。

降雨対応放送（☞10ページ）
激しい雨による映像・音声の遮断を防ぐために、通常の放送に並行して、降雨に強い方式で同じ番組を送るものです。
本機では、お買い上げ時、番組によって降雨対応放送に自動的に切り換わるように設定されています。
降雨対応放送は、画質や音質が通常の放送に比べ低下します。

サ行

字幕放送（☞60ページ）
画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。
本機では、字幕を入/切したり、字幕の言語を切り換えたりできます。

走査線（☞79ページ）
テレビは、左から右へ流れる電子ビームを上から下へ送ることで画面を作っています。この電子ビームが作る線を走査線と呼び、走査線によって、どのように画面を作っていくかで、インターレースやプログレッシブなどの方式があります。

タ・ナ行

デジタルハイビジョン信号HD(☞79ページ)
1125iと750pの画像方式があり、大画面になっても走査線（テレビ画面を水平に走る線）が目立たなく、臨場感あふれる高精細画質を楽しめます。

ハ行

ハイビジョン放送
BSアナログでのBS9チャンネル（NHKハイビジョン）の放送です。BSデジタル放送で行われるデジタルハイビジョン信号HDではありません。

標準テレビ信号SD（☞79ページ）
525pと525iの画像方式があり、525iはテレビ（地上波）放送と同等の画質です。

プログレッシブ（順次走査）（☞79ページ）
例えば標準テレビ信号SDでは、飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）をしないで、第1フレームで480本全部の有効走査線を順番どおりに描き、次のフレームも同じ場所を480本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

マ行

マルチチャンネル放送（☞5、10ページ）
標準テレビ信号SDの多チャンネル放送を利用した放送です。同じBS放送局の複数のチャンネルで、それぞれ違う番組を放送する「タイプ1」と、同じBS放送局の別のチャンネルで臨時放送を行う「タイプ2」があります。

マルチビュー放送（☞5、57ページ）
標準テレビ信号SDの多チャンネル放送を利用した放送です。生中継の番組などで、最大3つの映像を同じチャンネルで楽しめます。
それぞれのカメラからの映像を、本機のリモコンの映像ボタンで切り換えて見ることができます。

ヤ行

有効走査線数（☞79ページ）
走査線のうち、映像信号が載っている走査線の数のことを言います。テレビ（地上波）放送やBSアナログ放送および標準テレビ信号SDでは、525本ある走査線のうち有効走査線数は480本です。BSアナログ放送のハイビジョン放送では同じく1125本中1035本、デジタルハイビジョン信号HDでは、1125本中1080本となっています。なお、有効走査線に含まれていない残りの走査線（映像信号の載っていない走査線）には、画面の横縦比を規定した識別制御信号などが載っています。

ラ・ワ行

臨時放送（☞5、10ページ）
標準テレビ信号SDの多チャンネル放送を利用した放送です。同じBS放送局の別のチャンネルで、臨時放送を行います。

アルファベット・数字順

アルファベット

AAC（☞56、130ページ）
BSデジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド・オーディオ・コーディング（Advanced Audio Coding）」の略で、高い圧縮率で音楽CD並みの音質を実現します。

B-CASカード（ICカード）（☞101ページ）
プラスチック・カードに集積回路を埋め込んだものです。チャンネルの契約、購入内容などの情報がB-CASカードに記録されます。記録された情報は、電話回線を通じてBS放送局に送信されます。

BSアナログ放送（☞6ページ）
従来からのBSアナログチューナー内蔵テレビやビデオで受信できるBSアナログ放送の4チャンネル（NHK BS1/BS2、ハイビジョン、WOWOW）と、独立音声ラジオ放送1チャンネル（St. GIGA）です。

BSデジタル放送（☞4ページ）
2000年12月から始まった、放送衛星（BS）によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがあります。

D端子（☞81、83ページ）
BSデジタル放送などに対応したコンポーネント映像端子です。D映像入力端子付きのテレビなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号をやりとりして、より高画質な画像を楽しめます。D端子には対応する信号フォーマットによって、次の種類があります。

本機にはD1/D3/D4映像出力端子が付いています。
- D1端子:525i（480i）の信号に対応
- D2端子:525i（480i）と525p（480p）の信号に対応
- D3端子:525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）の信号に対応
- D4端子: 525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）の信号に対応

iはインターレース、pはプログレッシブの略です。
（ ）内は有効走査線数で数えたときの別称です。

EPG（☞18、20ページ）
「エレクトロニック・プログラム・ガイド（Electronic Program Guide）」の略で、BS放送局から送信される電子番組案内（タイトルや番組説明、放映時間など）のことです。

PCM（☞56、130ページ）
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式です。「パルス・コード・モジュレーション（Pulse Code Modulation）」の略で、手軽にデジタル音声を楽しめます。

PPV（ペイ・パー・ビュー）（☞15ページ）
「見るたびに支払う」という意味で、一回視聴するごとに購入する番組のことです。

数字

4chサラウンド（☞55、129ページ）
左フロント、右フロント、左リア、右リアの4本のスピーカーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式です。
本機の音声5.1CH出力端子に4ch入力対応のオーディオ機器をつなぐと、本機が受信した5.1chサラウンドの音声を4chサラウンドで楽しめます。

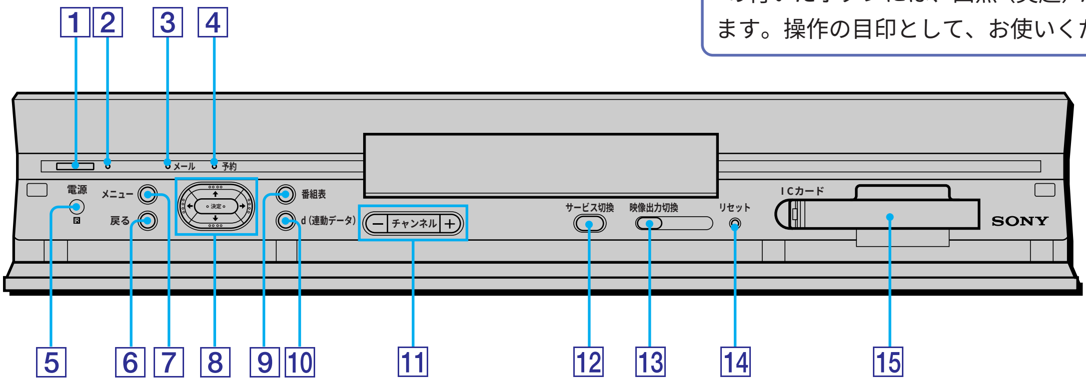
5.1chサラウンド（☞55、128ページ）
左フロント、右フロント、センター、左リア、右リアの5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式です。
本機の音声5.1CH出力端子に5.1ch入力対応のオーディオ機器をつなぐと、本機が受信した5.1chサラウンドの音声を楽しめます。

各部の名前

本体前面部

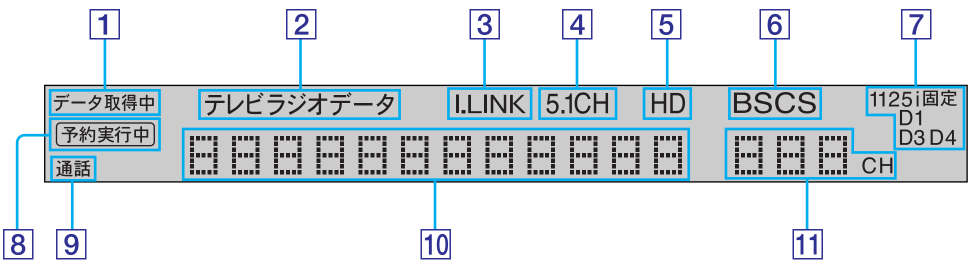
リモコンにある同名のボタンと、同じ働きをします。

ちょっと一言
*の付いたボタンには、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。



1 **電源ボタン**（☞9、50、52、94ページ）
2 **電源ランプ**
3 **メールランプ**（☞61、139ページ）
4 **予約ランプ**（☞36、39、44ページ）
5 **リモコン受光部**
6 **戻るボタン**（☞14、52ページ）
7 **メニューボタン**（☞17、147ページ）
8 **↑/↓/←/→/決定ボタン**（☞17、147ページ）
9 **番組表ボタン**（☞20ページ）
10 **d（連動データ）ボタン**（☞8、14、50ページ）
11 **チャンネル＋/－ボタン***（☞9、51、53ページ）
12 **サービス切換ボタン**（☞8、50、52ページ）
詳しくは、同梱の「110度CS操作ガイドブック」をご覧ください。
13 **映像出力切換ボタン**
（☞80～81、83～86ページ）
14 **リセットボタン**（☞138ページ）
15 **ICカード挿入口**（☞102ページ）

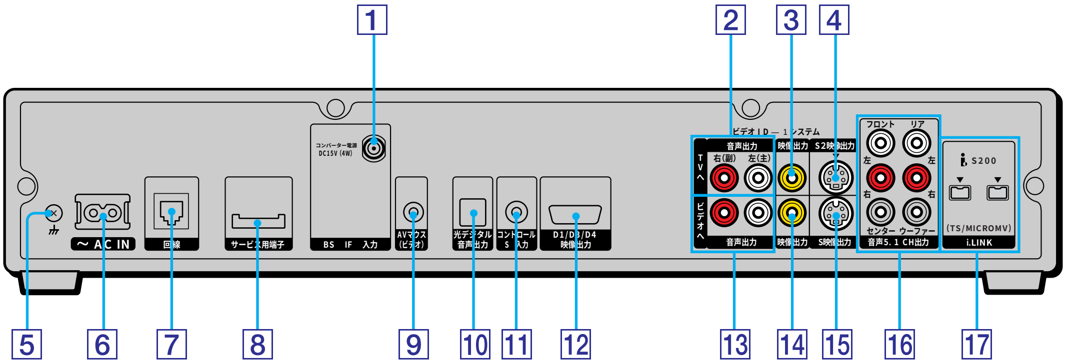
表示窓



1 **データ取得中表示**（☞140ページ）
2 **テレビ/ラジオ/データ表示**（☞51ページ）
3 **i.LINK表示**
4 **5.1CH表示**（☞55ページ）
5 **HD表示**
6 **BS/CS表示**
7 **映像出力切換表示**（☞80ページ）
8 **予約実行中表示**（☞37、40、44ページ）
9 **通話表示**（☞89ページ）
10 **カレンダー（日時）/アンテナレベル表示**
（☞99ページ）
11 **チャンネル表示**（☞51ページ）

表示窓の明るさが気になるときは
「（各種切換）」メニューで、「表示窓の明るさ」を「暗い」にしてください。

本体後面部



1 BS IF**入力端子**（☞76〜78ページ）
2 **音声出力端子**（TVへ）（☞81、83〜87ページ）
3 **映像出力端子**（TVへ）（ビデオID-1システム）（☞87ページ）
4 S2**映像出力端子**（TVへ）（ビデオID-1システム）（☞87ページ）
5 **アース端子**
6 〜AC IN（**電源入力**）**端子**（☞93ページ）
7 **回線端子**（モジュラージャック）（☞90〜92ページ）
8 **サービス用端子**
9 AV**マウス**（ビデオ）**端子**（☞88、106ページ）
10 **光デジタル音声出力端子**（☞130ページ）
11 **コントロール**S**入力端子**（☞82ページ）
12 D1/D3/D4**映像出力端子**（☞81、83〜86ページ）
13 **音声出力端子**（ビデオへ）（☞42、88ページ）
14 **映像出力端子**（ビデオへ）（ビデオID-1システム）（☞42、88ページ）
15 S**映像出力端子**（ビデオへ）（ビデオID-1システム）（☞42、88ページ）
16 **音声**5.1CH**出力端子**（☞55、128、129、131ページ）
17 i.LINK i. S200（TS MICRO/MV）**端子**（☞118〜120ページ）

ID-1方式（ビデオID-1システム）
ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名前です。本機はID-1方式に対応してます。ID-1方式対応のテレビにつなぐと、ID-1方式の画像となります。

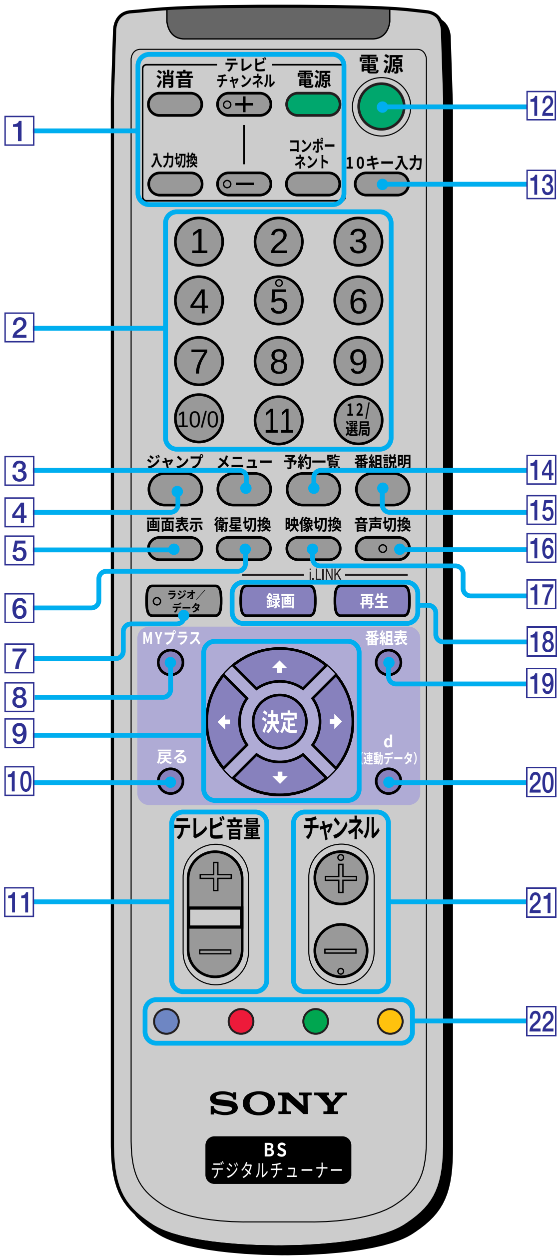
S2方式（S2映像）
S映像のC端子へ直流電圧を重畳することにより、画面の横縦比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名前です。
本機は、S2方式に対応しています。
S2映像入力端子が付いたテレビにつなぐと、S2方式の画像となります。

次のページにつづく

リモコン

本体にある同名のボタンと、同じ働きをします。

ちょっと一言
*の付いたボタンには、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。



1 **テレビ用ボタン（☞112ページ）**
テレビチャンネル+/−ボタンには、凸点（突起）が付いています。

2 **数字ボタン*（☞9、51、53、101、113、115ページ）**
「5」のみ凸点（突起）が付いています。

3 **メニューボタン（☞17、147ページ）**

4 **ジャンプボタン（☞8、50、52ページ）**

5 **画面表示ボタン（☞8、50、52ページ）**

6 **衛星切換ボタン**
詳しくは、同梱の「110度CS操作ガイドブック」をご覧ください。

7 **ラジオ/データボタン*（☞8、50、52ページ）**

8 **MYプラスボタン（☞19ページ）**

9 **↑/↓/←/→/決定ボタン（☞17、147ページ）**

10 **戻るボタン（☞14、52ページ）**

11 **テレビ音量+/−ボタン（☞9、51、53ページ）**

12 **電源ボタン（☞9、51、53、93ページ）**

13 **10キー入力ボタン（☞9、51、53ページ）**

14 **予約一覧ボタン（☞45ページ）**

15 **番組説明ボタン（☞12ページ）**

16 **音声切換ボタン*（☞54ページ）**

17 **映像切換ボタン（☞57ページ）**

18 **i.LINK録画/再生ボタン（☞64、67、70、73ページ）**

19 **番組表ボタン（☞20ページ）**

20 **d（連動データ）ボタン（☞8、14、50ページ）**

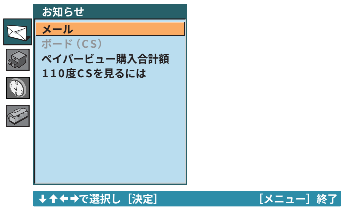
21 **チャンネル+/−ボタン*（☞9、51、53ページ）**

22 **カラーボタン（☞14、53ページ）**

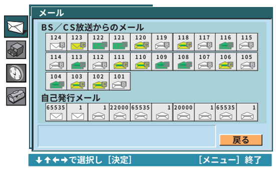
メニュー一覧

メニューは↑/↓/←/→で選んで、決定ボタンを押します。

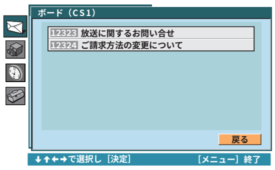
お知らせ（☞17、61、140ページ）



メール
（☞61、140ページ）

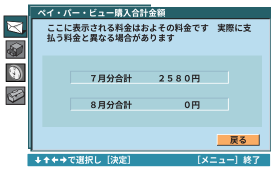


ボード（CS）

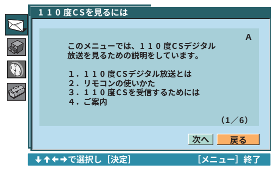


詳しくは、同梱の「110度CS操作ガイドブック」をご覧ください。

ペイ・パー・ビュー購入合計金額
（☞17ページ）

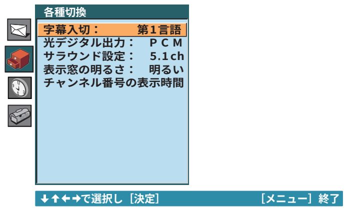


110度CSを見るには

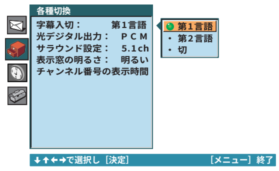


操作ガイドが表示されます。

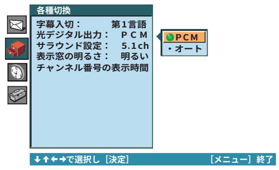
各種切換（☞55、60、128、129、130、144ページ）



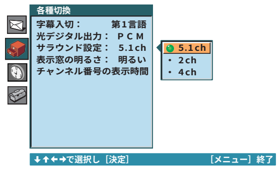
字幕入切
（☞60ページ）



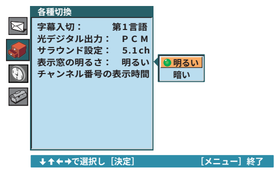
光デジタル出力
（☞130ページ）



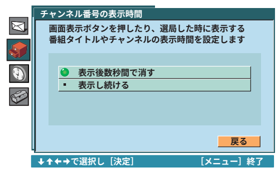
サラウンド設定
（☞128、129ページ）



表示窓の明るさ
（☞144ページ）



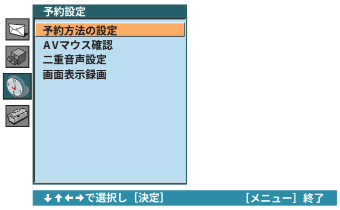
チャンネル番号の表示時間
（☞8、50、52ページ）



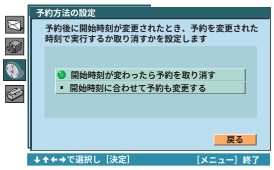
次のページにつづく

メニュー一覧（つづき）

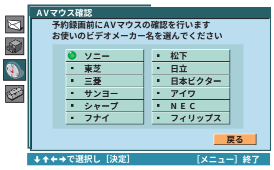
予約設定（☞41、42、48、106ページ）



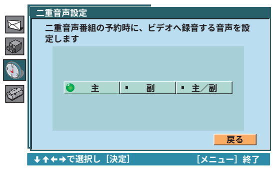
予約方法の設定
（☞48ページ）



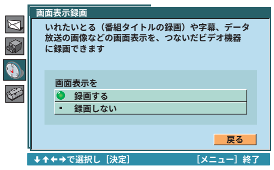
AVマウス確認
（☞106ページ）



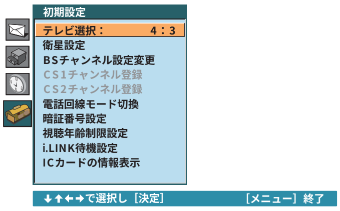
二重音声設定
（☞41ページ）



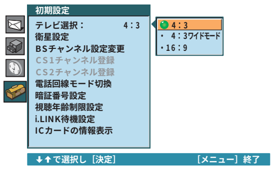
画面表示録画
（☞42ページ）



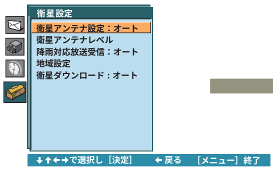
初期設定（☞10、94、96、98、100、104、109、111、113、115、126、139ページ）



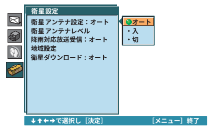
テレビ選択
（☞93ページ）



衛星設定
（☞96、98ページ）



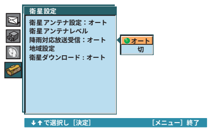
衛星アンテナ設定
（☞96ページ）



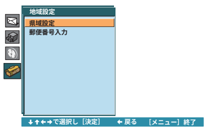
衛星アンテナレベル
（☞98ページ）



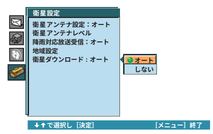
降雨対応放送受信
（☞10ページ）



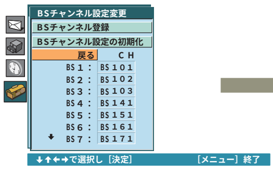
地域設定
（☞100ページ）



衛星ダウンロード
（☞139ページ）



BSチャンネル
設定変更
（☞109ページ）



BSチャンネル登録
（☞111ページ）

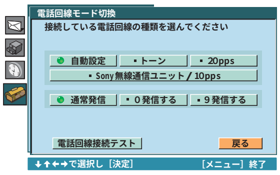


CS1チャンネル登録
CS2チャンネル登録

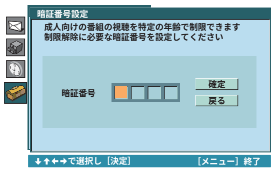


詳しくは、同梱の「110度CS操作ガイドブック」をご覧ください。

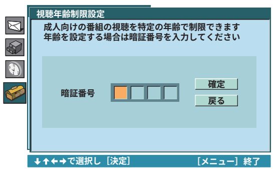
電話回線モード切換
（☞104ページ）



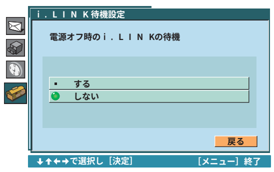
暗証番号設定
（☞113ページ）



視聴年齢制限設定
（☞115ページ）



i.LINK待機設定
（☞126ページ）



ICカード（BS）
の情報表示



索引

ちょっと一言
青色の文字は、メニュー中の項目です。

五十音順

本商品に関するお問い合わせは、お客様ご相談センターへ

- ナビダイヤル 0570-00-3311
  （全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。）
- 携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311
- FAX 0466-31-2595
- 受付時間：月〜金　9:00〜20:00／土・日・祝日　9:00〜17:00

ソニー株式会社　〒141-0001 **東京都品川区北品川** 6-7-35

http://www.sony.co.jp/

Printed in Japan

この説明書は再生紙を使用しています。